東京医科歯科大学全学共通科目

内容

哲学Ⅰ 1
哲学Ⅱ 3
倫理学Ⅰ 5
倫理学Ⅱ 7
心理学Ⅰ 9
心理学Ⅱ 11
宗教学Ⅰ 13
宗教学Ⅱ 15
芸術Ⅰ 17
芸術Ⅱ 19
歴史学ＡⅠ 21
歴史学ＡⅡ 23
歴史学ＢⅠ 25
歴史学ＢⅡ 27
科学史Ⅰ 29
科学史Ⅱ 31
文学ＡⅠ 33
文学ＡⅡ 35
文学ＢⅠ 37
文学ＢⅡ 39
法学Ⅰ 41
法学Ⅰ（憲法） 43
法学Ⅱ 45
政治学Ⅰ 47
政治学Ⅱ 49
経済学Ⅰ 51
経済学Ⅱ 53
社会学ＡⅠ 55
社会学ＡⅡ 57
社会思想史Ⅰ 59
社会思想史Ⅱ 61
文化人類学Ⅰ 63
文化人類学Ⅱ 65
Japanese Culture and Society Ⅰ 67
Japanese Culture and Society Ⅱ 69
グローバル教養科目・Linguistics 71
グローバル教養科目・Japanese linguistics 73
グローバル教養科目・An Introduction to Moral Philosophy 75
グローバル教養科目・Better Never to Have Been 77
グローバル教養科目・The Insiders' and Outsiders' Views of Contemporary Japanese Society 79
グローバル教養科目・ Rethinking Diversity, Immigration and National Identity in Japan 81
人文社会科学特論（高齢者福祉論） 83
人文社会科学特論（科学と社会） 86
人文社会科学特論（グローバル社会とバイリンガリズム） 88

物理学入門 90
生物学入門 92
化学入門 94
数学ＩＭ 96
数学ＩＤ 98
数学ＩＴ 100
物理学ＩＭ 102
物理学ＩＤ・Ｔ 104
数学Ⅱ（α） 106
数学Ⅱ（β） 108
数学Ⅱ（γ） 110
物理学ⅡＭ 112
物理学ⅡＤ・Ｔ 114
統計学（α） 116
統計学（β） 118
化学（一般化学）Ｍ 120
化学（一般化学）Ｄ 123
化学（一般化学）Ｔ 126
化学基礎(α) 128
化学基礎(β) 130
生物学（細胞・遺伝子）Ｍ 132
生物学（構造・機能）Ｍ 134
生物学（細胞・遺伝子）ＤＴ 136
生物学（構造・機能）ＤＴ 138
細胞生物学基礎 140
人体の生物学基礎 142
英語 144
英語ａ 145
英語ａ 148
英語ａ 150
英語ａ 152
英語ａ 154
英語ａ 157
英語ａ 159
英語ａ 161
英語ａ 163
英語ａ 166
英語ａ 168
英語ａ 170
英語ａ 173
英語ｂ 175
英語ｂ 177
英語ｂ 179
英語ｂ 181
英語ｂ 183
英語ｂ 185

英語 b 187
英語 b 189
英語 b 191
英語 b 193
英語 b 195
英語 b 197
英語 b 199
英語 c 201
英語 c 203
英語 c 205
英語 c 207
英語 c 209
英語 c 211
英語 c 213
英語 c 215
英語 c 217
英語 c 219
英語 c 221
英語 c 223
英語 c 225
英語 d 227
英語 d 229
英語 d 231
英語 d 233
英語 d 235
英語 d 237
英語 d 239
英語 d 241
英語 d 243
英語 d 245
英語 d 247
英語 d 249
英語 d 251
日本語 a 253
日本語 b 255
日本語 c 257
日本語 d 259
ドイツ語 a 261
ドイツ語 a 264
ドイツ語 a 267
ドイツ語 a 270
ドイツ語 a 273
ドイツ語 b 276
ドイツ語 b 279
ドイツ語 b 282
ドイツ語 b 285

ドイツ語 b 288
ドイツ語 b 291
ドイツ語 c 294
ドイツ語 c 297
ドイツ語 c 300
ドイツ語 c 303
ドイツ語 c 306
ドイツ語 d 309
ドイツ語 d 312
ドイツ語 d 315
ドイツ語 d 318
ドイツ語 d 321
ドイツ語 d 324
フランス語 a 327
フランス語 a 330
フランス語 b 333
フランス語 b 336
フランス語 c 339
フランス語 c 342
フランス語 d 345
フランス語 d 348
中国語 a 351
中国語 a 354
中国語 b 357
中国語 b 360
中国語 c 363
中国語 c 366
中国語 d 369
中国語 d 371
スペイン語 a 373
スペイン語 a 375
スペイン語 b 377
スペイン語 b 379
スペイン語 c 381
スペイン語 c 383
スペイン語 d 385
スペイン語 d 387
物理学実験 389
化学実験 391
生物学実験 393
サイエンス PBL 入門 395
科学基礎実験 T 397
科学基礎実験 N・O・K 399
科学基礎演習 401
情報科学 N 403
情報科学 T 405

情報科学Ｏ・Ｋ 407
情報処理(α) 409
情報処理(β) 411
スポーツ・健康科学 413
スポーツ・健康科学 416
フィットネスマネージメント 419
フィットネスマネージメント（前期　木４） 421
フィットネスマネージメント（前期　木５） 423
フィットネスマネージメント（前期　金４） 425
フィットネスマネージメント（前期　金５） 427
フィットネスマネージメント（後期　木Ａ） 429
フィットネスマネージメント（後期　木Ｂ） 431
フィットネスマネージメント（後期　金Ａ） 433
フィットネスマネージメント（後期　金Ｂ） 435
Ｓ・メンタルトレーニング 437
Ｒ・講義と実習によるバイオサイエンス１ 439
Ｓ・水の科学 441
Ｓ・フランス語でニュースを読む 443
Ｓ・一般化学演習 446
Ｓ・現代中国社会研究 448
Ｓ・糖の科学 450
Ｒ・けいすけのドイツ旅行 452
Ｓ・計算機による数学 455
Ｒ・講義と実習によるバイオサイエンス２ 457
Ｓ・英語で学ぶ力学 459
Ｓ・彫刻（塑造） 460
Ｒ・離散構造 461
Ｓ・分子分光学演習：基礎編 463
Ｓ・ウニの発生と海産生物の観察実習 465
Ｓ・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門 467
Ｓ・Topics in the News 469
Ｓ・翻訳演習 471
Ｓ・Discussions on Human Behavior 473
Ｓ・Basic Concepts in Physics 475
Ｓ・イギリス文学講読 477
Ｓ・実用統計学 479
Ｓ・Essentials of Medical Language 481
Ｓ・タンパク質の科学 484
Ｓ・数学基礎 486
Ｓ・Essentials of Human Biology 488
Ｓ・Understanding Poetry from a Comparative Perspective 490
Ｓ・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン 492
Ｓ・数理生物学入門 494
Ｓ・サイエンスフロンティア概論 496
Ｓ・化学演習：基礎編 498
Ｓ・生命分子スペクトル解析学演習 500

S・市川文学散歩 502
S・Human Nature and the Mind 504
S・文学を通してみるフランス 506
グローバル教養総合講座 509
医療と AI・ビッグデータ入門（必修科目） 513
医療と AI・ビッグデータ入門（自由科目） 517

時間割番号	000001				
科目名	哲学Ⅰ			科目ID	LA-110100-Z
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜　1 限
対象学科:　　全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表 1-6)人間の心への理解を深める
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

人間はどのように生きるべきなのか？　人間にとって幸せとは何か？
「哲学」といえばそういった問題について考えるものだと思われているかもしれない。しかし、哲学には生き方の問題だけでなく、世界の「真理」を探究するというテーマもある。「真理」を知ることで人は正しく生き、幸せになれると、長い間考えられてきた。とはいえ、「真理」=「絶対に正しくてこれ以上変えようがない唯口の答え」など、本当にあるのだろうか？現代の私たちの感覚からすると疑問に感じるかもしれない。一方で、「正しい」ことが何もないのかというと、それもまた疑問に感じるだろう。
この授業では、古代ギリシア哲学、近代哲学、現代哲学が「正しさ」をどのように探し求めてきたのかについて、西洋哲学の歴史の概要を講義形式で説明する。

授業の到達目標

「哲学」を初めて学ぶ者を対象とするため、できるだけ理解しやすいように PowerPoint のスライドを使用して図解を多く用い、日常的な出来事や、事例を用いて説明する。西洋哲学の基本的な知識を習得することを一つの目標とするが、哲学で大切なことは、答えを知ることよりも、当たり前に感じていたことの中に潜む疑問を見つけて問いを立てることである。様々な哲学者がどのような問いを立て、答えを見つけるために試行錯誤したのか。その道筋を追うことによって、日常生活においても浮上する様々な問題に対して、自分なりの問いを立て、本質を見抜き、答えを出す力を養うことをより大きな目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
2	4/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
3	4/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
4	5/10	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
5	5/17	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
6	5/24	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
7	5/31	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
8	6/7	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
9	6/14	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
10	6/21	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
11	6/28	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
12	7/5	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
13	7/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
14	7/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
15	7/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式で授業を行うが、アクティブラーニングの形式を取り入れ、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックする。

授業内容

1ガイダンス
2哲学とは～哲学・科学・宗教
3哲学のはじまり～自然哲学とソクラテス
4プラトンのイデア論
5アリストテレスの哲学
6合理主義と経験主義
7カントの哲学
8ヘーゲルと19世紀の哲学
9ニヒリズムとポストモダン
10言語哲学
11分析哲学
12科学哲学
13プラグマティズム
14哲学は「真理」を見つけたか
15試験
※内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ その他（授業への参加度） 40%
再評価： 有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし
毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

田中正人著、斎藤哲也責任編集、『哲学用語図鑑』、プレジデント社（2015）
その他、毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	000002				
科目名	哲学Ⅱ			科目ID	LA-110200-Z
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜　1 限
対象学科:　　全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表 1-6)人間の心への理解を深める
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる
別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

「哲学」とは真理を探究する学問の総称である。現代では真理を探究する際の主要な方法は「科学」に基づいている。では、哲学、科学における真理の探究はどのようにしてなされているのか。哲学的観点と科学的観点、それぞれの方法論を踏まえたうえで、哲学的な正しさ、科学的な正しさがどのように根拠付けられるのかを説明する。特に、20 世紀以降の分析哲学の思想史を解説し、論理的、批判的な思考を理解し、身につけるための概論、入門編としての講義を行う。

授業の到達目標

哲学を学ぶ中級者を対象として想定する。西洋哲学の大まかな全体像を理解したうえで、分析哲学、科学哲学をより詳細に学び、基本的な知識を習得することを一つの目的とする。ただし、前期「哲学Ⅰ」を未履修でも理解できるように、最初の何回かで、現代の分析哲学を理解するための前提知識を概説する。できるだけ理解しやすいよう、PowerPoint のスライドを使用して、図解を多く用い、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。分析哲学、科学哲学の論理的、批判的思考方法を見につけることで、自然科学、社会科学を含め、諸科学のための科学的思考法を身につけることをより大きな目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
2	10/11	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
3	10/18	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
4	10/25	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
5	11/1	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
6	11/8	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
7	11/15	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
8	11/22	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
9	11/29	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
10	12/6	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
11	12/13	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
12	12/20	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
13	1/17	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
14	1/24	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
15	1/31	09:10-10:40		大賀　祐樹, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式で授業を行い、アクティブラーニングの形式を取り入れ、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックする。

授業内容

1ガイダンス
2哲学的探究法Ⅰ～形而上学的方法

3哲学的探究法Ⅱ～演繹と帰納 4哲学的探究法Ⅲ～論理実証主義 5日常言語学派 6心の哲学 7可能世界意味論 8科学哲学 9分析哲学Ⅰ 10分析哲学Ⅱ 11ネオ・プラグマティズムⅠ 12ネオ・プラグマティズムⅡ 13批判的思考のいくつかの方法 14授業全体のまとめと補足 15試験 ※内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。
成績評価の方法 評価 ： 試験 60% ・ その他(授業への参加度) 40% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。
教科書 なし 毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。
参考書 毎回の授業で参考文献を多数紹介する。
履修上の注意事項 原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	000003				
科目名	倫理学Ⅰ			科目ID	LA-110300-Z
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限
対象学科:　　全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する
別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表)1-7 人間の心への理解を深める
別表)1-9 市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

絶対に正しいことなど存在せず、価値観は人それぞれであるとされる現代において、「正義」や「善」の根拠とは何であるのかということを主張するのは難しいように思えるかもしれない。しかし、社会に倫理や道徳が存在しなければ、秩序は乱れ、人間は生きていくことさえ困難であろう。では何故、正しいことは正しく、善いことは善いとされるのか。なぜ、人は倫理を求めるのか。西洋の倫理学の歴史を順に理解することによって、その様々な根拠を知り、また現代において、いかにして倫理を論じることが可能になるのかということを理解できるようになるだろう。

授業の到達目標

倫理学を初めて学ぶ者を対象とする。倫理学の成り立ちから、発展、様々な考え方の成立の経緯を、思想史の順を追って説明し、基本的な知識を習得することを一つの目標とする。できるだけ理解しやすいように、PowerPoint のスライドで図解を多用し、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。倫理学の議論において、様々な思想家がどのような問いを立て、答えを見つけるために試行錯誤したのか。その道筋を追うことによって、日常生活や、今後の社会生活においても直面するであろう様々な倫理的な問題に対して、自分なりに考えを整理し、答えを出せるようになるための思考力を養うことを大きな目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
2	4/16	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
3	4/23	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
4	4/30	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
5	5/7	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
6	5/14	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
7	5/21	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
8	5/28	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
9	6/4	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
10	6/11	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
11	6/18	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
12	6/25	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
13	7/2	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
14	7/9	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子
15	7/16	10:50-12:20	6 番教室	大賀　祐樹, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式で授業を行い、アクティブラーニングの形式を取り入れ、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックする。

授業内容

1 ガイダンス
2 正しい生き方、善い生き方と幸福な生き方

3 ソクラテスの裁判と死
4 プラトンの正義論
5 アリストテレスの倫理学
6 ストア派、快楽主義、懐疑主義、他
7 道徳と感情～ヒューム、スミス
8 人間の自由と道徳～カントの道徳哲学
9 倫理学としての功利主義（1）
10 倫理学としての功利主義（2）
11 ロールズの正義論
12 リバタリアニズム
13 正義と善～コミュニタリアニズム、徳倫理学
14 授業全体のまとめと補足
15 試験
※内容、予定の変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ その他（授業への参加度） 40%
再評価： 有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし
毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

赤林朗、児玉聡編『入門・倫理学』勁草書房（2018）他、毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	000004				
科目名	倫理学Ⅱ			科目ID	LA-110400-Z
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限
対象学科:　　全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する
別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表)1-9 市民としての倫理観を養う
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

倫理学とは、概念や理論を学ぶと同時に、自分の人生や社会において問題に直面したとき、どのように考え、答えを出すか、その実践的な方法を学ぶ学問でもある。この講義では、教科書、参考書として扱う書物に書かれている様々な事例をもとに、倫理学的に考えるとはどのようなことか、問題を整理して、複数の観点の論理や対立構造を理解したうえで、自分自身で理由に基づいた議論を構築し、答えを出す、実践的な力を養う。

授業の到達目標

倫理学の基本的な知識や理論、枠組みを理解していることを前提として、それらが実際にどのような場面で実践され得るのかということを、教科書として扱う書物の事例を元にして学ぶ。実際に起きた事例や、様々な思考実験を題材として、倫理学の様々な考え方を通すとどのように考えられ、答えられるのか、自らの道徳的直感だけでなく、理由と論理に基づいて考える力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		大賀　祐樹, 木谷　真紀子

授業方法

アクティブラーニングの形式を取り入れ、教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。

授業内容

1ガイダンス
2倫理学についての概説(善、正義、幸福など)
3～14児玉聡『実践・倫理学』勁草書房(2020 年)、M.サンデル『これからの正義の話をしよう』ハヤカワ・ノンフィクション文庫(2011 年)を教科書として読み進め、毎回 2～3 人程度の担当者を指名し、コメント発表、ディスカッションなどを行う。
15授業全体のまとめと補足

※内容、予定の変更があった場合にはその都度告知する。
成績評価の方法 評価　：　コメント発表への評価 50%、授業内容の理解度 50% 再評価：　有（レポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくことが望ましい。
教科書 児玉聡『実践・倫理学』勁草書房（2020 年）、 M.サンデル『これからの正義の話をしよう』ハヤカワ・ノンフィクション文庫（2011 年）
参考書 教科書の他に必要があれば、毎回の授業で随時紹介する。
履修上の注意事項 原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	000005				
科目名	心理学Ⅰ			科目ID	LA-110500-L
担当教員	佐藤　舞[SATOU Mai]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月曜　1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1−7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅰ」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
2	4/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
3	4/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
4	5/10	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
5	5/17	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
6	5/24	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
7	5/31	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
8	6/7	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
9	6/14	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
10	6/21	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
11	6/28	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
12	7/5	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
13	7/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
14	7/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子
15	7/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	佐藤　舞, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式ですが、アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、簡単な実験や小課題へのフィードバックを行うときがあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:感覚と知覚

第 3 回:記憶

第 4—6 回:学習

第 7 回:知能

第 8—9 回:動機づけ

第 10—11 回:感情

第 12—13 回:ストレスと健康

第 14 回:思考

第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価　:　試験またはレポート　　70%　・　その他(授業中の小課題)　　30%　　知識の確実な習得を重視します。

再評価:　有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。
教科書 特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ			科目ID	LA-110600-L
担当教員	佐藤　舞[SATOU Mai]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月曜　1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1−7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
2	10/11	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
3	10/18	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
4	10/25	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
5	11/1	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
6	11/8	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
7	11/15	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
8	11/22	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
9	11/29	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
10	12/6	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
11	12/13	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
12	12/20	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
13	1/17	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
14	1/24	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子
15	1/31	09:10−10:40		佐藤　舞, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式ですが、アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、簡単な実験や小課題へのフィードバックを行うときがあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2—3 回:パーソナリティ

第 4—6 回:発達

第 7—9 回:臨床

第 10—14 回:社会

第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価　:　試験またはレポート　　70%　・　その他(授業中の小課題)　　30%　　知識の確実な習得を重視します。

再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書 特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000007				
科目名	宗教学Ⅰ			科目ID	LA-110700-Z
担当教員	宮田　義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。

概要：授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。

授業の到達目標

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	宮田　義矢, 木谷　真紀子
2	4/16	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
3	4/23	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
4	4/30	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
5	5/7	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
6	5/14	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
7	5/21	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
8	5/28	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
9	6/4	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
10	6/11	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
11	6/18	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
12	6/25	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
13	7/2	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
14	7/9	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子
15	7/16	10:50-12:20	7 番教室	宮田　義矢, 木谷　真紀子

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、アクティブラーニングの形式を取り入れ、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

1. ガイダンス：宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「宗教」とは何か：地域・文化から宗教を見る
3. ユダヤ教①：「唯一の神」とは何者か
4. ユダヤ教②：「唯一の神」と「選びの民」の歴史
5. キリスト教①：「唯一の神」とイエスの教え
6. キリスト教②：三位一体の「唯一の神」
7. キリスト教③：三大宗派の展開
8. イスラーム①：「唯一の神」対偶像

9. イスラーム②:「唯一の神」の世界化 10. イスラーム③:宗教を通じた異文化理解 11. 仏教①:「仏」の登場 12. 仏教②:「仏」の悟りとは何か 13. 仏教③:三大潮流の「仏」の位置づけ 14. 修行と戒律:比較による特徴の把握 15. 授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 50% 再評価: 有(再評価方法)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習:講義のまとまりごとに、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。 復習:各回の講義を、設定した問いにの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。また関連する文献も紹介しますので、意欲的に目を通すようにして下さい。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3 の出席が必要です。

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ			科目ID	LA-110800-Z
担当教員	宮田　義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－3)、1－4)、1－5

授業の目的、概要等

目的：諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。

概要：授業では日本や世界の宗教現象を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。

授業の到達目標

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		宮田　義矢, 木谷　真紀子

授業方法

パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、アクティブラーニングの形式を取り入れ、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

1. ガイダンス：宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について
2. 「無宗教」の日本人：「無宗教」意識の来源
3. 日本の宗教①：神道と仏教
4. 日本の宗教②：スピリチュアル
5. 日本の宗教③：宗教事件と報道
6. 宗教学的な視点①：「カルト」の分析的理解
7. 宗教学的な視点②：「神秘体験」の心理学
8. 宗教学的な視点③：シャーマニズムと近代
9. 宗教学的な視点④：ある精神科医の死生観

10. 宗教と現代①:聖典と現代アメリカ
11. 宗教と現代②:現代に息づく神話
12. 宗教と現代③:修行と現代中国
13. 宗教と現代④:社会制度化した修行
14. 聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義
15. 授業内試験:試験と授業のまとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 50%

再評価: 有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:講義のまとまりごとに、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。

復習:各回の講義を、設定した問いにの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。また関連する文献も紹介しますので、意欲的に目を通すようにして下さい。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパーの配分が大きいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3 の出席が必要です。

時間割番号	000009				
科目名	芸術Ⅰ			科目ID	LA-110900-Z
担当教員	木津　文哉, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記[KIZU FUMIYA, SAITO NORIHIKO, MIKAMI Ryou, OSHIMOTO Kazutoshi, TAKEUCHI Yuuki]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜2限
対象学科:医学科・歯学科
受講資格:大学に通学できる学生のみ、受講できる
募集人数:20 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6

主な講義場所

第 1～9 回:10 番教室
第 10～15 回:13 番教室

授業の目的、概要等

絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。

授業の到達目標

人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	武内　優記, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
2	4/16	10:50-12:20	9 番教室	押元　一敏, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
3	4/23	10:50-12:20	9 番教室	押元　一敏, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
4	4/30	10:50-12:20	9 番教室	三上　亮, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
5	5/7	10:50-12:20	9 番教室	三上　亮, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
6	5/14	10:50-12:20	9 番教室	木津　文哉, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
7	5/21	10:50-12:20	9 番教室	木津　文哉, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
8	5/28	10:50-12:20	9 番教室	齋藤　典彦, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
9	6/4	10:50-12:20	9 番教室	齋藤　典彦, 木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
10	6/11	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
11	6/18	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
12	6/25	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
13	7/2	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
14	7/9	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記
15	7/16	10:50-12:20		木谷　真紀子, 齋藤　典彦, 三上　亮, 押元　一敏, 武内　優記

授業方法

初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業うち、1-9 回は各専門分野の講師による講義。10-15 回はデッサン実習とする。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、彫刻論
第 2・3 回:デザイン論
第 4・5 回:工芸論
第 6・7 回:映像メディア論
第 8・9 回:絵画論

第 10～15 回:デッサン実習
成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(デッサン実習) 40% オムニバス形式の授業であり、授業への参加度を重視する。 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 各回、美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。
履修上の注意事項 レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要
備考 キーワード:芸術

時間割番号	000034				
科目名	芸術Ⅱ			科目ID	LA-111000-Z
担当教員	室田　尚子[MUROTA NAOKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1−6)、1−7)

授業の目的、概要等

目的:オペラとは何か、その歴史や発展の過程を通してオペラの魅力と芸術的価値を知る。

概要:現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかがその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。それほど、西洋芸術音楽の中でもオペラは特別な位置を占めるている。本講義では各時代ごとの代表的なオペラ作品を鑑賞してその特徴を知るとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの魅力や芸術的価値について考察する。

授業の到達目標

1)オペラの成り立ちや歴史を知ること。

2)オペラを構成している様々な要素、またオペラが扱うテーマについて、実際の作品を通して学ぶこと。

3)音楽鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		室田　尚子, 木谷　真紀子

授業方法

CD や DVD を鑑賞しながらの講義。アクティブラーニングの形式を取り入れ、作品の感想や考察を提出してもらう。

授業内容

1. 授業内容についてのガイダンス
2. バロック・オペラ～ヘンデル『ジュリアス・シーザー』
3. 声とドラマの一体化～モーツァルト『フィガロの結婚』
4. ベルカント・オペラ①～ドニゼッティ『愛の妙薬』
5. ベルカント・オペラ②～ベッリーニ『ノルマ』
6. イタリア・オペラの改革者～ヴェルディ『椿姫』
7. オペレッタの世界～ヨハン・シュトラウス『こうもり』
8. 19 世紀フランス・オペラの世界①～マスネ『マノン』
9. 19 世紀フランス・オペラの世界②～ビゼー『カルメン』
10. オペラとジャポニスム～プッチーニ『蝶々夫人』

11. ヴェリズモ・オペラ～レオンカヴァッロ『道化師』
12.　西洋音楽史の転換点～ワーグナー『トリスタンとイゾルデ』
13. オペラの革新～ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』
14. 20 世紀オペラ～ベルク『ルル』
15. 学期末試験

成績評価の方法

評価　：　筆記試験　70%　・　その他（授業への参加度・授業内で課したリアクションペーパーや小レポート）　30%
再評価：　有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直し、授業内容について自筆でノートにまとめておくことが望ましい。

教科書

特に指定しない

参考書

『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著（清流出版、2012 年）
『オペラワンダーランド（ぴあムック）』（2016 年）
『新国立劇場　名作オペラ 50 鑑賞入門』（世界文化社、2012 年）

履修上の注意事項

・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。　・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。　・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。　・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはしないので各自ノートをとること。　・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。　・出席日数が授業日数の 3 分の 2 に満たない場合は期末試験の受験を認めない。

備考

キーワード：音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、舞台

時間割番号	000012				
科目名	歴史学A Ⅰ			科目ID	LA-111100-Z
担当教員	相馬　保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する　3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

＜ドイツ・ヨーロッパ近代史＞　19 世紀初めまでヨーロッパの中部から東部にかけては，神聖ローマ帝国，ロシア帝国，オスマン帝国が支配していました。しかし，フランス革命とナポレオンの侵略を契機にして神聖ローマ帝国は崩壊し，ドイツ・中欧地域は再編の過程に入りました。この地域にはドイツ系，ハンガリー系，さらに多くのスラヴ系やユダヤ系，イスラム系の人たちが住んでおり，それだけにこの多民族的地域の近代化の歩みは，イギリスやフランスなどの西欧諸国の場合と異なる経過をたどります。

このような 19 世紀から 20 世紀初めのドイツ・中欧の歴史的歩みは，ある意味でヨーロッパ近代の歴史の縮図であるとともに，日本やアジアとの世界史的な比較の対象としても興味深いものです。ここでは，主にドイツ・中欧地域の歴史的な歩みを，ヨーロッパおよび世界と比較しながらたどり，この地域が抱え，現代に連なる諸問題について，ヴィジュアルな資料も用いながら歴史的に考察します。

授業の到達目標

1. ドイツ・中欧という具体的な事例をもとに，近代世界の形成過程を比較史的・構造史的に捉えられるようにします。
2. 近代社会の形成過程を理解することによって，現在も世界で続く近代化過程とその問題点を理解できるようにします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	相馬　保夫
2	4/19	10:50-12:20	5 番教室	相馬　保夫
3	4/26	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
4	5/10	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
5	5/17	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
6	5/24	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
7	5/31	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
8	6/7	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
9	6/14	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
10	6/21	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
11	6/28	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
12	7/5	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
13	7/12	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
14	7/19	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫
15	7/26	10:50-12:20	6 番教室	相馬　保夫

授業方法

講義，ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。

授業内容

1. ドイツの近代:「ドイツ」,「ドイツ人」とは ？
2. ドイツ・ヨーロッパ地域の近代化
3. フランス革命とナポレオンの衝撃
4. プロイセン改革とその後
5. 市民革命と産業革命 (1)
6. 市民革命と産業革命 (2)

7. 1848 年革命 (1):フランクフルト国民議会とドイツ統一問題
8. 1848 年革命 (2):ハプスブルク帝国と民族問題
9. オーストリア-ハンガリー二重王国の成立
10. ドイツ帝国の成立
11. 高度工業化の進展
12. 公衆衛生と都市計画
13. 帝国主義と植民地 (1)
14. 帝国主義と植民地 (2)
15. 「ヨーロッパの火薬庫」バルカン半島

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 70% ・ その他(出欠, コメントシートなどの授業への参加度) 30% 知識の確実な習得を重視する。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。

教科書

とくになし。授業当日にプリントを配布します。

参考書

若尾祐司・井上茂子『近代ドイツの歴史——18 世紀から現代まで』(ミネルヴァ書房, 2005)
木村靖二編『ドイツ史』(山川出版社, 2001)
南塚信吾編『ドナウ・ヨーロッパ史』(山川出版社, 1999)
この他, 参考書などは授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

備考

キーワード:ドイツ, プロイセン, ハプスブルク帝国, 市民革命, 産業革命, ナショナリズム

連絡先(メールアドレス)

y.soma.las@tmd.ac.jp

時間割番号	000013				
科目名	歴史学AⅡ			科目ID	LA-111200-Z
担当教員	相馬　保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する　3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

＜ドイツ・ヨーロッパ現代史＞　史上初の総力戦となった第一次世界大戦の結果, ヨーロッパの中部から東部にかけては, 四つの帝国(ドイツ帝国, オーストリア-ハンガリー帝国, ロシア帝国, オスマン帝国)が崩壊し, それらを継承する新たな中東欧国民国家の体制が成立しました。大戦後のヴェルサイユ体制では国際連盟を中心とした新たな国際秩序が平和と安定を約束するはずでしたが, 戦後の革命期, 1920 年代の束の間の安定期, 世界恐慌期を経て, この地域にはファシズム, ナチズム, 権威主義の体制が成立します。1930 年代後半, ナチスによる侵略とそれをきっかけとした第二次世界大戦によって, ヨーロッパは再び悲惨な戦争に突入することになりました。

第二次世界大戦後の国際体制は, 戦争に勝利した米・ソを中心とする社会主義国と資本主義国との冷戦・熱戦状態となり, ドイツは二つに分裂してヨーロッパ冷戦の最前線となりました。1989/90 年の東欧・ドイツの社会主義体制の崩壊, そして 1991 年のソ連崩壊によって, 世界は平和を取り戻したと思ったのも束の間, 各地で民族・宗教紛争が起こり, 世界はそれ以前にもまして紛争と対立が渦巻く昏迷状態に入ります。

このように 20 世紀のドイツ・中欧の歴史的歩みは, ヨーロッパ現代の歴史の縮図であるとともに, 日本やアジアとの世界史的な比較の対象としても興味深いものです。ここでは, 主にドイツ・中欧地域の歴史的な歩みを, ヨーロッパおよび世界と比較しながらたどり, この地域が抱え, 現代に連なる諸問題について, ヴィジュアルな資料も用いながら歴史的に考察します。

授業の到達目標

1. ドイツ・中欧という具体的な事例をもとに, 現代世界の形成過程を比較史的・構造的に捉えられるようにします。
2. 現代社会の形成過程を理解することによって, 現在も世界で続く国際問題を理解できるようにします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		相馬　保夫
2	10/11	10:50-12:20		相馬　保夫
3	10/18	10:50-12:20		相馬　保夫
4	10/25	10:50-12:20		相馬　保夫
5	11/1	10:50-12:20		相馬　保夫
6	11/8	10:50-12:20		相馬　保夫
7	11/15	10:50-12:20		相馬　保夫
8	11/22	10:50-12:20		相馬　保夫
9	11/29	10:50-12:20		相馬　保夫
10	12/6	10:50-12:20		相馬　保夫
11	12/13	10:50-12:20		相馬　保夫
12	12/20	10:50-12:20		相馬　保夫
13	1/17	10:50-12:20		相馬　保夫
14	1/24	10:50-12:20		相馬　保夫
15	1/31	10:50-12:20		相馬　保夫

授業方法

講義, ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。

授業内容

1. ドイツ・中欧の現代：世界戦争，ファシズム，戦後冷戦
2. サライェヴォ事件
3. 第一次世界大戦の諸原因
4. 総力戦体制の形成
5. ロシア革命と世界戦争の展開
6. 中欧諸国の敗戦と戦後秩序の再編
7. ヴェルサイユ条約とサン-ジェルマン条約
8. 戦後危機とヴァイマル共和国，ファシズム（1）
9. 戦後危機とヴァイマル共和国，ファシズム（2）
10. ヒトラーの権力掌握
11. 第三帝国の内政と外交
12. 第二次世界大戦とホロコースト
13. 戦後占領とドイツの分裂
14. 分断国家ドイツ
15. ベルリンの壁の崩壊と冷戦の終焉

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他（出欠，コメントシートなどの授業への参加度） 30% 知識の確実な習得を重視する。

再評価： 有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

本シラバスに「参考書」として挙げた文献，授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。

教科書

とくになし。授業当日にプリントを配布します。

参考書

若尾祐司・井上茂子『近代ドイツの歴史――18 世紀から現代まで』（ミネルヴァ書房，2005）

木村靖二編『ドイツ史』（山川出版社，2001）

南塚信吾編『ドナウ・ヨーロッパ史』（山川出版社，1999）

この他，参考書などは授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠については，出欠管理システムの記録と，教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

備考

キーワード：ドイツ，オーストリア，世界大戦，ロシア革命，ヴェルサイユ体制，社会主義，ファシズム，ナチズム，冷戦，社会主義体制の崩壊

連絡先（メールアドレス）

y.soma.las@tmd.ac.jp

時間割番号	000010				
科目名	歴史学BⅠ			科目ID	LA-111300-Z
担当教員	相馬　保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜 1 限

募集人数：　15　人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する　3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

＜病気と世界史＞　昨年来の新型コロナの世界的蔓延は，改めて私たちのよって立つ人間社会の現在を映し出しているように思われます。グローバル化の進展がこの世界的流行に拍車をかけたのは明らかですが，病気が人間社会に深刻な影響を及ぼしたのは，今回が初めてではありません。まず想起されるのは，100 年ほど前の「スペイン風邪」の猛威ですが，さかのぼれば 14 世紀ヨーロッパにおけるペストの流行，19 世紀の世界的なコレラの大流行など，病気によって人間社会が大混乱に陥った事例は事欠きません。人間の歴史的営みを明らかにすることが歴史学の第一の課題といえますが，いま問われていることは，病気と人間，あるいはもっと広く地球環境と人間との関係を歴史的に見直すことではないでしょうか。この授業では，病気と世界史に関わる書物を一緒に読みながら，病気に関わる過去の人間の営みを歴史的に理解し，現代の私たちの社会が病気にどう向き合うのかをあわせて議論することができればと考えています。

授業の到達目標

病気と世界史に関わる書物をどう読むのか，そこでの課題の立て方，論証の方法，そして結論はどのようなも　のなのかを具体的な書物を手がかりにして理解し，人間社会と病気との関わりについて学んでいきます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	相馬　保夫
2	4/16	09:10-10:40	4 番教室	相馬　保夫
3	4/23	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
4	4/30	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
5	5/7	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
6	5/14	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
7	5/21	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
8	5/28	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
9	6/4	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
10	6/11	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
11	6/18	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
12	6/25	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
13	7/2	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
14	7/9	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫
15	7/16	09:10-10:40	7 番教室	相馬　保夫

授業方法

授業はセミナー方式で進めます。テキストを章ごとに割り当てて，発表してもらいます。発表者以外の受講者は授業の前にテキストを読んで，疑問点やコメントを提出してもらいます。それを基に授業でテキスト内容についての理解を深めます。ディベイトなどアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。

授業内容

1. 病気と世界史という問いについて具体的なテキストを通して学びます。

2. この問いについての課題の立て方，論証の方法，そして結論までの道筋を理解します。
3. 以上を通して人間社会と病気との関わりについて学んでいきます。

成績評価の方法

評価 ： 試験 0 % ・ レポート 60% ・ その他（課題の発表とコメント，議論への参加度など ） 40% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視する。

再評価： 有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は，章ごとに割り当てられたテキストについて発表し，発表者以外の受講者は授業の前にテキストを読んで，疑問点やコメントを提出してもらいます。それを基に授業でテキスト内容について議論します。授業への能動的・積極的な参加が望まれます。

教科書

ウィリアム・H・マクニール『疫病と世界史』上・下，佐々木昭夫訳（中公文庫，2007）

このテキスト以外は授業中に指示します。

参考書

S. ヘンペル『ビジュアル パンデミック・マップ――伝染病の起源・拡大・根絶の歴史』関谷冬華 訳（日経ナショナル ジオグラフィック，2020）

この他，参考書などは授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠については，出欠管理システムの記録と，教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

連絡先（メールアドレス）

y.soma.las@tmd.ac.jp

時間割番号	000011				
科目名	歴史学BⅡ			科目ID	LA-111400-Z
担当教員	相馬　保夫[SOUMA Yasuo]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する

授業の目的、概要等

＜ヒトラーの「東方生存圏」構想とホロコースト＞第二次世界大戦中にナチ・ドイツは，現代史上で稀に見る非道な犯罪，数百万人とも言われるヨーロッパ・ユダヤ人の絶滅を引き起こしました。このいわゆるホロコースト（ユダヤ人大量虐殺）はなぜ起きたのでしょうか。ある者はヒトラーの反ユダヤ的世界観に，またある者はヒトラーの部下たちの権力争いというナチ体制の構造にその主たる原因を求めました。しかし，現在では，ホロコーストは，ヒトラーの戦争，とくに独ソ戦の停滞，ドイツ支配地域の占領体制，およびナチ・ドイツの「東方生存圏構想」の行き詰まりといった複合的な要因から起こったことが明らかにされています。　本授業では，ホロコーストをヒトラーの「東方生存圏」構想と関連づけて明らかにするとともに，それらが 19 世紀以来のドイツの人種論的な反ユダヤ主義と「東方への衝動」とも関連していることを歴史的に理解することを目標にします。ホロコーストの歴史を知ることはまた，現代世界におけるジェノサイドの歴史的理解にも通じています。

授業の到達目標

ナチ・ドイツによるホロコースト（ユダヤ人大量虐殺）をナショナリズムと反ユダヤ主義だけからではなく，ヒトラーの「東方生存圏」構想とも関連づけて理解することによって，現代世界における戦争とジェノサイドの歴史的な理解に資することにします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		相馬　保夫
2	10/8	09:10-10:40		相馬　保夫
3	10/15	09:10-10:40		相馬　保夫
4	10/22	09:10-10:40		相馬　保夫
5	10/29	09:10-10:40		相馬　保夫
6	11/5	09:10-10:40		相馬　保夫
7	11/12	09:10-10:40		相馬　保夫
8	11/19	09:10-10:40		相馬　保夫
9	11/26	09:10-10:40		相馬　保夫
10	12/3	09:10-10:40		相馬　保夫
11	12/10	09:10-10:40		相馬　保夫
12	12/17	09:10-10:40		相馬　保夫
13	1/7	09:10-10:40		相馬　保夫
14	1/14	09:10-10:40		相馬　保夫
15	1/21	09:10-10:40		相馬　保夫

授業方法

講義，ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。

授業内容

1. はじめに：世界戦争とジェノサイド，ホロコースト
2. 国民国家と人種主義・反ユダヤ主義 (1)

3. 国民国家と人種主義・反ユダヤ主義 (2)
4. 帝政期～ヴァイマル期のドイツ東方政策 (1)
5. 帝政期～ヴァイマル期のドイツ東方政策 (2)
6. ナチス以前のドイツの反ユダヤ主義
7. ヒトラーの人種主義・反ユダヤ主義と「東方生存圏」構想 (1)
8. ヒトラーの人種主義・反ユダヤ主義と「東方生存圏」構想 (1)
9. ナチ・ドイツのユダヤ人迫害政策 (1)
10. ナチ・ドイツのユダヤ人迫害政策 (2)
11. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (1)
12. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (2)
13. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (3)
14. ユダヤ人絶滅政策と東部占領地政策 (4)
15. アウシュヴィッツとホロコースト

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 70% ・ その他(出欠, コメントシートなどの授業への参加度) 30% 知識の確実な習得を重視する。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

本シラバスに「参考書」として挙げた文献, 授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。

教科書

とくになし。授業当日にプリントを配布します。

参考書

芝 健介『ホロコースト――ナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』(中公新書, 2008)
M.ベーレンバウム『ホロコースト全史』芝 健介監修(創元社, 1996)
R.S. ヴィストリヒ『ヒトラーとホロコースト』相馬保夫監修, 大山 晶訳(ランダムハウス講談社, 2006)
石田勇治・川喜多敦子 編『ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ』(現代ドイツへの視座――歴史学的アプローチ 2)(勉誠出版, 2020)
この他, 参考書などは授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠については, 出欠管理システムの記録と, 教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

備考

キーワード:ナチ・ドイツ, ユダヤ人, ホロコースト, 「東方生存圏」構想, 第二次世界大戦, 独ソ戦, アウ シュヴィッツ

連絡先(メールアドレス)

y.soma.las@tmd.ac.jp

時間割番号	000014				
科目名	科学史Ⅰ			科目ID	LA-111500-Z
担当教員	田中　丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):１－３　人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。

授業の到達目標

1. 科学史・技術史の基礎を理解する。
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。
3. 医療の概史を知ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	田中　丹史, 木谷　真紀子
2	4/16	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
3	4/23	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
4	4/30	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
5	5/7	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
6	5/14	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
7	5/21	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
8	5/28	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
9	6/4	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
10	6/11	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
11	6/18	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
12	6/25	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
13	7/2	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
14	7/9	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子
15	7/16	10:50-12:20	8 番教室	田中　丹史, 木谷　真紀子

授業方法

板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。

授業内容

第 1 回:ガイダンス(本講義の目的)
第 2 回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術
第 3 回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス
第 4 回:病院と医学史
第 5 回:中世の産業革命と 12 世紀ルネサンス
第 6 回:疾病史:ペストとコレラ
第 7 回:ルネサンスと科学・技術
第 8 回:科学革命
第 9 回:産業革命と科学・技術、19 世紀以降のエンジニア
第 10 回:科学の職業化と専門化
第 11 回:20 世紀以降の科学技術政策

第 12 回:医療政策の展開 第 13 回:日本の公害 第 14 回:日本の科学技術の歴史 第 15 回:日本の薬害
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ その他(授業への参加度)30% 授業で得た知識の理解度を確認する 再評価: 有(再評価方法レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
参考書 橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて:自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ			科目ID	LA-111600-Z
担当教員	田中　丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3　人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。

授業の到達目標

1. 現代の環境問題の基礎を理解する。
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。
3. 環境倫理の基礎を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		田中　丹史, 木谷　真紀子

授業方法

板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。

授業内容

第 1 回:ガイダンス(本講義の目的)
第 2 回:水俣病の歴史的考察
第 3 回:水俣病の歴史的考察(2)
第 4 回:水俣病とイタイイタイ病の比較検討
第 5 回:地球温暖化論とコミュニケーション
第 6 回:地球温暖化論と科学諮問・国際関係
第 7 回:環境リスクマネジメントの概論
第 8 回:生物多様性の基礎
第 9 回:遺伝資源へのアクセスと利益配分
第 10 回:生物多様性と希少種の保全・保護
第 11 回:アメリカの自然の権利訴訟
第 12 回:日本の自然の権利訴訟
第 13 回:動物の権利論の概説

第 14 回:動物の権利論と生命操作 第 15 回:環境倫理概論
成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・その他(授業への参加度) 30% 授業で得た知識の理解度を確認する 再評価: 有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
参考書 授業中に指示します。
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	000016				
科目名	文学A Ⅰ			科目ID	LA-111700-Z
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

主な講義場所

国府台キャンパス。

授業の目的、概要等

この授業では、医療に関わる人物が登場する近代文学の精読を通し、「医学」がどのように文学に著されているかを考え、その意見を自らの言葉で表現することを目的とする。授業で扱う作品には、実在の人物が登場する。作家が何故、その人物を描き、テーマを扱ったか、さらに作品内時間、発表時期を考察の対象とし、当時の社会背景から、医学と社会、医学と時代との関わりも分析したい。

授業の到達目標

①文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。
②作品に関する意見交換やレポートを通し、「医学」について考え、自分の言葉で表現する。
③東京医科歯科大学の一年生として、医学や歯学の社会での役割について検討し、医療従事者としての未来をデザインする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	木谷　真紀子
2	4/19	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
3	4/26	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
4	5/10	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
5	5/17	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
6	5/24	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
7	5/31	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
8	6/7	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
9	6/14	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
10	6/21	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
11	6/28	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
12	7/5	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
13	7/12	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
14	7/19	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子
15	7/26	09:10-10:40	8 番教室	木谷　真紀子

授業方法

授業開始前に作品を精読し、課題として提出する。授業は、アクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。

授業内容

1)ガイダンス。医療を扱った様々な文学や、本授業で読む作品の紹介
2)魯迅「藤野先生」①登場人物
3)魯迅「藤野先生」②魯迅の自伝との関係性
4)魯迅「藤野先生」③医学と文学
5)太宰治について
6)太宰治「惜別」①作品の背景と時代
7)太宰治「惜別」②太宰治と〈戦争〉
8)太宰治「惜別」③作品内時間の医学と文学
9)太宰治「惜別」④「医学」を学ぶ主人公と同級生たち
10)太宰治「惜別」⑤医学と文学、医学者と文学者
11)さだまさし「風に立つライオン」①作品の構成と登場人物

12)さだまさし「風に立つライオン」②医師の「役割」と医師への「願望」
13)さだまさし「風に立つライオン」③メディアミックス作品としての「風に立つライオン」
14)さだまさし「風に立つライオン」④曲と小説の時代
15)総括　文学と医学、その時代

成績評価の方法

評価　：　レポート　50%　・　その他（毎授業でのリアクションペーパー　15%、提出物　30%、講義内の発表など　5%）合計 50%
再評価：　有（再レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

授業内で扱う作品は、必ず読破し、テキストを用意したうえで講義に臨むこと。それらの作品に関する意見や作品解釈を書く課題も、作品ごとに提出を課す。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。
20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

惜別／太宰治：新潮社, 2004
風に立つライオン／さだまさし：幻冬舎
：新潮社

参考書

阿Q正伝・狂人日記：他十二篇　吶喊／魯迅 作,竹内好 訳,魯迅,竹内／好,：岩波書店
上記『阿Q正伝・狂人日記：他十二篇』には、本講義で直接扱う作品は収められていないが、作品理解のために読むことが望ましい。

履修上の注意事項

作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出するもと

備考

出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。

連絡先（メールアドレス）

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	000017				
科目名	文学AⅡ			科目ID	LA-111800-Z
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

主な講義場所

国府台キャンパス。

授業の目的、概要等

この授業では、「病と差別」をテーマに、ハンセン病患者が登場する作品を扱う。「病」、またその「病」に関する「差別」がどのように文学に著されているかを考察することを目的とする。病がどのような差別と偏見の中であり続けたかを考え、現況を分析することも考えたい。また授業で扱う作品は、いずれも映画化されているので、文学作品とアダプテーション作品という観点も持つ。

授業の到達目標

①ハンセン病の差別の歴史を知る

②文学作品を通して、病、またその病に関する差別を理解する。

③文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。

④作品に関する意見交換やレポートを通し、「病と差別」について考え、自分の言葉で表現する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		木谷　真紀子
2	10/11	09:10-10:40		木谷　真紀子
3	10/18	09:10-10:40		木谷　真紀子
4	10/25	09:10-10:40		木谷　真紀子
5	11/1	09:10-10:40		木谷　真紀子
6	11/8	09:10-10:40		木谷　真紀子
7	11/15	09:10-10:40		木谷　真紀子
8	11/22	09:10-10:40		木谷　真紀子
9	11/29	09:10-10:40		木谷　真紀子
10	12/6	09:10-10:40		木谷　真紀子
11	12/13	09:10-10:40		木谷　真紀子
12	12/20	09:10-10:40		木谷　真紀子
13	1/17	09:10-10:40		木谷　真紀子
14	1/24	09:10-10:40		木谷　真紀子
15	1/31	09:10-10:40		木谷　真紀子

授業方法

授業開始前に作品を精読し、課題として提出する。授業にはアクティブラーニングの形式を取り入れるので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。

授業内容

1)ガイダンス

2)ハンセン病に関する法律、政策について

3)ハンセン病の療養所について

4)ハンセン病の現在

5)「砂の器」①主人公の造型

6)映画「砂の器」鑑賞

7)「砂の器」②作品におけるハンセン病

8)北条民雄について

9)北条民雄「いのちの初夜」

10)作家と「病」
11)ドリアン助川「あん」①
12)ドリアン助川「あん」②
13)「あん」映画鑑賞
14)病と差別について
15)総括

成績評価の方法

評価 ： レポート 50% ・ その他（毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%）合計 50%
再評価： 有（再レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

作品は必ず授業に入る前に読破し、コメントシートを提出する。
課題は期日を守って提出する。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。
20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

あん／ドリアン助川：ポプラ社, 2013
砂の器／松本清張：新潮社
砂の器／松本清張：新潮社
北條民雄小説随筆書簡集／北條民雄：講談社, 2015

参考書

授業内で指示。

履修上の注意事項

毎回の講義、リアクションペーパー、課題などへの取り組みを総合的に評価する。

備考

社会状況によって可能になれば学外見学を行う。
出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。

連絡先（メールアドレス）

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	000018				
科目名	文学BⅠ			科目ID	LA-111900-Z
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

主な講義場所

国府台キャンパスで対面で行う。

授業の目的、概要等

三島由紀夫の『近代能楽集』は、日本の戦後を代表する戯曲とされている。本講義では『近代能楽集』を通して、作品がもとにした謡曲はもちろんさらに遡って日本文学史を縦断して学ぶことを目的とする。具体的には『近代能楽集』の中から、「道成寺」ともう一作ほどの精読を予定している。

授業の到達目標

1）日本の戦後を代表する戯曲を味わう

2）様々な先行文学から生まれる謡曲の魅力を味わう

3）日本の伝統芸能に関心を持つ

4）作品に対する意見や感想を自らの言葉で表現する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	木谷　真紀子
2	4/16	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
3	4/23	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
4	4/30	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
5	5/7	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
6	5/14	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
7	5/21	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
8	5/28	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
9	6/4	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
10	6/11	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
11	6/18	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
12	6/25	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
13	7/2	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
14	7/9	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子
15	7/16	09:10-10:40	9 番教室	木谷　真紀子

授業方法

授業開始前に作品を精読し、コメントシートを提出する。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れるので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。

授業内容

1)ガイダンス

2)三島由紀夫について①

3)三島由紀夫について②

4)『近代能楽集』について

5)「安珍・清姫」伝説について

6)「道成寺縁起」について

7）謡曲「道成寺」について①

8)謡曲「道成寺」について②
9)歌舞伎「道成寺」物について①
10)歌舞伎「道成寺」物について②
11)三島由紀夫「道成寺」について①
12)三島由紀夫「道成寺」について②
13)三島由紀夫「道成寺」について③
14)『近代能楽集」の意義とは
15)総括

成績評価の方法

期末レポート　50%　・　その他(毎授業でのリアクションペーパー　15%、提出物　30%、講義内の発表など　5%)合計 50%
再評価:　有(再レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。
20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

近代能楽集／三島由紀夫:新潮社

参考書

:新潮社
授業内で指示。

他科目との関連

文学ＢⅡでは三島由紀夫の小説を扱う。

履修上の注意事項

出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。

参照ホームページ

毎回のリアクションペーパーや課題を、遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。

連絡先(メールアドレス)

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	000019				
科目名	文学BⅡ			科目ID	LA-112000-Z
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

主な講義場所

国府台キャンパスで対面で行う。

授業の目的、概要等

三島由紀夫の『金閣寺』は、日本の戦後文学を代表する傑作とされている。本講義ではその傑作としての『金閣寺』の魅力を味わい、作品の理解を通して、日本の戦争中、戦後の歩みを考察する。

授業の到達目標

1）日本文学を代表する傑作を味わう

2）作品化された実際の事件を知る

3）アダプテーション作品の鑑賞を通して、文学と映画の違いについて考察する

4）作品に対する意見や感想を自らの言葉で表現する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		木谷　真紀子
2	10/8	09:10-10:40		木谷　真紀子
3	10/15	09:10-10:40		木谷　真紀子
4	10/22	09:10-10:40		木谷　真紀子
5	10/29	09:10-10:40		木谷　真紀子
6	11/5	09:10-10:40		木谷　真紀子
7	11/12	09:10-10:40		木谷　真紀子
8	11/19	09:10-10:40		木谷　真紀子
9	11/26	09:10-10:40		木谷　真紀子
10	12/3	09:10-10:40		木谷　真紀子
11	12/10	09:10-10:40		木谷　真紀子
12	12/17	09:10-10:40		木谷　真紀子
13	1/7	09:10-10:40		木谷　真紀子
14	1/14	09:10-10:40		木谷　真紀子
15	1/21	09:10-10:40		木谷　真紀子

授業方法

授業開始前に作品を精読し、コメントシートを提出する。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。

授業内容

1)ガイダンス

2)三島由紀夫について①

3)三島由紀夫について②

4)金閣寺放火事件、報道について知る

5)主人公について

6)主人公と父親、母親との関係について

7)鶴川と柏木、また主人公との関係について

8)主人公と女性について

9)作品と戦争について

10)映画「炎上」鑑賞①

11)映画「炎上」鑑賞②

12)金閣寺の放火場面と描写について
13)「金閣寺」とは何のメタファーか
14)末尾について
15)総括

成績評価の方法

期末レポート　50%　・　その他（毎授業でのリアクションペーパー　15%、提出物　30%、講義内の発表など　5%）合計 50%
再評価:　　有（再レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出すること。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。
20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

金閣寺／三島由紀夫：新潮社, 2020

参考書

金閣炎上／水上勉
上記作品について、授業内で言及する可能性がある。絶版本なので、担当者が内容を示すこととする。

他科目との関連

文学ＢＩでも、三島由紀夫作品を扱う。

履修上の注意事項

授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。　出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。

備考

毎回のリアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。

連絡先（メールアドレス）

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ			科目ID	LA-112100-L
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限

対象学科:医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

1-9)市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。法によって自分の自由が制限されたり、反対に生命や自由が守られたりと様々です。新型コロナウィルスの感染拡大防止のための、移動の自粛要請や、飲食業への営業時間短縮要請はその最たる例だと言えます。また、SNS での時に過剰な言葉の応酬は、自由な世界の代償とも言えます。このように、憲法はあらゆる自由や権利が法的問題となる時に、元締めのように必ず関わってくる存在です。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権の具体的内容や海外との相違点などトピックを、多くの裁判例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」(国会等の統治機構や平和主義についての講義)も併せて履修すると理解が深まると思います。

授業の到達目標

①日本国憲法の基本原則を理解し、人権に関する基本知識を身に着ける。

②比較法的視点を織り込みながら、望ましい人権保障のあり方を考察し、自分の考えを説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	飛田　綾子, 木谷　真紀子
2	4/16	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
3	4/23	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
4	4/30	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
5	5/7	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
6	5/14	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
7	5/21	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
8	5/28	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
9	6/4	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
10	6/11	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
11	6/18	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
12	6/25	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
13	7/2	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
14	7/9	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
15	7/16	10:50-12:20	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングとして、授業内容を踏まえたケーススタディを少人数のディベート形式で適宜行う予定です。

授業内容

第 1 回 ガイダンス　授業の目的・進め方　参考文献等の紹介

第 2 回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務／人身の自由(適正手続の内容など)

第 3 回 国務請求権(刑事補償請求権、請願権)／移動の自由

第4回 国務請求権(国家賠償請求権)／参政権①(選挙権の原則)

第 5 回 参政権②（一票の較差）／経済的自由権①（職業選択の自由）
第 6 回 経済的自由②（財産権の保障）／社会権①（生存権）
第 7 回 社会権②（教育を受ける権利、労働権）
第 8 回 思想・良心の自由（日の丸・君が代強制問題など）／信教の自由①（学校教育と信教の自由）
第 9 回 信教の自由②(靖国神社公式参拝問題など)／表現の自由①（原則）
第 10 回 表現の自由②（報道の自由、名誉毀損・性表現の規制の是非など）／学問の自由（科学技術の発展と生命倫理の関係）
第 11 回 集会・結社の自由／包括的権利（プライバシーの権利、自己決定権など）
第 12 回 法の下の平等（再婚禁止期間・夫婦別姓問題など）
第 13 回 基本的人権のまとめ①（外国人の人権など）
第 14 回 基本的人権のまとめ②（公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など）
第 15 回 まとめ（個人の尊重とは何か）と理解度の確認

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他（知識確認小テスト・小レポート） 50 %
再評価： 有（再評価方法：レポート）
知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。一票の較差から、TV 番組の演出への批判など、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけて下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

安西文雄ほか『憲法学読本 第 3 版』有斐閣、2018 年。
野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲法判例集（第 11 版）』有斐閣、2016 年。
棟居快行ほか編『基本的人権の事件簿（第 6 版）』有斐閣、2019 年。
芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 7 版）』岩波書店、2019 年。
渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権（第 7 版）』有斐閣、2019 年。
長谷部恭男『憲法講話一 24 の入門講義』有斐閣、2020 年。

履修上の注意事項

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。） ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。 ⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

参照ホームページ

キーワード：立憲主義、民主主義、基本的人権、個人の尊重

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）			科目ID	LA-112200-L
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜 1 限
対象学科：医学部保健衛生学科看護学専攻
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。
1-9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

新型コロナウィルスの感染拡大防止のための自粛要請の是非から、日本の安全保障政策のあり方、芸能人のスキャンダルまで、ネットやテレビでは日々様々なニュースが伝えられています。こうした問題は皆さんと無関係ではありません。そして、憲法は全てに関わっています。よって憲法を学ぶことは、自分自身のためになるのです。一方、近年は特に、日本国憲法の改正の必要性が叫ばれています。憲法改正の問題を考えるには憲法の基本知識や議論の積み重ねを理解する必要があります。この授業では、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像を示していきます。適宜、各国憲法や日本の戦後史についても言及したいと思います。

授業の到達目標

①日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を身につける。
②表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、立法・行政・司法の権力分立の課題、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	飛田　綾子, 木谷　真紀子
2	4/16	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
3	4/23	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
4	4/30	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
5	5/7	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
6	5/14	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
7	5/21	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
8	5/28	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
9	6/4	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
10	6/11	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
11	6/18	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
12	6/25	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
13	7/2	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
14	7/9	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子
15	7/16	09:10-10:40	1 番教室	飛田　綾子, 木谷　真紀子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングとして、授業内容を踏まえた課題に関する少人数でのディベートを適宜行う予定です。

授業内容

第 1 回 ガイダンス　授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義／人身の自由（適正手続について）／国務請求権①（刑事補償請求権など）

第 2 回 国務請求権②（国家賠償請求権）／参政権（選挙の原則、一票の較差）
第 3 回 経済的自由（職業選択の自由、財産権）
第 4 回 社会権（生存権・教育を受ける権利、労働基本権／成年後見人制度について
第 5 回 思想・良心の自由（日の丸・君が代の強制問題など）／信教の自由①（学校教育と信教の自由、靖国神社公式参拝問題について）
第 6 回 表現の自由（大原則、報道の自由、名誉毀損的表現への規制の是非など）
第 7 回 学問の自由（科学技術と生命倫理の関係など）／包括的権利（プライバシーの権利、自己決定権など）
第 8 回 法の下の平等（夫婦別姓・再婚禁止期間の判例など）
第 9 回 基本的人権のまとめ（外国人の人権、憲法の適用範囲の問題など）
第 10 回 日本憲法史／天皇制
第 11 回 平和主義（憲法 9 条の解釈・平和安全法制の概要など）
第 12 回 統治機構 権力分立／国会（衆参両院の役割分担など）
第 13 回 内閣（内閣総理大臣の権限強化の是非など）
第 14 回 裁判所（裁判員制度・司法の独立など）／違憲審査制度
第 15 回 地方自治（道州制の是非など）／財政（公金支出の禁止など）

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他（知識確認小テスト・小レポート） 50 %
再評価： 有（再評価方法：レポート）
知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。ヘイトスピーチ規制から、国際貢献のありかたなど、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけて下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

神野潔編著『教養としての憲法入門』弘文堂、2016 年。
安西文雄ほか『憲法学読本 第 3 版』有斐閣、2018 年。
野中俊彦・江橋崇編著（渋谷秀樹補訂）『憲法判例集（第 11 版）』有斐閣、2016 年。
安念潤司・小山剛・青井美帆・宍戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法（第 2 版）』東京法令出版、2014 年。
芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 7 版）』岩波書店、2019 年。
長谷部恭男『憲法講話一 24 の入門講義』有斐閣、2020 年。

履修上の注意事項

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。） ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。 ⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

参照ホームページ

キーワード：立憲主義、民主主義、基本的人権、政治制度

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ			科目ID	LA-112300-L
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

1-9)市民としての倫理観を養う。

授業の目的、概要等

現在、日本の安全保障体制のあり方や裁判員制度の下での判決が高等裁判所で変更されることの是非など、憲法に関係する様々なニュースが日々伝えられています。そして、現憲法の改正の必要性が盛んに叫ばれています。こうしたニュースを深く理解し、改正の必要性を冷静に考察するためには、憲法に関する基礎知識が必要です。この授業では、国会、内閣、裁判所の持つ権限やお互いのチェック機能、平和主義に関する解釈や著名な裁判、地方自治において住民が持つ権利などを説明します。現実の政治との接点を持ちながら適宜、他国との比較も行いたいと思います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」(人権についての講義)と併せて履修するとより理解が深まると思います。

授業の到達目標

①日本国憲法の、国会や内閣など統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較法的視点を持ちながら身につける。

②憲法改正や平和主義などの論点について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持ち、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		飛田　綾子, 木谷　真紀子

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングとして、授業内容を踏まえた課題に関する少人数でのディベートを適宜行う予定です。

授業内容

第 1 回　ガイダンス　授業の目的・概要／参考文献の紹介

第 2 回　立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)

第 3 回　主権とは何か／国会①(国民の代表の意味、国会の地位など)

第 4 回　国会②(国会・議院の権限)

第 5 回　内閣(議院内閣制、内閣の組織と権能)

第 6 回　裁判所(司法権の範囲と限界、裁判所の権限、司法権の独立など)

第 7 回　権力分立（各国との相違）
第 8 回　平和主義①（9 条の解釈、著名な裁判、日本の安全保障の変遷など）
第 9 回　平和主義②（平和安全法制の概要、各国との比較など）
第 10 回　　日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較)
第 11 回　　天皇制（戦前と戦後の相違点など）
第 12 回　　地方自治（道州制の可否など）
第 13 回　　財政（政教分離との関連など）
第 14 回　違憲審査制度（米独仏との比較）／憲法の保障・憲法改正
第 15 回　全体のまとめ・理解度の確認

成績評価の方法

評価　：　試験　0　%　・　レポート　50　　%　・　その他（知識確認小テスト、小レポート）50%
再評価：　　有（再評価方法：レポート）
知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。日本だけでなく海外の政治・社会状況を知り、日本との相違点や共通点を考え、憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

長谷部恭男『憲法講話一　24 の入門講義』有斐閣、2020 年。
渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治（第 7 版）』有斐閣、2019 年。
笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度　第2版』有斐閣、2019 年。
佐藤幸治『世界史の中の日本国憲法』左右社、2015 年。
安念潤司・小山剛・青井未帆・山本龍彦編『憲法を学ぶための基礎知識　論点　日本国憲法（第 2 版）』東京法令出版、2014 年。
芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第 7 版）』岩波書店、2019 年。

履修上の注意事項

履修上の注意事項　①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。　②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。（小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。）　③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。　④遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。　⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

参照ホームページ

キーワード：立憲主義、平和主義、民主主義、政治制度、憲法改正

時間割番号	000022				
科目名	政治学Ⅰ			科目ID	LA-112400-Z
担当教員	面　一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2), 1-9), 3-5)

授業の目的、概要等

本授業では、政治学の基本的概念と政治制度に関して学習しながら、今日の政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり取り扱いたい。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進める予定である。

授業の到達目標

1 政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得する。

2 現代の政治理論を通じて現実政治の問題を把握する。

3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	面　一也, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	1 番教室	面　一也, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式。アクティヴ・ラーニングとして、授業中の確認作業と、授業後のリアクション・ペーパーの提出を課す。

授業内容

1 ガイダンス

2 古代の民主政治　プラトンを中心に(教科書 1 章 1 節)

3 近代の民主政治　ルソーを中心に(1 章 2 節)

4 自由主義と民主主義　権力分立、基本的人権(1 章 3 節)

5 民主政治に対する懐疑と再定義　ナショナリズム、ポピュリズム、全体主義(2 章)

6 福祉国家の構造と論争　社会民主主義と新自由主義(3 章)

7 議院内閣制と大統領制　行政の最高責任者の選出法とその影響(4 章)

8 選挙と投票行動　組織票、無党派、無関心(5 章)

9 議会と政党　国会無能論、多数者の専制(6 章)

10 官僚と利益集団　縦割り行政、官僚性の肥大化、族議員(7 章)

11 世論　マスメディアの機能、SNS の台頭(8 章)

12 地方自治　地方分権改革の問題(9 章)

13 主権国家と国際秩序 グローバル・イシューの噴出(10 章) 14 アイデンティティと差異① フェミニズム、多文化主義(11 章 1・2 節) 15 アイデンティティと差異② 熟議民主主義(11 章 3 節)
成績評価の方法 評価: 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(リアクション・ペーパー)30% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。予習には 90 分～120 分かかると想定される。 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、教科書や配布資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。復習は次回授業の土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。
教科書 川出良枝、谷口将紀編著『政治学』東京大学出版会、2012 年。
参考書 授業内で適宜指示する。
履修上の注意事項 教員自身が取る出欠を優先させる

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ			科目ID	LA-112500-Z
担当教員	面　一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-2), 1-9), 3-5)

授業の目的、概要等

本授業では、政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得しながら、今日の日本の政治的諸課題を全般的に考察する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり取り扱いたい。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進める予定である。

授業の到達目標

1 政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得する。

2 今日の日本の政治的諸課題を把握する。

3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		面　一也, 木谷　真紀子

授業方法

講義形式。アクティヴ・ラーニングとして、授業中の確認作業と、授業後のリアクション・ペーパーの提出を課す。

授業内容

1:ガイダンス

2:戦後の日本政治 ① (教科書 1 章 1・2)

3:戦後の日本政治 ② (1 章 3)

4:政治参加 (2 章)

5:団体政治・自発的結社 (3 章)

6:政党と政治家 (4 章)

7:議院内閣制と首相 (5 章)

8:国会 (6 章)

9:官僚・政官関係 (7 章)

10:メディア (8 章)

11:政策過程の全体像 (9 章)

12:地方自治 (10 章)

13:安心社会とケア ① (11 章 1・2) 14:安心社会とケア ② (11 章 3) 15:共生社会とシティズンシップ (12 章)
成績評価の方法 評価: 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(リアクション・ペーパー)30% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。予習には 90 分～120 分かかると想定される。 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、教科書や配布資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。復習は次回授業の土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。
教科書 上神貴佳、三浦まり編『日本政治の第一歩』有斐閣ストゥディア、2018 年。
参考書 授業内で適宜指示する。
参照ホームページ 教員自身が取る出欠を優先させる

時間割番号	000024				
科目名	経済学Ⅰ			科目ID	LA-112600-Z
担当教員	田原　慎二[TAHARA Shinnji]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-3)

授業の目的、概要等

経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。

経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。

この授業では、まず「トレードオフ」「機会費用」「インセンティブ」「比較優位」「限界原理」などの経済学の基本的な概念について学び、続いて経済学の主要な分野の一つである「ミクロ経済学」を取り上げる。ミクロ経済学は、経済における最小の単位(ミクロ)の主体である家計や企業がどのように行動し、その結果として市場における取引量や価格がどのように決定されるかについて分析する学問である。

これらの学習を通じて、経済における諸要素とその関係について基本的な知識を学習する。

授業の到達目標

経済学の基本的な考え方、概念、モデルについて理解し、これに基づいて現実の経済を解釈できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	8 番教室	田原　慎二, 木谷　真紀子

授業方法

基本的には講義形式で行うが、授業時間内に練習問題(用語や計算など基本的な知識を問う問題)や演習問題(事例・事案に対する自分の考えを自由記述するなど応用的な内容の問題)を解くことと、それに対するフィードバックを行うことで、アクティブ・ラーニングの要素を確保しつつ行う。

授業内容

第1回 イントロダクション：授業の概要

第2回 経済学の基礎：トレードオフ、機会費用、比較優位等

第3回 需要曲線と供給曲線、市場の均衡

第4回 価格統制・課税の効果

第5回 弾力性とその応用

第6回 余剰分析：消費者余剰、生産者余剰

第7回 外部性と政府の役割

第8回 生産の費用①:短期の費用 第9回 生産の費用②:長期の費用 第10回 企業の利潤最大化行動 第11回 独占市場 第12回 寡占市場 第13回 ゲーム理論 第14回 消費者の行動と効用最大化 第15回 授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 60%、授業の課題 40%。過度に難解な出題はできるだけ避け、知識の確実な習得を重視する。 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。
教科書 特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。
参考書 N. グレゴリー・マンキュー(2019)『マンキュー経済学Ⅰミクロ編 (第4版)』東洋経済新報社 西村和雄(2011)『ミクロ経済学(第 3 版)』岩波書店 神取道宏(2014)『ミクロ経済学の力』日本評論社 神取道宏(2018)『ミクロ経済学の技』日本評論社

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ			科目ID	LA-112700-Z
担当教員	田原　慎二[TAHARA Shinnji]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 1-3)

授業の目的、概要等

経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。

経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。

この授業では、経済学の主要な分野の一つである「マクロ経済学」を取り上げる。マクロ経済学は 1920 年代末の世界大恐慌をきっかけとして生まれたもので、経済全体を分析対象として失業や不景気などの問題の解決や、長期的な経済成長がどのようにすれば実現するか分析する分野である。

これらの学習を通じて、経済における諸要素とその関係について基本的な知識を学習する。

授業の到達目標

世の中で実際に起こっている経済現象について、経済学の考え方を用いて理解できるようになることを目標とする。具体的には、新聞・雑誌などの経済ニュースや日本経済新聞の内容を理解できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		田原　慎二, 木谷　真紀子

授業方法

基本的には講義形式で行うが、授業時間内に練習問題(用語や計算など基本的な知識を問う問題)や演習問題(事例・事案に対する自分の考えを自由記述するなど応用的な内容の問題)を解くことと、それに対するフィードバックを行うことで、アクティブ・ラーニングの要素を確保しつつ行う。

授業内容

第1回 イントロダクション:授業の概要

第2回 国内総生産(GDP)と三面等価

第3回 国民経済計算の基礎

第4回 家計のはたらきと消費・貯蓄

第5回 企業のはたらきと投資

第6回 政府のはたらきと政府消費・財政・社会保障

第7回 輸出・輸入と為替レート

第8回 金融市場のはたらき 第9回 貨幣の役割 第10回 物価とインフレーション・デフレーション 第11回 労働市場と失業 第12回 景気循環 第13回 経済成長 第14回 経済政策（金融政策、財政政策） 第15回 授業のまとめ
成績評価の方法 評価 ： 試験 60%、授業の課題 40%。過度に難解な出題はできるだけ避け、知識の確実な習得を重視する。 再評価： 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。
教科書 特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。
参考書 N. グレゴリー・マンキュー（2017）『マンキューマクロ経済学 Ⅰ 入門編 （第4版）』東洋経済新報社 N. グレゴリー・マンキュー（2018）『マンキューマクロ経済学Ⅱ 応用編 （第4版）』東洋経済新報社 福田慎一・照山博司（2016）『マクロ経済学・入門（第5版）』有斐閣アルマ 吉川洋（2009）『マクロ経済学（第三版）』岩波書店

時間割番号	000027				
科目名	社会学A Ⅰ			科目ID	LA-112800-Z
担当教員	大倉　韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

4-4) 情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

アンケートやインタビューによってさまざまな人の考えやわたしたち自身をとりまく環境について客観的なデータを得ることのできる社会調査(世論調査や意識調査など)は、急速に変化し続ける現代社会を理解するためにきわめて重要な存在である。またインターネットやスマートフォンの普及により、個人でも容易にそうした調査を企画・設計・実施できる環境が整いつつある。実際にインターネットでアンケートを受けたことのある人や、そうした調査データを使ったニュース記事を目にしたことのある人も多いだろう。

しかしそうした調査の中には、データの集め方・分析方法・結果の読み取り方などが適切でないせいで誤った結論を導いてしまっているものも少なくない。中には自らの主張に沿った分析結果を求めるあまり、意図的に誤ったデータ収集・データ分析をおこなう事例さえ散見される。そうした間違った分析に惑わされず、また自分自身が間違った調査をしてしまわないためには、社会調査に対する正しい知識を身につけることが極めて重要である。

この授業では、社会調査に関する基本的な事柄を学習する。具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを取り扱う。また質の高い社会調査を詳細に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析されているのかを理解する。

そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーをも習得することが本授業の目的である。

授業の到達目標

〇社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。

〇社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
2	4/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
3	4/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
4	5/10	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
5	5/17	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
6	5/24	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
7	5/31	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
8	6/7	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
9	6/14	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
10	6/21	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
11	6/28	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
12	7/5	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
13	7/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
14	7/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子
15	7/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	大倉　韻 木谷　真紀子

授業方法

第 1 回～第 11 回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。

第 12 回～第 15 回の授業では社会調査を用いた文献を講読し、アクティブラーニングの形式を取り入れ、ディベートをおこなうセミナー形式をとる。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:社会調査とは何か／社会調査の用途と歴史

第 3 回:調査内容の決定(調査テーマと調査事項の設定／調査票の作成)

第 4 回:調査対象の決定(標本調査の方法／サンプリング分布と統計的推測)

第 5 回:調査の実施と処理(実査と調査員／調査票の点検とデータ作成)

第 6 回:結果の集計と分析(基本統計量)／インタビュー調査の方法

第 7 回:結果の集計と分析(因果分析)／調査報告をまとめる

第 8 回:様々な社会調査／SPSS の基本操作／統計分析の基礎

第 9 回:クロス集計と独立性の検定／平均値の差の検定と分散分析

第 10 回:単回帰分析／相関と偏相関

第 11 回:重回帰分析とダミー変数／パス解析

第 12 回:文献講読 1

第 13 回:文献講読 2

第 14 回:文献講読 3

第 15 回:文献講読 4

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりおこない疑問点があればリアクションペーパーないし次回授業時に質問してください。また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをおすすめします。

文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。

教科書

なし(授業中に資料を配布する)

参考書

原純輔『社会調査 しくみと考えかた』左右社、2016 年。

村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSS による多変量解析』オーム社、2007 年。

それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出席管理には WebClass の出席システムを使用します。

時間割番号	000028				
科目名	社会学AⅡ			科目ID	LA-112900-Z
担当教員	大倉　韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

現代社会は急速に変化を続けており、数多くの新しい社会現象(ハロウィンコスプレ、YouTuber/VTuber、動画共有サービス、位置情報ゲームなど)と数多くの新しい社会問題(格差の拡大、やりがい搾取、ヘイトスピーチを含む人種差別・性差別など)を生み出し続けているが、そうした社会現象／社会問題を理解するうえで社会学は多くの手がかりを与えてくれる。社会学の知識は日々の生活を劇的に改善したり、労働の現場で直接役立ったりすることは多くないが、われわれが社会や人を理解する助けとなったり、自分自身の生きづらさを理解し改善したりする助けになることは多い。

しかしながら社会は常に変化し続けるものであるため、また社会を研究しようとする我々も社会の中に含まれているため、さらにまた社会のどの部分にどのように注目するかによって分析のしかたは様々に異なるため、社会学の研究方法は極めて多岐にわたっている。したがってこの授業では上記の社会現象／問題に直接取り組むのではなく(折に触れて言及するが)、まず社会学の基礎的な知識を身につけることを目指す。

具体的な授業内容としては、社会学の成り立ちを踏まえた上で代表的な社会理論を紹介する。またそれら社会理論を現代社会に当てはめて考えることで、われわれがふだん「当たり前」と考えているさまざまな社会秩序が成立している背景を明らかにする。加えて入門的な文献を講読することで、社会学の幅広い領域の一端に触れてもらい、「社会学的なものの考え方」を養うことを目標とする。

授業の到達目標

〇社会学の基本的な知識を習得し、社会学的なものの見方を身につけること。

〇社会学的なものの見方にもとづいて現代社会を読み解く能力を身につけること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
2	10/11	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
3	10/18	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
4	10/25	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
5	11/1	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
6	11/8	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
7	11/15	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
8	11/22	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
9	11/29	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
10	12/6	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
11	12/13	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
12	12/20	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
13	1/17	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
14	1/24	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子
15	1/31	09:10-10:40		大倉　韻 木谷　真紀子

授業方法

第 1 回～第 11 回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。

第 12 回～第 15 回の授業では社会理論を用いた文献を講読し、アクティブラーニングの形式を取り入れ、ディベートをおこなうセミナー形式をとる。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。

授業内容

第 1 回:ガイダンス
第 2 回:社会学史概括
第 3 回:自殺とアノミー／社会システムの機能分化
第 4 回:複雑性の縮減／合理的選択
第 5 回:物象化と疎外
第 6 回:宗教と社会／イデオロギーと相関主義
第 7 回:コミュニケーション的行為／権力と主体①
第 8 回:権力と主体②／相互作用と社会
第 9 回:規範の内面化／現象学
第 10 回:シンボリック相互行為論／意味学派の可能性①
第 11 回:意味学派の可能性②／ハビトゥスと文化資本
第 12 回:文献講読 1
第 13 回:文献講読 2
第 14 回:文献講読 3
第 15 回:文献講読 4

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。
評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりおこない疑問点があればリアクションペーパーないし次回授業時に質問してください。また自分の周囲のさまざまな現象について、授業で学んだ分析視角を当てはめて解釈する練習をすることをおすすめします。

文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。

教科書

なし(授業中に資料を配布する)

参考書

那須壽編『クロニクル社会学』有斐閣、1997 年。
玉野和志編『ブリッジブック社会学〔第 2 版〕』信山社、2016 年。
それ以外にも授業内で随時紹介する。

履修上の注意事項

出席管理には WebClass の出席システムを使用します。

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史Ⅰ			科目ID	LA-113000-Z
担当教員	成田　大起[NARITA Hiroki]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):　1-2)、 1-3)、 1-5)、 1-9)

授業の目的、概要等

この授業では、「社会」のあり方、あるべき姿を論じた哲学・思想を概観する。社会思想史とは、国家・市場・家族といった社会の構成要素がどのように歴史的に生じてきたか、そして個人と社会がどのようにかかわっている/かかわるべきであるかを論じる哲学分野である。社会思想史Ⅰでは、古代から近代にかけてのヨーロッパの社会思想を扱う。現代とは全く異なる古代～近代の社会について、哲学者たちがどのような根拠や歴史的背景から社会のあるべき姿を論じているのかを考え、それによって現代社会を批判的にとらえ直すのが目的である。

授業の到達目標

1. 思想家たちが社会を論じる上での背景や根拠を把握すること
2. 現代社会を批判的にとらえ直す能力を身につけること
3. 自分の力で課題文献を読み、理由や根拠に支えられた自分の考えを論述できるようになること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	成田　大起, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	2 番教室	成田　大起, 木谷　真紀子

授業方法

オンライン講義の形式で行う。授業終了後にリアクションペーパーを提出することを毎回の課題とし、そこに書かれた質問に応答する形でアクティヴ・ラーニングを導入する

授業内容

1.ガイダンス
2.古代ギリシャの社会と政治
3.プラトンの正義論
4.アリストテレスの倫理学と政治学
5.中世の社会と宗教
6.マキァヴェリにおける中世と近代
7.ホッブズの人間観と国家観
8.ロックにおける宗教と国家の関係

9.ヒュームの人間論 10.ルソーの近代批判 11.スミスと経済学の成立 12.カントの自由論 13.ヘーゲルの市民社会論 14.マルクスの資本主義批判 15.まとめ（古代、中世、近代の社会） ＊講義計画は、進行状況や参加者の問題関心に合わせて、変更することがある。
成績評価の方法 評価　:期末レポート　70%(文献をしっかり読み、自分で考えて論述しているかを重視する）・ 授業への参加度　30%（毎回提出するリアクションペーパーにて、参加度と疑問点を確認する） 再評価:　有（レポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 参考書またはレジュメを事前に読んで授業に臨むこと。毎回リアクションペーパーを書きながら復習を行うこと。講義中に紹介した文献を読むことが最も理解を向上させる復習である
教科書 教科書は指定しない。毎回資料を配布する
参考書 坂本達哉『社会思想の歴史――マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。 宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。 上記以外の参考書、思想家の著書は講義中に紹介する。

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ			科目ID	LA-113100-Z
担当教員	成田　大起[NARITA Hiroki]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜　2 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):　1-2)、 1-3)、 1-5)、 1-9)

授業の目的、概要等

この授業では、「社会」のあり方、あるべき姿を論じた哲学・思想を概観する。社会思想史とは、国家・市場・家族といった社会の構成要素がどのように歴史的に生じてきたか、そして個人と社会がどのようにかかわっている/かかわるべきであるかを論じる哲学分野である。社会思想史 Ⅱ では、近現代のヨーロッパを中心とした社会思想を扱う。現代社会の構成要素がどのようにして今ある姿となったのか、そこで生まれてきた問題を思想家たちがどのように解決しようとしたかを考え、現代社会のあり方を日常とは異なる視点からとらえ直すのが目的である。

授業の到達目標

1. 思想家たちが社会を論じる上での背景や根拠を把握すること
2. 現代社会を批判的にとらえ直す能力を身につけること
3. 自分の力で課題文献を読み、理由や根拠に支えられた自分の考えを論述できるようになること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		成田　大起, 木谷　真紀子

授業方法

オンライン講義の形式で行う。授業終了後にリアクションペーパーを提出することを毎回の課題とし、そこに書かれた質問に応答する形でアクティヴ・ラーニングを導入する

授業内容

1.ガイダンス
2.トクヴィルにおけるヨーロッパとアメリカ
3.ミルの功利主義と民主主義
4.ヴェーバーと「近代化」論
5.全体主義の社会思想
6.アーレントの公共性論
7.ハーバーマスの民主主義論
8.ロールズの正義論
9.現代正義論の論争軸

10.ナショナリズムと多文化主義の思想
11.グローバルな社会問題の思想
12.フェミニズムの思想
13.差別にかんする思想
14.日本における社会思想
15.まとめ（社会思想の現在と課題）
＊講義計画は、進行状況や参加者の問題関心に合わせて、変更することがある。

成績評価の方法

評価　:期末レポート　70%(文献をしっかり読み、自分で考えて論述しているかを重視する）・ 授業への参加度　30%（毎回提出するリアクションペーパーにて、参加度と疑問点を確認する）
再評価:　有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

参考書またはレジュメを事前に読んで授業に臨むこと。毎回リアクションペーパーを書きながら復習を行うこと。講義中に紹介した文献を読むことが最も理解を向上させる復習である

教科書

教科書は指定しない。毎回資料を配布する

参考書

坂本達哉『社会思想の歴史――マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014 年。
宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013 年。
上記以外の参考書、思想家の著書は講義中に紹介する。

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学Ⅰ			科目ID	LA-113200-Z
担当教員	三谷　純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月2　曜　限
募集人数:25人以下
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する
1-4)異なる空間の文化を理解する
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
1-7)人間の心への理解を深める
1-9)市民としての倫理観を養う
3-4)外国文化を理解する
3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知ります。生きる権利、参加する権利、育つ権利、守られる権利について、具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解 決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、MDG(ミレニアム開発目標)・SDG(持続可能な開発目標)と子どもの権利の関係につ いて説明できる。
目標2. 世界の子どもの権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげて説明できる。
目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。
目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	三谷　純子, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	9 番教室	三谷　純子, 木谷　真紀子

授業方法

講義、ビデオ視聴、資料解読、アクティブラーニングの形式を取り入れた、授業中のグループワークによる発表, ニュース・モニタリングと発表

授業内容

1. イントロダクション
2. ユニセフ成立と子どもの権利条約制定前の歴史的背景
3. 子どもの権利の特徴
4. メディア倫理規定・子どもの参加
5. 子どもの権利委員会の機能と日本への勧告
6. ユニセフ概要
7. 選択議定書 子どもの売買・買春・児童ポルノ
8. 武力紛争への子どもの関与
9. 選択議定書 個人通報制度＆MDG と SDG の制定背景・役割の分担
10. SDG からみた子どもの現状
11. 感染症
12. 女性器切除と早婚
13. オーラルヘルスと子ども
14. 教育へのアクセスと学習危機
15. まとめ

成績評価の方法

評価 ： レポート60% ・ ニュースモニタリング、グループワーク、発表、フィードバックシート を含む授業への参加度、40 %

再評価： 有（再評価方法 試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

グループワークに時間を使いたいので、授業前に資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つ子どもに関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。

教科書

授業中に、主にユニセフや国連、世界銀行等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。

参考書

www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Childrenl 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。

履修上の注意事項

出欠は、フィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動 員、メディアや各種団体との協働、資金調達、企業の社会的責任等について取り上げます。11～14については、履修者の希望を聞き、取り上げるイッシューを変更することがあります。

備考

子どもの権利、文化

時間割番号	000033				
科目名	文化人類学Ⅱ			科目ID	LA-113300-Z
担当教員	三谷　純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜　2限
募集人数:25人以下
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する
1-4)異なる空間の文化を理解する
1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
1-7)人間の心への理解を深める
1-9)市民としての倫理観を養う
3-4)外国文化を理解する
3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグローバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。

授業の到達目標

目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。
目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。
目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		三谷　純子, 木谷　真紀子

授業方法

講義、ビデオ視聴、資料解読、アクティブラーニングの形式を取り入れた、授業中のグループワークによる発表, ニュース・モニタリングと発表

授業内容

1. イントロダクション
2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化
3. 世界の出生登録の現状と国際社会の取り組み＆日本の無戸籍
4. 無国籍と複数国籍に関する国際条約と国際社会の態度の変化&取りくみ
5. 日本の無国籍＆国籍を希求する人々と無国籍のままを望む人々
6. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大、
7. 3つの恒久的解決と Mixed Migration
8. 難民のグローバルコンパクトと世界の現状
9. 日本の難民認定制度/収容の現状と課題
10. Migrants の定義と移民の概念、統計
11. 移民理論と移住労働者の権利と移住のグローバルコンパクト
12. 移民と治安・移民の子ども
13. 日本の外国人労働者
14. 当事者の視点
15. まとめ

成績評価の方法

評価 ： テスト60% ・ ニュースモニタリング、グループワーク、発表、フィードバックシート を含む授業への参加度、40 %

再評価: 有（再評価方法 試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つ難民、移民、無国籍に関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。

教科書

授業中に、主に UNHCR IOM や国連等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。

参考書

難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。2016 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017 遠藤正敬「戸籍と無戸籍」人文書院 2017 他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等 のHP。 世界の無国籍は www.institutesi.org、 日本の難民、移民等は www.refugee.or.jp や全難連 http://www.jlnr.jp/等。読みやすい本は授業中に紹介します。

履修上の注意事項

出欠は、フィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください

備考

無国籍、難民、移民、人権、文化

時間割番号	000044				
科目名	Japanese Culture and Society Ⅰ			科目ID	
担当教員	BERCEA ADRIAN[BERCEA ADRIAN]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月曜 1 限

受講資格:受講者に望まれる英語能力 CEFR B1 以上(TOEIC500／TOEFLiBT50／英検二級)。スコアは目安です。最初の授業で相談に応じるので、申し出てください。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-6 日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける

授業の目的、概要等

Japanese Culture and Society Ⅰ is a course that introduces students to various aspects of contemporary Japan through keywords. Hot topics such as low birth rate、freeters, hikikomori or immigration will be examined in an easy to understand manner in order for the students to acquire both knowledge and the necessary linguistic ability to express their own opinion on social and cultural issues in Japan. Materials from mediums such as social media, television or film will be provided to generate more discussion on specific topics.

Japanese Culture and Societyでは、外国から見た日本の文化・社会の様々な側面を紹介します。春学期のJapanese Culture and Society Ⅰ ではキーワードや主要表現を使った方法で、現在の日本について英語で自分の意見を述べる能力を身につけます。秋学期のJapanese Culture and Society Ⅱでは歴史的な背景や人類学的な側面などを視野に入れながら、より理論的にディスカッションを深めていきます。

＊本授業は基本的に英語で行い、学生に英語の発言による積極的な参加が認められます。分かりにくい点や質問には、補助的に日本語による説明を加えます。受講者に望まれる英語能力を確認ください。初回授業時の相談も可能です。

授業の到達目標

1. 日本文化社会に対する新しい洞察を獲得する。
2. 批判的思考力や分析能力を育成する。
3. 日本文化社会に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
2	4/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
3	4/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
4	5/10	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
5	5/17	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
6	5/24	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
7	5/31	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
8	6/7	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
9	6/14	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
10	6/21	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
11	6/28	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
12	7/5	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
13	7/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
14	7/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
15	7/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子

授業方法

アクティブラーニングの形式を取り入れ、リーディング、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める

授業内容

第 1 回 ガイダンス Orientation

第 2 回 Freeters and NEETs
第 3 回 Low Birth Rate
第 4 回 Working Poor. Net Café Refugee
第 5 回 Loser Dog
第 6 回 False Accusation
第 7 回 Hikikomori. Choosing a Presentation Topic.
第 8 回 Cults. Basic Presentation Instructions.
第 9 回 Baby Boomers Retire
第 10 回 Immigration
第 11 回 Telecommuting
第 12 回 Buying Organs
第 13 回 Surrogate Mothers. Final Presentation (1)
第 14 回 Baby Hatch. Final Presentation (2)
第 15 回 Eating Disorder. Final Presentation (3)

成績評価の方法

評価:授業参加度 35 % 課題・クイズ 35 % プレゼンテーション 30%
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

As a rule, each time students are expected to organize and review their notes, read the text of the next lesson in advance, check the new words and mark any difficult notions they find.

基本的には毎回ノートを整理し復習すること。テキストを事前に読んで、新しい言葉や解りにくかったところを把握しておくこと。

教科書

Paul Stapleton. Keywords for Japan Today『キーワードで読む現代日本』、センゲージ ラーニング、2018 年 4 月。

他科目との関連

＊ Japanese Culture and Society ⅠとⅡを両方とも受講できます。ただし、秋学期の授業では前期より少しレベルが高い英語力が求められるため、自信がない方には後期のみの履修は勧めません。 ＊ 英語に関しては英語教員 (Foss 先生) のアドバイスが受けられます。

履修上の注意事項

原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。

時間割番号	000045				
科目名	Japanese Culture and Society Ⅱ			科目ID	
担当教員	BERCEA ADRIAN[BERCEA ADRIAN]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：月曜１限

受講資格：受講者に望まれる英語能力 CEFR B1 以上（TOEIC600／TOEFLiBT60／英検準一級）。スコアは目安です。最初の授業で相談に応じるので、申し出てください。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3-6 日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける

授業の目的、概要等

Japanese Culture and Society Ⅱ explores concepts important in understanding Japanese society with its foundation and dynamics. A broad variety of topics such us identity and homogeneity, education system and working style will be investigated in order for the students to be able to access more theoretical sources and be able to discuss and debate them. Materials from mediums such as social media, television or film will be provided to generate more discussion on specific topics.

Japanese Culture and Societyでは、外国から見た日本の文化・社会の様々な側面を紹介します。春学期のJapanese Culture and Society Ⅰ ではキーワードや主要表現を使った方法で、現在の日本について英語で自分の意見を述べる能力を身につけます。秋学期のJapanese Culture and Society Ⅱでは歴史的な背景や人類学的な側面などを視野に入れながら、より理論的にディスカッションを深めていきます。

＊本授業は基本的に英語で行い、学生に英語の発言による積極的な参加が認められます。分かりにくい点や質問には、補助的に日本語による説明を加えます。受講者に望まれる英語能力を確認ください。初回授業時の相談も可能です。

授業の到達目標

1. 日本文化社会に対する新しい洞察を獲得する。
2. 批判的思考力や分析能力を育成する。
3. 日本文化社会に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
2	10/11	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
3	10/18	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
4	10/25	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
5	11/1	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
6	11/8	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
7	11/15	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
8	11/22	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
9	11/29	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
10	12/6	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
11	12/13	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
12	12/20	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
13	1/17	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
14	1/24	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子
15	1/31	09:10-10:40		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子

授業方法

アクティブラーニングの形式を取り入れ、リーディング、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める

授業内容

第１回 ガイダンス Orientation

第 2 回 Sources of Japanese Identity
第 3 回 The House and Family System
第 4 回 Socialisation and Classification
第 5 回 Community and Neighbourhood
第 6 回 The Education System
第 7 回 Status, Hierarchy and Ethnic Diversity
第 8 回 Religious Influences
第 9 回 Ritual and the Life Cycle
第 10 回 Careers and Continuity
第 11 回 Arts, Entertainment and Leisure
第 12 回 Government and the Craft of Politics
第 13 回 The Legal System and Social Control
第 14 回 Final Presentation (1)
第 15 回 Final Presentation (2)

成績評価の方法

評価：授業参加度 35％ 課題・クイズ 35％ プレゼンテーション 30%
再評価：有（レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

As a rule, each time students are expected to organize and review their notes, read the text of the next lesson in advance, check the new words and mark any difficult notions they find.

基本的には毎回ノートを整理し復習すること。テキストを事前に読んで、新しい言葉や解りにくかったところを把握しておくこと。

教科書

Joy Hendry. Understanding Japanese Society. RoutledgeCurzon, 2019 年 7 月。

参考書

Roger Davies, Osamu Ikeno. The Japanese mind: understanding contemporary culture.Tuttle Publishing, 2002 年 4 月。

他科目との関連

＊ Japanese Culture and Society ⅠとⅡを両方とも受講できます。ただし、秋学期の授業では前期より少しレベルが高い英語力が求められるため、自信がない方には後期のみの履修は勧めません。 ＊ 英語に関しては英語教員（Foss 先生）のアドバイスが受けられます。

履修上の注意事項

原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。

時間割番号	000857				
科目名	グローバル教養科目・Linguistics			科目 ID	LA-113801-Z
担当教員	今村　圭介[IMAMURA Keisuke]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

募集人数:　20 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

1−4）異なる空間の文化を理解する

1−5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

This course will explore the relation between language and society. Since language is used as a means of communication within a society, it carries social functions and is used to convey social meanings. In this course, we will learn sociolinguistic theories and discuss topics using examples from various languages, particularly the ones we know, English and Japanese. We will discuss questions such as: Why do men and women speak differently? What influences us to speak differently in everyday life? How do people use different languages in a multilingual community?

授業の到達目標

Course objectives:

1. To understand the interplay of language and society.
2. To acquire analytical perspective on everyday language.
3. To deepen our understanding of different languages and cultures.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	今村　圭介, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	6 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	5 番教室	今村　圭介, 木谷　真紀子

授業方法

Lectures

Readings

Discussion

授業内容

1. Introduction
2. Language variation within community
3. Language variation within community
4. Language variation within community
5. Linguistic variety and multilingual nation
6. Linguistic variety and multilingual nation
7. Linguistic variety and multilingual nation
8. Regional and social dialects
9. Regional and social dialects
10. Guest speaker
11. Ethnicity and social network
12. Ethnicity and social network
13. Language maintenance and shift
14. Language maintenance and shift
15. Review

成績評価の方法

Active Participation: 40%

Assignments: 30%

Final Essay: 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

参考書

Holmes, J . & Wilson, N (2017) An Introduction to Sociolinguistics (Learning about Language) 5th edition, Routledge

履修上の注意事項

This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530.　Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.

時間割番号	000877				
科目名	グローバル教養科目・Japanese linguistics			科目 ID	LA-113805-Z
担当教員	今村　圭介[IMAMURA Keisuke]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜 2 限

募集人数:　20 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−1）言語を通した人間の創造的営みを理解する

1−5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2−3）言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

Just like any other language, the Japanese language has its own unique characteristics. However, as native speakers there is a tendency not to notice the uniqueness. When posed with questions from Japanese learners, it is often challenging to explain certain concepts and rules. Analyzing the Japanese from a linguistic perspective gives native speakers a deeper understanding. This course aims to provide students with an objective perspective and knowledge of the Japanese language. A typical class includes introduction questions/discussion and lectures on the target topic. The class will be held in English and students will be encouraged to discuss in English. Therefore students are expected to have adequate competence in English.

授業の到達目標

Course objectives are:

1. To deepen understanding of the Japanese language with comparison to other languages.
2. To gain linguistic understanding of the Japanese language.
3. To develop analytical skill of all languages.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		今村　圭介, 木谷　真紀子

授業方法

Lectures

Readings

Discussion

授業内容

1. Orientation/ Introduction
2. Japanese and world languages
3. Japanese sounds
4. Accent/Intonation
5. Writing system
6. Lexicon (vocabulary)
7. Grammar 1
8. Grammar 2
9. Honorifics
10. Discussion
11. Dialects
12. Second language acquisition
13. Applied Linguistics
14. Review
15. Final Essay share

成績評価の方法

Active Participation: 40%

Assignments: 30%

Final Essay: 30%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and active participation are both essential for this course.

履修上の注意事項

This course is targeted for students who are taking the upper level English class, and not recommended for students whose TOEFL score is under 530.　Lectures are given in English and students are encouraged to discuss in English. If you are not confident in listening/speaking in English but willing to enroll in this course, please consult the lecturer in the first class.

時間割番号	000038				
科目名	グローバル教養科目・An Introduction to Moral Philosophy			科目 ID	LA-113809-Z
担当教員	髙江　可奈子[TAKAE Kanako]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-1, 1-5, 1-9, 3-1

授業の目的、概要等

In this course we will be reading "An Introduction to Moral Philosophy" by Jonathan Wolff. Through this book, students will be introduced to various types of philosophical/ethical arguments in metaethics and normative ethics. They will also learn how to engage in philosophical thinking. The course has three aims: 1) to understand basic philosophical/ethical arguments 2) to acquire 'active-reading' skills in philosophical readings, and 3) to engage in discussions in English.

授業の到達目標

Through this course, students will be able to

1) understand some fundamental philosophical issues and problems discussed in ethics.

2) acquire active-reading skills in english.

3) express their ideas/thoughts in english.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
2	4/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
3	4/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
4	5/10	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
5	5/17	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
6	5/24	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
7	5/31	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
8	6/7	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
9	6/14	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
10	6/21	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
11	6/28	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
12	7/5	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
13	7/12	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
14	7/19	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子
15	7/26	09:10-10:40	遠隔授業(非同期型)	髙江　可奈子, 木谷　真紀子

授業方法

The class consists of lectures and classroom discussion.

授業内容

1. Moral Philosophy and Moral Reasoning
2. Cultural Relativism
3. Skepticism and Subjectivism
4. Religion and Natural Law
6. The Social Contract
7. Utilitarianism: Bentham and Mill
8. Challenges for Utilitarianism
9. Deontology: Kant
10. Challenges for Kantian Ethics
11. Virtue Ethics: Aristotle
12. Challenges for Virtue Ethics

13. The Ethics of Gender and Race 14. Developing a Moral Outlook 15. Academic Writing
成績評価の方法 Class attendance and participation in discussion 30% ・ Essay 70% 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・Students are expected to read assigned materials in advance of class. ・Students are expected to make active engagements in classroom discussions.
教科書 An Introduction to Moral Philosophy (1st edition, 2018) by Jonathan Wolff
履修上の注意事項 ・This course is delivered in English.　・Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.　・Students are expected to write an academic essay in English.
備考 discussion, philosophy, ethics, 哲学、倫理学, ディスカッション, アクティブ・ラーニング, 英会話

時間割番号	000043				
科目名	グローバル教養科目・Better Never to Have Been			科目 ID	LA-113811-Z
担当教員	髙江　可奈子[TAKAE Kanako]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-1, 1-5, 1-9, 3-1

授業の目的、概要等

In this course, we will be reading Better Never to Have Been: The Harm of Coming Into Existence by David Benatar. Through this book, students will be introduced to philosophical arguments surrounding the idea of anti-natalism. They will also learn how to engage in philosophical thinking. The course has three aims: 1) to understand Benatar's argument on antinatalism 2) to acquire 'active-reading' skills in philosophical readings, and 3) to engage in discussions in English.

授業の到達目標

Through this course, students will be able to

1) understand the philosophical arguments of anti-natalism.

2) acquire active-reading skills in english.

3) express their ideas/thoughts in english.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
2	10/11	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
3	10/18	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
4	10/25	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
5	11/1	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
6	11/8	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
7	11/15	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
8	11/22	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
9	11/29	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
10	12/6	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
11	12/13	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
12	12/20	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
13	1/17	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
14	1/24	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子
15	1/31	09:10-10:40		髙江　可奈子, 木谷　真紀子

授業方法

The class consists of lectures and classroom discussion.

授業内容

1. Introduction

2-5. Why Coming into Existence is Always a Harm

6-8. How Bad is Coming into Existence?

9-10. Having Children: The Anti-Natal View

11. Summary of Anti-Natalism and its implications

12-15. Arguments against Anti-Natalism

成績評価の方法

Class attendance and participation in discussion 30% ・ Essay 70%

再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 ・Students are expected to read assigned materials in advance of class. ・Students are expected to make active engagements in classroom discussions.
教科書 Better Never to Have Been: The Harm of Coming into Existence by David Benatar (2006)
履修上の注意事項 ・This course is delivered in English.　・Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late.　・Students are expected to write an academic essay in English.
備考 anti-natalism, 反出生主義, 現代思想, discussion, philosophy, ethics, 哲学、倫理学, ディスカッション, アクティブ・ラーニング, 英会話

時間割番号	000047				
科目名	グローバル教養科目・The Insiders' and Outsiders' Views of Contemporary Japanese Society			科目ID	
担当教員	權 大聖[Daesung Kwon]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

金曜 2 限・10:50-12:20

授業の目的、概要等

This course is a survey course of Japan, examining various aspects of contemporary Japanese society including history, class, identity, culture, race, ethnicity, gender, politics, education, religion and civil society. In this course, students not only will learn about a variety of critical issues in contemporary Japanese society, and but also learn how to analyze the issues critically. Furthermore, underlying the comparative thinking and insider-outsider research skills, students will have an opportunity to link various domestic issues to regional and global contexts, and to overcome their localized, preoccupied, simplistic assumptions and judgements about Japanese society. In doing so, students will be able to understand contemporary Japanese society in a broader and global perspective.

授業の到達目標

1. To learn critical issues in contemporary Japanese society and deepen understanding of the ways of Japanese society and Japaneseness from a comparative/global perspective.
2. To develop analytical skills, and comparative and practical thinking skills.
3. To experience active and cooperative learning.
4. To improve oral communication, reading and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	權 大聖, 木谷 真紀子
2	4/16	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
3	4/23	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
4	4/30	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
5	5/7	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
6	5/14	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
7	5/21	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
8	5/28	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
9	6/4	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
10	6/11	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
11	6/18	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
12	6/25	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
13	7/2	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
14	7/9	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子
15	7/16	10:50-12:20	11 番教室	權 大聖, 木谷 真紀子

授業方法

1. Classes are conducted in a mixture of lectures and seminar formats
2. Students will make presentations based on their individual or group projects.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions

授業内容

1. Introduction/Orientation
2. How can we understand Japaneseness?: Insider-Outsider Views of Japan

3. Me（自分）vs. Others（他人）in Class, Generation, Geography (e.g Kansai vs. Kanto etc.)
4. Education, Gender and Family (International marriage/Intercultural families)
5. ‘Japanese-Style’ Management and Work: Discussion based on the film「Fear and Treambling」)
6. Presentations and Discussion (Ⅰ)
7. Race, Ethnicity, Minority: Discussion based on the film「Hafu / ハーフ」)
8. The State and Politics: Democracy or Democrazy?
9. Religion: Views on Life and Death in a Comparative Perspective (the West, Asia and Japan)
10. Presentations and Discussion (Ⅱ)
11. Soft Power and Cool Japan: Cool Japan vs. the Korean Wave (Hallyu) in the Global Cultural Economy
12. Environment, Activism and Civil Society
13. Presentations and Discussion (Ⅲ)
14. Toward an Inclusive society: Diversity, Immigration, National Identity in the Context of Aging Society
15. Summary/ Reflection

成績評価の方法

評価: 授業参加度 40%, レポート 30%, プレゼンテーション 30%
再評価：有（再評価方法: レポート）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a few pages in a chapter, or other reading materials (a short newspaper article etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. Four absences (one third of the total number of class sessions) will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text : Sugimoto, Yoshio. 2021. An Introduction to Japanese Society (5th Edition), Cambridge: Cambridge University Press (Amazon Kindle version is also available). ISBN-13 : 978-1108724746

参考書

The secondary sources for reading: García, Héctor. 2019. A Geek in Japan (Revised and Expanded Edition), Tokyo: Tuttle.; Hendry, Joy. 2019. Understanding Japanese Society (5th Edition), London and New York: Routledge.

他科目との関連

In the fall semester, there will be another lecture on contemporary Japanese society entitled “Rethinking Diversity, Immigration and National Identity in Japan”. The class should be interesting for students who wish to deepen more specifically their knowledge and understanding of issues related to ethno-diversity, multicultural/multiculturalism, foreign migrants, and immigration in contemporary Japanese society.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	000048				
科目名	グローバル教養科目・ Rethinking Diversity, Immigration and National Identity in Japan			科目ID	
担当教員	權 大聖[Daesung Kwon]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

金曜日 2 限・10:50-12:20

授業の目的、概要等

Is Japan a country of immigration or an ethnically homogenous society? Does Japan need large-scale immigration to solve various issues stemming from its drastic population decline and aging society? Given that foreign residents are continuously growing in the society, how can we define Japanese society and national identity today? With these central questions, this course explores various migration issues in contemporary Japanese society including ethnic minority, ethnic communities, immigrant integration, xenophobia and racial discrimination, refugees and asylum seekers, controversies over open immigration, multiculturalism, national identity and sense of belonging. Throughout this course, students will learn about various contested issues related to Japan's foreign population and their integration. In doing so, students will have an opportunity to rethink diversity, immigration and national identity in today's Japanese society.

授業の到達目標

1. To understand "migration" (移住) as one of the most contested global issues in today's world, including immigration, immigrants, refugees, multiculturalism etc.
2. To learn major migration issues in contemporary Japanese society and how to analyze them critically.
3. To experience active and cooperative learning.
4. To improve oral communication, reading, and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
2	10/8	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
3	10/15	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
4	10/22	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
5	10/29	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
6	11/5	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
7	11/12	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
8	11/19	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
9	11/26	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
10	12/3	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
11	12/10	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
12	12/17	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
13	1/7	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
14	1/14	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子
15	1/21	10:50-12:20		權 大聖, 木谷 真紀子

授業方法

1. Classes are conducted in a mixture of lectures and seminar formats
2. Students will make presentations based on their individual or group projects.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions

授業内容

1. Introduction/Orientation
2. Questioning the Belief of Ethnic Homogeneity: Is Japan a Non-Immigrant Country?
3. The Japan's Minority: Ainu, Okinawan, Burakumin and Zainichi Korean
4. Newcomer Migrants : Nikkeijin, Asian migrant workers, and Ryugakusei

5. Refugees and Asylum Seekers in Japan
6. Presentations and Discussion (I)
7. Ethnic Enclaves and Communities in Urban and Rural Areas
8. Xenophobia, Hate Speech and Media Representations of Foreigners
9. Immigration and Immigrant Incorporation (I): North America, Europe, Australia, and Korea
10. Presentations and Discussion (II)
11. Immigration and Immigrant Incorporation (II) The Case of Japan – Multicultural Coexistence/Tabunka Kyosei
12. Mixed Race, Hybridity, and National Identity: Discussion Based on Documentary Film,「ハーフ/Hafu」)
13. Presentations and Discussion (III)
14. Controversies over Open Immigration : Creating a New Japanese Identity?
15. Summary/ Reflection

成績評価の方法

評価: 授業参加度 40%, レポート 30%, プレゼンテーション 30%
再評価:有(再評価方法: レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a few pages in a chapter, or other reading materials (a short newspaper article etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. Four absences (one third of the total number of class sessions) will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: Sugimoto, Yoshio. 2021. An Introduction to Japanese Society (5th Edition), Cambridge: Cambridge University Press (Amazon Kindle ver. is also available). ISBN-13 : 978-1108724746

参考書

The secondary sources for reading: Chung, Erin Aeran. 2014. Immigration and Citizenship in Japan, Cambridge: Cambridge University Press. ; Liu-Farrer, Gracia. 2020. Immigrant Japan, Ithaca and London: Cornell University Press.

他科目との関連

Students who take the survey course of Japan -「The Insiders' and Outsiders' Views of Contemporary Japan」in the Spring semester are encouraged to take this course to deepen their knowledge and understanding of the issues related to ethnocultural diversity, immigration, and national identity both in Japan and other countries.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	000036				
科目名	人文社会科学特論(高齢者福祉論)			科目ID	LA-113902-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月曜 2 限
対象学科: 全学科
募集人数:30人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)

授業の目的、概要等

少子高齢社会の到来により、「高齢化」は今日の社会生活にとって不可避な課題となっている。「高齢化」への取り組みは、現在、そして今後も社会のあり方を左右する重要な社会的・国家的な課題となっている。少子高齢社会は、高齢者のみならず、すべての世代に関係するテーマである。本講義では、すべての世代が支え合う社会づくりを目指す視点から、若い世代が取り組むべき課題と対応について検討することを目的としている。

授業の到達目標

日本における少子高齢化の状況を学び、また、高齢者の実像を知るとともに高齢者福祉の制度・政策の意義と課題を理解することができるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	10:50-12:20	9 番教室	第 1 回 高齢者理解の視点①	高齢者の社会的理解 高齢者の身体的理解	BAO MIN
2	10/11	10:50-12:20	9 番教室	第 2 回 高齢者理解の視点②	高齢者の精神的理解 高齢者の総合的理解	BAO MIN
3	10/18	10:50-12:20	9 番教室	第 3 回 少子高齢社会と高齢者①	少子高齢社会と社会問題	BAO MIN
4	10/25	10:50-12:20	9 番教室	第 4 回 少子高齢社会と高齢者②	高齢者を取り巻く諸問題	BAO MIN
5	11/1	10:50-12:20	9 番教室	第 5 回 高齢者保健福祉の発展と法体系	高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系	BAO MIN
6	11/8	10:50-12:20	9 番教室	第6回 高齢者支援の関係法規①	老人福祉法	BAO MIN
7	11/15	10:50-12:20	9 番教室	第 7 回 高齢者支援の関係法規②	高齢者の医療の確保に関する法律	BAO MIN
8	11/22	10:50-12:20	9 番教室	第 8 回 高齢者支援の関係法規③	高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)	BAO MIN
9	11/29	10:50-12:20	9 番教室	第 9 回 介護保険法の概要①	介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政	BAO MIN
10	12/6	10:50-12:20	9 番教室	第 10 回 介護保険法の概要②	保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業	BAO MIN
11	12/13	10:50-12:20	9 番教室	第 11 回 介護保険法の概要③	介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向	BAO MIN
12	12/20	10:50-12:20	9 番教室	第 12 回 介護保険のサービス体系①	介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅サービス	BAO MIN
13	1/17	10:50-12:20	9 番教室	第 13 回 介護保険のサービス体系②	施設サービス	BAO MIN
14	1/24	10:50-	9 番	第 14 回 介護保険の	地域密着型サービス、介護予防サービス	BAO

		12:20	教室	サービス体系③		MIN
15	1/31	10:50- 12:20	9番 教室	第15回　まとめ	近未来の高齢者福祉課題	BAO MIN

授業方法

講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第1回　高齢者理解の視点①
高齢者の社会的理解
高齢者の身体的理解
第2回　高齢者理解の視点②
高齢者の精神的理解
高齢者の総合的理解
第3回　少子高齢社会と高齢者①
少子高齢社会と社会問題
第4回　少子高齢社会と高齢者②
高齢者を取り巻く諸問題
第5回　高齢者保健福祉の発展と法体系
高齢者保健福祉制度の発展
高齢者保健福祉の法体系
第6回　高齢者支援の関係法規①
老人福祉法
第7回　高齢者支援の関係法規②
高齢者の医療の確保に関する法律
第8回　高齢者支援の関係法規③
高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)
第9回　介護保険法の概要①
介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政
第10回　介護保険法の概要②
保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業
第11回　介護保険法の概要③
介護保険事業計画、苦情処理、審査請求　介護保険の最近の動向
第12回　介護保険のサービス体系①
介護保険サービスにおける専門職の役割と実際　居宅サービス
第13回　介護保険のサービス体系②
施設サービス
第14回　介護保険のサービス体系③
地域密着型サービス、介護予防サービス
第15回　まとめ
近未来の高齢者福祉課題

成績評価の方法

レポート:60%　・　その他(授業参加、授業中課題)40%
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全額共通科目履修規則　別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習は特に必要ありませんが、復習をしっかり行ってください。その際、授業中配布した資料と教科書の内容を確認し理解を深めてください。
試験の受験資格 ①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。
教科書 高齢者福祉／一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集,一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟,:中央法規出版, 2021-01-20
参考書 令和時代の社会保障と働き方を考える／厚生労働省編,厚生労働省,:日経印刷, 2020 福祉小六法 2021 年版／福祉小六法編集委員会 編集,福祉小六法編集委員会,:みらい, 2021-02-26 開講後に随時提示する。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000037				
科目名	人文社会科学特論(科学と社会)			科目 ID	LA-113903-Z
担当教員	水島　希[MIZUSHIMA Nozomi]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1−5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

1−10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

医療技術を含む科学技術が人々の生活にどのような形で影響を与えているか、あるいは逆に、科学技術がどのように社会から影響を受け形成されているかを学び、これからの科学技術ガバナンスに求められる要件を考察します。主に生命科学や生殖医療を取り上げます(人工妊娠中絶、新型出生前診断(NIPT)、ゲノム編集、DIY バイオ、バイオ3Dプリンターなど)。

授業の到達目標

科学技術と社会との相互作用のさまざまな在り方を理解し、科学技術を多面的に見ることができるようになること。また、生命倫理、RRI(Responsible Research and Innovation, 責任ある研究・イノベーション)、科学技術への市民参加(Public Participation in Science & Technology)など、科学技術をめぐる社会的課題に取り組むための鍵となる概念を知り、その理解を深めること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
2	10/11	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
3	10/18	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
4	10/25	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
5	11/1	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
6	11/8	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
7	11/15	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
8	11/22	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
9	11/29	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
10	12/6	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
11	12/13	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
12	12/20	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
13	1/17	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
14	1/24	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子
15	1/31	10:50-12:20		水島　希, 木谷　真紀子

授業方法

アクティブラーニングの形式を取り入れた講義と演習の混合形式です。講義パートではレジュメ等を配布し、適宜、映像を使います。演習パートでは, グループワークをベースに, ショートスピーチ, チームディベートなど, 受講人数に応じたスタイルをとります。また, 講義内容に関わる社会的課題をグループで調べ, 発表する機会を設けます。

授業内容

①イントロダクション

②③身近な科学技術を考える

④科学技術の編成のされ方と社会秩序

⑤〜⑦生殖技術と社会

⑧⑨新しい科学技術

⑩科学技術と社会的意思決定

⑪科学技術への市民参加 ⑫⑬演習 ⑭⑮プレゼンテーション
成績評価の方法 評価 ： 試験　　％ ・ レポート 40　　％ ・ その他（平常授業課題，授業への貢献度） 60％ 再評価：　有（レポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 グループワークのための情報収集など、授業中に指示を行う。
教科書 特になし
参考書 授業内で参考文献リストを配布する。
履修上の注意事項 毎回授業終了時にレスポンスシートを書いてもらい、成績評価の「平常授業課題」に含めます。
備考 キーワード：科学技術社会論、科学への市民参加、生命倫理、ジェンダーと科学

時間割番号	000046				
科目名	人文社会科学特論(グローバル社会とバイリンガリズム)			科目ID	
担当教員	宮崎　幸江[Miyazaki Sachie]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　月曜2限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する

1-4) 異なる空間の文化を理解する

1-9) 市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

講義では、グローバル化に伴う日本社会の変容について、移民という視点から考える。特に移民の子どもに焦点を当て、バイリンガルあるいはマルチリンガルとして育つ子どもの言語発達の特徴や教育上の課題を、日本の教育制度や社会のあり方との関係から学ぶ。授業では、知識だけでなく、日本国内のマイノリティの人々の事例や生の声を聞く機会を設ける。さらに、逆の視点から、海外在住の日本人の子どもの教育環境や母語保持の問題についても事例とともに学ぶ。そして、将来、研究者として、あるいは医療従事者として、多様な言語文化的背景を持つ人々と遭遇した際に、彼らの文化や生活環境、ニーズ、世代間の違いなどを総合的に理解し、問題解決にむけて貢献できるようになることを目的とする。

授業の到達目標

1. バイリンガルの言語発達やアイデンティティ、言語教育環境の課題について理解を深める。
2. 多文化を持つ人々のニーズを理解し、コミュニケーションが図れるようになる。
3. 医療従事者として、多文化共生社会の実現に向けた行動がとれるようになる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
2	4/19	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
3	4/26	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
4	5/10	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
5	5/17	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
6	5/24	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
7	5/31	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
8	6/7	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
9	6/14	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
10	6/21	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
11	6/28	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
12	7/5	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
13	7/12	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
14	7/19	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子
15	7/26	10:50-12:20	7 番教室	宮崎　幸江, 木谷　真紀子

授業方法

講義、アクティブラーニングの形式を取り入れた、ディスカッション、質疑応答、発表。

授業内容

1. ガイダンス
2. グローバル化と在日外国人
3. 日本で育つ外国につながる子ども
4. 多文化の子どもの教育環境
5. バイリンガルの言語発達
6. バイリンガルを育てる

7. ことばとアイデンティティ
8. 日系人の言語とメンタリティ
9. バイリンガルの育つ条件
10. 在外日系子女の教育
11. 海外で子育てをする際のファミリーランゲージポリシー(グループ発表)。
12. ろうの言語とアイデンティティ
13. やさしい日本語:ノンネイティブとのコミュニケーション
14. 日本人特権を考える
15. 多文化共生と医療(グループ発表)

成績評価の方法

評価 : レポート 40%、授業への参加度 (リアクションペーパー含む)30% 積極的な授業参加と、リアクションペーパーに授業のポイントが反映されているかを重視する。発表・課題 30% 課題については期限を守り課題の問いに答えられているかを重視する。
再評価: 有(試験もしくはレポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業の前に教科書の該当箇所を読んでおくことを推奨する。また、教科書の一部については事前に与えられた質問の答えやコメントを書いて提出すること(学期に数回)が求められる。

教科書

『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化のはざまで生きる』 宮崎幸江 上智大学出版 (2014)
『にほんでいきる―外国からきた子どもたち』毎日新聞取材班(編)明石書店 (2020)

参考書

『完全改訂版 バイリンガル教育の方法―12 歳までに親と教師ができること』中島和子 アルク(2016)

履修上の注意事項

原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。

備考

グローバル化、言語文化的多様性、バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ、多文化共生

時間割番号	000053				
科目名	物理学入門			科目 ID	LA-114100-Z
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

対象学科：医学科・歯学科・検査技術学専攻
受講資格：入試で化学・生物を選択した人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表4－1)

授業の目的、概要等

物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーに基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。

授業の到達目標

以下の項目について高校卒業程度の知識を獲得し理解する。

1. 位置、速度、加速度の概念を理解する
2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる
3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する
4. 電気と磁気の基本を理解する
5. 波動の基礎概念を理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/20	09:10-12:20	遠隔授業(非同期型)	力と運動1	檜枝　光憲	非同期授業
3-4	4/20	13:10-16:20	9 番教室	力と運動2	檜枝　光憲	
5-6	4/27	09:10-12:20	遠隔授業(非同期型)	力と運動3	檜枝　光憲	非同期授業
7-8	4/27	13:10-16:20	9 番教室	電気と磁気1	檜枝　光憲	
9-10	5/11	09:10-12:20	遠隔授業(非同期型)	電気と磁気2	檜枝　光憲	非同期授業
11	5/11	13:10-14:40	9 番教室	波動	檜枝　光憲	
12	5/11	14:50-16:20	9 番教室	試験	檜枝　光憲	

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

第1-2回　力と運動1、小テスト1(もしくはレポート)
第3-4回　力と運動2、小テスト2(もしくはレポート)
第5-6回　力と運動3、小テスト3(もしくはレポート)
第7-8回　電気と磁気、小テスト4(もしくはレポート)
第9-10回　電気と磁気2、小テスト5(もしくはレポート)
第11回　波動、小テスト6(もしくはレポート)
第12回　試験

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主にテストもしくはレポートで評価する。

評価　：　試験　50%、　その他　：　小テスト(もしくはレポート)　50%
再評価：　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。
試験の受験資格 原則 2/3 以上の出席が必要
教科書 これだけはおさえたい物理／金原粲 編著,曽江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009
参考書 もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012 もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
備考 2021 年度より授業担当者が変更になります。
連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000051				
科目名	生物学入門			科目ID	LA-113900-L
担当教員	時本　楠緒子, 塚田　岳大[TOKIMOTO Naoko, TSUKADA Takehiro]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

火曜日 1～4 時限(4/20・4/27・5/11)
対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻
受講資格:入学試験で生物学を選択しなかった者
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):4-1

授業の目的、概要等

・この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。
・生物の形態及び機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。

授業の到達目標

1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	4/20	09:10-16:20	1 番教室, 7 番教室	時本　楠緒子, 塚田　岳大
5-8	4/27	09:10-16:20	1 番教室, 7 番教室	時本　楠緒子, 塚田　岳大
9-12	5/11	09:10-16:20	1 番教室, 7 番教室	時本　楠緒子, 塚田　岳大

授業方法

・講義形式
・アクティブラーニングを取り入れる。具体的には、毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。翌週の最初にその内容についての小テストを行う。リアクションペーパーに疑問点を書かせる。これらをその後の講義で詳しく解説する。

授業内容

第 1 回　個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜
第 2 回　核と細胞内小器官
第 3 回　細胞骨格、細胞接着
第 4 回　生体の構成元素、タンパク質
第 5 回　核酸、糖質、脂質
第 6 回　酵素反応
第 7 回　筋収縮
第 8 回　糖質の代謝
第 9 回　脂質の代謝、タンパク質の代謝
第 10 回　染色体、メンデルの法則
第 11 回　細胞周期、体細胞分裂
第 12 回　DNA の複製、細胞の死

成績評価の方法

知識の習得を主な目的とするため、以下の方法で評価する。
評価　:　試験 85%　・　レポート　0%　・　その他(小テスト)　15%
再評価　:　有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 アクティブラーニング：有 ・毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で 　自己学習を行うこと。 ・翌週の最初にその内容についての小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。
教科書 第３版 はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫・磯川桂太郎：羊土社，2016 からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木，明徳,井上，貴央,：西村書店，1998
参考書 「Essential 細胞生物学 第３版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012
履修上の注意事項 期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000052				
科目名	化学入門			科目 ID	LA-114000-Z
担当教員	奈良　雅之, 勝又　敏行[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：火曜日 1～4 限（前期分割 A）
・対象学科：医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻
・受験資格：入学試験で化学を選択しなかった者
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表4−1）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

授業の目的、概要等

入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学（一般化学、化学実験など）すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。

授業の到達目標

高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。
高校の教科書および指定した教科書の章末問題を自力で8割解けるレベルが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/20	09:10-10:40	2 番教室	物質の構造	原子、分子の構造について演習をおこなう。	勝又　敏行
2	4/20	10:50-12:20	2 番教室			奈良　雅之
3-4	4/20	13:10-16:20	2 番教室	有機化合物	有機化合物の基本について演習を行う。	勝又　敏行
5-6	4/27	09:10-12:20	2 番教室	気体、液体の性質	気体、液体の性質について演習を行う。	勝又　敏行
7-8	4/27	13:10-16:20	2 番教室			奈良　雅之
9-12	5/11	09:10-16:20	2 番教室	有機化合物、高分子化合物	有機化合物、高分子化合物について演習を行う。	勝又　敏行

授業方法

講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる

授業内容

1. 物質の構造　物質の構成要素：元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論：原子量・分子量・式量、化学反応式
2. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動：物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
　気体：気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
　溶液：溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド
3. 物質の変化　化学反応と熱：熱化学方程式・結合エネルギー、
　酸と塩基の反応：水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、
　酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
4. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
5. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
6. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

成績評価の方法

評価：試験 100%・レポート 0%
再評価：有（再評価方法：再試験）

化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席
教科書 系統看護学講座／奈良, 雅之,：医学書院, 2018
参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,：医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著,：東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [ほか]著,：共立出版, 1997 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,：共立出版, 2005
他科目との関連 一般化学を理解するためのバックグランドとなる。
連絡先（メールアドレス） 勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 勝又　敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000269			
科目名	数学ＩＭ		科目ID	LA-114201-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：医学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

授業の目的、概要等

諸科学の数学的方法の基礎であるり，数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。

授業の到達目標

1. 集合と写像，ベクトル空間と線形写像について説明できる
2. 基本的な線形演算・行列計算ができる
3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる
4. 多変数の極値問題について説明できる
5. 基本的な重積分の計算ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業（同期型）	ガイダンス，数の体系と代数方程式	中口　悦史
2	4/19	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	数列と級数，極限，漸化式	中口　悦史
3	4/26	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	初等的関数（指数・対数関数）	中口　悦史
4	5/10	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	数ベクトル空間と写像	中口　悦史
5	5/17	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	空間ベクトル，回転・投影，空間の曲線	中口　悦史
6	5/24	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	行列の表記と演算	中口　悦史
7	5/31	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	正則行列，行列の階数と行基本変形	中口　悦史
8	6/7	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	連立一次方程式の交代定理と解構造	中口　悦史
9	6/14	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	正方行列の固有値と固有ベクトル	中口　悦史
10	6/21	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	実関数の微積分	中口　悦史
11	6/28	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	多変数関数と曲面の勾配	中口　悦史
12	7/5	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	多変数の極値問題	中口　悦史
13	7/12	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	重積分，積分可能性，累次積分	中口　悦史
14	7/19	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	重積分の変数変換	中口　悦史
15	7/26	13:10-14:40	1 番教室, 2 番教室	総合演習	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

第1章　基本的事項（数の体系，数列と級数，初等的関数，数ベクトル空間，曲線）
第2章　線形代数（行列の演算，正則行列，行列の階数と行基本変形，連立一次方程式の交代定理と解構造，正方行列の固有値と固有ベクトル）
第3章　多変数関数の微積分（多変数関数と曲面の勾配，多変数の極値問題，重積分）

成績評価の方法

評価　：　試験　80%　・　レポート　0%　・　その他（ノート提出）　20%
再評価：　有（筆記試験）

試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。
教科書 数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋,椎名，洋(1961-),姫野，哲人,保科，架風,清水，昌平,講談社サイエンティフィク,：講談社，2019-08 数学入門／上村豊，坪井堅二 著,上村，豊,1953-,坪井，堅二,1954-,：東京化学同人，2002 教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008 微分積分学／難波誠著,難波，誠,：裳華房，1996
履修上の注意事項 出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。
連絡先（メールアドレス） nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：水 18:00―19:00，後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000270			
科目名	数学ＩＤ		科目ID	LA-114202-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

授業の目的、概要等

諸科学の数学的方法の基礎であるり，数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。

授業の到達目標

1. 集合と写像，ベクトル空間と線形写像について説明できる
2. 基本的な線形演算・行列計算ができる
3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる
4. 多変数の極値問題について説明できる
5. 基本的な重積分の計算ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/14	16:30-18:00	7 番教室	ガイダンス，数の体系と代数方程式	中口　悦史
2	4/21	16:30-18:00	7 番教室	数列と級数，極限，漸化式	中口　悦史
3	4/28	16:30-18:00	7 番教室	初等的関数（指数・対数関数）	中口　悦史
4	5/12	16:30-18:00	7 番教室	数ベクトル空間と写像	中口　悦史
5	5/19	16:30-18:00	7 番教室	空間ベクトル，回転・投影，空間の曲線	中口　悦史
6	5/26	16:30-18:00	7 番教室	行列の表記と演算	中口　悦史
7	6/2	16:30-18:00	7 番教室	正則行列，行列の階数と行基本変形	中口　悦史
8	6/9	16:30-18:00	7 番教室	連立一次方程式の交代定理と解構造	中口　悦史
9	6/16	16:30-18:00	7 番教室	正方行列の固有値と固有ベクトル	中口　悦史
10	6/23	16:30-18:00	7 番教室	実関数の微積分	中口　悦史
11	6/30	16:30-18:00	7 番教室	多変数関数と曲面の勾配	中口　悦史
12	7/7	16:30-18:00	7 番教室	多変数の極値問題	中口　悦史
13	7/14	16:30-18:00	7 番教室	重積分，積分可能性，累次積分	中口　悦史
14	7/21	16:30-18:00	7 番教室	重積分の変数変換	中口　悦史
15	7/28	16:30-18:00	7 番教室	総合演習	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

第1章　基本的事項（数の体系，数列と級数，初等的関数，数ベクトル空間，曲線）
第2章　線形代数（行列の演算，正則行列，行列の階数と行基本変形，連立一次方程式の交代定理と解構造，正方行列の固有値と固有ベクトル）
第3章　多変数関数の微積分（多変数関数と曲面の勾配，多変数の極値問題，重積分）

成績評価の方法

評価　：　試験　80%　・　レポート　0%　・　その他（ノート提出）　20%
再評価：　有（筆記試験）

試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。
教科書 数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋,椎名，洋(1961-),姫野，哲人,保科，架風,清水，昌平,講談社サイエンティフィク,：講談社，2019-08 数学入門／上村豊，坪井堅二 著,上村，豊,1953-,坪井，堅二,1954-,：東京化学同人，2002 教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008 微分積分学／難波誠著,難波，誠,：裳華房，1996
履修上の注意事項 出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。
連絡先（メールアドレス） nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：水 18:00―19:00，後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000271			
科目名	数学ＩＴ		科目ID	LA-114203-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

授業の目的、概要等

諸科学の数学的方法の基礎であるり，数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式，行列の固有値の基礎と計算法を通して，線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では，高校で学んだ1変数関数の微積分を基に，多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して，極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。

授業の到達目標

1. 集合と写像，ベクトル空間と線形写像について説明できる
2. 基本的な線形演算・行列計算ができる
3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる
4. 多変数の極値問題について説明できる
5. 基本的な重積分の計算ができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業（同期型）	ガイダンス，数の体系と代数方程式	中口　悦史
2	4/19	14:50-16:20	6 番教室	数列と級数，極限，漸化式	中口　悦史
3	4/26	14:50-16:20	6 番教室	初等的関数（指数・対数関数）	中口　悦史
4	5/10	14:50-16:20	6 番教室	数ベクトル空間と写像	中口　悦史
5	5/17	14:50-16:20	6 番教室	空間ベクトル，回転・投影，空間の曲線	中口　悦史
6	5/24	14:50-16:20	6 番教室	行列の表記と演算	中口　悦史
7	5/31	14:50-16:20	6 番教室	正則行列，行列の階数と行基本変形	中口　悦史
8	6/7	14:50-16:20	6 番教室	連立一次方程式の交代定理と解構造	中口　悦史
9	6/14	14:50-16:20	6 番教室	正方行列の固有値と固有ベクトル	中口　悦史
10	6/21	14:50-16:20	6 番教室	実関数の微積分	中口　悦史
11	6/28	14:50-16:20	6 番教室	多変数関数と曲面の勾配	中口　悦史
12	7/5	14:50-16:20	6 番教室	多変数の極値問題	中口　悦史
13	7/12	14:50-16:20	6 番教室	重積分，積分可能性，累次積分	中口　悦史
14	7/19	14:50-16:20	6 番教室	重積分の変数変換	中口　悦史
15	7/26	14:50-16:20	6 番教室	総合演習	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

第1章　基本的事項（数の体系，数列と級数，初等的関数，数ベクトル空間，曲線）
第2章　線形代数（行列の演算，正則行列，行列の階数と行基本変形，連立一次方程式の交代定理と解構造，正方行列の固有値と固有ベクトル）
第3章　多変数関数の微積分（多変数関数と曲面の勾配，多変数の極値問題，重積分）

成績評価の方法

評価　：　試験　80%　・　レポート　0%　・　その他（ノート提出）　20%
再評価：　有（筆記試験）

試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。
教科書 数学入門 Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二 著：東京化学同人，2004
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋,椎名，洋(1961-),姫野，哲人,保科，架風,清水，昌平,講談社サイエンティフィク,：講談社，2019-08 数学入門／上村豊，坪井堅二 著,上村，豊,1953-,坪井，堅二,1954-,：東京化学同人，2002 教養の線形代数／村上正康，佐藤恒雄，野澤宗平，稲葉尚志 共著：培風館，2008 微分積分学／難波誠著,難波，誠,：裳華房，1996
履修上の注意事項 出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。
連絡先（メールアドレス） nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：水 18:00―19:00，後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000257			
科目名	物理学ＩＭ		科目ID	LA-114301-Z
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜4限
対象学科：医学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。

授業の到達目標

物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。
様々な保存則が導出できることを理解する。
ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。
剛体の力学の基礎を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 1	物理のための数学基礎	檜枝　光憲
2	4/21	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 2	力と運動 1：運動と微積分	檜枝　光憲
3	4/28	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 3	力と運動 2：運動方程式	檜枝　光憲
4	5/12	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 4	力と運動 3： エネルギー保存則、束縛運動	檜枝　光憲
5	5/19	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 5	単振動と指数関数による解法、減衰振動	檜枝　光憲
6	5/26	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 6	強制振動	檜枝　光憲
7	6/2	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 7	非慣性系と座標変換	檜枝　光憲
8	6/9	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 8	仕事と線積分、保存力	檜枝　光憲
9	6/16	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 9	惑星の運動、角運動量保存	檜枝　光憲
10	6/23	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 10	剛体の力学 1	檜枝　光憲
11	6/30	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 11	剛体の力学 2	檜枝　光憲
12	7/7	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 12	剛体の力学 3	檜枝　光憲
13	7/14	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 13	剛体の力学 4	檜枝　光憲
14	7/21	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 14	流体の物理入門	檜枝　光憲
15	7/28	16:30-18:00	8 番教室, 9 番教室	授業 15	期末テスト	檜枝　光憲

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

1　物理のための数学基礎
2　力と運動 1：運動と微積分
3　力と運動 2：運動方程式
4　力と運動 3： エネルギー保存則、束縛運動
5　単振動と指数関数による解法、減衰振動
6　強制振動
7　非慣性系と座標変換
8　仕事と線積分、保存力
9　惑星の運動、角運動量保存

10 剛体の力学 1
11 剛体の力学 2
12 剛体の力学 3
13 剛体の力学 4
14 流体の物理入門
15 期末テスト

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 : 試験 50%
演習課題 50%
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業後にきちんと復習すること。

試験の受験資格

原則 2/3 以上の出席が必要

教科書

力学／川村清 著:裳華房, 1998

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先(メールアドレス)

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000258			
科目名	物理学ＩＤ･T		科目ID	LA-114302-Z
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:時間割を参照のこと
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表2－1)
　別表4－2)

主な講義場所

7番教室(予定)

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ｉ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ⅱ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(ⅲ)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,
- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は, 演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
2	4/21	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
3	4/28	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
4	5/12	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
5	5/19	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
6	5/26	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
7	6/2	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
8	6/9	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
9	6/16	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
10	6/23	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
11	6/30	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
12	7/7	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
13	7/14	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
14	7/21	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹
15	7/28	14:50-16:20	6 番教室, 7 番教室	越野　和樹

授業方法 講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による
授業内容 運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動
成績評価の方法 評価：期末考査および授業への参加度 再評価：上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う 授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い，その成績および授業への参加度で評価を行う.
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純，秋光正子，松川宏，越野和樹　共著,：培風館，2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.
連絡先（メールアドレス） ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　12:00―13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000288			
科目名	数学Ⅱ（α）		科目ID	LA-114401-Z
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

授業の目的、概要等

常微分方程式の基礎について学習し、その応用として様々な生命現象を数理モデル化し解析する手法を学ぶ。プログラム言語 python を使って数値計算法の実習も行う。

授業の到達目標

常微分方程式の解析手法を学び、これを用いて様々な生命現象を数理モデル化して解析する手法を理解し、実践できるよう習熟する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	16:30-18:00		中林　潤
2	10/6	16:30-18:00		中林　潤
3	10/13	16:30-18:00		中林　潤
4	10/20	16:30-18:00		中林　潤
5	10/27	16:30-18:00		中林　潤
6	11/10	16:30-18:00		中林　潤
7	11/17	16:30-18:00		中林　潤
8	11/24	16:30-18:00		中林　潤
9	12/1	16:30-18:00		中林　潤
10	12/8	16:30-18:00		中林　潤
11	12/15	16:30-18:00		中林　潤
12	12/22	16:30-18:00		中林　潤
13	1/5	16:30-18:00		中林　潤
14	1/12	16:30-18:00		中林　潤
15	1/19	16:30-18:00		中林　潤

授業方法

講義と演習により進める。

授業内容

・微分方程式の基礎理論。
・変数分離法による微分方程式の解法
・平衡点の安定性解析
・複数の変数を含む微分方程式
・遅延微分方程式
・化学反応速度論
・微分方程式の数値計算法
・数値計算実習
・偏微分方程式
・変分法

成績評価の方法

出席、授業中の態度、筆記試験、レポートなどを参考に総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前の予備知識は特に不要であるが、段階的に講義を進めるので、各講義の復習をしっかり行う。特に演習は自分の計算環境で行う

ことが望ましい。
参考書 やさしい微分方程式／梅沢敏夫,富樫栄共著,梅沢, 敏夫,富樫, 栄,:培風館, 1986 常微分方程式の解法／三井斌友, 小藤俊幸著,三井, 斌友,小藤, 俊幸,:共立出版, 2000 数値計算法／三井田惇郎, 須田宇宙共著,三井田, 惇郎,須田, 宇宙,:森北出版, 2000 常微分方程式／稲見武夫著,稲見, 武夫,:岩波書店, 1998 常微分方程式／E. クライツィグ著 ; 北原和夫訳,Kreyszig, Erwin,北原, 和夫,:培風館, 1987
他科目との関連 数理生物学入門と重複する部分がある
履修上の注意事項 欠席は評価上マイナスとなる。
連絡先（メールアドレス） nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9

時間割番号	000289			
科目名	数学Ⅱ（β）		科目ID	LA-114402-Z
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：後期水曜5限
対象学科・専攻：医学科、歯学科

授業の目的、概要等

グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」（中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念）であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。

グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。

さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。

数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。

授業の到達目標

4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	16:30-18:00		徳永　伸一
2	10/6	16:30-18:00		徳永　伸一
3	10/13	16:30-18:00		徳永　伸一
4	10/20	16:30-18:00		徳永　伸一
5	10/27	16:30-18:00		徳永　伸一
6	11/10	16:30-18:00		徳永　伸一
7	11/17	16:30-18:00		徳永　伸一
8	11/24	16:30-18:00		徳永　伸一
9	12/1	16:30-18:00		徳永　伸一
10	12/8	16:30-18:00		徳永　伸一
11	12/15	16:30-18:00		徳永　伸一
12	12/22	16:30-18:00		徳永　伸一
13	1/5	16:30-18:00		徳永　伸一
14	1/12	16:30-18:00		徳永　伸一
15	1/19	16:30-18:00		徳永　伸一

授業方法

講義と演習による。

授業内容

以下のトピック(予定)について順次解説し、関連する問題による演習を行います。

・グラフの基礎概念

・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理

・グラフのラベル付け問題

・グラフ上の最短経路問題、最小全域木問題、探索問題

・美術館問題

・グラウの彩色問題、4色定理とその一般化および周辺の問題

成績評価の方法

授業への参加姿勢、演習・レポート・ノート提出によって総合的に評価します。

また履修者が一定数を越えた場合、全員または評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。

準備学習等についての具体的な指示

事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかり行ってください。

参考書

グラフ理論(増補改訂版)／惠羅博, 土屋守正 著,:産業図書, 2010

グラフ理論／R.ディーステル 著,根上生也, 太田克弘 訳,:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000

幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著,:朝倉書店, 1992

離散構造／根上生也 著,:共立出版, 1993

他科目との関連

前期の「R・離散構造」と関連する問題を一部扱う予定です。

履修上の注意事項

授業時間内に行う演習を重視しているため、欠席は評価上の大きなマイナスになります。

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000290			
科目名	数学Ⅱ（γ）		科目ID	LA-114403-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：医学科・歯学科
募集人数：40名程度
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−2）

授業の目的、概要等

前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として，応用数学の重要な分野のひとつであり，数理・データサイエンスとも関連の深い，数理最適化を取り上げる。数理最適化は最適化問題，すなわち与えられた条件の下で最適な解を探索する問題を，数学的に定式化する方法，それによって定式化された問題，その問題を数学的に解く方法を扱う分野である。物理学のエネルギー最小化問題も最適化問題といえるが，工学，経済学・経営学，医学など幅広い分野で数理最適化は活躍している。

授業の到達目標

1. 代表的な数理最適化について説明できる。
2. 現実的な問題を数理最適化問題に定式化できる。

次のいずれかに到達した場合は，高い評価を与える：

A. 簡単な線形計画問題やネットワーク計画問題を解くことができる。
B. Python プログラミングにより，やや複雑な最適化問題を解くことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/29	16:30-18:00		数理最適化の概要	中口　悦史
2	10/6	16:30-18:00		無制約非線形最適化	中口　悦史
3	10/13	16:30-18:00		制約付き非線形最適化	中口　悦史
4	10/20	16:30-18:00		線形計画問題	中口　悦史
5	10/27	16:30-18:00		線形計画問題（続）	中口　悦史
6	11/10	16:30-18:00		整数計画問題	中口　悦史
7	11/17	16:30-18:00		整数計画問題（続）	中口　悦史
8	11/24	16:30-18:00		0-1 整数計画問題	中口　悦史
9	12/1	16:30-18:00		ネットワーク計画問題	中口　悦史
10	12/8	16:30-18:00		ネットワーク計画問題（続）	中口　悦史
11	12/15	16:30-18:00		PBL 班活動1	中口　悦史
12	12/22	16:30-18:00		PBL 班活動2	中口　悦史
13	1/5	16:30-18:00		PBL 班活動3	中口　悦史
14	1/12	16:30-18:00		PBL 班活動4	中口　悦史
15	1/19	16:30-18:00		PBL 発表会・まとめ	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。

第10回までは数理最適化の基礎について，スライドによる講義と演習を行う。各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

第11回からは PBL (Problem-Based Learning) 演習を行う。1班3～6名のグループに分かれ，グループごとに数理最適化に関するテーマを設定して調査研究を行い，最終回に発表会で共有する。さらに，一連の学習を元に，課題レポートを提出する。

授業内容

1. 数理最適化の概要
2. 非線形最適化
3. 線形計画問題

4. 整数計画問題・0-1 計画問題
5. ネットワーク計画問題
6. 数理最適化に関する PBL 演習

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 30% ・その他 70%（授業内演習 30%, PBL への取組等 40%）

再評価： 有（筆記試験）

授業内演習とノート提出, PBL の活動状況, 期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習での発言やノート提出, PBL 活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課し, 総合的な理解度を測る。

「試験の受験資格」を満たし, かつ PBL 発表会に参加し, 課題レポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので, できるだけ予習し, 関連する数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のノート提出。

教科書

最適化手法入門／寒野善博著 ; 駒木文保編,寒野, 善博,駒木, 文保.講談社サイエンティフィク,:講談社, 2019

参考書

数理計画入門／福島雅夫著,福島, 雅夫,:朝倉書店, 2011

Python による数理最適化入門／並木誠 著,久保幹雄 監修,並木, 誠,久保, 幹雄, 1963-,:朝倉書店, 2018

入門オペレーションズ・リサーチ／松井泰子, 根本俊男, 宇野毅明著,松井, 泰子,根本, 俊男,宇野, 毅明,:東海大学出版会, 2008

オペレーションズ・リサーチ／森雅夫, 松井知己著,森, 雅夫,松井, 知己,:朝倉書店, 2004

しっかり学ぶ数理最適化 ： モデルからアルゴリズムまで／梅谷俊治著,梅谷, 俊治,:講談社, 2020

応用に役立つ 50 の最適化問題／藤澤克樹, 梅谷俊治著,藤澤, 克樹,梅谷, 俊治,:朝倉書店, 2009

履修上の注意事項

出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノートあるいはコメントの提出による確認を併用する。 第11回以降の PBL 演習は日程を振り替えて, 冬季休業中や試験期間中の集中日程で行うことがある。日程については履修者と調整する。

連絡先（メールアドレス）

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:水 18:00―19:00, 後期:木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000260			
科目名	物理学ⅡM		科目ID	LA-114501-Z
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜4限
対象学科：医学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。

授業の到達目標

電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。
さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	9/29	16:30-18:00		イントロダクション ： ベクトル解析　発散と回転	檜枝　光憲
2	10/6	16:30-18:00		静電場１ ： 積分形のガウスの法則	檜枝　光憲
3	10/13	16:30-18:00		静電場２ ： 微分形のガウスの法則	檜枝　光憲
4	10/20	16:30-18:00		静電場３ ： 静電ポテンシャル(電位)	檜枝　光憲
5	10/27	16:30-18:00		電気双極子	檜枝　光憲
6	11/10	16:30-18:00		コンデンサーと静電場エネルギー	檜枝　光憲
7	11/17	16:30-18:00		静磁場１ ： 磁場に関するガウスの法則	檜枝　光憲
8	11/24	16:30-18:00		静磁場２ ： アンペールの法則、ビオ・サバールの法則	檜枝　光憲
9	12/1	16:30-18:00		時間的に変動する電場と磁場	檜枝　光憲
10	12/8	16:30-18:00		電磁波の波動方程式	檜枝　光憲
11	12/15	16:30-18:00		物質中の波動 ： 音波の波動方程式	檜枝　光憲
12	12/22	16:30-18:00		物質中の波動２ ： 音波の反射・透過	檜枝　光憲
13	1/5	16:30-18:00		物質中の波動３： 波形解析の物理	檜枝　光憲
14	1/12	16:30-18:00		期末テスト	檜枝　光憲
15	1/19	16:30-18:00		まとめ	檜枝　光憲

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

1. イントロダクション ： ベクトル解析　発散と回転
2. 静電場１ ： 積分形のガウスの法則
3. 静電場２ ： 微分形のガウスの法則
4. 静電場３ ： 静電ポテンシャル(電位)
5. 電気双極子
6. コンデンサーと静電場エネルギー
7. 静磁場１ ： 磁場に関するガウスの法則

8. 静磁場２ ： アンペールの法則、ビオ・サバールの法則
9. 時間的に変動する電場と磁場
10. 電磁波の波動方程式
11. 物質中の波動 ： 音波の波動方程式
12. 物質中の波動２ ： 音波の反射・透過
13. 物質中の波動３： 波形解析の物理
14. 期末テスト
15. まとめ

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 ： 試験 50%
演習課題 50%
再評価： 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業後はきちんと復習すること。

試験の受験資格

原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

電磁気学の考え方／砂川 重信／著,：岩波書店, 1993
物理学／小出昭一郎 著,：裳華房, 1997
振動と波／長岡洋介 著,：裳華房, 1992

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先（メールアドレス）

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000261			
科目名	物理学ⅡD・T		科目ID	LA-114502-Z
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：時間割を参照のこと
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）
　別表4－2）

授業の目的、概要等

電界の基本概念、時間的に変化しない（定常的な）電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体が作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

マックスウェル方程式（積分形）による電磁気学の体系を理解し，その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には，「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について，基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。
GPA における「B」（本試験合格レベル）の条件は，演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	16:30-18:00		越野　和樹
2	10/6	16:30-18:00		越野　和樹
3	10/13	16:30-18:00		越野　和樹
4	10/20	16:30-18:00		越野　和樹
5	10/27	16:30-18:00		越野　和樹
6	11/10	16:30-18:00		越野　和樹
7	11/17	16:30-18:00		越野　和樹
8	11/24	16:30-18:00		越野　和樹
9	12/1	16:30-18:00		越野　和樹
10	12/8	16:30-18:00		越野　和樹
11	12/15	16:30-18:00		越野　和樹
12	12/22	16:30-18:00		越野　和樹
13	1/5	16:30-18:00		越野　和樹
14	1/12	16:30-18:00		越野　和樹
15	1/19	16:30-18:00		越野　和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による

授業内容

静電気／コンデンサー／電流／磁界／電磁誘導／交流／電磁波

成績評価の方法

評価：期末考査および授業への参加度
再評価：期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う

授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い，その成績および授業への参加度で評価を行う.
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし（URLは別途指示）印刷しておくことを前提とする.
試験の受験資格 初回の講義において説明する
参考書 グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著,：サイエンス社，2011
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.
連絡先（メールアドレス） ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000054			
科目名	統計学(α)		科目ID	LA-114601-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科（クラス分けは別途指示する）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−3），4−4）

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と，その理解に必要な確率論の初歩を学び，統計学に対する理解を深める。高校までに学習した確率・統計から展開して，統計的仮説検定の基礎までを学ぶ。

授業の到達目標

・基本的な確率計算を行うことができる。
・仮説検定の問題に応じて適切な検定法を選択し，結果を正しく解釈することができる。
・次の場合は高い評価を与える。
　・連続型確率分布の平均や分散，量的データの標本の平均や不偏分散を正しく計算できる。
　・仮説検定において，仮説を適切に設定し，計算を実行し，確率分布表・検定表を用いて正しく判定できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	09:10−10:40		母集団と標本，データの尺度	中口　悦史
2	10/7	09:10−10:40		図表化と数値要約	中口　悦史
3	10/14	09:10−10:40		確率の概念と条件付き確率，確率変数と確率分布	中口　悦史
4	10/21	09:10−10:40		代表的なモデル確率分布	中口　悦史
5	10/28	09:10−10:40		正規分布の特徴	中口　悦史
6	11/4	09:10−10:40		中心極限定理と標本分布	中口　悦史
7	11/11	09:10−10:40		総合演習1（中間テスト）	中口　悦史
8	11/18	09:10−10:40		統計的推定	中口　悦史
9	11/25	09:10−10:40		仮説検定の考え方，帰無仮説と過誤，有意水準	中口　悦史
10	12/2	09:10−10:40		2値データの検定	中口　悦史
11	12/9	09:10−10:40		非順序多値データの検定	中口　悦史
12	12/16	09:10−10:40		1群のパラメトリック検定	中口　悦史
13	1/6	09:10−10:40		2群のパラメトリック検定	中口　悦史
14	1/13	09:10−10:40		ノンパラメトリック検定，その他の検定・統計手法	中口　悦史
15	1/20	09:10−10:40		総合演習2（期末テスト）	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

第1章　母集団と標本データ（全数調査と標本調査，データの尺度と数量化，図表化と数値要約）
第2章　確率と確率分布（確率の概念と条件付き確率，確率変数と確率分布，代表的なモデル確率分布，正規分布の特徴，中心極限定理と標本分布）
第3章　統計的推定（母数と推定量，点推定，区間推定）
第4章　統計的仮説検定（仮説検定の考え方，2値データの検定，非順序多値データの検定，パラメトリック検定，ノンパラメトリック検定，その他の検定・統計手法）

成績評価の方法

評価 ： 試験 75% ・ レポート 0% ・ その他(ノート提出) 25%
再評価: 有(筆記試験または CBT)
試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ，論証の精確さ等を総合的に評価するために，中間テストと期末テストの2回に分けて，いずれも対面の筆記試験または同期遠隔型の CBT によって行う。
「試験の受験資格」を満たし，かつ，2回のテストを受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示
各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。

試験の受験資格
授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。

教科書
やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著,県，俊彦,：南江堂，2019

参考書
統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学,：東京大学出版会，1991
確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著,馬場，裕，1953-,：牧野書店，2002
入門統計学 ： 検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著,栗原，伸一，1966-,：オーム社，2011
統計学演習／村上正康，安田正實共著,村上，正康,安田，正實,：培風館，1989
人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学教養学部統計学教室,：東京大学出版会，1994
自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学教養学部統計学教室,：東京大学出版会，1992
データサイエンスの基礎／濵田悦生著,濵田，悦生,狩野，裕(1958-),講談社サイエンティフィク,：講談社，2019-08
統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference／松井秀俊，小泉和之 著,竹村彰通 編,松井，秀俊,小泉，和之,竹村，彰通，1952-,：講談社，2019
数学/統計学／宇田川誠一，井川俊彦，谷口哲也著,宇田川，誠一,井川，俊彦,谷口，哲也,：医歯薬出版，2019
その他，医療統計・保健統計関係の参考書:
・市原清志『バイオサイエンスの統計学』南江堂，1990 年，ISBN 9784524220366
・奥田千恵子『親切な医療統計学』金芳堂，2019 年，ISBN 9784765317740
・遠藤和男『保健統計学テキスト ： 医療技術・健康科学・看護系のための』考古堂書店，2010 年，ISBN: 9784874997468
・古川俊之 監修,丹後俊郎 著『医学への統計学』朝倉書店，2013 年，ISBN 9784254128321

履修上の注意事項
出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。

連絡先(メールアドレス)
nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
前期：水 18:00―19:00，後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000055			
科目名	統計学(β)		科目ID	LA-114602-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科（クラス分けは別途指示する）
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−3），4−4）

授業の目的、概要等

科学の言語とも言われる統計学の基礎と，その理解に必要な確率論の初歩を学び，統計学に対する理解を深める。高校までに学習した確率・統計から展開して，統計的仮説検定の基礎までを学ぶ。

授業の到達目標

・基本的な確率計算を行うことができる。
・仮説検定の問題に応じて適切な検定法を選択し，結果を正しく解釈することができる。
・次の場合は高い評価を与える。
　・連続型確率分布の平均や分散，量的データの標本の平均や不偏分散を正しく計算できる。
　・仮説検定において，仮説を適切に設定し，計算を実行し，確率分布表・検定表を用いて正しく判定できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/30	10:50−12:20		母集団と標本，データの尺度	中口　悦史
2	10/7	10:50−12:20		図表化と数値要約	中口　悦史
3	10/14	10:50−12:20		確率の概念と条件付き確率，確率変数と確率分布	中口　悦史
4	10/21	10:50−12:20		代表的なモデル確率分布	中口　悦史
5	10/28	10:50−12:20		正規分布の特徴	中口　悦史
6	11/4	10:50−12:20		中心極限定理と標本分布	中口　悦史
7	11/11	10:50−12:20		総合演習1（中間テスト）	中口　悦史
8	11/18	10:50−12:20		統計的推定	中口　悦史
9	11/25	10:50−12:20		仮説検定の考え方，帰無仮説と過誤，有意水準	中口　悦史
10	12/2	10:50−12:20		2値データの検定	中口　悦史
11	12/9	10:50−12:20		非順序多値データの検定	中口　悦史
12	12/16	10:50−12:20		1群のパラメトリック検定	中口　悦史
13	1/6	10:50−12:20		2群のパラメトリック検定	中口　悦史
14	1/13	10:50−12:20		ノンパラメトリック検定，その他の検定・統計手法	中口　悦史
15	1/20	10:50−12:20		総合演習2（期末テスト）	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

第1章　母集団と標本データ（全数調査と標本調査，データの尺度と数量化，図表化と数値要約）
第2章　確率と確率分布（確率の概念と条件付き確率，確率変数と確率分布，代表的なモデル確率分布，正規分布の特徴，中心極限定理と標本分布）
第3章　統計的推定（母数と推定量，点推定，区間推定）
第4章　統計的仮説検定（仮説検定の考え方，2値データの検定，非順序多値データの検定，パラメトリック検定，ノンパラメトリック検定，その他の検定・統計手法）

成績評価の方法

評価　：　試験　75%　・　レポート　0%　・　その他（ノート提出）　25%

再評価: 有(筆記試験または CBT)

試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ，論証の精確さ等を総合的に評価するために，中間テストと期末テストの2回に分けて，いずれも対面の筆記試験または同期遠隔型の CBT によって行う。

「試験の受験資格」を満たし，かつ，2回のテストを受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。

教科書

やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著,県，俊彦,:南江堂，2019

参考書

統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学,:東京大学出版会，1991

確率と統計の基礎・基本／馬場裕 著,馬場，裕,1953-,:牧野書店，2002

入門統計学 : 検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著,栗原，伸一,1966-,:オーム社，2011

統計学演習／村上正康，安田正實共著,村上，正康,安田，正實,:培風館，1989

人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学教養学部統計学教室,:東京大学出版会，1994

自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,東京大学教養学部統計学教室,:東京大学出版会，1992

データサイエンスの基礎／濵田悦生著,濵田，悦生,狩野，裕(1958-),講談社サイエンティフィク,:講談社，2019-08

統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference／松井秀俊，小泉和之 著,竹村彰通 編,松井，秀俊,小泉，和之,竹村，彰通，1952-,:講談社，2019

数学/統計学／宇田川誠一，井川俊彦，谷口哲也著,宇田川，誠一,井川，俊彦,谷口，哲也,:医歯薬出版，2019

その他，医療統計・保健統計関係の参考書:

・市原清志『バイオサイエンスの統計学』南江堂，1990 年，ISBN 9784524220366

・奥田千恵子『親切な医療統計学』金芳堂，2019 年，ISBN 9784765317740

・遠藤和男『保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための』考古堂書店，2010 年，ISBN: 9784874997468

・古川俊之 監修,丹後俊郎 著『医学への統計学』朝倉書店，2013 年，ISBN 9784254128321

履修上の注意事項

出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。

連絡先(メールアドレス)

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:水 18:00―19:00，後期:木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000056			
科目名	化学(一般化学)M		科目ID	LA-114701-Z
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:水曜4限
・対象学科:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」「化学熱力学」「ハート　基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	ガイダンス:授業概要、成績、学力認定試験について	奈良　雅之
2	4/21	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	単位:SI と非 SI, 溶液の濃度	奈良　雅之
3	4/28	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	酸塩基平衡の取扱い方(1):基本連立方程式の立て方	奈良　雅之
4	5/12	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	酸塩基平衡の取扱い方(2)不均一平衡、錯平衡	奈良　雅之
5	5/19	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	酸塩基平衡の取扱い方(3)加水分解、緩衝作用、中和滴定	奈良　雅之
6	5/26	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学実験学	酸塩基平衡の取扱い方(4)まとめ	奈良　雅之
7	6/2	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第一法則(1)	奈良　雅之
8	6/9	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第一法則(2)	奈良　雅之
9	6/16	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第一法則(3)	奈良　雅之
10	6/23	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第二法則(1)	奈良　雅之
11	6/30	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第二法則(2)	奈良　雅之
12	7/7	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学第二法則(3)	奈良　雅之
13	7/14	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:ギブスエネルギー	奈良　雅之
14	7/21	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:熱力学的関係式	奈良　雅之
15	7/28	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学	熱力学の原理:化学ポテンシャル、まとめ	奈良　雅之
16	9/29	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	結合と構造異性	澤野　頼子
17	10/6	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	アルカンとシクロアルカン	澤野　頼子
18	10/13	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	アルケンとアルキン	澤野　頼子
19	10/20	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	芳香族化合物	澤野　頼子
20	10/27	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	立体異性	澤野　頼子
21	11/10	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	有機ハロゲン化合物	澤野　頼子
22	11/17	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	アルコール、フェノール、チオール	澤野　頼子
23	11/24	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	エーテルとエポキシド	澤野　頼子

24	12/1	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	アルデヒトとケトン	澤野 頼子
25	12/8	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	有機化学	カルボン酸とその誘導体	澤野 頼子
26	12/15	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学特論	開放系の熱力学	奈良 雅之
27	12/22	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学特論	熱力学の相平衡への応用(1)	奈良 雅之
28	1/5	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学特論	熱力学の相平衡への応用(2)	奈良 雅之
29	1/12	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学特論	熱力学の化学平衡への応用(1)	奈良 雅之
30	1/19	14:50-16:20	8 番教室, 9 番教室	化学熱力学特論	熱力学の化学平衡への応用(2)	奈良 雅之

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理)」を取り上げます。後期は複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。次に、「化学熱力学(熱力学の平衡への応用)」を取り上げます。
後期の定期試験期間に学力認定試験を行います。

前期
第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版　第2回 単位:SI と非 SI
第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1)　第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)
第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3)　第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4)
第7回 熱力学の原理(1)　第8回 熱力学の原理(2)
第9回 熱力学の原理(3)　第 10 回 熱力学の原理(4)
第 11 回 熱力学の原理(5)　第 12 回 熱力学の原理(6)
第 13 回 熱力学の原理(7)　第 14 回 熱力学の原理(8)
第 15 回 熱力学の原理(9)
後期
第1回 結合と構造異性　第2回 アルカンとシクロアルカン
第3回 アルケンとアルキン　第4回 芳香族化合物
第5回 立体異性　第6回 有機ハロゲン化合物
第7回 アルコール、フェノール、チオール　第8回 エーテルとエポキシド
第9回 アルデヒドとケトン　第10回 カルボン酸とその誘導体
第11回 熱力学の平衡論への応用(1)　第12回 熱力学の平衡論への応用(2)
第13回 熱力学の平衡論への応用(3)　第14回 熱力学の平衡論への応用(4)
第15回 熱力学の平衡論への応用(5)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%
その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)
試験は、前期の考査40%、後期の考査40%、学力認定試験20%の総合評価で行う。
再評価:有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)
化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書,配布資料等で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査:前期の考査は3分の2以上出席

後期の考査は3分の2以上出席

構成ユニット

1 番教室および 2 番教室

教科書

最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之：医歯薬出版，2020

ハート基礎有機化学（三訂版）／H.ハート，L.E.クレーン，D.J.ハート　原著,秋葉欣哉，奥彬　訳，：培風館，2002

化学熱力学／原田　義也：裳華房，2012

参考書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国，雅巳，1930-，：オーム社，1995

系統看護学講座　化学／奈良，雅之，：医学書院，2018

マクマリー有機化学（上）／マクマリー／著,伊東〔ショウ〕／訳,児玉三明／訳,荻野敏夫／訳,深澤義正／訳,通元夫／訳：東京化学同人，2017

マクマリー有機化学（中）／マクマリー／著,伊東〔ショウ〕／訳,児玉三明／訳,荻野敏夫／訳,深澤義正／訳,通元夫／訳：東京化学同人，2017

参考材料：HGS 分子模型

他科目との関連

化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。　前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。

備考

キーワード：化学実験学、化学熱力学、有機化学

連絡先（メールアドレス）

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057			
科目名	化学(一般化学)D		科目ID	LA-114702-Z
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子, 渡邊　総一郎[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, WATANABE SOICHIRO]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:月曜3限
・対象学科:歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

7 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」「ハート基礎有機化学」「化学熱力学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業(同期型), 生物学実験室	ガイダンス、学力認定試験体験版	澤野　頼子
2	4/19	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	単位SI と非 SI	奈良　雅之
3	4/26	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	原子の電子構造	澤野　頼子
4	5/10	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	酸塩基平衡の取扱い方(1)	澤野　頼子
5	5/17	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	酸塩基平衡の取扱い方(2)	澤野　頼子
6	5/24	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	結合と構造異性	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
7	5/31	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	アルカンとシクロアルカン	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
8	6/7	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	アルケンとアルキン	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
9	6/14	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	芳香族化合物	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
10	6/21	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	立体異性	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
11	6/28	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	有機ハロゲン化合物	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
12	7/5	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	アルコール、フェノール、チオール	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
13	7/12	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	エーテルとエポキシド	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
14	7/19	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	アルデヒトとケトン	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
15	7/26	13:10-14:40	7 番教室, 生物学実験室	カルボン酸とその誘導体	澤野　頼子, 渡邊　総一郎
16	10/4	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(1)	奈良　雅之
17	10/11	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(2)	奈良　雅之
18	10/18	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(3)	奈良　雅之
19	10/25	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(4)	奈良　雅之
20	11/1	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(5)	奈良　雅之
21	11/8	13:10-14:40	7 番教室	熱力学の原理(6)	奈良　雅之
22	11/15	13:10-14:40	7 番教室	酸塩基平衡の取扱い方(3)	澤野　頼子
23	11/22	13:10-14:40	7 番教室	酸塩基平衡の取扱い方(4)	澤野　頼子

24	11/29	13:10-14:40	7番教室	酸塩基平衡の取扱い方(5)	澤野 頼子
25	12/6	13:10-14:40	7番教室	酸塩基平衡の取扱い方(6)	澤野 頼子
26	12/13	13:10-14:40	7番教室	熱力学の平衡論への応用(1)	奈良 雅之
27	12/20	13:10-14:40	7番教室	熱力学の平衡論への応用(2)	奈良 雅之
28	1/17	13:10-14:40	7番教室	熱力学の平衡論への応用(3)	奈良 雅之
29	1/24	13:10-14:40	7番教室	熱力学の平衡論への応用(4)	奈良 雅之
30	1/31	13:10-14:40	7番教室	熱力学の平衡論への応用(5)	奈良 雅之

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」(化学実験学・分析化学)を取り上げます。続いて、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期は「酸塩基平衡」およびマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。
後期の定期試験期間に学力認定試験を行います。

前期
第1回 ガイダンス、学力認定試験体験版　第2回 単位:SIと非SI
第3回 原子の電子構造　第4回 酸塩基平衡の取扱い方(1)
第5回 酸塩基平衡の取扱い方(2)　第6回 結合と構造異性
第7回 アルカンとシクロアルカン　第8回 アルケンとアルキン
第9回 芳香族化合物　第10回 立体異性
第11回 有機ハロゲン化合物　第12回 アルコール、フェノール、チオール
第13回 エーテルとエポキシド　第14回 アルデヒトとケトン
第15回 カルボン酸とその誘導体

後期
第1回 熱力学の原理(1)　第2回 熱力学の原理(2)
第3回 熱力学の原理(3)　第4回 熱力学の原理(4)
第5回 熱力学の原理(5)　第6回 熱力学の原理(6)
第7回 酸塩基平衡の取扱い方(3)　第8回 酸塩基平衡の取扱い方(4)
第9回 酸塩基平衡の取扱い方(5)　第10回 酸塩基平衡の取扱い方(6)
第11回 熱力学の平衡論への応用(1)　第12回 熱力学の平衡論への応用(2)
第13回 熱力学の平衡論への応用(3)　第14回 熱力学の平衡論への応用(4)
第15回 熱力学の平衡論への応用(5)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%
その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)
試験は、前期の考査40%、後期の考査40%、学力認定試験20%で総合評価する。
再評価:有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)
化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書、配布資料(WebClassに掲載)等で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査:前期の考査は3分の2以上出席
後期の考査は3分の2以上出席

教科書 最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之,：医歯薬出版, 2020 化学熱力学／原田義也著,：裳華房, 2012 ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,：培風館, 2002
参考書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,：オーム社, 1995 系統看護学講座　化学／奈良, 雅之,：医学書院, 2018 ボルハルト・ショアー現代有機化学（上）／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,：化学同人, 2019 ボルハルト・ショアー現代有機化学（下）／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,：化学同人, 2020 ウォーレン有機化学（上）／J.CLAYDEN, N.GREEVES, S.WARREN 著,野依良治, 奥山格, 柴﨑正勝, 檜山爲次郎 監訳,：東京化学同人, 2015 化学熱力学／原田義也 著,：裳華房, 2002 マクマリー一般化学（上）／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,：東京化学同人, 2010
他科目との関連 「酸塩基平衡の取扱い方」では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。　前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード：分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学
連絡先（メールアドレス） 澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階 奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058			
科目名	化学(一般化学)T		科目ID	LA-114703-Z
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子, 渡邊　総一郎[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, WATANABE SOICHIRO]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:　前期:水曜5限　後期:月曜4限
・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

6 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学＆物理化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」、「ハート基礎有機化学」、等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/14	16:30-18:00	6 番教室	化学実験学	奈良　雅之
2	4/21	16:30-18:00	6 番教室	化学実験学	奈良　雅之
3	4/28	16:30-18:00	6 番教室	化学実験学	奈良　雅之
4	5/12	16:30-18:00	6 番教室	化学実験学	奈良　雅之
5	5/19	16:30-18:00	6 番教室	化学実験学	奈良　雅之
6	5/26	16:30-18:00	6 番教室	化学熱力学	奈良　雅之
7	6/2	16:30-18:00	6 番教室	化学熱力学	奈良　雅之
8	6/9	16:30-18:00	6 番教室	化学熱力学	奈良　雅之
9	6/16	16:30-18:00	6 番教室	化学熱力学	奈良　雅之
10	6/23	16:30-18:00	6 番教室	化学熱力学	奈良　雅之
11	6/30	16:30-18:00	6 番教室	基礎物理化学	澤野　頼子
12	7/7	16:30-18:00	6 番教室	基礎物理化学	澤野　頼子
13	7/14	16:30-18:00	6 番教室	基礎物理化学	澤野　頼子
14	7/21	16:30-18:00	6 番教室	基礎物理化学	澤野　頼子
15	7/28	16:30-18:00	6 番教室	基礎物理化学	澤野　頼子
16	10/4	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	有機化学	渡邊　総一郎
17	10/11	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	有機化学	渡邊　総一郎
18	10/18	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	有機化学	渡邊　総一郎
19	10/25	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	有機化学	渡邊　総一郎
20	11/1	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	有機化学	渡邊　総一郎
21	11/8	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	生体高分子	奈良　雅之

22	11/15	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	生体高分子	奈良 雅之
23	11/22	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	生体高分子	奈良 雅之
24	11/29	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	生体高分子	奈良 雅之
25	12/6	14:50-16:20	6 番教室, 遠隔授業(同期型)	生体高分子	奈良 雅之
26	12/13	14:50-16:20	6 番教室	化学熱力学	奈良 雅之
27	12/20	14:50-16:20	6 番教室	化学熱力学	奈良 雅之
28	1/17	14:50-16:20	6 番教室	化学熱力学	奈良 雅之
29	1/24	14:50-16:20	6 番教室	反応速度	奈良 雅之
30	1/31	14:50-16:20	6 番教室	反応速度	奈良 雅之

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学(化学熱力学を含む)を取り上げます。後期の 15 回は、有機化学、生体高分子論、反応速度論などの分野を取り上げます。

成績評価の方法

評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・
その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)

再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書や配付資料(WebClass に掲載)で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格:3分の2以上出席

教科書

最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之:医歯薬出版, 2020

ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,:培風館, 2002

参考書

マクマリー一般化学(上)/JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,:東京化学同人, 2010

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[上]/K. P. C. Vollhardt/[著],Vollhardt:化学同人, 2011

ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[下]/K. P. C. Vollhardt/[著],Vollhardt:化学同人, 2011

ウォーレン有機化学(上)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,Clayden, Jonathan,野依, 良治, 1938-,石橋, 正己, 1957-,:東京化学同人, 2003

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930-,:オーム社, 1995

系統看護学講座 化学/奈良, 雅之,:医学書院, 2018

他科目との関連

前期に「科学基礎実験 T:化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。 前期の定期試験(考査)と後期の定期試験(考査)の両方を受験していることが、 再試験(再評価)を受ける資格になります。

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000835			
科目名	化学基礎(α)		科目ID	LA-114801-Z
担当教員	澤野　頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間: 4/13～5/11:火曜 2 限(4/13 のみ 1 時限も行う)、5/24 以降:月曜 4 限
・対象学科:保健衛生学科看護学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

4/13(火)～5/11(火):同期型(Zoom)
5/24(月)～7/26(月):1番教室

授業の目的、概要等

看護学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。

授業の到達目標

授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来、看護学の専門の基礎となる化学を身につける。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、授業に関連した演習問題を 7 割程度理解できることとする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ガイダンス:生命・医療・生活と化学の関わり	澤野　頼子
2	4/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	物質の構成	澤野　頼子
3	4/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	物質と化学結合(1)	澤野　頼子
4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	物質と化学結合(2)	澤野　頼子
5	5/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	物質量と濃度	澤野　頼子
6	5/24	14:50-16:20	1 番教室	単位	奈良　雅之
7	5/31	14:50-16:20	1 番教室	熱化学方程式	奈良　雅之
8	6/7	14:50-16:20	1 番教室	酸と塩基(1)	澤野　頼子
9	6/14	14:50-16:20	1 番教室	酸と塩基(2)	澤野　頼子
10	6/21	14:50-16:20	1 番教室	酸化と還元	澤野　頼子
11	6/28	14:50-16:20	1 番教室	有機化合物(1)	澤野　頼子
12	7/5	14:50-16:20	1 番教室	有機化合物(2)	澤野　頼子
13	7/12	14:50-16:20	1 番教室	有機化合物(3)	澤野　頼子
14	7/19	14:50-16:20	1 番教室	有機化合物(4)	澤野　頼子
15	7/26	14:50-16:20	1 番教室	有機化合物(5)	澤野　頼子

授業方法

主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(演習など)を取り入れて行う。

授業内容

1. 生命・医療・生活と化学の関わり
2. 物質の構成:原子の構造、周期表
3. 物質と化学結合
4. 単位
5. 熱化学方程式
6. 物質量と濃度
7. 酸と塩基

8. 酸化と還元 9. 有機化合物
成績評価の方法 評価 ： 期末試験 90% ・ レポート 0% ・ その他（授業への参加度・授業時の小テストなど） 10% 再評価： 有（再評価方法 再試験） 授業内容の理解度を測るために試験や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習：講義資料（事前に WebClass に掲載）、参考書等で該当する箇所に目を通しておく。 復習：講義の内容および演習問題・小テストを復習する。 その他、教員からの指示を参考に学習する。
試験の受験資格 試験・再試験の受験資格：3分の2以上出席
教科書 系統看護学講座 化学／奈良, 雅之,：医学書院, 2018
参考書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之著,奈良, 雅之,：医歯薬出版, 2020 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,：共立出版, 2005 高校の「化学基礎」および「化学」の教科書
他科目との関連 高校での化学の学習が不十分な学生（主に、高校の「化学」未履修者）向けに、4/20, 4/27, 5/11 の1時限に「化学基礎（補習）」を開講する。受講希望者は併せて受講すること。
連絡先（メールアドレス） sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000836			
科目名	化学基礎(β)		科目ID	LA-114802-Z
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MIYAZONO KENICHI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:火曜2限 (初回のみ 1・2限)
・対象学科:口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

第1週(4/17)～第4週(5/8):湯島キャンパス　OH 第3講義室
第6週(5/22)以降:国府台キャンパス

授業の目的、概要等

高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。

授業の到達目標

教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。
生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			宮園 健一
2	4/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			宮園 健一
3	4/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			宮園 健一
4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			宮園 健一
5	5/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			宮園 健一
6	5/24	14:50-16:20	7番教室	有機化学1	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
7	5/31	14:50-16:20	7番教室	有機化学2	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
8	6/7	14:50-16:20	7番教室	有機化学3	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
9	6/14	14:50-16:20	7番教室	有機化学4	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
10	6/21	14:50-16:20	7番教室	有機化学5	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
11	6/28	14:50-16:20	7番教室	有機化学6	有機化学について講義と演習を行う。	勝又 敏行
12	7/5	14:50-16:20	7番教室			奈良 雅之
13	7/12	14:50-16:20	7番教室			奈良 雅之
14	7/19	14:50-16:20	7番教室			奈良 雅之
15	7/26	14:50-16:20	7番教室			奈良 雅之

授業方法

授業は講義形式を基本とするが、随時演習問題を通してアクティブラーニングを併用する。

授業内容

1. 序論　　単位について
2. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子
化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式
3. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、
　　気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、
　　溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド

4. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
5. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物
6. 物質の変化　化学反応と熱：熱化学方程式・結合エネルギー、
酸と塩基の反応：水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
7. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素

成績評価の方法

評価：定期試験　100%・レポート 0%
その他（授業中の出席カードの回答状況などを考慮する）
再評価：有（再評価の方法　再試験）

化学の基礎が理解できているか否かが評価の鍵ですから、試験を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習：指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。
復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

系統看護学講座　化学／奈良, 雅之,：医学書院, 2018

参考書

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一　著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,：共立出版, 2005
最新臨床検査学講座　化学／奈良, 雅之,：医歯薬出版, 2020

他科目との関連

高校での化学の学習が不十分な学生（主に、高校の「化学」未履修者）向けに、4/20, 4/27, 5/11 の1時限に「化学基礎（補習）」を開講する。受講希望者は併せて受講すること。

連絡先（メールアドレス）

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000264			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M		科目ID	LA-114901-Z
担当教員	伊藤　正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:火曜日 1・2 限
・対象学科・専攻:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室

授業の目的、概要等

細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤を形成すること、アクティブに学習するようになること、論理的思考力を向上させることを目標とする。

授業の到達目標

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。
2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。
3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。
4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。
5)代謝とは何か、説明することができる。
6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	6/8	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
3-4	6/15	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
5-6	6/22	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
7-8	6/29	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
9-10	7/6	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
11-12	7/13	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
13-14	7/20	09:10-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則
15	7/27	10:50-12:20	8 番教室, 9 番教室	伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うことと、講義内容に関する質問をリアクションペーパーに書く。次週の授業でこの質問に答える。復習では知識が体系的になるようにノートを整理する。また、課題を出すので、その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。

成績評価の方法

試験 100%
再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)
前期の授業内容に関する試験、後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。
上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講

した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問に答える。復習ではノートを整理し、知識を体系化すること。

試験の受験資格

2/3 以上、出席すること。

教科書

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,:羊土社, 2008

からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木, 明徳,井上, 貴央,:西村書店, 1998

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox:McGraw-Hill, 2014

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳:羊土社, 2017

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,:羊土社, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先(メールアドレス)

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000265			
科目名	生物学(構造・機能)M		科目ID	LA-114902-Z
担当教員	服部　淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:月曜日3限
・対象学科・専攻:医学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　２－１)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　４－２)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

1年の前期の講義では，生命の基本単位である細胞の機能やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は，個々の細胞が集まって構築されている個体が，どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は，特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして，鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また，それぞれの項目に関しては，系統発生的・進化学的な視点からも解説する。

授業の到達目標

生体の各組織や器官について，その構造と機能の概要を理解し，それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また，ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	13:10-14:40		服部　淳彦
2	10/11	13:10-14:40		服部　淳彦
3	10/18	13:10-14:40		服部　淳彦
4	10/25	13:10-14:40		服部　淳彦
5	11/1	13:10-14:40		服部　淳彦
6	11/8	13:10-14:40		服部　淳彦
7	11/15	13:10-14:40		服部　淳彦
8	11/22	13:10-14:40		服部　淳彦
9	11/29	13:10-14:40		服部　淳彦
10	12/6	13:10-14:40		服部　淳彦
11	12/13	13:10-14:40		服部　淳彦
12	12/20	13:10-14:40		服部　淳彦
13	1/17	13:10-14:40		服部　淳彦
14	1/24	13:10-14:40		服部　淳彦
15	1/31	13:10-14:40		服部　淳彦

授業方法

講義と一部グループワークによる。

授業内容

1. 細胞から個体へ
2. 生体における情報伝達系
3. 成長
4. 骨と軟骨
5. ホメオスタシス
6. カルシウムの調節
7. 排泄と泌尿器系
8. 血圧と循環器系

9. 栄養と消化器系
10. 血糖値の調節
11. 刺激と感覚・神経系
12. 炎症とアレルギー
13. 免疫系
14. 子孫の維持と生殖系
15. まとめ

成績評価の方法

評価：生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%（授業内でのグループワークへの貢献度や質問への回答状況等）

再評価：有（再試験の成績は60点を上限とする）

生物学（通年）の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない（履修放棄とみなす）。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

からだの構造と機能／A. Schaffler、S. Schmidt：西村書店, 2002

授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。

参考書

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S. S. Mader：医学書院, 2011

連絡先（メールアドレス）

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

時間割番号	000266			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT		科目ID	LA-114903-Z
担当教員	服部　淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:火曜日1・2限
・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学
　　力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生物学(細胞・遺伝子)では,「生命のしくみ」に重点を置き, ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに, 生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ, さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。

時間の制約もありこの科目では, 生命を理解する上で基本単位である「DNA」と「細胞の構造」に関しては, すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。

授業の到達目標

分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	6/8	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
3-4	6/15	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
5-6	6/22	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
7-8	6/29	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
9-10	7/6	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
11-12	7/13	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
13-14	7/20	09:10-12:20	1番教室	服部　淳彦
15	7/27	10:50-12:20	1番教室	服部　淳彦

授業方法

講義と一部グループワークによる。

授業内容

生命を支配する遺伝子
1. 分子遺伝学とは
2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA
3. 真核生物の遺伝子の構造
4. 遺伝子の発現と制御
5. 染色体と細胞周期
6. 細胞分裂 － 体細胞分裂・減数分裂
7. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅰ
8. 遺伝性疾患と遺伝様式 Ⅱ
9. 遺伝子診断とDNA型鑑定
10. 遺伝子治療の現状と問題点

生物の多様性と分子進化
11. 生物の多様性と進化

12. 分子進化と分子系統樹
13. 中立説と自然淘汰説
14. 遺伝子の進化と種の分化
15. ヒトの起源と未来

成績評価の方法

評価：生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%（授業内のグループワークでの貢献度や質問への回答状況等）

再評価：有（再試験の成績は60点を上限とする）

生物学（通年）の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない（履修放棄とみなす）。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学 （第 3 版）／前野正夫, 磯川桂太郎：羊土社, 2016

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／SS Mader：医学書院, 2011

授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。

参考書

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳：南江堂, 2011

連絡先（メールアドレス）

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2）

時間割番号	000267			
科目名	生物学(構造・機能)DT		科目ID	LA-114904-Z
担当教員	伊藤　正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:水曜日 4 限
・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・論理的思考力を身につける。

主な講義場所

教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室

授業の目的、概要等

生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。専門科目を学ぶうえでの基盤をつくることと、アクティブに学習を行うようになる。

授業の到達目標

1)生体の基本構造を説明することができる。
2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。
3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	14:50-16:20		伊藤　正則
2	10/6	14:50-16:20		伊藤　正則
3	10/13	14:50-16:20		伊藤　正則
4	10/20	14:50-16:20		伊藤　正則
5	10/27	14:50-16:20		伊藤　正則
6	11/10	14:50-16:20		伊藤　正則
7	11/17	14:50-16:20		伊藤　正則
8	11/24	14:50-16:20		伊藤　正則
9	12/1	14:50-16:20		伊藤　正則
10	12/8	14:50-16:20		伊藤　正則
11	12/15	14:50-16:20		伊藤　正則
12	12/22	14:50-16:20		伊藤　正則
13	1/5	14:50-16:20		伊藤　正則
14	1/12	14:50-16:20		伊藤　正則
15	1/19	14:50-16:20		伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。

授業内容

代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。

成績評価の方法

試験 100%
再評価：有(再試験での成績は 60 点を上限とする)
前期の授業内容に関する試験、後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。
上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示
アクティブラーニングとして予めプリントを配布するので、予習を行うこと。講義義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業で質問に答える。知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。

試験の受験資格
2/3 以上出席すること。

教科書
からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木, 明徳,井上, 貴央,：西村書店, 1998
はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学 : 生物学を学んでいない人でもわかる目で見る教科書／前野正夫, 磯川桂太郎 著,：羊土社, 2008
必要に応じて参考資料を配布する。

参考書
Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳：南江堂, 2011
Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,：Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015
Human biology 13th ed／Sylvia S：McGraw-Hill, 2014
診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳：羊土社, 2017
よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,：羊土社, 2016

連絡先(メールアドレス)
itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
毎週月曜日 AM.10:00-PM.2：00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000059				
科目名	細胞生物学基礎			科目ID	LA-115000-Z
担当教員	松本　幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜4限
・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　４－１）入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。

主な講義場所

管理研究棟2階9番教室

授業の目的、概要等

生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。

授業の到達目標

1）細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。
2）遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。
3）遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。
4）代謝とは何か、説明することができる。
5）酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/14	14:50-16:20	1 番教室	生物とは	松本　幸久
2	4/21	14:50-16:20	1 番教室	細胞	松本　幸久
3	4/28	14:50-16:20	1 番教室	細胞膜	松本　幸久
4	5/12	14:50-16:20	1 番教室	細胞骨格	松本　幸久
5	5/19	14:50-16:20	1 番教室	生物を構成する物質	松本　幸久
6	5/26	14:50-16:20	1 番教室	食物の消化	松本　幸久
7	6/2	14:50-16:20	1 番教室	代謝経路	松本　幸久
8	6/9	14:50-16:20	1 番教室	DNA の複製	松本　幸久
9	6/16	14:50-16:20	1 番教室	遺伝子の発現機構	松本　幸久
10	6/23	14:50-16:20	1 番教室	DNA の修復	松本　幸久
11	6/30	14:50-16:20	1 番教室	転写調節機構	松本　幸久
12	7/7	14:50-16:20	1 番教室	細胞分裂	松本　幸久
13	7/14	14:50-16:20	1 番教室	遺伝子の操作1	松本　幸久
14	7/21	14:50-16:20	1 番教室	遺伝子の操作2	松本　幸久
15	7/28	14:50-16:20	1 番教室	期末テスト	松本　幸久

授業方法

授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ（前回の授業内容から出題する基本問題）、予習クイズ（次回の授業内容から出題する基本問題）、ふりかえり発展問題（これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる）などの演習を行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。

授業内容

細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。

成績評価の方法

評価：本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。 再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
試験の受験資格 授業の3分の2以上出席すること。
教科書 医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,：裳華房, 2016 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫：羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader：医学書院, 2005 やさしい基礎生物学／南雲　保：羊土社, 2011 大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘,：羊土社, 2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先（メールアドレス） yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000060				
科目名	人体の生物学基礎			科目ID	LA-115100-Z
担当教員	松本　幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：月曜4限
・対象専攻：看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。

授業の到達目標

1）生体の基本構造を説明することができる。
2）生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/4	14:50-16:20	1 番教室	組織と器官	松本　幸久
2	10/11	14:50-16:20	1 番教室	骨格系と筋系	松本　幸久
3	10/18	14:50-16:20	1 番教室	消化器系	松本　幸久
4	10/25	14:50-16:20	1 番教室	血液	松本　幸久
5	11/1	14:50-16:20	1 番教室	循環器系	松本　幸久
6	11/8	14:50-16:20	1 番教室	免疫系 1	松本　幸久
7	11/15	14:50-16:20	1 番教室	免疫系 2	松本　幸久
8	11/22	14:50-16:20	1 番教室	内分泌系 1	松本　幸久
9	11/29	14:50-16:20	1 番教室	内分泌系 2	松本　幸久
10	12/6	14:50-16:20	1 番教室	神経系 1	松本　幸久
11	12/13	14:50-16:20	1 番教室	神経系 2	松本　幸久
12	12/20	14:50-16:20	1 番教室	神経系 3	松本　幸久
13	1/17	14:50-16:20	1 番教室	神経系 4	松本　幸久
14	1/24	14:50-16:20	1 番教室	感覚器 1	松本　幸久
15	1/31	14:50-16:20	1 番教室	感覚器 2	松本　幸久

授業方法

授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ（前回の授業内容から出題する基本問題）、予習クイズ（次回の授業内容から出題する基本問題）、ふりかえり発展問題（これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる）などの演習を行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。

授業内容

生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。

成績評価の方法

評価：本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90％、授業内の小テスト10％で成績を評価する。
再評価：有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示 復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
試験の受験資格 授業の3分の2以上出席すること。
教科書 医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,:裳華房, 2016 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野　正夫:羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー　人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005 大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘,:羊土社, 2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
連絡先（メールアドレス） yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語			科目ID	LA-115200-Z
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, MIYA MARUTSUKA, CORLISS JONATHAN, LITTEN CHRISTOPHER T, Reed Jesse Ryan, 野口 大斗[KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, Miya Marutsuka, Corliss Jonathan, LITTEN Christopher T, REED Jesse Ryan, NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					

時間割番号	000066			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Introduction	Orientation	JEANETTE DENNISSON	
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group A
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group B
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group B
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group A
12	7/7	09:10-	遠隔授業(同	Student topic 2	Data collection	JEANETTE DENN	

		10:40	期型)			ISSON	
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group A
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group B
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Final Teacher topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

We will use articles from the internet.

参考書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must have these open for each lesson.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

連絡先（メールアドレス） dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000067			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　participation 40% presentation 10% quizzes 10% homework 15% final discussion test 25% 再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000068			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 5 Discussion 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25% 再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000069			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：Participation：40%　Homework：10%　Midterm Speaking Test: 20%　Final Speaking Test: 30% 再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000070			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜 2 限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Introduction	Orientation	JEANETTE DENNISSON	
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 1 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group A
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group B
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher topic 2 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic	Data collection	JEANETTE DENNISSON	
12	7/7	10:50-	遠隔授業(同	Student topic 3	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENN	

		12:20	期型)		Note taking	ISSON	
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic ALL	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENN ISSON	
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENN ISSON	
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENN ISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

参考書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must have these open for each lesson.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

連絡先（メールアドレス）
dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000071			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25% 再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000072			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	4/22	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	5/6	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	5/13	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	5/20	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	5/27	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	6/3	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/10	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/17	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/24	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	7/1	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/8	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
13	7/15	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/22	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/29	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25% 再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000073			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	野口　大斗
2	4/22	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Discussion 1	野口　大斗
3	5/6	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Discussion 2	野口　大斗
4	5/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Discussion 3	野口　大斗
5	5/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Discussion 4	野口　大斗
6	5/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Discussion 5	野口　大斗
7	6/3	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Discussion 6	野口　大斗
8	6/10	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Discussion 7	野口　大斗
9	6/17	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Discussion 8	野口　大斗
10	6/24	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Discussion 9	野口　大斗
11	7/1	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Discussion 10	野口　大斗
12	7/8	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Discussion 11	野口　大斗
13	7/15	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Discussion 12	野口　大斗
14	7/22	10:50-12:20	5 番教室	Pre-Test Preparation	Practice	野口　大斗
15	7/29	10:50-12:20	5 番教室	In-Class Exam	Discussion Test	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　participation：50%, discussion test：25%, quizzes/assignments: 25%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000074			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対面授業です。
・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
別表3－1）
別表3－4）
別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	09:10-10:40	7 番教室	Introduction	Orientation	JEANETTE DENNISSON	
2	4/22	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
3	5/6	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
4	5/13	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 1 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
5	5/20	09:10-10:40	7 番教室	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group A
6	5/27	09:10-10:40	7 番教室	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group B
7	6/3	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
8	6/10	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
9	6/17	09:10-10:40	7 番教室	Teacher topic 2 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
10	6/24	09:10-10:40	7 番教室	Student topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
11	7/1	09:10-10:40	7 番教室	Student topic	Data collection	JEANETTE DENNISSON	

12	7/8	09:10-10:40	7番教室	Student topic 3	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
13	7/15	09:10-10:40	7番教室	Student topic ALL	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
14	7/22	09:10-10:40	7番教室	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group A
15	7/29	09:10-10:40	7番教室	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group B

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14-15: Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. Complete and submit all assignments based on the instructional criteria by deadline.
2. Apply the grammatical structures, vocabulary, and communication techniques (e.g., non-verbal communication, inflection) taught in class to discussion and assignments.
3. Actively participate in class activities (e.g., contribute ideas and ask questions during in-class discussions).

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You may need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Please understand if the internet is unstable, it is your responsibility to have your materials for class in printed or accessible on your device.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先（メールアドレス） dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000075			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T
2	4/22	09:10-10:40	5 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
3	5/6	09:10-10:40	5 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
4	5/13	09:10-10:40	5 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
5	5/20	09:10-10:40	5 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
6	5/27	09:10-10:40	5 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
7	6/3	09:10-10:40	5 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
8	6/10	09:10-10:40	5 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
9	6/17	09:10-10:40	5 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
10	6/24	09:10-10:40	5 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
11	7/1	09:10-10:40	5 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
12	7/8	09:10-10:40	5 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
13	7/15	09:10-10:40	5 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
14	7/22	09:10-10:40	5 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
15	7/29	09:10-10:40	5 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価:　Participation 20% mini-discussion quizzes 25% class discussion presentation 10% homework & activities 20% final discussion test 25% 再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000080			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation 30% assignments/quizzes 40% final speaking test 30% 再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000077			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

対面授業です。
・曜日・時間：木曜 2 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
別表3－1）
別表3－4）
別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	10:50-12:20	7 番教室	Introduction	Orientation	JEANETTE DENNISSON	
2	4/22	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
3	5/6	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
4	5/13	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 1 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
5	5/20	10:50-12:20	7 番教室	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group A
6	5/27	10:50-12:20	7 番教室	Student topic 1	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	Group B
7	6/3	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
8	6/10	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
9	6/17	10:50-12:20	7 番教室	Teacher topic 2 Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	
10	6/24	10:50-12:20	7 番教室	Student topic 2	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
11	7/1	10:50-12:20	7 番教室	Student topic	Data collection	JEANETTE DENNISSON	

12	7/8	10:50-12:20	7番教室	Student topic 3	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
13	7/15	10:50-12:20	7番教室	Student topic ALL	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	
14	7/22	10:50-12:20	7番教室	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group A
15	7/29	10:50-12:20	7番教室	Student topic Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON	Group B

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14-15: Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:Participation: 30% assignments: 40% discussion tests: 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You may need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Please understand if the internet is unstable, it is your responsibility to have your materials for class in printed or accessible on your device.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.
連絡先（メールアドレス） dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000078			
科目名	英語 a		科目 ID	LA-115201-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：検査技術学・口腔保健工学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	4/22	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	5/6	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	5/13	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	5/20	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	5/27	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	6/3	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/10	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/17	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/24	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	7/1	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/8	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
13	7/15	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/22	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/29	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25% 再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000076			
科目名	英語 b		科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T[PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
2	4/22	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
3	5/6	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
4	5/13	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
5	5/20	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
6	5/27	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
7	6/3	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	6/10	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	6/17	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	6/24	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
11	7/1	10:50-	9 番教	Critical	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOP

		12:20	室	Analysis		HER T
12	7/8	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
13	7/15	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
14	7/22	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
15	7/29	10:50-12:20	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000079				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Orientation	Course Introduction　Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70%　journal 10%　participation/quizzes 20%

再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000081			
科目名	英語 b		科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先(メールアドレス) inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000082				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：水曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000085			
科目名	英語 b		科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/22	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	5/6	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/13	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/20	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/27	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/3	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/10	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/17	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/24	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	7/1	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/8	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/15	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/22	09:10-10:40	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/29	09:10-10:40	11 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000086				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/22	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	5/6	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/13	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/20	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/27	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/3	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/10	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/17	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/24	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	7/1	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/8	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/15	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/22	09:10-10:40	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/29	09:10-10:40	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000087				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	4/22	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	5/6	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	5/13	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	5/20	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	5/27	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	6/3	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	6/10	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	6/17	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	6/24	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	7/1	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	7/8	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	7/15	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	7/22	10:50-12:20	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
15	7/29	10:50-12:20	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000088				
科目名	英語 b			科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	4/22	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	5/6	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	5/13	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	5/20	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	5/27	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	6/3	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	6/10	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	6/17	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	6/24	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	7/1	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	7/8	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	7/15	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
14	7/22	10:50-12:20	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
15	7/29	10:50-12:20	11 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価： class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価： 有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000089			
科目名	英語 b		科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	野口　大斗
2	4/22	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口　大斗
3	5/6	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口　大斗
4	5/13	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口　大斗
5	5/20	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口　大斗
6	5/27	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口　大斗
7	6/3	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口　大斗
8	6/10	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口　大斗
9	6/17	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口　大斗
10	6/24	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口　大斗
11	7/1	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口　大斗
12	7/8	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口　大斗
13	7/15	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口　大斗
14	7/22	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practice	野口　大斗
15	7/29	09:10-10:40	2 番教室	Review	In-class Exam	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：30%　In-class writing assignments and quizzes：40%　End-of-term essay：30%

再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000114			
科目名	英語 b		科目 ID	LA-115202-Z
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	9 番教室	Orientation	Course Introduction　Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
2	4/22	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
3	5/6	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
4	5/13	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
5	5/20	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
6	5/27	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
7	6/3	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/10	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/17	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/24	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	7/1	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/8	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/15	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/22	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/29	09:10-10:40	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70%　journal 10%　participation/quizzes 20%

再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟　3階　フォス研究室

時間割番号	000115			
科目名	英語b		科目ID	LA-115202-Z
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
11	6/30	09:10-	遠隔授業（同期	Critical	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse

		10:40	型)	Analysis		Ryan
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000090			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/6	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
3	10/13	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
4	10/20	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
5	10/27	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Teacher lecture	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
6	11/10	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Discussion forum	Student-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON
7	11/17	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Discussion test	Small group discussion test	JEANETTE DENNISSON
8	11/24	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student Project	Project theme	JEANETTE DENNISSON
9	12/1	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student Project	Secondary literature reading/discussion	JEANETTE DENNISSON
10	12/8	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student Project	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	12/15	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Student Project	Data collection/Analysis	JEANETTE DENNISSON
12	12/22	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
13	1/5	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
14	1/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	Presentation	Power Point Presentation	JEANETTE DENNISSON
15	1/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	No Regular Class	Oral Test Week	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：30%　assignments: 40%　discussion tests: 30% 再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
備考 PC、タブレットなどが必要です。 Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.
参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google　アカウント」が必要です。
連絡先（メールアドレス） dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM　管理研究棟3階

時間割番号	000091			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T
2	10/7	09:10-10:40		Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
3	10/14	09:10-10:40		Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
4	10/21	09:10-10:40		Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
5	10/28	09:10-10:40		Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
6	11/4	09:10-10:40		Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
7	11/11	09:10-10:40		Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
8	11/18	09:10-10:40		Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
9	11/25	09:10-10:40		Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
10	12/2	09:10-10:40		Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
11	12/9	09:10-10:40		Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
12	12/16	09:10-10:40		Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
13	1/6	09:10-10:40		Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
14	1/13	09:10-10:40		Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
15	1/20	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:・Participation － 25% ・Activities － 50% ・Final presentation － 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000092			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	10/6	09:10-10:40		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	10/13	09:10-10:40		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	10/20	09:10-10:40		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	10/27	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	11/10	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	11/17	09:10-10:40		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	11/24	09:10-10:40		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	12/1	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	12/8	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	12/15	09:10-10:40		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	12/22	09:10-10:40		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
13	1/5	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/12	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/19	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000093			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN
2	10/6	09:10-10:40		Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
3	10/13	09:10-10:40		Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
4	10/20	09:10-10:40		Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
5	10/27	09:10-10:40		Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
6	11/10	09:10-10:40		Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
7	11/17	09:10-10:40		Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	11/24	09:10-10:40		Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	12/1	09:10-10:40		Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	12/8	09:10-10:40		Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	12/15	09:10-10:40		Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	12/22	09:10-10:40		Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	1/5	09:10-10:40		Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	1/12	09:10-10:40		Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	1/19	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Homework 10% Participation 40% Midterm Speaking Test 20% Final Speaking Test 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000094			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	10/6	10:50-12:20		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	10/13	10:50-12:20		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	10/20	10:50-12:20		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	10/27	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	11/10	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	11/17	10:50-12:20		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	11/24	10:50-12:20		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	12/1	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	12/8	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	12/15	10:50-12:20		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	12/22	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/5	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/12	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/19	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25% 再評価:　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000095			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN
2	10/6	10:50-12:20		Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
3	10/13	10:50-12:20		Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
4	10/20	10:50-12:20		Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
5	10/27	10:50-12:20		Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
6	11/10	10:50-12:20		Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
7	11/17	10:50-12:20		Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	11/24	10:50-12:20		Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	12/1	10:50-12:20		Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	12/8	10:50-12:20		Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	12/15	10:50-12:20		Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	12/22	10:50-12:20		Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	1/5	10:50-12:20		Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	1/12	10:50-12:20		Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	1/19	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　Participation：30%, Quizzes and Assignments：40%, Final Speaking Test：30% 再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000096			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	10/7	09:10-10:40		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	10/14	09:10-10:40		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	10/21	09:10-10:40		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	10/28	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	11/4	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	11/11	09:10-10:40		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	11/18	09:10-10:40		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	11/25	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	12/2	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	12/9	09:10-10:40		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	12/16	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/6	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/13	09:10-10:40		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/20	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000097			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：検査技術学・口腔保健工学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20		Guidance Course	Introduction	野口　大斗
2	10/7	10:50-12:20		Topic 1	Presentation Practice 1	野口　大斗
3	10/14	10:50-12:20		Topic 2	Presentation Practice 2	野口　大斗
4	10/21	10:50-12:20		Topic 3	Presentation Practice 3	野口　大斗
5	10/28	10:50-12:20		Topic 4	Presentation Practice 4	野口　大斗
6	11/4	10:50-12:20		Topic 5	Presentation Practice 5	野口　大斗
7	11/11	10:50-12:20		Topic 6	Presentation Practice 6	野口　大斗
8	11/18	10:50-12:20		Topic 7	Presentation Practice 7	野口　大斗
9	11/25	10:50-12:20		Topic 8	Presentation Practice 8	野口　大斗
10	12/2	10:50-12:20		Topic 9	Presentation Practice 9	野口　大斗
11	12/9	10:50-12:20		Topic 10	Presentation Practice 10	野口　大斗
12	12/16	10:50-12:20		Topic 11	Presentation Practice 11	野口　大斗
13	1/6	10:50-12:20		Pre-test Preparation	Practice	野口　大斗
14	1/13	10:50-12:20		In-Class Exam	Discussion Test	野口　大斗
15	1/20	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation：50%, Quizzes/Assignments：25%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000099			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40	7 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/7	09:10-10:40	7 番教室	Teacher lecture	Secondary Literature	JEANETTE DENNISSON
3	10/14	09:10-10:40	7 番教室	Student Forum	Secondary Literature	JEANETTE DENNISSON
4	10/21	09:10-10:40	7 番教室	Teacher lecture	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
5	10/28	09:10-10:40	7 番教室	Student Forum	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/11	09:10-10:40	7 番教室	Teacher lecture	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/18	09:10-10:40	7 番教室	Student Forum	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/25	09:10-10:40	7 番教室	Teacher lecture	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	12/2	09:10-10:40	7 番教室	Student Forum	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/9	09:10-10:40	7 番教室	Teacher lecture	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	12/16	09:10-10:40	7 番教室	Student Forum	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	1/6	09:10-10:40	7 番教室	Review	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
13	1/13	09:10-10:40	7 番教室	Discussion test	Group A	JEANETTE DENNISSON
14	1/20	09:10-10:40	7 番教室	Discussion test	Group B	JEANETTE DENNISSON
15	1/27	09:10-10:40	7 番教室	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 30%　assignments: 40%　discussion tests: 30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先（メールアドレス）

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM　管理研究棟3階

時間割番号	000100			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：検査技術学・口腔保健工学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA
2	10/7	10:50-12:20		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA
3	10/14	10:50-12:20		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA
4	10/21	10:50-12:20		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA
5	10/28	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
6	11/4	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
7	11/11	10:50-12:20		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	11/18	10:50-12:20		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	11/25	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	12/2	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	12/9	10:50-12:20		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	12/16	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/6	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/13	10:50-12:20		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/20	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:　Participation and Homework：30%, Quizzes：25%, Group Assignments：20%, Final Discussion Test：25%

再評価:　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000101			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20	7 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/7	10:50-12:20	7 番教室	Teacher lecture	Secondary Literature	JEANETTE DENNISSON
3	10/14	10:50-12:20	7 番教室	Student Forum	Secondary Literature	JEANETTE DENNISSON
4	10/21	10:50-12:20	7 番教室	Teacher lecture	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
5	10/28	10:50-12:20	7 番教室	Student Forum	Overview of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/4	10:50-12:20	7 番教室	Teacher lecture	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/11	10:50-12:20	7 番教室	Student Forum	Abstract of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/18	10:50-12:20	7 番教室	Teacher lecture	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	11/25	10:50-12:20	7 番教室	Student Forum	Methods/Results of Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/2	10:50-12:20	7 番教室	Teacher lecture	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	12/9	10:50-12:20	7 番教室	Student Forum	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	12/16	10:50-12:20	7 番教室	Review	Small group discussions	JEANETTE DENNISSON
13	1/6	10:50-12:20	7 番教室	Discussion test	Group A	JEANETTE DENNISSON
14	1/13	10:50-12:20	7 番教室	Discussion test	Group B	JEANETTE DENNISSON
15	1/20	10:50-12:20	7 番教室	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 30%　assignments and quizzes: 25%　discussion tests: 50%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先（メールアドレス）

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM　管理研究棟3階

時間割番号	000105			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

To share opinions based on secondary and primary literature evidence

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/6	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher Lecture	Secondary literature	JEANETTE DENNISSON
3	10/13	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student Forum	Secondary literature	JEANETTE DENNISSON
4	10/20	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher Lecture	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
5	10/27	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student Forum	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
6	11/10	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher Lecture	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
7	11/17	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student Forum	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
8	11/24	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher Lecture	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
9	12/1	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student Forum	Primary literature	JEANETTE DENNISSON
10	12/8	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Teacher Lecture	Data collection	JEANETTE DENNISSON
11	12/15	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Student Forum	Data collection	JEANETTE DENNISSON
12	12/22	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Review		JEANETTE DENNISSON
13	1/5	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Discussion test	Group A	JEANETTE DENNISSON
14	1/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	Discussion test	Group B	JEANETTE DENNISSON
15	1/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	No regular classes	Oral Test Week	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 12-14: Review and/or Final Assessment

Week 15: Oral Test

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation: 30%　assignments: 40%　discussion tests: 30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.
What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先（メールアドレス）

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM　管理研究棟3階

時間割番号	000116			
科目名	英語 c		科目 ID	LA-115203-Z
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限

・対象学科：医学科　歯学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表3－1）

別表3－4）

別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.

To improve the ability to speak in front of others using English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan
2	10/6	10:50-12:20		Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
3	10/13	10:50-12:20		Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
4	10/20	10:50-12:20		Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
5	10/27	10:50-12:20		Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
6	11/10	10:50-12:20		Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
7	11/17	10:50-12:20		Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	11/24	10:50-12:20		Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	12/1	10:50-12:20		Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	12/8	10:50-12:20		Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	12/15	10:50-12:20		Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	12/22	10:50-12:20		Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	1/5	10:50-12:20		Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	1/12	10:50-12:20		Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	1/19	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価:　participation 40% presentations 25% homework assignments 10% final discussion test 25% 再評価:　有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000098			
科目名	英語 d		科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜1限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	10/7	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
3	10/14	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
4	10/21	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
5	10/28	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
6	11/4	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
7	11/11	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
8	11/18	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
9	11/25	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
10	12/2	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
11	12/9	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
12	12/16	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
13	1/6	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
14	1/13	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
15	1/20	09:10-10:40		Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000102			
科目名	英語 d		科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T[PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
2	10/7	10:50-12:20		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
3	10/14	10:50-12:20		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
4	10/21	10:50-12:20		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
5	10/28	10:50-12:20		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
6	11/4	10:50-12:20		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
7	11/11	10:50-12:20		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	11/18	10:50-12:20		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	11/25	10:50-12:20		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	12/2	10:50-		Topic 3 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO

		12:20		Project	Activities	PHER T
11	12/9	10:50-12:20		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO PHER T
12	12/16	10:50-12:20		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO PHER T
13	1/6	10:50-12:20		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO PHER T
14	1/13	10:50-12:20		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO PHER T
15	1/20	10:50-12:20		Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTO PHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000103			
科目名	英語 d		科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	PATRICK　FOSS[PATRICK FOSS]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Orientation	Course Introduction	PATRICK　FOSS
2	10/6	10:50-12:20		Topic 1　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
3	10/13	10:50-12:20		Topic 1　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
4	10/20	10:50-12:20		Topic 2　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
5	10/27	10:50-12:20		Topic 2　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
6	11/10	10:50-12:20		Topic 2　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
7	11/17	10:50-12:20		Topic 2　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
8	11/24	10:50-12:20		Topic 3　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
9	12/1	10:50-12:20		Topic 3　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
10	12/8	10:50-12:20		Topic 3　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
11	12/15	10:50-12:20		Topic 3　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
12	12/22	10:50-12:20		Topic 4　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
13	1/5	10:50-12:20		Topic 4　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
14	1/12	10:50-12:20		Topic 4　Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK　FOSS
15	1/19	10:50-12:20		Oral Test	Oral Test	PATRICK　FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000104				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：水曜2限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	10/6	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	10/13	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	10/20	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	10/27	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	11/10	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	11/17	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	11/24	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	12/1	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	12/8	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	12/15	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	12/22	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	1/5	10:50-12:20		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	1/12	10:50-12:20		Review	Suggestions and Comments	畔柳　和代
15	1/19	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/6	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/13	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/20	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/27	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/10	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/17	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/24	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	12/1	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/8	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/15	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/22	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/5	09:10-10:40		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/12	09:10-10:40		Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/19	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000107				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/6	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/13	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/20	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/27	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/10	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/17	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/24	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	12/1	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/8	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/15	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/22	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/5	10:50-12:20		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/12	10:50-12:20		Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/19	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000108				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：水曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	10/6	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	10/13	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	10/20	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	10/27	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	11/10	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	11/17	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	11/24	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	12/1	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	12/8	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	12/15	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	12/22	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	1/5	09:10-10:40		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	1/12	09:10-10:40		Review	Suggestions and Comments	畔柳　和代
15	1/19	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000109				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/7	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/14	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/21	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/28	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/4	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/11	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/18	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/25	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/2	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/9	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/16	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/6	09:10-10:40		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/13	09:10-10:40		Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/20	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000110				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：木曜1限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	10/7	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	10/14	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	10/21	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	10/28	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	11/4	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	11/11	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	11/18	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	11/25	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	12/2	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	12/9	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	12/16	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	1/6	09:10-10:40		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	1/13	09:10-10:40		Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代
15	1/20	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有 （再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000111				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・限：木曜2限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳　和代
2	10/7	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
3	10/14	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
4	10/21	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
5	10/28	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
6	11/4	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
7	11/11	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
8	11/18	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
9	11/25	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
10	12/2	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
11	12/9	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
12	12/16	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
13	1/6	10:50-12:20		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳　和代
14	1/13	10:50-12:20		Review	Comments and Suggestions	畔柳　和代
15	1/20	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	畔柳　和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価：participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価：有（再評価方法：「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000112				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜2限
・対象学科：医学科　歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	猪熊　恵子
2	10/7	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
3	10/14	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
4	10/21	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
5	10/28	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
6	11/4	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
7	11/11	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
8	11/18	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
9	11/25	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
10	12/2	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
11	12/9	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
12	12/16	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊　恵子
13	1/6	10:50-12:20		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊　恵子
14	1/13	10:50-12:20		Feedback	Return Graded Essays	猪熊　恵子
15	1/20	10:50-12:20		English Oral Exam	Poster Presentation	猪熊　恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法 評価：class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価：　有（再評価方法 「英語」としての学年末課題） ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先（メールアドレス） inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日　12時30分～13時 木曜日　　12時30分～13時20分 管理研究棟　3階　猪熊研究室

時間割番号	000113				
科目名	英語 d			科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜1限
・対象学科：保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）
試験の受験資格

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	野口　大斗
2	10/7	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口　大斗
3	10/14	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口　大斗
4	10/21	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口　大斗
5	10/28	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口　大斗
6	11/4	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口　大斗
7	11/11	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口　大斗
8	11/18	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口　大斗
9	11/25	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口　大斗
10	12/2	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口　大斗
11	12/9	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口　大斗
12	12/16	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口　大斗
13	1/6	09:10-10:40		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口　大斗
14	1/13	09:10-10:40		Review	In-class Exam	野口　大斗
15	1/20	09:10-10:40		English Oral Test	Poster Presentation	野口　大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価：Participation : 30%　In-class writing assignments and quizzes：40%　End-of-term essay：30%

再評価：　有（再評価方法　「英語」としての学年末課題）

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績（90%）と学年末に行われる oral test の成績（10%）を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000117			
科目名	英語 d		科目 ID	LA-115204-Z
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜1限
・対象：口腔保健衛生学・看護学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.

The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.

授業の到達目標

To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.

To develop the ability to present the results of research-based writing.

To improve the ability to read different types of written works effectively.

To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
2	10/6	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
3	10/13	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
4	10/20	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
5	10/27	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
6	11/10	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	11/17	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	11/24	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	12/1	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	12/8	09:10-		Topic 3 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, Reed Jesse R

		10:40		Project	Activities	yan
11	12/15	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse R yan
12	12/22	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse R yan
13	1/5	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse R yan
14	1/12	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse R yan
15	1/19	09:10-10:40		Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS, Reed Jesse R yan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00

毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000158			
科目名	日本語 a		科目 ID	LA-115301-Z
担当教員	甲賀　真広[KOUGA Masahiro]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 4 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 3-1、3-2、3-6

授業の目的、概要等

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論する。これを通じて、日本の文化や社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭および小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得も目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
2	4/19	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
3	4/26	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
4	5/10	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
5	5/17	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
6	5/24	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
7	5/31	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
8	6/7	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
9	6/14	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
10	6/21	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
11	6/28	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
12	7/5	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
13	7/12	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
14	7/19	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる
15	7/26	14:50-16:20	物理学実験室	甲賀　真広, 中島　ひかる

授業方法

講義、読解、ディスカッション、口頭発表、小論文演習

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)　　40%　　その他(課題)　　60%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。

試験の受験資格

期末試験は実施しない。

教科書

特になし
参考書 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。
履修上の注意事項 遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000159			
科目名	日本語 b		科目 ID	LA-115302-Z
担当教員	甲賀　真広[KOUGA Masahiro]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3-1、3-2、3-6

授業の目的、概要等

現代日本社会や文化に関する映像を見ながら、ディスカッションを行う。これを通じて、日本・自国を中心に文化や社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	甲賀　真広, 中島　ひかる

授業方法

ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

評価 ： 試験　　% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)　　40%　　その他(課題)　　60%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。

試験の受験資格

期末試験は実施しない。

教科書

特になし

参考書
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。
履修上の注意事項
遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000160			
科目名	日本語 c		科目 ID	LA-115303-Z
担当教員	甲賀　真広[KOUGA Masahiro]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 4 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 3-1、3-2、3-6

授業の目的、概要等

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論する。これを通じて、日本の文化や社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭および小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得も目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
2	10/11	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
3	10/18	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
4	10/25	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
5	11/1	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
6	11/8	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
7	11/15	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
8	11/22	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
9	11/29	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
10	12/6	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
11	12/13	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
12	12/20	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
13	1/17	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
14	1/24	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる
15	1/31	14:50-16:20		甲賀　真広, 中島　ひかる

授業方法

講義、読解、ディスカッション、口頭発表、小論文演習

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)　　40%　　その他(課題)　　60%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。

試験の受験資格

期末試験は実施しない。

教科書

特になし

参考書
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。
履修上の注意事項
遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000161			
科目名	日本語 d		科目 ID	LA-115304-Z
担当教員	甲賀　真広[KOUGA Masahiro]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 1 限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3-1、3-2、3-6

授業の目的、概要等

現代日本社会や文化に関する映像を見ながら、ディスカッションを行う。これを通じて、日本・自国を中心に文化や社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
2	10/6	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
3	10/13	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
4	10/20	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
5	10/27	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
6	11/10	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
7	11/17	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
8	11/24	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
9	12/1	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
10	12/8	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
11	12/15	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
12	12/22	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
13	1/5	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
14	1/12	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる
15	1/19	09:10-10:40		甲賀　真広, 中島　ひかる

授業方法

ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。

成績評価の方法

評価　：　試験　　%　・　レポート　　%　・　その他（　授業参加　）　　40%　　その他（　課題　）　　60%

再評価：　有（再評価方法）　・　無

日本語は a/b/c/d/の総合点で 4 単位まとめて評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。

試験の受験資格

期末試験は実施しない。

教科書

特になし

参考書
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。
履修上の注意事項
遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000163			
科目名	ドイツ語 a		科目 ID	LA-115401-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 1	オリエンテーション。アルファベット。第 1 課：発音。7～9 ページ	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。
2	4/19	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 2	第 1 課：発音続き。第 2 課：動詞の現在人称変化 1：8～11 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
3	4/26	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 3	第 2 課：動詞の現在人称変化 2：10～13 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
4	5/10	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 4	第 2 課復習。第 3 課：名詞の性と格 1：14～17 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
5	5/17	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 5	第 3 課：名詞の性と格と複数 2：14～17 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
6	5/24	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 6	第 3 課復習。第 6 課：不規則動詞 1：26～29 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
7	5/31	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 7	第 6 課：不規則動詞と命令形 2：26～29 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
8	6/7	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 8	第 6 課復習。第 4 課：定冠詞類（1）18～21 ページと練習問題。	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
9	6/14	13:10-	8 番教室	ドイツ語 a	第 4 課：不定冠詞類（2）18～21 ページ	SCHINZIN	教科書と辞書を持ってくること。

		14:40		文法 9	と練習問題。	GER EMI	言われたところまで予習してくること。
10	6/21	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 10	第 4 課復習。第 5 課:人称代名詞 1:22～25 ページと練習問題。	SCHINZIN GER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
11	6/28	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 11	第 5 課:人称代名詞と非人称の es 2:22～25 ページと練習問題。	SCHINZIN GER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
12	7/5	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 12	第 5 課復習。第 6 課:命令形復習。練習問題。第 7 課:前置詞 1 導入。	SCHINZIN GER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
13	7/12	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 13	第 7 課:前置詞 1:30～35 ページ。練習問題。	SCHINZIN GER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
14	7/19	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 14	第 7 課:前置詞 2:30～35 ページ。練習問題。	SCHINZIN GER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
15	7/26	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a 文法 15	前期筆記試験	SCHINZIN GER EMI	遅刻・欠席はしないこと。今まで習ったところを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は、質の悪いものもあるので、

使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000167		
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 1	オリエンテーション。アルファベット、第 1 課：発音：7～9 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。
2	4/19	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 2	第 1 課：発音続き；第 2 課：動詞の現在人称変化 1：8～11 ページと練習問題。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
3	4/26	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 3	第 2 課：動詞の現在人称変化 2＋sein, haben の現在人称変化と練習問題：10～13 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
4	5/10	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 4	第 2 課復習。第 3 課：名詞の性と格。練習問題。14～15 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
5	5/17	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 5	第 3 課：名詞の性と格と複数。練習問題。14～17 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
6	5/24	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 6	第 4 課：定冠詞類(1)と練習問題。18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
7	5/31	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 7	第 4 課：不定冠詞類(2)と練習問題。18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
8	6/7	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 8	第 5 課：人称代名詞と練習問題：22～25 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
9	6/14	13:10-	9 番教室	ドイツ語	第 5 課：人称代名詞；語順；非人称の	立川 睦美, SC	教科書と辞書を持ってくること。

		14:40		a 文法 9	es .練習問題。22～25 ページ。	HINZINGER EMI	指定されたところまで予習をしてくること。
10	6/21	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 10	第 6 課:不規則動詞 1;練習問題。26～29 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
11	6/28	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 11	第 6 課:不規則動詞と命令形。練習問題。26～29 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
12	7/5	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 12	第 6 課復習。第 7 課:前置詞 1:30～33 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
13	7/12	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 13	第 7 課:前置詞 2:練習問題。30～33 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
14	7/19	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 14	第 7 課:プラスアルファ 30～35 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習をしてくること。
15	7/26	13:10-14:40	9 番教室	ドイツ語 a 文法 15	前期筆記試験	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000168		
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 1	オリエンテーション。アルファベット。第 1 課：発音：7～9 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。
2	4/19	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 2	第 1 課発音続き；第 2 課：動詞の現在人称変化 1：8～11 ページと練習問題。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	4/26	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 3	第 2 課：動詞の現在人称変化＋sein, haben の現在人称変化と練習問題＋10～13 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/10	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 4	第 2 課復習；第 3 課：名詞の性と格 1：練習問題。14～15 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/17	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 5	第 3 課：名詞の性と格と複数。練習問題。14～17 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/24	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 6	第 3 課復習。第 4 課：定冠詞類（1）練習問題。18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	5/31	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 7	第 4 課：不定冠詞類（2）練習問題。18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	6/7	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 8	第 4 課復習。第 5 課：人称代名詞 1：22～25 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	6/14	14:50-	4 番教室	ドイツ語	第 5 課：人称代名詞；語順；非人称の	立川 睦美, SC	教科書と辞書を持ってくること。

		16:20		a 文法 9	es。22～25 ページ。	HINZINGER EMI	指定されたところまで予習してくること。
10	6/21	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 10	第 6 課:不規則動詞 1:練習問題。26～29 ページ。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	6/28	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 11	第 6 課:不規則動詞と命令形。練習問題。26～29 ページ。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	7/5	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 12	第 7 課:前置詞 1:練習問題。30～33 ページ。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	7/12	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 13	第 7 課:前置詞 2:練習問題。30～33 ページ。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	7/19	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 14	第 7 課:プラスアルファ 30～35 ページ。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	7/26	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a 文法 15	前期筆記試験	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は、 質が悪いこともあるので、使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000172		
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 1	オリエンテーション。アルファベット。第 1 課：発音 7～9 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 2	第 1 課続き。第 2 課：動詞の現在人称変化 1：8～11 ページと練習問題。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 3	第 2 課：動詞の現在人称変化 sein, haben の現在人称変化；練習問題。10～13 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 4	第 2 課復習。第 3 課：名詞の性と格 14～15 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 5	第 3 課：名詞の性と格と複数。14～17 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 6	第 3 課復習。第 4 課：定冠詞類；18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 7	第 4 課：不定冠詞類；18～21 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 8	第 4 課復習。第 5 課：人称代名詞；22～25 ページ	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	6/16	09:10-	遠隔授業	ドイツ語	第 5 課：人称代名詞と語順、非人称の	立川 睦美, SC	教科書と辞書を持ってくること。

		10:40	（同期型）	a 文法 9	es 22～25 ページ。	HINZINGER EMI	指定されたところまで予習してくること。
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 10	第 5 課復習。第 6 課：不規則動詞：26～29 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 11	第 6 課：不規則動詞と命令形。26～29 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 12	第 6 課復習。第 7 課：前置詞 1：30～33 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 13	第 7 課：前置詞 2：30～33 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 14	第 7 課プラスアルファ 30～35 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 a 文法 15	前期面接試験	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による；Zoom での遠隔授業；

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也［ほか］責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000174		
科目名	ドイツ語 a	科目 ID	LA-115401-Z
担当教員	大下　理世[OOSHIMO Rise]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 a は、発音から始まり、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、不規則変化動詞、冠詞類と人称代名詞、前置詞と名詞の格変化まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業（同期型），2 番教室	ドイツ語 a 文法 1	オリエンテーション。アルファベット。第 1 課：発音。7～9 ページ	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。
2	4/19	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 2	第 1 課：発音続き。第 2 課：動詞の現在人称変化 1：8～11 ページと練習問題。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
3	4/26	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 3	第 2 課：動詞の現在人称変化 2：10～13 ページと練習問題。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
4	5/10	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 4	第 2 課復習。第 3 課：名詞の性と格 1：14～17 ページと練習問題。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
5	5/17	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 5	第 3 課：名詞の性と格と複数 2：14～17 ページと練習問題。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
6	5/24	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 6	第 4 課：定冠詞類（1）と練習問題。18～21 ページ。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
7	5/31	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 7	第 4 課：不定冠詞類(2)と練習問題。18～21 ページ。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
8	6/7	14:50-16:20	3 番教室，2 番教室	ドイツ語 a 文法 8	第 5 課：人称代名詞と練習問題：22～25 ページ。	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
9	6/14	14:50-	3 番教室，2 番	ドイツ語	第 5 課：人称代名詞；語順；非人称	大下　理世，SC	教科書と辞書を持ってくるこ

		16:20	教室	a 文法 9	の es .練習問題。22～25 ページ。	HINZINGER E MI	と。言われたところまで予習してくること
10	6/21	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 10	第 6 課:不規則動詞 1;練習問題。26～29 ページ。	大下 理世, SC HINZINGER E MI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
11	6/28	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 11	第 6 課:不規則動詞と命令形。練習問題。26～29 ページ。	大下 理世, SC HINZINGER E MI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
12	7/5	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 12	第 6 課復習。第 7 課:前置詞 1:30～33 ページ。	大下 理世, SC HINZINGER E MI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
13	7/12	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 13	第 7 課:前置詞 1:30～35 ページ。練習問題。	大下 理世, SC HINZINGER E MI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
14	7/19	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 14	第 7 課:前置詞 2:30～35 ページ。練習問題。	大下 理世, SC HINZINGER E MI	教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること
15	7/26	14:50-16:20	3 番教室, 2 番教室	ドイツ語 a 文法 15	前期筆記試験	大下 理世, SC HINZINGER E MI	遅刻・欠席はしないこと。今まで習ったところを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、文法を学ぶために授業中に様々な応用練習をします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000164			
科目名	ドイツ語 b		科目 ID	LA-115402-Z
担当教員	茅野　大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom による遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。アルファベット。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch!より、プリント使用。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：プリント。教科書 3～8 ページ。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 3	発音・挨拶：復習。第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課 2：Wie heißen Sie? 9～13 ページ。プリント：Studium.	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 5	第 1 課 3：Wie heißen Sie? 9～15 ページ。プリント：Studium; 家族のことなどを聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 6	第 1 課復習；プリント：家族のことなどを聞く。第 2 課に入る。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 7	第 2 課 1：Was ist Ihr Hobby? 17～21 ページ；プリント：趣味について聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期	ドイツ語 b 会話	第 2 課 2：Was ist Ihr Hobby? 22～23 ページ。プリント：趣味について聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGE	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところま

			型)	8		R EMI	で予習してくること。
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話9	第2課復習。第3課1:Wo ist der Bahnhof? 25～29ページ。道を聞く、そしてそれに答える練習。（ミュンヘンのDVD）	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話10	第3課2:Wo ist der Bahnhof? 30～31ページ。（ミュンヘンDVDの続き）	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話11	第3課復習。第4課1:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？33～37ページ。様々な質問に答える練習。	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話12	第4課1:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？33～39ページ。様々な質問に答える練習。買い物の練習。	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話13	第4課2:第4課1:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？33～39ページ。買い物の練習。プリント:Essen und Trinken.	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話14	第5課1:Was essen Sie gern? 41～45ページ;プリント:Essen und Trinken.	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語b 会話15	前期面接試験	茅野 大樹, SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoomによる遠隔授業

授業内容

前期には教科書のLektion 5までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が50パーセント。

再評価:有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は、質の悪いものもあるので、 使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000165		
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。アルファベット。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch!より、プリント使用。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/19	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：プリント続き；教科書 3～8 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
3	4/26	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 3	発音・挨拶復習。第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ；プリント：Studium.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
4	5/10	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課：Wie heißen Sie? 14～15 ページ；プリント：Studium；家族のことなどを聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
5	5/17	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 5	第1課復習；プリント：家族のことなどを聞く。第2課に入る。あるいは：プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
6	5/24	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 6	第2課：Was st Ihr Hobby? （1）17～21ページ；プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
7	5/31	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 7	第2課：Was st Ihr Hobby? （2）22～23ページ；プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
8	6/7	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話	第3課：Wo ist der Bahnhof? (1) 25～29 ページ。道を聞く、それに答える練習。（ミュンヘン	SCHINZINGER E	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予

				8	の DVD)	MI	習してくること。
9	6/14	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 9	第3課:Wo ist der Bahnhof? (2) 30～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。(ミュンヘンの DVD 続き)	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
10	6/21	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 10	第 3 課復習。第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer? (1):33～37 ページ。様々な質問に答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
11	6/28	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 11	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer? (2):33～39 ページ。様々な質問に答える練習。買い物の練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
12	7/5	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 12	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer? (3):33～39 ページ。買い物の練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
13	7/12	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 13	第 4 課復習。プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
14	7/19	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 14	第 5 課:Was essen Sie gern?(1)41～45 ページ;プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
15	7/26	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 b 会話 15	前期筆記試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合は, それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は、 質の悪いものもあるので、使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000166		
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z
担当教員	茅野　大樹[CHINO Hiroki]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。アルファベット。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch! より、プリント使用。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：続き。プリント；教科書 3～8 ページ。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 3	発音・挨拶復習。第 1 課：Wie heißen Sie?（1）9～13 ページ：プリント：Studium.	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課：Wie heißen Sie?（2）9～15 ページ：プリント：Studium；家族のことなどを聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 5	第1課復習。プリント：家族のことなどを聞く。第2課に入るかあるいは：プリント：趣味について聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 6	第2課：Was ist Ihr Hobby?（1）:17～21ページ；プリント：趣味について聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 7	第2課：Was ist Ihr Hobby?（2）:22～23ページ；プリント：趣味について聞く。	茅野　大樹, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期	ドイツ語 b 会話	第2課復習。第3課：Wo ist der Bahnhof?（1）25～29 ページ。道を聞く、それに答える練習。	茅野　大樹, SCHINZINGE	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところま

			型)	8	(ミュンヘンの DVD)	R EMI	で予習してくること。
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 9	第3課:Wo ist der Bahnhof? (2) 30～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。(ミュンヘンの DVD 続き)	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 10	第 3 課復習。第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？(1)33～37 ページ;様々な質問に答える練習。	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 11	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？(2)33～39 ページ;様々な質問に答える練習。買い物の練習。	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 12	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？(3)33～39 ページ;様々な質問に答える練習。買い物の練習。	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 13	第 4 課復習。プリント:Essen und Trinken.	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 14	第 5 課:Was essen Sie gern? (1):41～45 ページ。プリント:Essen und Trinken.	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 15	前期面接試験	茅野 大樹, S CHINZINGE R EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合は, それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000169				
科目名	ドイツ語ｂ			科目ID	LA-115402-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。アルファベット。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch!よりプリント使用。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：プリント；教科書 3～8 ページ。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 3	発音・挨拶復習。第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ。プリント：Studium.	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 5	第 1 課：Wie heißen Sie? 14～15 ページ。プリント：Studium; 家族のことなどを聞く。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 6	第 1 課復習：プリント：家族のことなどを聞く；第 2 課に入る、あるいは趣味についてのプリント。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 7	第 2 課：Was ist Ihr Hobby? 17～21ページ；プリント：趣味について聞く。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業（同期	ドイツ語 b 会話	第 2 課：Was ist Ihr Hobby?（2） 17～23ページ；プリント：趣味について聞く。	立川　睦美, SCHINZINGE	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところま

			型)	8		R EMI	で予習してくること。
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 9	第3課:Wo ist der Bahnhof?(1)25～29 ページ。道を聞く、それに答える練習。	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 10	第3課:Wo ist der Bahnhof?(2)30～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 11	第 3 課復習。第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？(1)33～37 ページ。様々な質問に答える練習。	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 12	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？(2)33～39 ページ。様々な質問に答える練習。買い物の練習。	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 13	第 4 課:38～39 ページ。買い物の練習。プリント:Essen und Trinken.	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 14	第 5 課:Was essen Sie gern?(1)41～45 ページ;プリント:Essen und Trinken.	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	ドイツ語 b 会話 15	前期面接試験	立川 睦美, SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000170		
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch!よりプリント使用。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：プリント；教科書 3～8 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 3	第 1 課：Wie heißen Sie？10～13 ページ。プリント：Studium.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課：Wie heißen Sie？10～15　ページ。プリント：Studium.　家族のことなどを聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 5	第 1 課：Wie heißen Sie？10～15　ページ。プリント：Studium.　家族のことなどを聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 6	第 2 課：Was ist Ihr Hobby? 17～21 ページ。プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 7	第 2 課：Was ist Ihr Hobby? 17～23 ページ。プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話	第 2 課 22～23 ページ復習。第 3 課：Wo ist der Bahnhof? 25～29 ページ。道を聞く、それ	SCHINZINGER	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予

				8	に答える練習。	EMI	習してくること。
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 9	第 3 課:Wo ist der Bahnhof? 25～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 10	第 3 課:Wo ist der Bahnhof? 30～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 11	第 3 課復習。第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？33～37 ページ。様々な質問に答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 12	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer？33～39 ページ。様々な質問に答える練習。買い物の練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 13	第 4 課:38～39 ページ。買い物の練習。プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 14	第 5 課:Was essen Sie gern?(1)　41～45 ページ。プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 15	前期面接試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000173		
科目名	ドイツ語 b	科目 ID	LA-115402-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 b は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 1	オリエンテーション。発音・挨拶 1：Natürlich auf Deutsch!よりプリント使用。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 2	発音・挨拶 2：プリント続き。教科書 3～8 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 3	発音・挨拶復習。第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 4	第 1 課：Wie heißen Sie? 9～13 ページ。プリント：Studium.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 5	第 1 課：Wie heißen Sie? 9～15 ページ。プリント：Studium; 家族のことなどを聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 6	家族のことなどを聞く。プリント：趣味について聞く。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 7	第 2 課：Was ist Ihr Hobby? 17～21 ページ。趣味のプリント。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話	第 2 課：Was ist Ihr Hobby? 17～23 ページ。趣味のプリント。	SCHINZINGER E	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予

				8		MI	習してくること。
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 9	第 3 課:Wo ist der Bahnhof? 25～29 ページ。道を聞く、それに答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 10	第 3 課:Wo ist der Bahnhof? 25～31 ページ。道を聞く、それに答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 11	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer? 33～37 ページ。様々な質問に答える練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 12	第 4 課:Wie gefällt Ihnen dieses Zimmer? 33～39 ページ。 様々な質問に答える練習。買い物の練習。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 13	第 4 課:38～39 ページ復習。 プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 14	第 5 課:Was essen Sie gern?（1） 41～45 ページ。プリント:Essen und Trinken.	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	ドイツ語 b 会話 15	前期面接試験	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

前期には教科書の Lektion 5 までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価:有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也［ほか］責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三

修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合は, それに入った独和辞典を使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止です。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000176			
科目名	ドイツ語 c		科目 ID	LA-115403-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 1	第 8 課：分離動詞・非分離動詞	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。前期に習ったことを復習しておく。練習問題に積極的に取り組むこと。次回までの予習の範囲が示される。
2	10/11	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 2	第 8 課：分離動詞・非分離動詞；接続詞と副文	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
3	10/18	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 3	第 8 課：接続詞と副文； 第 9 課：話法の助動詞	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
4	10/25	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 4	第 9 課：話法の助動詞 2	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
5	11/1	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 5	第 10 課：動詞の3基本形と過去形1	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
6	11/8	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 6	第 10 課：動詞の3基本形と過去形2	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
7	11/15	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 7	第 11 課：現在完了形 1	SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
8	11/22	13:10-		ドイツ語	第 11 課：現在完了形	SCHINZI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に

		14:40		c文法 8	2；受動文	NGER E MI	取り組むこと。
9	11/29	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 9	第 11 課：受動文2；第 12 課：形容詞の格変化1	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
10	12/6	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 10	第 12 課：形容詞の格変化2	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
11	12/13	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 11	第 12 課：形容詞・比較級・最上級	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
12	12/20	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 12	第 13 課：再帰代名詞・再帰動詞	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
13	1/17	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 13	第 13 課：zu 不定詞；第 14 課関係代名詞	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
14	1/24	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 14	第 14 課：関係文	SCHINZI NGER E MI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
15	1/31	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 15	ドイツ語 c,d, の筆記試験を行う。	SCHINZI NGER E MI	遅刻・欠席しないように。

授業方法

講義と演習による；

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有 （再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,：白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也［ほか］責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。
備考
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30－18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000180		
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜 3 限
・対象学科：保健衛生・口腔保健
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 1	第 8 課：分離動詞・非分離動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。前期に習ったことを復習しておく。練習問題に積極的に取り組むこと。次回までの予習の範囲が示される。
2	10/11	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 2	第 8 課：分離動詞・非分離動詞；接続詞と副文	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
3	10/18	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 3	第 8 課：接続詞と副文；第 9 課：話法の助動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
4	10/25	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 4	第 9 課：話法の助動詞2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
5	11/1	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 5	第 10 課：動詞の3基本形と過去形1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
6	11/8	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 6	第 10 課：動詞の3基本形と過去形2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
7	11/15	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 7	第 11 課：現在完了形 1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
8	11/22	13:10-14:40		ドイツ語 c文法 8	第 11 課：現在完了形 2；受動文	立川　睦美 SC HINZINGER	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。

						EMI	
9	11/29	13:10-14:40		ドイツ語c文法 9	第 11 課:受動文2;第 12 課:形容詞の格変化1	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
10	12/6	13:10-14:40		ドイツ語c文法 10	第 12 課:形容詞の格変化2	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
11	12/13	13:10-14:40		ドイツ語c文法 11	第 12 課:形容詞・比較級・最上級	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
12	12/20	13:10-14:40		ドイツ語c文法 12	第 13 課:再帰代名詞・再帰動詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
13	1/17	13:10-14:40		ドイツ語c文法 13	第 13 課:zu 不定詞;第 14 課:関係代名詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
14	1/24	13:10-14:40		ドイツ語c文法 14	第 14 課:関係文	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
15	1/31	13:10-14:40		ドイツ語c文法 15	ドイツ語 c,d, の筆記試験を行う。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないように。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法/荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch/根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch/在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000181		
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 1	第 8 課：分離動詞・非分離動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。前期に習ったことを復習しておく。練習問題に積極的に取り組むこと。次回までの予習の範囲が示される。
2	10/11	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 2	第 8 課：分離動詞・非分離動詞；接続詞と副文	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
3	10/18	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 3	第 8 課：接続詞と副文； 第 9 課：話法の助動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
4	10/25	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 4	第 9 課：話法の助動詞2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
5	11/1	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 5	第 10 課：動詞の3基本形と過去形1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
6	11/8	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 6	第 10 課：動詞の3基本形と過去形2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
7	11/15	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 7	第 11 課：現在完了形 1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
8	11/22	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 8	第 11 課：現在完了形 2；受動文	立川　睦美 SC HINZINGER	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。

						EMI	
9	11/29	14:50-16:20		ドイツ語c文法 9	第 11 課:受動文2;第 12 課:形容詞の格変化1	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
10	12/6	14:50-16:20		ドイツ語c文法 10	第 12 課:形容詞の格変化2	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
11	12/13	14:50-16:20		ドイツ語c文法 11	第 12 課:形容詞・比較級・最上級	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
12	12/20	14:50-16:20		ドイツ語c文法 12	第 13 課:再帰代名詞・再帰動詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
13	1/17	14:50-16:20		ドイツ語c文法 13	第 13 課:zu 不定詞;第 14 課:関係代名詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
14	1/24	14:50-16:20		ドイツ語c文法 14	第 14 課:関係文	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
15	1/31	14:50-16:20		ドイツ語c文法 15	ドイツ語 c,d, の筆記試験を行う。	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないように。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法/荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch/根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch/在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000185		
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z
担当教員	大下　理世[OOSHIMO Rise]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 1	第 8 課：分離動詞・非分離動詞	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。前期に習ったことを復習しておく。練習問題に積極的に取り組むこと。次回までの予習の範囲が示される。
2	10/11	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 2	第 8 課：分離動詞・非分離動詞；接続詞と副文	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
3	10/18	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 3	第8課：接続詞と副文；第9課：話法の助動詞	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
4	10/25	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 4	第9課：話法の助動詞2	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
5	11/1	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 5	第10課：動詞の3基本形と過去形1	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
6	11/8	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 6	第10課：動詞の3基本形と過去形2	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
7	11/15	14:50-16:20		ドイツ語 c文法 7	第11課：現在完了形1	大下　理世，SCHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
8	11/22	14:50-		ドイツ語	第11課：現在完了形	大下　理世，S	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題

		16:20		c文法 8	2；受動文	CHINZINGER EMI	に取り組むこと。
9	11/29	14:50-16:20		ドイツ語c文法 9	第11課：受動文2；第12課：形容詞の格変化1	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
10	12/6	14:50-16:20		ドイツ語c文法10	第12課：形容詞の格変化2	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
11	12/13	14:50-16:20		ドイツ語c文法11	第12課：形容詞・比較級・最上級	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
12	12/20	14:50-16:20		ドイツ語c文法12	第13課：再帰代名詞・再帰動詞	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
13	1/17	14:50-16:20		ドイツ語c文法13	第13課：zu 不定詞；第14課：関係代名詞	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
14	1/24	14:50-16:20		ドイツ語c文法14	第14課：関係文	大下　理世，S CHINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
15	1/31	14:50-16:20		ドイツ語c文法15	ドイツ語 c,d, の筆記試験を行う。	大下　理世，S CHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないように。

授業方法

講義と演習による；Zoom での遠隔授業

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が70パーセント。

再評価：有　（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法／荻原耕平，山崎泰孝著,荻原，耕平,山崎，泰孝,：白水社，2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也［ほか］責任編集執筆,根本，道也,恒吉，良隆,吉中，幸平,成田，克史,福元，圭太,重竹，芳江,有村，隆広,新保，弼彬,本田，義昭,鈴木，敦典,：同学社，2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル，山本明，南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本，明, 1928-,南原，実, 1930-2013,：三修社，2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間，進,：三修社，2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000186		
科目名	ドイツ語 c	科目 ID	LA-115403-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。

授業の到達目標

1）ドイツ語 a,b,c,d, を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 c は、分離動詞・非分離動詞、話法の助動詞、動詞の三基本形と過去時称、完了時称、再帰動詞、受動態、形容詞、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 1	第 8 課：分離動詞・非分離動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。前期に習ったことを復習しておく。練習問題に積極的に取り組むこと。次回までの予習の範囲が示される。
2	10/6	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 2	第 8 課：分離動詞・非分離動詞；接続詞と副文	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
3	10/13	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 3	第 8 課：接続詞と副文； 第 9 課：話法の助動詞	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
4	10/20	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 4	第 9 課：話法の助動詞2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
5	10/27	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 5	第 10 課：動詞の3基本形と過去形1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
6	11/10	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 6	第 10 課：動詞の3基本形と過去形2	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
7	11/17	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 7	第 11 課：現在完了形 1	立川　睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
8	11/24	09:10-10:40		ドイツ語 c文法 8	第 11 課：現在完了形 2；受動文	立川　睦美 SC HINZINGER	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。

						EMI	
9	12/1	09:10-10:40		ドイツ語c文法 9	第 11 課:受動文2;第 12 課:形容詞の格変化1	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
10	12/8	09:10-10:40		ドイツ語c文法 10	第 12 課:形容詞の格変化2	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
11	12/15	09:10-10:40		ドイツ語c文法 11	第 12 課:形容詞・比較級・最上級	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
12	12/22	09:10-10:40		ドイツ語c文法 12	第 13 課:1 再帰代名詞・再帰動詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
13	1/5	09:10-10:40		ドイツ語c文法 13	第 13 課:zu 不定詞;第 14 課:関係代名詞	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
14	1/12	09:10-10:40		ドイツ語c文法 14	第 14 課:関係文	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	教科書と辞書を忘れないこと。積極的に練習問題と課題に取り組むこと。
15	1/19	09:10-10:40		ドイツ語c文法 15	後期面接試験	立川 睦美 SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないように。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 14 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

プロムナードやさしいドイツ語文法/荻原耕平, 山崎泰孝著,荻原, 耕平,山崎, 泰孝,:白水社, 2019

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch/根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008

アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch/在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000175			
科目名	ドイツ語 d		科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	茅野　大樹[CHINO Hiroki]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/6	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/13	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。　49～53 ページ。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/20	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 4	第 6 課：週末の予定、ホテルに電話する。49～55 ページ。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/27	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 5	第 6 課復習。プリント：Knnen Sie Deutschland? 1	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/10	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 6	Kennen Sie Deutschland? 2	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/17	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 7	プリント：ドイツと周りの国々。1	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/24	10:50-		ドイツ語	ドイツと周りの国々。復習。　第 7 課：駅で	茅野　大樹, SC	教科書と独和辞典を持ってくるこ

		12:20		d 会話 8	の会話。午前中の予定。57～60 ページ。	HINZINGER EMI	と。指定されたところまで予習してくること。
9	12/1	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課:旅行の予定:駅での会話、時間表現;午前中と午後の予定。57～61 ページ。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/8	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課:駅での会話;週末の予定についての会話。62～63 ページ。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/15	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 11	第 7 課:62～63 ページ。第 8 課:週末に何をしたか話す練習。65～67 ページ。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/22	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課:週末に何をしたか;1 日の出来事を現在完了形で話す練習。65～69 ページ。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/5	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課:週末のことについて話す会話:65～71 ページ。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/12	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課:70～71 ページ。過去のことについて話す練習。	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/19	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 15	後期面接試験	茅野 大樹, SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないように。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,：三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000177		
科目名	ドイツ語 d	科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜4限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

国府台キャンパス；

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/11	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/18	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。 49～53 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/25	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 4	第 6 課：週末の予定、ホテルに電話する。49～55 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	11/1	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 5	第 6 課復習。プリント：Knnen Sie Deutschland? 1	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/8	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 6	Kennen Sie Deutschland? 2	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/15	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 7	プリント：ドイツと周りの国々。1	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/22	14:50-		ドイツ語	ドイツと周りの国々。復習。 第 7 課：駅での	SCHINZI	教科書と独和辞典を持ってくること。

		16:20		d 会話 8	会話。午前中の予定。57～60 ページ。	NGER E MI	指定されたところまで予習してくること。
9	11/29	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課:旅行の予定:駅での会話、時間表現;午前中と午後の予定。57～61 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/6	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課:駅での会話;週末の予定についての会話。62～63 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/13	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 11	第 7 課:62～63 ページ。第 8 課:週末に何をしたか話す練習。65～67 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/20	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課:週末に何をしたか;1 日の出来事を現在完了形で話す練習。65～69 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/17	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課:週末のことについて話す会話:65～71 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/24	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課:70～71 ページ。過去のことについて話す練習。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/31	14:50-16:20		ドイツ語 d 会話 15	ドイツ語 c,d, の筆記試験を行う。	SCHINZI NGER E MI	遅刻・欠席しないように。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000178		
科目名	ドイツ語 d	科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	茅野　大樹[CHINO Hiroki]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/6	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/13	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。 49～53 ページ。	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/20	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 4		茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/27	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 5	ドイツと周りの国々：2	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/10	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 6	ドイツと周りの国々：3	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/17	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 7	第 7 課1：駅での会話	茅野　大樹, SC HINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/24	09:10-		ドイツ語 d	第 7 課 2：時間表現；一日の出来事を	茅野　大樹, SC	教科書と独和辞典を持ってくること。

		10:40		会話 8	話す練習。	HINZINGER E MI	指定されたところまで予習してくること。
9	12/1	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課 3:旅行計画や一日の予定の会話	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/8	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課 4:旅行計画や一日の予定の会話	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/15	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 11	第 8 課 1:週末や休暇の過去の出来事について話す。	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/22	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課 2:現在完了形で一日のことを話す。	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/5	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課 3:週末の旅行についての会話	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/12	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課4:過去形で報告する練習。	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/19	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 15	後期面接試験	茅野 大樹, SC HINZINGER E MI	遅刻・欠席しないように。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業;

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000179		
科目名	ドイツ語 d	科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/6	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/13	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。 49～53 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/20	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 4	第 6 課：週末の予定、ホテルに電話する。49～55 ページ。	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/27	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 5	第 6 課復習。プリント：Knnen Sie Deutschland? 1	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/10	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 6	Kennen Sie Deutschland? 2	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/17	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 7	プリント：ドイツと周りの国々。1	SCHINZINGER EMI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/24	10:50-		ドイツ語	ドイツと周りの国々。復習。 第 7 課：駅での	SCHINZI	教科書と独和辞典を持ってくること。

		12:20		d 会話 8	会話。午前中の予定。57～60 ページ。	NGER E MI	指定されたところまで予習してくること。
9	12/1	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課:旅行の予定:駅での会話、時間表現;午前中と午後の予定。57～61 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/8	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課:駅での会話;週末の予定についての会話。62～63 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/15	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 11	第 7 課:62～63 ページ。第 8 課:週末に何をしたか話す練習。65～67 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/22	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課:週末に何をしたか;1 日の出来事を現在完了形で話す練習。65～69 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/5	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課:週末のことについて話す会話:65～71 ページ。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/12	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課:70～71 ページ。過去のことについて話す練習。	SCHINZI NGER E MI	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/19	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 15	後期面接試験	SCHINZI NGER E MI	遅刻・欠席しないように。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000182		
科目名	ドイツ語 d	科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。
2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/6	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/13	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。 49～53 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/20	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 4	第 6 課：週末の予定、ホテルに電話する。49～55 ページ。	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	10/27	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 5	第 6 課復習。プリント：Knnen Sie Deutschland? 1	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
6	11/10	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 6	Kennen Sie Deutschland? 2	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/17	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 7	プリント：ドイツと周りの国々。1	SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/24	09:10-		ドイツ語	ドイツと周りの国々。復習。 第 7 課：駅で	SCHINZI	プリントと教科書と辞書を持ってくる

		10:40		d 会話 8	の会話。午前中の予定。57～60 ページ。	NGER E MI	こと。指定されたところまで予習してくること。
9	12/1	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課:旅行の予定:駅での会話、時間表現;午前中と午後の予定。57～61 ページ。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/8	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課:駅での会話;週末の予定についての会話。62～63 ページ。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/15	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 11	第 7 課:62～63 ページ。第 8 課:週末に何をしたか話す練習。65～67 ページ。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/22	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課:週末に何をしたか;1 日の出来事を現在完了形で話す練習。65～69 ページ。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/5	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課:週末のことについて話す会話:65～71 ページ。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/12	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課:70～71 ページ。過去のことについて話す練習。	SCHINZI NGER E MI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/19	09:10-10:40		ドイツ語 d 会話 15	後期面接試験	SCHINZI NGER E MI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々について学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先（メールアドレス） schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000183			
科目名	ドイツ語 d		科目 ID	LA-115404-Z
担当教員	立川　睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜2限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3－4）外国文化を理解する

主な講義場所

Zoom での遠隔授業

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 d、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツと周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。

授業の到達目標

1）ドイツ語 b,d, は、ドイツ語 a,c,と組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。

2）ドイツ語 d は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 1	第 5 課：食べ物飲み物；レストランでの会話。プリント。41～47 ページ。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。前期のことを復習しておく。
2	10/6	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 2	第 5 課：レストランでの会話。45～47 ページ。プリント。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
3	10/13	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 3	第 6 課：週末の予定について話す。ホテルにメールを書く。　49～53 ページ。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
4	10/20	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 4	第 6 課：週末の予定、ホテルに電話する。49～55 ページ。	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
5	10/27	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 5	第 6 課復習。プリント：Knnen Sie Deutschland? 1	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
6	11/10	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 6	Kennen Sie Deutschland? 2	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
7	11/17	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 7	プリント：ドイツと周りの国々。1	立川　睦美, SCHINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
8	11/24	10:50-		ドイツ語	ドイツと周りの国々。復習。　第 7 課：駅で	立川　睦美, SC	プリントと教科書と辞書を持ってく

		12:20		d 会話 8	の会話。午前中の予定。57～60 ページ。	HINZINGER EMI	ること。言われたところまで予習してくること。
9	12/1	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 9	第 7 課:旅行の予定:駅での会話、時間表現;午前中と午後の予定。57～61 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
10	12/8	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 10	第 7 課:駅での会話;週末の予定についての会話。62～63 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
11	12/15	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 11	第 7 課:62～63 ページ。第 8 課:週末に何をしたか話す練習。65～67 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
12	12/22	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 12	第 8 課:週末に何をしたか;1 日の出来事を現在完了形で話す練習。65～69 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
13	1/5	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 13	第 8 課:週末のことについて話す会話:65～71 ページ。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
14	1/12	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 14	第 8 課:70～71 ページ。過去のことについて話す練習。	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	プリントと教科書と辞書を持ってくること。言われたところまで予習してくること。
15	1/19	10:50-12:20		ドイツ語 d 会話 15	後期面接試験	立川 睦美, SC HINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで習ったことを復習しておくこと。

授業方法

講義と演習による;Zoom での遠隔授業

授業内容

後期には教科書の第 6 課から第 8 課までと、プリントなどを使い、ドイツと周りの国々についても学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

日常的な場面設定で会話の反復練習もします。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

Gute Reise! : neu mit erweiterter Landeskunde／Naoko Ito, Christa Shibata, Yoshimi Suematsu, Kazuhiko Yamakawa,伊藤, 直子,柴田, クリスタ,末松, 淑美,山川, 和彦,:郁文堂, 2012

教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典 = Apollon Deutsch-Japanisches Wörterbuch／根本道也 [ほか] 責任編集執筆,根本, 道也,恒吉, 良隆,吉中, 幸平,成田, 克史,福元, 圭太,重竹, 芳江,有村, 隆広,新保, 弼彬,本田, 義昭,鈴木, 敦典,:同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008 アクセス独和辞典 = Deutsch-Japanisches Wörterbuch／在間進編集責任,在間, 進,：三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っているフリー・アプリの辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、文法の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000201			
科目名	フランス語 a		科目 ID	LA-115501-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	イントロダクション	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/19	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	名詞、冠詞、提示表現	中島　ひかる
3	4/26	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/10	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島　ひかる
5	5/17	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島　ひかる
6	5/24	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	疑問文	中島　ひかる
7	5/31	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)	復習	中島　ひかる
8	6/7	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去	中島　ひかる
9	6/14	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島　ひかる
10	6/21	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島　ひかる
11	6/28	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島　ひかる
12	7/5	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	命令法	中島　ひかる
13	7/12	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	準動詞・複合過去	中島　ひかる
14	7/19	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島　ひかる
15	7/26	13:10-14:40	11 番教室	復習	前期のまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった主として動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。
原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性

もあります。

第 1 回:授業概要の説明、発音、アルファベ
第 2 回:名詞、冠詞、提示表現
第 3 回:主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)
第 4 回:数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 5 回:形容詞、第 2 群規則動詞、否定文
第 6 回:疑問文
第 7 回:復習
第 8 回:縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去
第 9 回:疑問詞
第 10 回:非人称構文、人称代名詞
第 11 回:人称代名詞、代名動詞
第 12 回:命令法
第 13 回:半動詞、複合過去
第 14 回:複合過去
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・課題作文 20%・面接試験 10%・課題提出状況 10%

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、修得した文法事項を使った課題作文、口頭試問も行います。授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●前期筆記試験の成績が悪かった場合は、「フランス語a・b」を総合しての再考査を行うこともあります。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a・b については再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期c、d については再考査は行わない。
 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典　:旺文社 フランス語初級文法ワークブック／京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ･ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。 ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。
他科目との関連 フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。
連絡先（メールアドレス） nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜　12:00～13:00 　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000202			
科目名	フランス語 a		科目 ID	LA-115501-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：月曜 4 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	イントロダクション	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/19	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	名詞、冠詞、提示表現	中島　ひかる
3	4/26	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/10	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島　ひかる
5	5/17	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島　ひかる
6	5/24	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	疑問文	中島　ひかる
7	5/31	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)	復習	中島　ひかる
8	6/7	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去	中島　ひかる
9	6/14	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島　ひかる
10	6/21	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島　ひかる
11	6/28	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島　ひかる
12	7/5	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	命令法	中島　ひかる
13	7/12	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	準動詞、福郷過去	中島　ひかる
14	7/19	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	複合過去	中島　ひかる
15	7/26	14:50-16:20	11 番教室	復習	前期のまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった主として動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。
原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性

もあります。

第 1 回:授業概要の説明、発音、アルファベ
第 2 回:名詞、冠詞、提示表現
第 3 回:主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)
第 4 回:数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 5 回:形容詞、第 2 群規則動詞、否定文
第 6 回:疑問文
第 7 回:復習
第 8 回:縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去
第 9 回:疑問詞
第 10 回:非人称構文、人称代名詞
第 11 回:人称代名詞、代名動詞
第 12 回:命令法
第 13 回:半動詞、複合過去
第 14 回:複合過去
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・課題作文課題 20%・面接試験 10%・課題提出状況 10%

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、修得した文法事項を使った課題作文、口頭試問も行います。授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●前期筆記試験の成績が悪かった場合は、「フランス語a・b」を総合しての再考査を行うこともあります。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a・bについては再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期c、d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/ Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典　:旺文社 フランス語初級文法ワークブック／京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ･ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。 ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。
他科目との関連 フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。
連絡先（メールアドレス） nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜　12:00～13:00 　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000203				
科目名	フランス語ｂ			科目ID	LA-115502-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜 2 限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	イントロダクション	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	名詞、冠詞、提示表現	中島　ひかる
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島　ひかる
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島　ひかる
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	疑問文	中島　ひかる
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(1)	復習	中島　ひかる
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去	中島　ひかる
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	疑問詞	中島　ひかる
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島　ひかる
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島　ひかる
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	命令法	中島　ひかる
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	準動詞・複合過去	中島　ひかる
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	文法(2)	複合過去	中島　ひかる
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	復習	前期のまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった主として動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。
原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性

もあります。

第 1 回:授業概要の説明、発音、アルファベ
第 2 回:名詞、冠詞、提示表現
第 3 回:主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)
第 4 回:数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 5 回:形容詞、第 2 群規則動詞、否定文
第 6 回:疑問文
第 7 回:復習
第 8 回:縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去
第 9 回:疑問詞
第 10 回:非人称構文、人称代名詞
第 11 回:人称代名詞、代名動詞
第 12 回:命令法
第 13 回:半動詞、複合過去
第 14 回:複合過去
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・課題作文 20%・面接試験 10%・課題提出状況 10%

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、修得した文法事項を使った課題作文、口頭試問も行います。授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●前期筆記試験の成績が悪かった場合は、「フランス語a・b」を総合しての再考査を行うこともあります。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a・b については再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期c、d については再考査は行わない。
 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社

ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
フランス語初級文法ワークブック／京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ･ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。

他科目との関連

フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。

連絡先（メールアドレス）

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜　12:00～13:00
　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000205			
科目名	フランス語ｂ		科目ID	LA-115502-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	イントロダクション	発音、アルファベ	中島　ひかる
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	名詞、冠詞、提示表現	中島　ひかる
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)	中島　ひかる
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島　ひかる
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島　ひかる
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	疑問文	中島　ひかる
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(1)	復習	中島　ひかる
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去	中島　ひかる
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	疑問詞	中島　ひかる
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島　ひかる
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島　ひかる
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	命令法	中島　ひかる
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	準動詞、複合過去	中島　ひかる
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	文法(2)	複合過去	中島　ひかる
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	復習	前期のまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった主として動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。
原則的に一つの項目に対して、月・水の 2 回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性

もあります。

第 1 回:授業概要の説明、発音、アルファベ
第 2 回:名詞、冠詞、提示表現
第 3 回:主語人称代名詞、動詞(第 1 群規則動詞、être, avoir)
第 4 回:数詞、指示形容詞、所有形容詞
第 5 回:形容詞、第 2 群規則動詞、否定文
第 6 回:疑問文
第 7 回:復習
第 8 回:縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去
第 9 回:疑問詞
第 10 回:非人称構文、人称代名詞
第 11 回:人称代名詞、代名動詞
第 12 回:命令法
第 13 回:半動詞、複合過去
第 14 回:複合過去
第 15 回:前期のまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)60%・課題作文課題 20%・面接試験 10%・課題提出状況 10%

再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、修得した文法事項を使った課題作文、口頭試問も行います。授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた評価を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●前期筆記試験の成績が悪かった場合は、「フランス語a・b」を総合しての再考査を行うこともあります。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a・b については再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期c、d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
ロワイヤル仏和辞典　:旺文社
フランス語初級文法ワークブック／京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。

履修上の注意事項

Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。

連絡先（メールアドレス）

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜　12:00～13:00
　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000210		
科目名	フランス語ｃ	科目ID	LA-115503-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間：月曜3限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	13:10-14:40		文法(3)	半過去･大過去	中島　ひかる
2	10/11	13:10-14:40		文法(3)	半過去･大過去	中島　ひかる
3	10/18	13:10-14:40		文法(3)	知覚動詞･受動態	中島　ひかる
4	10/25	13:10-14:40		文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
5	11/1	13:10-14:40		文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
6	11/8	13:10-14:40		文法(3)	比較級･最上級	中島　ひかる
7	11/15	13:10-14:40		文法(3)	比較級･最上級	中島　ひかる
8	11/22	13:10-14:40		文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
9	11/29	13:10-14:40		文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
10	12/6	13:10-14:40		文法(3)	単純未来･前未来	中島　ひかる
11	12/13	13:10-14:40		文法(3)	現在分詞･ジェロンディフ	中島　ひかる
12	12/20	13:10-14:40		文法(4)	条件法	中島　ひかる
13	1/17	13:10-14:40		文法(4)	条件法･単純過去	中島　ひかる
14	1/24	13:10-14:40		文法(4)	接続法･話法	中島　ひかる
15	1/31	13:10-14:40		復習	フランス語cまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

後期cでは、前期a･bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞等を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第 1 回：半過去、大過去

第 2 回:半過去、大過去
第 3 回:受動態・知覚動詞
第 4 回:関係代名詞
第 5 回:関係代名詞
第 6 回:比較級・最上級
第 7 回:比較級・最上級
第 8 回:中性代名詞
第 9 回:中性代名詞
第 10 回:単純未来・前未来
第 11 回:現在分詞、ジェロンディフ
第 12 回:条件法
第 13 回:条件法・単純過去
第 14 回:接続法・話法
第 15 回:フランス語cまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)85%・課題提出状況 15%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。
●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●「フランス語c」の得点はおもに成績上位者を決めるのに使用します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a・b については再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期c、d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
フランス語初級文法ワークブック/京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全

項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。 ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。
他科目との関連 フランス語は a･b･c･dの総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい
連絡先（メールアドレス） nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜　12:00～13:00 　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000212			
科目名	フランス語ｃ		科目ID	LA-115503-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：月曜４限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な読解力と作文力を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる読解や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につきません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみることが大切です。

後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。

授業の到達目標

1）基本単語の意味と綴りを身につける。
2）フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかり、自ら書けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	14:50−16:20		文法(3)	半過去、大過去	中島　ひかる
2	10/11	14:50−16:20		文法(3)	半過去、大過去	中島　ひかる
3	10/18	14:50−16:20		文法(3)	知覚動詞・受動態	中島　ひかる
4	10/25	14:50−16:20		文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
5	11/1	14:50−16:20		文法(3)	関係代名詞	中島　ひかる
6	11/8	14:50−16:20		文法(3)	比較級・最上級	中島　ひかる
7	11/15	14:50−16:20		文法(3)	比較級・最上級	中島　ひかる
8	11/22	14:50−16:20		文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
9	11/29	14:50−16:20		文法(3)	中性代名詞	中島　ひかる
10	12/6	14:50−16:20		文法(3)	単純未来・前未来	中島　ひかる
11	12/13	14:50−16:20		文法(3)	現在分詞・ジェロンディフ	中島　ひかる
12	12/20	14:50−16:20		文法(4)	条件法	中島　ひかる
13	1/17	14:50−16:20		文法(4)	条件法・単純過去	中島　ひかる
14	1/24	14:50−16:20		文法(4)	接続法・話法	中島　ひかる
15	1/31	14:50−16:20		復習	フランス語cまとめ	中島　ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いて提出していただきます。その後、皆でその答合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞等を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定はクラスの理解度によって変更する可能性があります。

第１回：半過去、大過去

第 2 回:半過去、大過去
第 3 回:受動態・知覚動詞
第 4 回:関係代名詞
第 5 回:関係代名詞
第 6 回:比較級・最上級
第 7 回:比較級・最上級
第 8 回:中性代名詞
第 9 回:中性代名詞
第 10 回:単純未来・前未来
第 11 回:現在分詞、ジェロンディフ
第 12 回:条件法
第 13 回:条件法・単純過去
第 14 回:接続法・話法
第 15 回:フランス語cまとめ

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)85%・課題提出状況 15%
再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、期末試験は筆記試験で定着度を評価しますが、その他に、授業ごとの課題の提出状況も評価に加えます。
●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。
●「フランス語c」の得点はおもに成績上位者を決めるのに使用します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a・b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a・b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a・b については再考査を行うこともある。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期c、d については再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.d のすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎 : Accès/Jacques Lévy [ほか] 著,Lévy, Jacques,Mehl, Frank-Arnaud,杉本, 圭子,田原, いずみ,:朝日出版社, 2015

参考書

ディコ仏和辞典 /白水社:白水社
プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
ロワイヤル仏和辞典 :旺文社
フランス語初級文法ワークブック/京都大学フランス語教室編,京都大学フランス語教室,:白水社, 2012
代表的な仏和辞書を挙げておきます。
辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。
電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全

項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。 ワークブックは練習問題をたくさんやってみたい人に推薦します。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・dの総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい
連絡先（メールアドレス） nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜　12:00～13:00 　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000207			
科目名	フランス語 d		科目 ID	LA-115504-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜 2 限
・対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：フランス語dは「地域文化演習」として、フランス語 a、b、c、で学んだ基本的な文法知識の上に立って、現代フランス社会や文化に関わるトピックスを演習形式で学び、その中で、フランス語の語彙や基本構文を総合的に復習し、読解力・作文力を養います。

概要：現代フランスの社会や文化を扱ったフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、現代フランスを理解するために必要なフランス語の単語を把握し、基本的な構文を復習します。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解することは、フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。その後、フランス語の正誤問題で内容が正しく理解できているかを確認し、関連テーマの自由作文を提出して頂きます。

授業の到達目標

1）フランスの文化や社会について理解を深める。
2）やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、逐語訳せずに内容が理解できるようになる。
3）フランス語 a,b,c で習った文法事項やdのテキストに出てくる表現を利用して、フランス語で自分の考えを表現できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50−12:20		ガイダンス	中島　ひかる
2	10/6	10:50−12:20		テーマ 1	中島　ひかる
3	10/13	10:50−12:20		テーマ 1	中島　ひかる
4	10/20	10:50−12:20		テーマ 2	中島　ひかる
5	10/27	10:50−12:20		テーマ 2	中島　ひかる
6	11/10	10:50−12:20		テーマ 3	中島　ひかる
7	11/17	10:50−12:20		テーマ 3	中島　ひかる
8	11/24	10:50−12:20		テーマ 4	中島　ひかる
9	12/1	10:50−12:20		テーマ 4	中島　ひかる
10	12/8	10:50−12:20		テーマ 5	中島　ひかる
11	12/15	10:50−12:20		テーマ 5	中島　ひかる
12	12/22	10:50−12:20		テーマ 6	中島　ひかる
13	1/5	10:50−12:20		テーマ 6	中島　ひかる
14	1/12	10:50−12:20		テーマ 7	中島　ひかる
15	1/19	10:50−12:20		テーマ 7	中島　ひかる

授業方法

演習による。

フランスの文化や社会についての時事問題を扱ったテキストをもとに、以下のような演習を行います。
1：文章の背景・キーワードを理解する。
2：キーセンテンスを把握する。
3：1，2をもとにテキスト内容を把握する。

4：今までに修得した文法事項やテキストの表現を使ってテーマごとに自由作文を行う。

授業内容

テキストで取り上げられている内容は以下のようになります。この中から、受講者の興味や後期の時点での政治・社会情勢にあわせて、幾つか選択します。また、テキスト以外のフランスのテレビニュースや映像資料、新聞・雑誌の記事等も適宜紹介します。おおよそ2回の授業で1つのテーマを扱います。

1. 制服への回帰
2. バカロレア改革と大学入試改革
3. ラグビー
4. スタートアップ
5. 移民とフランスの文化
6. パリの緑化
7. パリ・オペラ座バレー団
8. ファッションとメセナ
9. フランス語圏
10. テレワーク
11. 文学大国フランス
12. パリテの現状

成績評価の方法

評価：授業ごとの課題提出（正誤問題・作文等） 60%
期末レポート 40%

再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

・授業ごとに課題を提出してもらいますので課題に対する評価、及び期末レポートを合わせて評価します。

●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」はa・b合わせて50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。
●ただし1年間のフランス語学習の到達目標はdで要求される読解力と作文力を身につけることですので、dで到達目標に達していると判断した場合はフランス語は合格とします。
●「フランス語d」についてのみの再考査は実施しません。全体でが不合格となった場合は、「フランス語」として総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a・b, c, d各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。
（a・bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。）
2. 再考査・再試験受験資格
・前期a・bについては再考査を行うことがある。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期c, dについては再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.dのすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書 12 テーマでわかるフランス事情(改訂版)／岡見さえ, ミカエル・デプレ 著,:白水社, 2021 :朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dはフランス語 a、b、cで学んだ基礎知識の上に立って、地域文化を学びながらフランス語力を定着させる総合演習です。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜 12:00～13:00 ＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000209			
科目名	フランス語 d		科目 ID	LA-115504-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：水曜 1 限
・対象学科：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
　別表3−1）国際的に活躍するための語学力を養う
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：フランス語dは「地域文化演習」として、フランス語 a、b、c、で学んだ基本的な文法知識の上に立って、現代フランス社会や文化に関わるトピックスを演習形式で学び、その中で、フランス語の語彙や基本構文を総合的に復習し、読解力・作文力を養います。

概要：現代フランスの社会や文化を扱ったフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、現代フランスを理解するために必要なフランス語の単語を把握し、基本的な構文を復習します。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解することは、フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。その後、フランス語の正誤問題で内容が正しく理解できているかを確認し、関連テーマの自由作文を提出して頂きます。

授業の到達目標

1）フランスの文化や社会について理解を深める。
2）やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、逐語訳せずに内容が理解できるようになる。
3）フランス語 a,b,c で習った文法事項やdのテキストに出てくる表現を利用して、フランス語で自分の考えを表現できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	9/29	09:10−10:40		ガイダンス	中島　ひかる
2	10/6	09:10−10:40		テーマ 1	中島　ひかる
3	10/13	09:10−10:40		テーマ 1	中島　ひかる
4	10/20	09:10−10:40		テーマ 2	中島　ひかる
5	10/27	09:10−10:40		テーマ 2	中島　ひかる
6	11/10	09:10−10:40		テーマ 3	中島　ひかる
7	11/17	09:10−10:40		テーマ 3	中島　ひかる
8	11/24	09:10−10:40		テーマ 4	中島　ひかる
9	12/1	09:10−10:40		テーマ 4	中島　ひかる
10	12/8	09:10−10:40		テーマ 5	中島　ひかる
11	12/15	09:10−10:40		テーマ 5	中島　ひかる
12	12/22	09:10−10:40		テーマ 6	中島　ひかる
13	1/5	09:10−10:40		テーマ 6	中島　ひかる
14	1/12	09:10−10:40		テーマ 7	中島　ひかる
15	1/19	09:10−10:40		テーマ 7	中島　ひかる

授業方法

演習による。

フランスの文化や社会についての時事問題を扱ったテキストをもとに、以下のような演習を行います。
1：文章の背景・キーワードを理解する。
2：キーセンテンスを把握する。
3：1，2をもとにテキスト内容を把握する。

4：今までに修得した文法事項やテキストの表現を使ってテーマごとに自由作文を行う。

授業内容

テキストで取り上げられている内容は以下のようになります。この中から、受講者の興味や後期の時点での政治・社会情勢にあわせて、幾つか選択します。また、テキスト以外のフランスのテレビニュースや映像資料、新聞・雑誌の記事等も適宜紹介します。おおよそ2回の授業で1つのテーマを扱います。

1. 制服への回帰
2. バカロレア改革と大学入試改革
3. ラグビー
4. スタートアップ
5. 移民とフランスの文化
6. パリの緑化
7. パリ・オペラ座バレー団
8. ファッションとメセナ
9. フランス語圏
10. テレワーク
11. 文学大国フランス
12. パリテの現状

成績評価の方法

評価：授業ごとの課題提出（正誤問題・作文等） 60%
期末レポート 40%

再評価：有 （再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験）

・授業ごとに課題を提出してもらいますので課題に対する評価、及び期末レポートを合わせて評価します。

●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」はa・b合わせて50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。
●ただし1年間のフランス語学習の到達目標はdで要求される読解力と作文力を身につけることですので、dで到達目標に達していると判断した場合はフランス語は合格とします。
●「フランス語d」についてのみの再考査は実施しません。全体でが不合格となった場合は、「フランス語」として総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a・b, c, d各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。
（a・bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。）
2. 再考査・再試験受験資格
・前期a・bについては再考査を行うことがある。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期c, dについては再考査は行わない。
・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、a・b, c.dのすべての期末試験を受験あるいは期末レポートを提出していること。

教科書 12 テーマでわかるフランス事情(改訂版)／岡見さえ, ミカエル・デプレ 著,:白水社, 2021 :朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 ／白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dはフランス語 a、b、cで学んだ基礎知識の上に立って、地域文化を学びながらフランス語力を定着させる総合演習です。
履修上の注意事項 Zoom は通信状態に問題がない限り、ヴィデオをオンにして授業に出席して下さい。
連絡先(メールアドレス) nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜 12:00～13:00 ＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000222		
科目名	中国語 a	科目 ID	LA-115601-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間: 月曜 3 限

対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	第 1 回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/19	13:10-14:40	6 番教室	第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	4/26	13:10-14:40	6 番教室	第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/10	13:10-14:40	6 番教室	第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/17	13:10-14:40	6 番教室	第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/24	13:10-14:40	6 番教室	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	5/31	13:10-14:40	6 番教室	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/7	13:10-14:40	6 番教室	第 8 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/14	13:10-14:40	6 番教室	第 9 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/21	13:10-14:40	6 番教室	第 10 回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/28	13:10-14:40	6 番教室	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/5	13:10-	6 番教室	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞“能”、“可以”、100 以	BAO	

		14:40			上の数字	MIN	
13	7/12	13:10– 14:40	6 番教室	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/19	13:10– 14:40	6 番教室	第 14 回 趣味に関する雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すアスペクト“了”、様態補語、二重目的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/26	13:10– 14:40	6 番教室	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介②
第 9 回 自己紹介③
第 10 回 お誘い
第 11 回 レストラン
第 12 回 買い物
第 13 回 道案内
第 14 回 趣味に関する雑談
第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価 : 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。

受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	000223		
科目名	中国語 a	科目 ID	LA-115601-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間: 月曜 4 限
対象学科: 医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所
別表の通り

授業の目的、概要等
中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標
1）中国語の発音をマスターする。
2）中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	第 1 回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/19	14:50-16:20	8 番教室	第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	4/26	14:50-16:20	8 番教室	第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/10	14:50-16:20	8 番教室	第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/17	14:50-16:20	8 番教室	第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/24	14:50-16:20	8 番教室	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	5/31	14:50-16:20	8 番教室	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/7	14:50-16:20	8 番教室	第 8 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/14	14:50-16:20	8 番教室	第 9 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/21	14:50-16:20	8 番教室	第 10 回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/28	14:50-16:20	8 番教室	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/5	14:50-	8 番教室	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞“能”、“可以”、100 以	BAO	

		16:20			上の数字	MIN	
13	7/12	14:50- 16:20	8 番教室	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/19	14:50- 16:20	8 番教室	第 14 回 趣味に関する雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すアスペクト“了”、様態補語、二重目的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/26	14:50- 16:20	8 番教室	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介②
第 9 回 自己紹介③
第 10 回 お誘い
第 11 回 レストラン
第 12 回 買い物
第 13 回 道案内
第 14 回 趣味に関する雑談
第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価 : 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。

受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	000220		
科目名	中国語 b	科目 ID	LA-115602-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間:水曜 1 限
対象学科: 医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所
別表の通り

授業の目的、概要等
中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標
1)中国語の発音をマスターする。
2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 1 回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 8 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 9 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 10 回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/7	10:50-	遠隔授業	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞“能”、“可以”、100 以	BAO	

		12:20	(同期型)		上の数字	MIN	
13	7/14	10:50- 12:20	遠隔授業 (同期型)	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、結果補語、方位詞 ②	BAO MIN	小テスト
14	7/21	10:50- 12:20	遠隔授業 (同期型)	第 14 回 趣味に関する雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すアスペクト“了”、様態補語、二重目的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/28	10:50- 12:20	遠隔授業 (同期型)	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介②
第 9 回 自己紹介③
第 10 回 お誘い
第 11 回 レストラン
第 12 回 買い物
第 13 回 道案内
第 14 回 趣味に関する雑談
第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価 : 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。

受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	000221		
科目名	中国語 b	科目 ID	LA-115602-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間:水曜 2 限

対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 1 回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 8 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 9 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 10 回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/7	09:10-	遠隔授業	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞“能”、“可以”、100 以	BAO	

		10:40	(同期型)		上の数字	MIN	
13	7/14	09:10- 10:40	遠隔授業 (同期型)	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞"从・到・离"、結果補語、方位詞 ②	BAO MIN	小テスト
14	7/21	09:10- 10:40	遠隔授業 (同期型)	第 14 回 趣味に関する雑談	助動詞"会"、動作の完了を表すアスペクト"了"、様態補語、二重目的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/28	09:10- 10:40	遠隔授業 (同期型)	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介②
第 9 回 自己紹介③
第 10 回 お誘い
第 11 回 レストラン
第 12 回 買い物
第 13 回 道案内
第 14 回 趣味に関する雑談
第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価 : 期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。

受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
教科書 中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020
参考書 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015 中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016 ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	000226			
科目名	中国語 c		科目 ID	LA-115603-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 3 限

対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていくよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。

前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。

授業の到達目標

1) 中国語の発音をマスターする。

2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	13:10-14:40	9 番教室	第 1 回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい	BAO MIN
2	10/11	13:10-14:40	9 番教室	第 2 回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”	BAO MIN
3	10/18	13:10-14:40	9 番教室	第 3 回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”	BAO MIN
4	10/25	13:10-14:40	9 番教室	第 4 回:病院①	①“(是)～V 的”構文 ②可能性を表す“会”	BAO MIN
5	11/1	13:10-14:40	9 番教室	第 5 回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿	BAO MIN
6	11/8	13:10-14:40	9 番教室	第 6 回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”	BAO MIN
7	11/15	13:10-14:40	9 番教室	第 7 回:トラブル②	受身文	BAO MIN
8	11/22	13:10-14:40	9 番教室	第 8 回:ホテル①	方向補語、可能補語	BAO MIN
9	11/29	13:10-14:40	9 番教室	第 9 回:ホテル②	使役文	BAO MIN
10	12/6	13:10-14:40	9 番教室	第 10 回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文	BAO MIN
11	12/13	13:10-14:40	9 番教室	第 11 回:約束する②	禁止を表す副詞“别”	BAO MIN
12	12/20	13:10-14:40	9 番教室	第 12 回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文	BAO MIN
13	1/17	13:10-14:40	9 番教室	第 13 回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”	BAO MIN
14	1/24	13:10-14:40	9 番教室	第 14 回:復習	全体の文法のおさらい	BAO MIN
15	1/31	13:10-14:40	9 番教室	第 15 回:まとめ	中国語cのまとめ	BAO MIN

授業方法

受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

会話文を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。

第 1 回:発音の復習
第 2 回:旅行の計画①
第 3 回:旅行の計画②
第 4 回:病院①
第 5 回:病院②
第 6 回:トラブル①
第 7 回:トラブル②
第 8 回:ホテル①
第 9 回:ホテル②
第 10 回:約束する①
第 11 回:約束する②
第 12 回:掲示板を見る①
第 13 回:掲示板を見る②
第 14 回:復習
第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%
再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)
※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。
※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション/沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法/瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015
中日辞典/北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016
ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese/千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019
辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席

時間割番号	000227		
科目名	中国語 c	科目 ID	LA-115603-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間: 月曜 4 限

対象学科: 医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていくよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。

前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。

授業の到達目標

1) 中国語の発音をマスターする。

2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	14:50-16:20	9 番教室	第 1 回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい	BAO MIN
2	10/11	14:50-16:20	9 番教室	第 2 回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”	BAO MIN
3	10/18	14:50-16:20	9 番教室	第 3 回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”	BAO MIN
4	10/25	14:50-16:20	9 番教室	第 4 回:病院①	①“(是)～V 的”構文 ②可能性を表す“会”	BAO MIN
5	11/1	14:50-16:20	9 番教室	第 5 回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿	BAO MIN
6	11/8	14:50-16:20	9 番教室	第 6 回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”	BAO MIN
7	11/15	14:50-16:20	9 番教室	第 7 回:トラブル②	受身文	BAO MIN
8	11/22	14:50-16:20	9 番教室	第 8 回:ホテル①	方向補語、可能補語	BAO MIN
9	11/29	14:50-16:20	9 番教室	第 9 回:ホテル②	使役文	BAO MIN
10	12/6	14:50-16:20	9 番教室	第 10 回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文	BAO MIN
11	12/13	14:50-16:20	9 番教室	第 11 回:約束する②	禁止を表す副詞“别”	BAO MIN
12	12/20	14:50-16:20	9 番教室	第 12 回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文	BAO MIN
13	1/17	14:50-16:20	9 番教室	第 13 回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”	BAO MIN
14	1/24	14:50-16:20	9 番教室	第 14 回:復習	全体の文法のおさらい	BAO MIN
15	1/31	14:50-16:20	9 番教室	第 15 回:まとめ	中国語cのまとめ	BAO MIN

授業方法

受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

会話文を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。

第 1 回:発音の復習
第 2 回:旅行の計画①
第 3 回:旅行の計画②
第 4 回:病院①
第 5 回:病院②
第 6 回:トラブル①
第 7 回:トラブル②
第 8 回:ホテル①
第 9 回:ホテル②
第 10 回:約束する①
第 11 回:約束する②
第 12 回:掲示板を見る①
第 13 回:掲示板を見る②
第 14 回:復習
第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%
再評価:有 (再評価方法 「中国語」としての学年末再試験を実施する)
※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。
※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格
・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)
2. 再考査・再試験受験資格
・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
・後期 d については再考査は行わない。
・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション/沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法/瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015
中日辞典/北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016
ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese/千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019
辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。
履修上の注意事項 期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則3分の2以上出席

時間割番号	000224			
科目名	中国語 d		科目 ID	LA-115604-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 1 限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所
別表の通り

授業の目的、概要等
過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。

授業の到達目標
①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。
②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。
③中国の文化や社会について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:50-12:20	9 番教室	第1回	ガイダンス、授業方法説明	BAO MIN
2	10/6	10:50-12:20	9 番教室	第2回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
3	10/13	10:50-12:20	9 番教室	第3回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
4	10/20	10:50-12:20	9 番教室	第4回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
5	10/27	10:50-12:20	9 番教室	第5回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
6	11/10	10:50-12:20	9 番教室	第6回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
7	11/17	10:50-12:20	9 番教室	第7回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
8	11/24	10:50-12:20	9 番教室	第8回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
9	12/1	10:50-12:20	9 番教室	第9回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
10	12/8	10:50-12:20	9 番教室	第10回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
11	12/15	10:50-12:20	9 番教室	第11回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
12	12/22	10:50-12:20	9 番教室	第12回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
13	1/5	10:50-12:20	9 番教室	第13回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
14	1/12	10:50-12:20	9 番教室	第14回	ニュース記事講読・解説	BAO MIN
15	1/19	10:50-12:20	9 番教室	第15回	まとめ	BAO MIN

授業方法
中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。

授業内容
過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2 回で教科書

の一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。
1～2 回目：一座城市,就这样 安静下来了
3～4 回目：《三体》,在日本受到热捧
5～6 回目：中国第一部民法典
7～8 回目：B 站与年轻人
9～10 回目：今天,北斗也在为你导 航
11～12 回目：后疫情时代的经济—地摊经济
13～14 回目：《好久不见,武汉》
15 回目：中国語 d まとめ

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・その他（授業中の課題提出）40%

再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 d」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。
※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。
教科書付属のドリルを各自活用すること。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

教科書

后疫情时代 / 三潴正道, 陳祖蓓, 古屋順子著,三潴, 正道,陳, 祖蓓,古屋, 順子,：朝日出版社, 2021

参考書

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著,永井, 鉄郎,：金星堂, 2014
次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000225			
科目名	中国語 d		科目 ID	LA-115604-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 2 限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：
別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-4)異なる空間の文化を理解する
別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所
別表の通り

授業の目的、概要等
過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。

授業の到達目標
①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。
②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。
③中国の文化や社会について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		BAO MIN
2	10/6	09:10-10:40		BAO MIN
3	10/13	09:10-10:40		BAO MIN
4	10/20	09:10-10:40		BAO MIN
5	10/27	09:10-10:40		BAO MIN
6	11/10	09:10-10:40		BAO MIN
7	11/17	09:10-10:40		BAO MIN
8	11/24	09:10-10:40		BAO MIN
9	12/1	09:10-10:40		BAO MIN
10	12/8	09:10-10:40		BAO MIN
11	12/15	09:10-10:40		BAO MIN
12	12/22	09:10-10:40		BAO MIN
13	1/5	09:10-10:40		BAO MIN
14	1/12	09:10-10:40		BAO MIN
15	1/19	09:10-10:40		BAO MIN

授業方法
中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。

授業内容
過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2 回で教科書

の一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。
1～2 回目：一座城市,就这样 安静下来了
3～4 回目：《三体》,在日本受到热捧
5～6 回目：中国第一部民法典
7～8 回目：B 站与年轻人
9～10 回目：今天,北斗也在为你导 航
11～12 回目：后疫情时代的经济—地摊经济
13～14 回目：《好久不见,武汉》
15 回目：中国語 d まとめ

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・その他（授業中の課題提出）40%

再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する）

※上記は前期「中国語 d」の配点。
※通年 4 単位の中国語の成績（100 点満点）は、前期「中国語 a＋b」（50 点）、後期「中国語 c」（25 点）、「中国語 d」（25 点）の配点で評価する。
※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。
教科書付属のドリルを各自活用すること。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 ： 原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席
※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。
※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a＋b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

教科書

后疫情时代 / 三潴正道, 陳祖蓓, 古屋順子著,三潴, 正道,陳, 祖蓓,古屋, 順子,：朝日出版社, 2021

参考書

Why？にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社, 1996
やさしくくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店, 1995
完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,：語研, 2015
はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著,永井, 鉄郎,：金星堂, 2014
次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』
・講談社『中日辞典』

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000229			
科目名	スペイン語 a		科目 ID	LA-115701-Z
担当教員	永田　夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 4 限
対象学科: 医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。
3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	永田　夕紀子, 中島　ひかる
2	4/19	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
3	4/26	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
4	5/10	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
5	5/17	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
6	5/24	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
7	5/31	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
8	6/7	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
9	6/14	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
10	6/21	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
11	6/28	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
12	7/5	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
13	7/12	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
14	7/19	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
15	7/26	14:50-16:20	9 番教室	永田　夕紀子, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1.オリエンテーション, 第 1 課 (文字と発音, 名詞)
2. 第 1 課(名詞の性と数, 冠詞, 形容詞)
3. 第 1 課(動詞の概観, ser)
4. 第 1 課(動詞の概観, estar)
5. 第 1 課(現在規則変化 1)
6. 第 1 課(現在規則変化 2)
7. ここまでのまとめ・中間試験
8. 第 2 課(現在不規則変化1)
9. 第 2 課(現在不規則変化 2)
10. 第 3 課(直接目的語、間接目的語、gustar 型動詞)

11. 第3課(線過去1)
12. 第3課(線過去2)
13. 第4課(点過去1)
14. 第4課(点過去2)
15. 前期のまとめ・期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験60% ・ レポート % ・ その他40%(授業参加・課題提出)

再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の2回ずつテストを実施し、b/d では1回ずつ期末テストを実施する予定です。

・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006年

教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000233			
科目名	スペイン語 a		科目 ID	LA-115701-Z
担当教員	永田　夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：月曜3限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：3-1, 3-4

授業の目的、概要等

スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1）スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2）スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。
3）スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	遠隔授業(同期型), 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
2	4/19	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
3	4/26	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
4	5/10	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
5	5/17	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
6	5/24	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
7	5/31	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
8	6/7	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
9	6/14	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
10	6/21	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
11	6/28	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
12	7/5	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
13	7/12	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
14	7/19	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる
15	7/26	13:10-14:40	3 番教室, 物理学実験室	永田　夕紀子, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います（月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です）。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1.オリエンテーション, 第 1 課 (文字と発音, 名詞)
2. 第 1 課(名詞の性と数, 冠詞, 形容詞)
3. 第 1 課(動詞の概観, ser)
4. 第 1 課(動詞の概観, estar)
5. 第 1 課(現在規則変化 1)
6. 第 1 課(現在規則変化 2)
7. ここまでのまとめ・中間試験
8. 第 2 課(現在不規則変化1)
9. 第 2 課(現在不規則変化 2)
10. 第 3 課(直接目的語、間接目的語、gustar 型動詞)

11. 第3課(線過去1)
12. 第3課(線過去2)
13. 第4課(点過去1)
14. 第4課(点過去2)
15. 前期のまとめ・期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験60% ・ レポート % ・ その他40%(授業参加・課題提出)

再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の2回ずつテストを実施し、b/d では1回ずつ期末テストを実施する予定です。

・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006年

教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000230			
科目名	スペイン語 b		科目 ID	LA-115702-Z
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 1 限

対象学科：：医学科・歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。

授業の到達目標

1) スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。

2) 会話練習や練習問題を通して、スペイン語を理解し、発話する力を身につける。

3) 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。

4) スペイン語圏に関する記事や資料に触れ、読解力を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
2	4/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
3	4/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
4	5/12	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
5	5/19	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
6	5/26	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
7	6/2	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
8	6/9	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
9	6/16	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
10	6/23	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
11	6/30	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
12	7/7	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
13	7/14	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
14	7/21	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
15	7/28	09:10-10:40	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います（月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です）。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. オリエンテーション、文字と発音
2. 【演習】 スペイン語圏の国・地域
3. 第 1 課(前半)

(ゴールデンウィーク)

4. 【演習】スペインとスペイン語の歴史
5. 第 1 課(後半)
6. 【演習】アメリカ合衆国とスペイン語
7. 第 2 課

8.【演習】カタルーニャ・バレンシアの言語と文化
9. 第 3 課
10.【演習】アメリカ大陸の征服
11. 第 4 課
12.【演習】スペイン語圏のお祭り
13. 第 5 課
14.【演習】ラテンアメリカの日系人
15. 振り返りテスト・前期の復習

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%（授業参加・課題提出）
再評価： 有（再評価方法：「スペイン語」としての学年末再試験）
・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000234			
科目名	スペイン語 b		科目 ID	LA-115702-Z
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 2 限

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。

授業の到達目標

1) スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。

2) 会話練習や練習問題を通して、スペイン語を理解し、発話する力を身につける。

3) 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。

4) スペイン語圏に関する記事や資料に触れ、読解力を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
2	4/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
3	4/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
4	5/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
5	5/19	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
6	5/26	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
7	6/2	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
8	6/9	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
9	6/16	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
10	6/23	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
11	6/30	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
12	7/7	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
13	7/14	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
14	7/21	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる
15	7/28	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	佐々木　充文, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. オリエンテーション、文字と発音
2. 【演習】 スペイン語圏の国・地域
3. 第 1 課(前半)

(ゴールデンウィーク)

4. 【演習】スペインとスペイン語の歴史
5. 第 1 課(後半)
6. 【演習】アメリカ合衆国とスペイン語
7. 第 2 課
8. 【演習】カタルーニャ・バレンシアの言語と文化

9. 第 3 課
10.【演習】アメリカ大陸の征服
11. 第 4 課
12.【演習】スペイン語圏のお祭り
13. 第 5 課
14.【演習】ラテンアメリカの日系人
15. 振り返りテスト・前期の復習

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)

再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。

・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年

教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000231			
科目名	スペイン語 c		科目 ID	LA-115703-Z
担当教員	永田　夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 4 限
対象学科: 医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。
3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
2	10/11	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
3	10/18	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
4	10/25	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
5	11/1	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
6	11/8	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
7	11/15	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
8	11/22	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
9	11/29	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
10	12/6	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
11	12/13	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
12	12/20	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
13	1/17	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
14	1/24	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる
15	1/31	14:50-16:20		永田　夕紀子, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. 前期の復習 1
2. 前期の復習 2&第 5 課(点過去不規則変化1)
3. 第 5 課(点過去不規則変化 2)
4. 第 5 課(点過去不規則変化 3)
5. 第 6 課(現在完了)
6. 第 7 課(未来形)
7. ここまでのまとめ・中間試験
8. 第 8 課(再帰動詞)
9. 第 8 課(現在分詞)

10. 第 9 課(過去未来)
11. 第 10 課(接続法1)
12. 第 10 課 (接続法2)
13. 第 10 課 (接続法3)
14.:1 年間のまとめ
15.:期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)
・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000235			
科目名	スペイン語 c		科目 ID	LA-115703-Z
担当教員	永田　夕紀子[NAGATA Yukiko]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 月曜 3 限
対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) : 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。

授業の到達目標

1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。
2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。
3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
2	10/11	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
3	10/18	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
4	10/25	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
5	11/1	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
6	11/8	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
7	11/15	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
8	11/22	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
9	11/29	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
10	12/6	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
11	12/13	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
12	12/20	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
13	1/17	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
14	1/24	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる
15	1/31	13:10-14:40		永田　夕紀子, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. 前期の復習 1
2. 前期の復習 2&第 5 課(点過去不規則変化1)
3. 第 5 課(点過去不規則変化 2)
4. 第 5 課(点過去不規則変化 3)
5. 第 6 課(現在完了)
6. 第 7 課(未来形)
7. ここまでのまとめ・中間試験
8. 第 8 課(再帰動詞)
9. 第 8 課(現在分詞)

10. 第 9 課(過去未来)
11. 第 10 課(接続法1)
12. 第 10 課 (接続法2)
13. 第 10 課 (接続法3)
14. :1 年間のまとめ
15.:期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%(授業参加・課題提出)
再評価: 有(再評価方法:「スペイン語」としての学年末再試験)
・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000232			
科目名	スペイン語 d		科目 ID	LA-115704-Z
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 1 限
対象学科：医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。

授業の到達目標

1) スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。
2) 会話練習や練習問題を通して、スペイン語を理解し、発話する力を身につける。
3) 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。
4) スペイン語圏に関する記事や資料に触れ、読解力を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
2	10/6	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
3	10/13	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
4	10/20	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
5	10/27	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
6	11/10	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
7	11/17	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
8	11/24	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
9	12/1	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
10	12/8	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
11	12/15	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
12	12/22	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
13	1/5	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
14	1/12	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる
15	1/19	09:10-10:40		佐々木　充文, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います（月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です）。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. 【演習】スペイン語圏の食文化
2. 第 6 課
3. 【演習】スペインのイスラーム文化
4. 第 7 課
5. 【演習】スペイン語圏とキリスト教
6. 第 8 課
7. 【演習】映画で知るラテンアメリカ
8. 【文法】第 9 課

9.【演習】バスク地方の言語と文化
10.【文法】第 10 課
11.【演習】メキシコの言語と文化
（冬休み）
12.【文法】第 11 課
13.【演習】麻薬戦争
14.【文法】第 12 課
15. 振り返りテスト・総復習

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%（授業参加・課題提出）
再評価： 有（再評価方法：「スペイン語」としての学年末再試験）
・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000236			
科目名	スペイン語 d		科目 ID	LA-115704-Z
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：水曜 2 限
対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。

授業の到達目標

1) スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。
2) 会話練習や練習問題を通して、スペイン語を理解し、発話する力を身につける。
3) 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。
4) スペイン語圏に関する記事や資料に触れ、読解力を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/29	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
2	10/6	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
3	10/13	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
4	10/20	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
5	10/27	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
6	11/10	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
7	11/17	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
8	11/24	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
9	12/1	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
10	12/8	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
11	12/15	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
12	12/22	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
13	1/5	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
14	1/12	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる
15	1/19	10:50-12:20		佐々木　充文, 中島　ひかる

授業方法

月曜日の授業と、水曜日の「演習」以外の回では、講義形式で文法を説明した後、作文・会話の演習やグループワークを行います（月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です）。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。水曜日の「演習」の回では、テーマに関連する資料を読解し、意見交換を行います。

授業内容

1. 【演習】スペイン語圏の食文化
2. 第 6 課
3. 【演習】スペインのイスラーム文化
4. 第 7 課
5. 【演習】スペイン語圏とキリスト教
6. 第 8 課
7. 【演習】映画で知るラテンアメリカ
8. 【文法】第 9 課

9.【演習】バスク地方の言語と文化
10.【文法】第 10 課
11.【演習】メキシコの言語と文化
（冬休み）
12.【文法】第 11 課
13.【演習】麻薬戦争
14.【文法】第 12 課
15. 振り返りテスト・総復習

成績評価の方法

評価 ： 試験 60% ・ レポート % ・ その他 40%（授業参加・課題提出）
再評価： 有（再評価方法：「スペイン語」としての学年末再試験）
・スペイン語は a/b/c/d の総合点で 4 単位まとめて成績評価を行います。a/c では中間、期末の 2 回ずつテストを実施し、b/d では 1 回ずつ期末テストを実施する予定です。
・文法については筆記試験、会話についてはスピーキング試験を実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年
教科書の他に、スライドやプリントなどの教材も使用します。

参考書

辞書や参考書については初回授業時に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000238				
科目名	物理学実験			科目ID	LA-115800-Z
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章[HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, UMEZAKI KEISHIYO]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜日・3～4時限

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

物理学学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)、物理実験準備室(ヒポ 3F)、4 番教室

授業の目的、概要等

実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。

目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。

授業の到達目標

1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。
2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。
3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。
4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	09:10-10:40		ガイダンス	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	
2-3	4/16	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
4-5	4/23	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
6-7	4/30	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
8-9	5/7	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
10-11	5/14	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
12-13	5/21	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
14-15	5/28	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
16-17	6/4	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
18-19	6/11	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
20-21	6/18	13:10-16:20		実験種目 1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
22-23	6/25	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
24-25	7/2	13:10-16:20		実験種目 2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
26-27	7/16	13:10-16:20		全体実験1	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	
28-29	10/1	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
30-31	10/8	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション1
32-33	10/15	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
34-35	10/22	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション2
36-37	10/29	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
38-39	11/5	13:10-16:20		実験種目 3	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	ローテーション3
40-41	11/26	13:10-16:20		全体実験2	梅崎 馨章, 檜枝 光憲, 越野 和樹	

授業方法

実験

授業内容

物理実験学の講義を実験初日（第 1 週）に行うので休まないこと。

下記の 3 項目の実験を、項目ごとに 2 回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。

1. レンズの焦点距離と主点の位置（担当：梅崎）
2. 計算機による運動方程式の解法（担当：越野）
3. 物性実験、重力加速度の測定（担当：檜枝）

成績評価の方法

各実験における到達度を評価するため各実験ごとにレポートを課す。
実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。

レポート ＋ 実験ノート　80%
その他（授業の参加度、実験態度）20%

成績評価の基準

遅刻や実験中の態度不良による減点が大きいので注意すること。
なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

準備学習等についての具体的な指示

各実験前に必ず指示書を読んで理解すること。
また各実験テーマで必要とされる予習、事前準備、を実施すること。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則、すべての実験に参加すること

教科書

物理学実験テキスト（2021 年度版）
東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編

履修上の注意事項

原則、全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、代替処置を教員と相談すること。　原則、全てのレポートを提出すること。　（未提出のレポートがある場合、大きな減点となり不合格となる可能性が高いことを肝に命じること）　他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先（メールアドレス）

檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
越野　和樹:毎週月曜日　12:00―13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000239				
科目名	化学実験			科目ID	LA-115900-Z
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜日・3～4 時限（前期5回、後期 3 回）対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。
対象学科：医学科、歯学科
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表2−2）自然現象を探求するための手法を知る
　別表4−3）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

授業の到達目標

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。
自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。
以上の目標を達成することが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	13:10-14:40		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
2-3	4/16	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
4-5	4/23	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
6-7	4/30	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
8-9	5/7	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
10-11	5/14	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
12-13	5/21	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
14-15	5/28	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
16-17	6/4	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
18-19	6/11	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
20-21	6/18	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
22-23	6/25	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
24-25	7/2	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
26-27	10/1	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
28-29	10/8	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
30-31	10/15	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
32-33	10/22	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
34-35	10/29	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
36-37	11/5	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行
38-39	11/12	13:10-16:20		奈良　雅之, 澤野　頼子, 勝又　敏行

授業方法

実習および講義による

授業内容

前期
1.　化学実験総論／席決め／実験準備と講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等）

2. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その1（1－5族混合未知試料の分析）
3. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その2（1－5族混合未知試料の分析）
4. 無機金属イオンの分析（硫化水素法） その3（1－5族混合未知試料の分析）
5. 考察実験（ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等）

後期

6. 容量分析（その1） 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
7. 容量分析（その2） 容量分析テスト（酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定）
8. 容量分析（その3） キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。
実験ノート（一次記録および報告）60%、
実験中の取り組み（面接、テストなどを含む）40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」（東京医科歯科大学教養部化学教室編）

参考書

最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之：医歯薬出版, 2020
高木誠司著：定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂
高木誠司著：定量分析の実験と計算、共立出版
柴田村治著：無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版
D.T.Plummer 著：廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

連絡先（メールアドレス）

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験			科目ID	LA-116000-Z
担当教員	松本　幸久, 服部　淳彦, 伊藤　正則[MATSUMOTO YUKIHISA, HATSUTORI ATSUHIKO, ITO MASANORI]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜日3、4限
・対象学科・専攻：医学科・歯学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－２）自然現象を探究するための手法を知る。
　４－３）自然現象を探求するための基本的手法を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール3階 生物学生実験室

授業の目的、概要等

講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。

授業の到達目標

1）生物を適切に取り扱うことができる。
2）実験機器を正しく使用することができる。
3）肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。
4）現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。
5）データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	14:50-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
2-3	4/16	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
4-5	4/23	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
6-7	4/30	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
8-9	5/7	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
10-11	5/14	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
12-13	5/21	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
14-15	5/28	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
16-17	6/4	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
18-19	6/11	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
20-21	6/18	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
22-23	6/25	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
24-25	7/2	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
26-27	7/9	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
28-29	10/1	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
30-31	10/8	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
32-33	10/15	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
34-35	10/22	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
36-37	10/29	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
38-39	11/5	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久
40-41	11/19	13:10-16:20		服部　淳彦, 伊藤　正則, 松本　幸久

授業方法 実習による。
授業内容 肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。
成績評価の方法 実習は観察とデータの処理・考察を重視する科目なので、レポート80%、授業態度20%で成績を評価する。 再評価：有 *欠席は原則認めない。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。
試験の受験資格 原則的には全て出席しないと、レポートを提出することはできない。教員がとる出欠を優先し、授業開始時間（13：10）に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で 1 回の欠席とする。
教科書 「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編（2018 年版） 参考図書は随時紹介する。
参考書 ヒューマンバイオロジー ： 人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,：医学書院, 2005
履修上の注意事項 欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間（13：10）に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。
連絡先（メールアドレス） 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 服部 淳彦:毎週 水曜：12：30～14：00 金曜：10：30～12：30 ヒポ 4F 教員研究室（A2） 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2：00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000300				
科目名	サイエンス PBL 入門			科目 ID	LA-116100-Z
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦[HATSUTORI ATSUHIKO, NARA MASAYUKI, HIEDA MITSUNORI, ITO MASANORI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAGUCHI ETSUSHI, SAWANO YORIKO, KOSHINO KAZUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA, UMEZAKI KEISHIYO, MIYOSHI Hiroshi, IKEDA Akihiko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日、掲示する。。

授業の目的、概要等

1)問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上:
次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根 拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言 葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。

2)実験研究者になるための基礎づくり:
問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技 術を培う。

3)医療に携わるうえでの基礎づくり
測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。

授業の到達目標

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	10/1	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
3-4	10/8	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
5-6	10/15	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
7-8	10/22	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
9-10	10/29	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
11-12	11/5	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章

13-14	11/12	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
15-16	11/19	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
17-18	11/26	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
19-20	12/3	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
21-22	12/10	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
23-24	12/17	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
25-26	1/7	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
27-28	1/14	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章
29-30	1/21	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 池田 暁彦, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章

授業方法

problem-based learning (PBL)

授業内容

10 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1－3 の順に行う。

1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。
2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。
3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。

この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。

成績評価の方法

授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、ノートの記述内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。問題点を論理的方法により解決する。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

課題シートなどの資料を配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

時間割番号	000241			
科目名	科学基礎実験Ｔ		科目ID	LA-116201-Z
担当教員	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久[ITO MASANORI, NARA MASAYUKI, HATSUTORI ATSUHIKO, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜3～4限（変則的）
・対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る
　別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質（硫化水素など）の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む（考察実験）。

授業の到達目標

実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/22	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
3-4	5/6	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
5-6	5/27	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
7-8	6/3	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
9-10	6/24	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
11-12	7/1	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
13-14	9/30	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
15-16	10/7	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
17-18	10/14	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久
19-20	11/4	13:10-16:20	7 番教室	伊藤　正則, 奈良　雅之, 服部　淳彦, 澤野　頼子, 勝又　敏行, 松本　幸久

授業方法

実習による

授業内容

1 物理学実験：重力加速度の測定と統計誤差の扱い（1）
2 物理学実験：重力加速度の測定と統計誤差の扱い（2）
3 生物学実験：光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作成・観察
4 生物学実験：グループ学習(実験結果から疑問点の抽出と解決、発表用スライド作成)
5 生物学実験：発表会
6 化学実験：無機金属イオンの分析（1）
7 化学実験：無機金属イオンの分析（2）
8 化学実験：容量分析（1） 中和滴定(食酢中の酸の定量)
9 化学実験：容量分析（2） キレート滴定（水道水中のカルシウムの定量）

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。
物理学分野 25%　生物学分野 35%　化学分野 40%で評価する。

化学分野では実験ノート（一次記録およびレポート）50%、 実験中の取り組み（面接・テストなどを含む）50%で評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。
教科書 化学実験（東京医科歯科大学教養部化学教室編）
参考書 最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之：医歯薬出版，2020

時間割番号	000242			
科目名	科学基礎実験 N・O・K		科目 ID	LA-116202-Z
担当教員	澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之[SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI, NARA MASAYUKI]			
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間：木曜日3～4時限　前期：実験（指定された回に出席すること）。後期：演習（予定）
・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　２－２）自然現象を探求するための手法を知る
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける
　４－３）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

前期：化学実験室、7 番教室
後期：未定

授業の目的、概要等

定性分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。
また、演習を通して、科学的な思考力を身につける。

授業の到達目標

一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。
看護や口腔保健の専門科目で役立つ科学の基礎について、演習問題に取り組むことで理解を深める。
GPA における「B」（本試験合格レベル）の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/15	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室	実験講義	澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
3-4	5/13	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
5-6	5/20	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
7-8	6/10	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
9-10	6/17	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
11-12	7/8	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
13-14	7/15	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
15-16	9/30	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
17-18	10/7	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
19-20	10/14	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
21-22	10/21	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
23-24	10/28	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
25-26	11/4	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
27-28	11/11	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之
29-30	11/18	13:10-16:20	化学実験室, 7 番教室		澤野　頼子, 勝又　敏行, 奈良　雅之

授業方法

実習、講義、および演習による

授業内容

1. 科学基礎実験総論/講義（一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等）/席決め/実験準備
2. 無機定性分析（1）金属イオンの分析

3. 無機定性分析(2)金属イオンの分析 4. 演習
成績評価の方法 評価:実験(一次記録、報告30% ・ 実験中の取り組み20%) ・演習(試験40% ・ 演習の参加度10%) 実験中の取り組みや記録の作成、実験に対する考察、授業内容の理解度を測るために試験や演習などにより評価する。 再評価:有(再評価方法　再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 実験においては、予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。 演習においては、講義資料(WebClass 等に掲載)にあらかじめ目を通しておく。
試験の受験資格 3 分の 2 以上出席
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)
参考書 生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2018 基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007 基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編,:東京化学同人, 2012 系統看護学講座　化学／奈良, 雅之,:医学書院, 2018
履修上の注意事項 実験の出欠は授業開始時に教員がとる。　出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。

時間割番号	000243				
科目名	科学基礎演習			科目ID	LA-116300-Z
担当教員	越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之[KOSHINO KAZUKI, SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜日・3 時限
・対象学科：保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科
・募集人数：50 名程度
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）
　別表2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　別表4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ物理学や化学の基礎を演習することを基本とする。前半は物理学（力学の基礎）について、後半は化学（物理化学の基礎）について演習を行う。GPA における「B」（本試験合格レベル）の条件は，演習問題が 7 割程度解けることである.

授業の到達目標

看護や口腔保健の専門科目で役立つ物理学と化学の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には，下記の授業計画で挙げている各項目に関して，基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。

GPA における「B」（本試験合格レベル）の条件は，演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
2	10/7	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
3	10/14	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
4	10/21	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
5	10/28	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
6	11/4	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
7	11/11	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
8	11/18	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
9	11/25	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
10	12/2	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
11	12/9	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
12	12/16	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
13	1/6	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
14	1/13	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之
15	1/20	13:10-14:40		越野　和樹, 澤野　頼子, 奈良　雅之

授業方法

講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による

授業内容

物理学
・運動の法則
・簡単な運動
・仕事とエネルギー
・質点系の運動
化学
・酸化・還元

・電池
・反応速度
・原子・分子の構造

成績評価の方法

評価：試験（物理学分野・化学分野毎の考査）１００％・レポート０％・その他（授業への参加度が考慮される）
再評価：有（再評価方法　再試験）
授業内容の理解度を測るために考査や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表２」による

準備学習等についての具体的な指示

物理学：講義資料（WebClass に掲載）をあらかじめダウンロードし印刷しておくことを前提とする。
化学：講義資料（WebClass に掲載）および参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。

試験の受験資格

考査・再試験の受験資格：３分の２以上出席

教科書

基礎物理学力学／秋光純，秋光正子，松川宏，越野和樹　共著，：培風館，2016
系統看護学講座　基礎分野　化学／奈良，雅之，：医学書院，2018

参考書

化学／小島一光　著，：化学同人，2002
医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫，山崎昶　共著，：裳華房，2003

他科目との関連

本科目か「科学基礎実験Ｎ・Ｏ・Ｋ」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。

履修上の注意事項

物理学分野、化学分野のいずれかの考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者としない。

連絡先（メールアドレス）

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

越野　和樹:毎週月曜日 12:00―13:00　ヒポクラテス４階
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス４階
奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス４階

時間割番号	000244		
科目名	情報科学 N	科目 ID	LA-116401-Z
担当教員	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕[TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO, MAEZAWA Shunnichi, SUDOU Takeaki]		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間：木曜3・4限（4/15 は3限または 4 限のいずれか、他は2コマ連続）
対象学科・専攻：保健衛生学科 看護学専攻

主な講義場所
計算機実習室

授業の目的、概要等
情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。
（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。
（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標
（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。
（2）プログラミング：Python を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考
1	4/15	14:50-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	2限が空き時間（1限に英語履修）となる学生は3限に受講。
2-3	4/22	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
4-5	5/6	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
6-7	5/27	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
8-9	6/3	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
10-11	6/24	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
12-13	7/1	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	
14-15	7/22	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，津垣　正男，前澤　俊一，須藤　毅顕	

授業方法
パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容
第1回（情報処理1）　E メール（Web メール）・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎、キーボード操作とタイピング
第2・3回（情報処理2・3）　日本語入力・テキストエディタ演習、HTML 演習
第4・5回（プログラミング1・2）　Python の概要と環境構築、プログラムの入力と実行
第5・6回（プログラミング3・4）　変数と演算、代入
第6・7回（プログラミング4・5）　制御構造1（for 文、while 文等）
第8・9回（プログラミング6・7）　制御構造2（if 文、関数等）

第 10･11 回(プログラミング８･９)　グラフィックス
第 12･13 回(プログラミング 10･11)　応用演習
第 14･15 回　タイピング試験、成績評価に関わる演習等

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング:　出席、課題提出および学期末の試験による(約 70 点満点)
(2)情報処理:　出席･タイピング試験、課題提出および試験による(約 30 点満点)
なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験　により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列･組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S･プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000245			
科目名	情報科学Ｔ		科目ID	LA-116402-Z
担当教員	徳永　伸一, 津垣　正男, 須藤　毅顕[TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO, SUDOU Takeaki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：木曜3・4限（4/15 は3限のみ、他は2コマ連続）

対象学科・専攻：保健衛生学科　検査技術専攻

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。

（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。

（2）プログラミング：Python を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
2-3	5/13	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
4-5	5/20	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
6-7	6/10	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
8-9	6/17	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
10-11	7/8	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
12-13	7/15	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男
14-15	7/29	13:10-16:20	計算機実習室	徳永　伸一, 津垣　正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回（情報処理1）　E メール（Web メール）・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎、キーボード操作とタイピング

第2・3回（情報処理2・3）　日本語入力・テキストエディタ演習、HTML 演習

第4・5回（プログラミング1・2）　Python の概要と環境構築、プログラムの入力と実行

第5・6回（プログラミング3・4）　変数と演算、代入

第6・7回（プログラミング4・5）　制御構造1（for 文、while 文等）

第8・9回（プログラミング6・7）　制御構造2（if 文、関数等）

第 10・11 回（プログラミング8・9）　グラフィックス

第 12・13 回（プログラミング 10・11）　応用演習

第 14・15 回　タイピング試験、成績評価に関わる演習等

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

（1）プログラミング：　出席、課題提出および学期末の試験による（約 70 点満点）

（2）情報処理：　出席・タイピング試験、課題提出および試験による（約 30 点満点）

なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験　により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示
高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格
原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書
Web 上の教材を利用する。

他科目との関連
本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項
実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。

参照ホームページ
情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

連絡先（メールアドレス）
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー
徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000246			
科目名	情報科学 O・K		科目 ID	LA-116403-Z
担当教員	徳永　伸一,前澤　俊一 [TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間：木曜3・4限（4/15 は3限または 4 限のいずれか、他は2コマ連続）
対象学科・専攻：口腔保健学科

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と，情報処理能力，論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。
（1）情報処理：電子情報を活用するための基本的な技術。
（2）プログラミング：論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

（1）情報処理：E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。
（2）プログラミング：Python を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
2-3	4/22	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
4-5	5/6	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
6-7	5/27	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
8-9	6/3	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
10-11	6/24	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
12-13	7/1	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一
14-15	7/22	13:10-16:20	1 番教室，計算機実習室	徳永　伸一，前澤　俊一

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回（情報処理1）　E メール（Web メール）・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎、キーボード操作とタイピング
第2・3回（情報処理2・3）　日本語入力・テキストエディタ演習、HTML 演習
第4・5回（プログラミング1・2）　Python の概要と環境構築、プログラムの入力と実行
第5・6回（プログラミング3・4）　変数と演算、代入
第6・7回（プログラミング4・5）　制御構造1（for 文、while 文等）
第8・9回（プログラミング6・7）　制御構造2（if 文、関数等）
第 10・11 回（プログラミング8・9）　グラフィックス
第 12・13 回（プログラミング 10・11）　応用演習
第 14・15 回　タイピング試験、成績評価に関わる演習等

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
（1）プログラミング：　出席、課題提出および学期末の試験による（約 70 点満点）
（2）情報処理：　出席・タイピング試験、課題提出および試験による（約 30 点満点）
なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験　により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示
高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格
原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書
Web 上の教材を利用する。

他科目との関連
本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項
実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。　また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。

参照ホームページ
情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm
プログラミングテキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000248			
科目名	情報処理(a)		科目ID	LA-116501-Z
担当教員	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕[TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi, SUDOU Takeaki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:木曜 1 限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)

主な講義場所

計算機実習室および 1 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。

・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTML による Web ページ作成の基礎を習得する。

・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
2	4/22	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
3	5/6	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
4	5/13	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
5	5/20	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
6	5/27	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
7	6/3	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
8	6/10	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
9	6/17	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
10	6/24	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
11	7/1	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
12	7/8	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
13	7/15	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
14	7/22	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕
15	7/29	09:10-10:40	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕

授業内容

第 1 回　E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回　情報セキュリティ、著作権

第 3 回　タイピング演習、テキストエディタ演習

第 4 回　HTML 基礎

第 5 回　HTML 演習

第 6 回　Python 導入1

第 7 回　Python 導入2

第 8 回　Excel 基礎
第 9 回　Excel 演習（1）
第 10 回　データ処理の基礎
第 11 回　Excel 演習（2）
第 12 回　Excel 演習（3）
第 13 回　総合演習1
第 14 回　総合演習2
第 15 回　タイピング試験

※授業は2クラスに分けて行い、一部スケジュール（学習順序）はクラスによって異なるので、上記の通りとは限らない。クラス分けおよびスケジュールの詳細は掲示等で確認すること。

成績評価の方法

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先（メールアドレス）

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000249			
科目名	情報処理(β)		科目ID	LA-116502-Z
担当教員	徳永　伸一, 前澤　俊一, 須藤　毅顕[TOKUNAGA SHINICHI, MAEZAWA Shunnichi, SUDOU Takeaki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:木曜2限

対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を1限に履修する学生)

主な講義場所

計算機実習室および 1 番教室

(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。

・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTML による Web ページ作成の基礎を習得する。

・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
2	4/22	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
3	5/6	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
4	5/13	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
5	5/20	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
6	5/27	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
7	6/3	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
8	6/10	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
9	6/17	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
10	6/24	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
11	7/1	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
12	7/8	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
13	7/15	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
14	7/22	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一
15	7/29	10:50-12:20	1 番教室, 計算機実習室	徳永　伸一, 前澤　俊一

授業内容

第 1 回　E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回　情報セキュリティ、著作権

第 3 回　タイピング演習、テキストエディタ演習

第 4 回　HTML 基礎

第 5 回　HTML 演習

第 6 回　Python 導入1

第 7 回　Python 導入2

第 8 回　Excel 基礎
第 9 回　Excel 演習（1）
第 10 回　データ処理の基礎
第 11 回　Excel 演習（2）
第 12 回　Excel 演習（3）
第 13 回　総合演習1
第 14 回　総合演習2
第 15 回　タイピング試験

※授業は2クラスに分けて行い、一部スケジュール（学習順序）はクラスによって異なるので、上記の通りとは限らない。クラス分けおよびスケジュールの詳細は掲示等で確認すること。

成績評価の方法

出席および提出課題，タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先（メールアドレス）

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000250				
科目名	スポーツ・健康科学			科目ID	LA-116600-Z
担当教員	水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典[MIZUNO Tetsuya, HATSUTORI ATSUHIKO, NAMBA HIDEYUKI, OOBAYASHI Tarou, TAZAWA Ryuushi, WATANABE Youko, Mikio Hiura, YAGI TATSUO, KONNO KAZUYUKI, TOGARI TAISUKE]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:後期 木曜3限
対象学科:医学科・歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所
1 番教室

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間を育成することです。本授業ではこの理念にそって、人類への貢献の基盤となるスポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎を身に就けます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成に関する理論とその効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。

授業の到達目標

本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基本的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べることが出来る能力を有することを授業の到達目標としています。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
2	10/7	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
3	10/14	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
4	10/21	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
5	10/28	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
6	11/4	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
7	11/11	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
8	11/18	13:10-		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和

		14:40		志, 戸ケ里 泰典
9	11/25	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
10	12/2	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
11	12/9	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
12	12/16	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
13	1/6	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
14	1/13	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典
15	1/20	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 難波 秀行, 大林 太朗, 田澤 立之, 渡邊 洋子, 日浦 幹夫, 谷木 龍男, 今野 和志, 戸ケ里 泰典

授業方法

授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。

授業内容

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。

3. フィットネス科学

健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクセーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。

成績評価の方法

評価:定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価します。 試験 100%

(担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります)

再評価: 有 (レポートによる)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

生きる力の原点である"健康と体力"の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、"自分の健康を守る"ことはもとより、"家族"、"地域"そして"地球"へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。

。

参考書

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],:講談社, 2013

スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,:世界思想社, 1999

生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,:有信堂高文社, 2011

教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,:大修館書店, 2005

現代医療の社会学 : 日本の現状と課題／中川輝彦, 黒田浩一郎編,中川, 輝彦,黒田, 浩一郎,:世界思想社, 2015 病気にならない暮らし事典 : 自然派医師が実践する 76 の工夫／本間真二郎 著,本間, 真二郎, 1969-,:セブン&アイ出版, 2016 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか:有信堂, 2008
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000251				
科目名	スポーツ・健康科学			科目ID	LA-116600-Z
担当教員	水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子[MIZUNO Tetsuya, HATSUTORI ATSUHIKO, HIRAI NOBUHIDE, TANAKA TOMOHIKO, YAGI TATSUO, Mikio Hiura, TOGARI TAISUKE, NAMBA HIDEYUKI, WATANABE Youko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:後期 金曜3限
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間を育成することです。本授業ではこの理念にそって、人類への貢献の基盤となるスポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎を身に就けます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成に関する理論とその効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。

本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。

授業の到達目標

本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基本的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べることが出来る能力を有することを授業の到達目標としています。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
2	10/8	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
3	10/15	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
4	10/22	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
5	10/29	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
6	11/5	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
7	11/12	13:10-14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
8	11/19	13:10-		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊

		14:40		洋子
9	11/26	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
10	12/3	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
11	12/10	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
12	12/17	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
13	1/7	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
14	1/14	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子
15	1/21	13:10- 14:40		水野 哲也, 服部 淳彦, 平井 伸英, 田中 智彦, 谷木 龍男, 日浦 幹夫, 戸ケ里 泰典, 難波 秀行, 渡邊 洋子

授業方法

授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。

授業内容

1. 身体並びに健康に関する文化論

スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。

2. 保健医学

感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、実例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。

3. フィットネス科学

健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクセーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。

成績評価の方法

評価:定期試験期間に考査を実施し、その理解度を評価します。 試験 100%

(担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります)

再評価: 有 (レポートによる)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

生きる力の原点である"健康と体力"の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、"自分の健康を守る"ことはもとより、"家族"、"地域"そして"地球"へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。

。

参考書

現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著],:講談社, 2013

スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編,:世界思想社, 1999

生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編,:有信堂高文社, 2011

教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著,:大修館書店, 2005

現代医療の社会学 : 日本の現状と課題／中川輝彦, 黒田浩一郎編,中川, 輝彦,黒田, 浩一郎,:世界思想社, 2015 病気にならない暮らし事典 : 自然派医師が実践する 76 の工夫／本間真二郎 著,本間, 真二郎, 1969-,:セブン&アイ出版, 2016 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか:有信堂, 2008
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000923				
科目名	フィットネスマネージメント			科目 ID	LA-116700-E
担当教員					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期]木曜4限、金曜4限
対象学科:全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーション

や軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 ： アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000924			
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木4)		科目ID	LA-116701-E
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, KURIHARA Miki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限/[後期]木曜4限、金曜4限
対象学科:全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
2	4/22	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
3	5/6	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
4	5/13	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
5	5/20	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
6	5/27	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
7	6/3	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
8	6/10	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
9	6/17	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
10	6/24	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
11	7/1	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀

12	7/8	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
13	7/15	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
14	7/22	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀
15	7/29	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志, 栗原 美紀

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎/北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会/山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか/近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000925			
科目名	フィットネスマネージメント(前期　木5)		科目ID	LA-116702-E
担当教員	水野　哲也, 今野　和志[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期]木曜4限、金曜4限
対象学科:全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/15	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
2	4/22	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
3	5/6	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
4	5/13	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
5	5/20	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
6	5/27	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
7	6/3	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
8	6/10	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
9	6/17	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
10	6/24	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志
11	7/1	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 今野　和志

12	7/8	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志
13	7/15	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志
14	7/22	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志
15	7/29	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 今野 和志

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎/北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会/山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか/近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000926			
科目名	フィットネスマネージメント(前期　金4)		科目ID	LA-116703-E
担当教員	水野　哲也, 髙岡　英氣[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期]木曜4限、金曜4限
対象学科:全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
2	4/16	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
3	4/23	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
4	4/30	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
5	5/7	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
6	5/14	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
7	5/21	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
8	5/28	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
9	6/4	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
10	6/11	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣
11	6/18	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣

12	6/25	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣
13	7/2	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣
14	7/9	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣
15	7/16	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎/北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会/山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか/近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000927			
科目名	フィットネスマネージメント(前期　金5)		科目ID	LA-116704-E
担当教員	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[前期]木曜3限、4限、金曜3限、4限／[後期]木曜4限、金曜4限
対象学科:全学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
2	4/16	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
3	4/23	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
4	4/30	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
5	5/7	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
6	5/14	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
7	5/21	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
8	5/28	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
9	6/4	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希
10	6/11	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 稲垣　和希

11	6/18	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希
12	6/25	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希
13	7/2	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希
14	7/9	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希
15	7/16	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)	水野 哲也, 髙岡 英氣, 栗原 美紀, 稲垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 : アクティブ・ライフスタイルをめざして/J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳.:北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎/北川 薫:市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会/山崎喜比古:有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか/近藤克則:医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000928			
科目名	フィットネスマネージメント(後期　木 A)		科目 ID	LA-116705-E
担当教員	水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[後期]木曜4限
対象学科:医学科、歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
2	10/7	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
3	10/14	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
4	10/21	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
5	10/28	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
6	11/4	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
7	11/11	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
8	11/18	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
9	11/25	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀
10	12/2	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 髙岡　英氣, 栗原　美紀

11	12/9	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀
12	12/16	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀
13	1/6	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀
14	1/13	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀
15	1/20	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 高岡 英氣, 栗原 美紀

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 ： アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000929			
科目名	フィットネスマネージメント(後期　木B)		科目ID	LA-116706-E
担当教員	水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希[MIZUNO Tetsuya, KONNO KAZUYUKI, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[後期]木曜4限
対象学科:医学科、歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/30	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
2	10/7	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
3	10/14	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
4	10/21	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
5	10/28	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
6	11/4	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
7	11/11	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
8	11/18	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
9	11/25	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
10	12/2	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希
11	12/9	14:50-16:20		水野　哲也, 今野　和志, 稲垣　和希

12	12/16	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希
13	1/6	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希
14	1/13	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希
15	1/20	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 ： アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000930			
科目名	フィットネスマネージメント(後期　金 A)		科目 ID	LA-116707-E
担当教員	水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志[MIZUNO Tetsuya, TAKAOKA HIDEKI, KURIHARA Miki, KONNO KAZUYUKI]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[後期]金曜4限
対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
2	10/8	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
3	10/15	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
4	10/22	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
5	10/29	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
6	11/5	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
7	11/12	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
8	11/19	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
9	11/26	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志
10	12/3	14:50-16:20		水野　哲也, 髙岡　英氣, 栗原　美紀, 今野　和志

11	12/10	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 今野 和志
12	12/17	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 今野 和志
13	1/7	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 今野 和志
14	1/14	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 今野 和志
15	1/21	14:50-16:20		水野 哲也, 高岡 英氣, 栗原 美紀, 今野 和志

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 ： アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000931			
科目名	フィットネスマネージメント(後期　金 B)		科目 ID	LA-116708-E
担当教員	水野　哲也, 稲垣　和希[MIZUNO Tetsuya, INAGAKI Kazuki]			
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:[後期]金曜4限
対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する
別表3－3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

教育の目的は、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人材の育成です。保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。

また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。

そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、協働的な取り組みが必要十分条件です。

授業の到達目標

本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得であり、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に併行して開講されるスポーツ・健康科学授業との有機的な連携を通して、その後の自己管理(生涯フィットネスのマネジメント)にむけたプランニングが求められます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
2	10/8	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
3	10/15	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
4	10/22	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
5	10/29	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
6	11/5	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
7	11/12	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
8	11/19	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
9	11/26	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
10	12/3	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希
11	12/10	14:50-16:20		水野　哲也, 稲垣　和希

12	12/17	14:50-16:20		水野 哲也, 稲垣 和希
13	1/7	14:50-16:20		水野 哲也, 稲垣 和希
14	1/14	14:50-16:20		水野 哲也, 稲垣 和希
15	1/21	14:50-16:20		水野 哲也, 稲垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で行われますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年 3 回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます（後期は隔週）。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、ヨガ、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニングを目的としたプログラムなどが用意されています。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価：参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価： 有 （レポート等による）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験（評価対象）の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学 ： アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング			科目ID	LA-116801-Z
担当教員	稲垣　和希，水野　哲也[INAGAKI Kazuki, MIZUNO Tetsuya]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：月曜1限
受講資格：スポーツの心理的側面，スポーツ心理学及びメンタルトレーニング（MT）に興味・関心があり，MT の練習を継続し，習得する意欲があること
何らかのスポーツあるいは競技（competition）経験を有し，現在も継続していることが望ましい
募集人数：24人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1－5），7），8）

授業の目的、概要等

競技を始めとして，実力を発揮し，卓越したパフォーマンスと実力発揮を求められる活動において，自己の心身の状態に気づき，調える心理的スキルを獲得することが不可欠です。
メンタルトレーニング（MT）とは，スポーツ心理学や心理学の理論や技法に基づいて，心理的スキルを習得し，実際に競技で使えるように体系化したものです。
今日では，MT は，スポーツ領域に留まらず，医療領域，教育領域など，様々な領域に応用されています。
本授業では，講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び，実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。

授業の到達目標

基本的な心理的スキル技法を習得し，日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	稲垣　和希，水野　哲也
2	4/19	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
3	4/26	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
4	5/10	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
5	5/17	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
6	5/24	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
7	5/31	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
8	6/7	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
9	6/14	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
10	6/21	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
11	6/28	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
12	7/5	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
13	7/12	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
14	7/19	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也
15	7/26	09:10-10:40	9 番教室	稲垣　和希，水野　哲也

授業方法

スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後，その技法を実習します。練習・習得状況について集団で熟議・討議した後，発表を課します。

授業内容

1. ガイダンス
2. メンタルトレーニングとは何か？
3. 自己開示

4. リラクセーション
5. セルフコーチングへの道
6. 目標設定スキル
7. マインドフルネス
8. アクティブリスニング
9. コーチング
10. ピークパフォーマンス
11. チームビルディング
12. メンタルタフネスモデル
13. ラニー・パッシャムのメンタルマネジメント
14. 愛は脳を活性化する
15. 総括

成績評価の方法

評価 ： 試験　　％ ・ レポート　　50％ ・ その他（受講態度）50％
再評価： 原則 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業で提示する教科書・参考書等用いてトレーニングの実践し、その記録等の提出

教科書

スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版, 日本スポーツ心理学会編, 2016, 大修館書店

履修上の注意事項

・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。

時間割番号	000306				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 1			科目 ID	LA-116805-Z
担当教員	服部　淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜日2限
・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　２－４）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。
　２－５）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス 1（前期）と 2（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。また、本年度は前期から研究（実験）をはじめる。
この科目では，
1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。
2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む。
3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。
4）さらにその発展バージョンとして，自由にテーマを設定し，実験のプランニングをし，そのプランに従った実験を実際に行う。
したがって，必ずしも金曜2限目だけで実験は終了しないこともありうるので，その事も考慮して取るように。

授業の到達目標

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	10:50-12:20	遠隔授業（同期型）	服部　淳彦
2	4/16	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
3	4/23	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
4	4/30	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
5	5/7	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
6	5/14	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
7	5/21	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
8	5/28	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
9	6/4	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
10	6/11	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
11	6/18	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
12	6/25	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
13	7/2	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
14	7/9	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦
15	7/16	10:50-12:20	2 番教室	服部　淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験とその中間発表による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得する

4. テーマを設定し，独自の実験計画を立て，実際に実験を行う（前期と夏休み） 5. 結果をパワーポイントにまとめて発表する ＊　実験形式の授業なので，募集人数は8名をMAXとし、希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。
成績評価の方法 評価:その他　100% 英語論文に関する理解度や中間発表時のプレゼンテーションやディスカッションの様子などから総合的に判断する。 再評価:　無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 渡された英語の論文は早めに読み、研究テーマや実験の進め方に関しては適宜相談に来ること。
教科書 参考論文などは，随時紹介する。
連絡先（メールアドレス） ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

時間割番号	000312				
科目名	S・水の科学			科目ID	LA-116813-Z
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜1時限
・対象学科：全学科
・募集人数：35 名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける
　別表2－5）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。

授業の到達目標

1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。
2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。
3. 授業中にあまり積極的には参加できていないが、プレゼンテーション、レポート提出は行えた場合に、GPA における「B」に相当する。能動学習の成果が授業中に出ている学生は、「A あるいは A+]に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型），化学実験室	奈良　雅之
	4/16	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
2	4/23	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
3	4/30	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
4	5/7	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
5	5/14	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
6	5/21	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
7	5/28	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
8	6/4	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
9	6/11	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
10	6/18	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
11	6/25	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
12	7/2	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
13	7/9	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之
14	7/16	09:10-10:40	6 番教室，化学実験室	奈良　雅之

授業方法

教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習（アクティブラーニング）を実践します。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか？」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか？」など実際に比較実験を行う（自分の舌で確かめる）ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。

授業内容

1.ガイダンス
2.水に関する講義
3.水,水溶液に関連する文献の輪読
4.ミネラルウォーターの試飲会　and/or　コーヒーの試飲会
5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象)
6.報告会　など

成績評価の方法

評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。
アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

水を科学する／川瀬義矩　著,:東京電機大学出版局, 2011

参考書

水の話・十講 : その科学と環境問題／鈴木啓三　著,:化学同人, 1997
水とはなにか : ミクロに見たそのふるまい／上平　恒／著,:講談社, 1979
系統看護学講座　化学／奈良雅之:医学書院, 2018
水の科学 : 水の自然誌と生命、環境、未来／清田佳美著,清田, 佳美,:オーム社, 2015

他科目との関連

分子レベルの化学に興味を持っている方は、「分子分光学演習:基礎編」の履修をお勧めします。

履修上の注意事項

1限の授業に遅刻、無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。　グループ学習が嫌いな人には向いていません。

時間割番号	000322				
科目名	S・フランス語でニュースを読む			科目 ID	LA-116824-Z
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時限：月曜 2 限
対象学科：全学科
受講資格：フランス語前期履修者(あるいは同等のフランス語力のある者)
募集人数：10 名
コンピテンシー：別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。

概要：4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めは難しいと感じることがあるかも知れませんが、その時点でまだ学習していない文法項目については解説しますし、ニュース記事には英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば理解できます。
　前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。

授業の到達目標

1）1 年生の文法知識で、リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。
2）現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。
3）ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/4	10:50−12:20	11 番教室	ガイダンス（授業方法説明、サンプル記事購読）	中島　ひかる
2	10/11	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
3	10/18	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
4	10/25	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
5	11/1	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
6	11/8	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
7	11/15	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
8	11/22	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
9	11/29	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
10	12/6	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
11	12/13	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
12	12/20	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
13	1/17	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
14	1/24	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる
15	1/31	10:50−12:20	11 番教室	ニュース記事講読・教員解説	中島　ひかる

授業方法

演習による。

初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で皆で読んでいきます。細かい点にはあまりこだわらず、内容が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事で

どう使われているかや、ニュース記事に特徴的な文体に注意を促します。

授業内容

毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2 回に 1 回度程度担当して頂きます。

2020 年度の受講者が選んだ記事の例を挙げます。

・コロナの拡大
・テレワーク
・コロナワクチンの開発・接種体制
・マスクのポイ捨て禁止キャンペーン
・コロナとワイン産業
・新バカロレア
・フランスの医学生（厳しい進振り事情）
・報道の自由への規制（警官撮影規制）
・イスラム分離主語への戦いと家庭教育禁止
・映画「レ・ミゼラブル」
・映画「美女と野獣」
・記念日をめぐって
・量子コンピュータ開発
・人工衛星産業

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 0 %・
その他 100 %（授業への準備・授業の発表等）
再評価：無

フランス現代社会に興味を持って頂くことが授業の大きな目的ですので、自分の興味のある、自分の力で読解可能な記事を選び、責任を持って授業への準備を行い、教室で皆にわかるように訳読、コメントをおこなったか、という点を評価します。

学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分が興味をもったニュースを選び、積極的に予習して授業に参加することを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

自分の力にあった、興味の持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の金曜日 24 時までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。

短い記事を選んでも結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。

国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。

試験の受験資格

試験は行わず、授業における発表で評価する

教科書

・francetvinfo
http://www.francetvinfo.fr/
テレビ報道を文字に起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。

・パリジアン

http://www.leparisien.fr/

・パリマッチ

http://www.parismatch.com/

・フィガロ

http://www.lefigaro.fr/

・リベラシオン

http://www.liberation.fr/

・ネット新聞

http://www.20minutes.fr/

・ル・モンド

http://www.lemonde.fr/

無料購読の場合、一ヶ月の閲覧数に制限あり

他科目との関連

フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。

履修上の注意事項

少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。

連絡先（メールアドレス）

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜　12:00～13:00

＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000323				
科目名	S・一般化学演習			科目ID	LA-116830-Z
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：月曜1時限
・対象学科：医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻
・募集人数　40名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　2－1）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習　一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。

授業の到達目標

「マグロウヒル大学演習　一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。
問題演習通して能動的な学習態度がある程度身についたと判断できる学生は、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		奈良　雅之
2	10/11	09:10-10:40		奈良　雅之
3	10/18	09:10-10:40		奈良　雅之
4	10/25	09:10-10:40		奈良　雅之
5	11/1	09:10-10:40		奈良　雅之
6	11/8	09:10-10:40		奈良　雅之
7	11/15	09:10-10:40		奈良　雅之
8	11/22	09:10-10:40		奈良　雅之
9	11/29	09:10-10:40		奈良　雅之
10	12/6	09:10-10:40		奈良　雅之
11	12/13	09:10-10:40		奈良　雅之
12	12/20	09:10-10:40		奈良　雅之
13	1/17	09:10-10:40		奈良　雅之
14	1/24	09:10-10:40		奈良　雅之
15	1/31	09:10-10:40		奈良　雅之

授業方法

学生参加型の発表形式で授業が進行します。

授業内容

第1・2回　序論：単位、気体の測定、気体の分子量
第3・4回　電離平衡（酸・塩基）
第5・6回　電離平衡（錯体と沈殿）
第7・8回　化学熱力学分野

第9・10 回　化学熱力学分野
第 11・12 回　原子の構造
第 13・14 回　分子の構造
第 15 回　総合演習

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）30％・レポート（学習実践記録）30％
　その他40％（授業中の発表、参加度）
　授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。
再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習：指定された問題をノートに解いておく。
復習：授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

試験の受験資格

定期試験の受験資格：原則3分の2以上の出席

教科書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein　共著,一国雅巳　訳：オーム社, 1995

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫　共著,：三共出版, 2013
系統看護学講座／奈良, 雅之,：医学書院, 2018

連絡先（メールアドレス）

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000325				
科目名	S・現代中国社会研究			科目ID	LA-116807-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜 3-4 限
対象学科:全学科
募集人数:30人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-4、3-5

授業の目的、概要等

現代中国社会における政治、経済、民族、教育、人口政策などの現状を紹介したうえ、中国社会が直面する問題を検討することにより、現代中国社会を理解することを目指す。
本講義は 2 部から構成する。第 1 部は、中国の政治体制をはじめ、経済、民族、教育、人口に関する具体的な状況を紹介する。第 2 部は、現代中国社会が抱える問題を取り上げ、中国の実情を具体的にイメージし、適切な中国認識を持つようにつなげる。講義を通してボーダーレスな時代において中国の人と交流する基礎的な知識を身につけてもらいたい。

授業の到達目標

中国社会の構造を知ることにより、中国を知り、中国に関する知識を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/25	13:10-16:20		第1回　第2回	授業概要の紹介　中国の概要	BAO MIN
3-4	6/15	13:10-16:20		第3回　第4回	中国の仕組み　中国経済の概況①	BAO MIN
5-6	6/29	13:10-16:20		第5回　第6回	中国経済の概況②　中華民族とは	BAO MIN
7-8	7/13	13:10-16:20		第7回　第8回	中国の教育体制　中国人口政策の変遷①	BAO MIN
9-10	7/30	13:10-16:20		第9回　第10回	中国人口政策の変遷②　改革開放政策の功罪	BAO MIN
11-12	9/14	13:10-16:20		第11回　第12回	都市部と農村部における教育格差　一人っ子時代における中国の高齢化問題	BAO MIN
13-14	9/17	09:10-12:20		第13回　第14回	中国の少数民族問題　アフターコロナの中国政治社会	BAO MIN
15	9/24	10:50-12:20		第15回	まとめ　講義全体を振り返り、解説を行う	BAO MIN

授業方法

講義と演習による。
毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第1回:授業概要の紹介
第2回:中国の概要
第3回:中国の仕組み
第4回:中国経済の概況①
第5回:中国経済の概況②
第6回:中華民族とは

第7回:中国の教育体制
第8回:中国人口政策の変遷①
第9回:中国人口政策の変遷②
第10回:改革開放政策の功罪
第11回:都市部と農村部における教育格差
第12回:一人っ子時代における中国の高齢化問題
第13回:中国の少数民族問題
第14回:アフターコロナの中国政治社会
第15回:まとめ　講義全体を振り返り、解説を行う

成績評価の方法

評価:レポート 50%　・その他(授業参加、授業中課題)50%
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。

試験の受験資格

①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。

教科書

教科書は用いない。適宜プリントを配布する。

参考書

高原明生他編『東大塾 社会人のための現代中国講義』東京大学出版会 2014 年
光田剛編『現代中国入門』ちくま新書 2017 年
天児慧編著『習近平が変えた中国』小学館 2018 年
東大社研現代中国研究拠点編『現代中国ゼミナール　―東大駒場連続講義』東京大学出版会　2020 年
東大社研現代中国研究拠点編『コロナ以後の東アジア』東京大学出版会　2020 年

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学			科目 ID	LA-116826-Z
担当教員	勝又　敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：月曜日 2 限（後期）

募集人数：5名

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

別表2−1）自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3）自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。

糖の科学では、実習形式で糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深める。論文購読やプレゼンテーション、糖鎖分析に関する実験などを通してアクティブラーニング形式で生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。

授業の到達目標

糖に関する基礎知識を習得し、自分で英語の論文を検索、読解する力を身に着けることを目標とする。

実験の計画を立て、実施し、記録をとることができる。

GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		勝又　敏行
2	10/11	10:50-12:20		勝又　敏行
3	10/18	10:50-12:20		勝又　敏行
4	10/25	10:50-12:20		勝又　敏行
5	11/1	10:50-12:20		勝又　敏行
6	11/8	10:50-12:20		勝又　敏行
7	11/15	10:50-12:20		勝又　敏行
8	11/22	10:50-12:20		勝又　敏行
9	11/29	10:50-12:20		勝又　敏行
10	12/6	10:50-12:20		勝又　敏行
11	12/13	10:50-12:20		勝又　敏行
12	12/20	10:50-12:20		勝又　敏行
13	1/17	10:50-12:20		勝又　敏行
14	1/24	10:50-12:20		勝又　敏行
15	1/31	10:50-12:20		勝又　敏行

授業方法

英語の総説の読解の演習や実験を中心にアクティブラーニングを行う。

授業内容

1. 糖に関する講義

2. 糖に関する英文の総説の輪読(アクティブラーニング) 3. 各自興味のある論文のプレゼンテーション 4. 糖鎖構造解析に関する実験
成績評価の方法 演習を中心として行うため以下の通りとする。 評価:試験 0%、レポート 50%、その他(プレゼンテーションや質問など)50% 再評価 有(レポート再提出)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 自分でテーマに沿った論文を検索して、それをまとめてプレゼンテーションできるようにすること。
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳,:丸善, 2010 ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる/谷口直之 編,:羊土社, 2002 糖鎖科学への招待/辻崇一 共著,梶本哲也 共著,:三共出版, 2008
連絡先(メールアドレス) katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000327				
科目名	R・けいすけのドイツ旅行			科目 ID	
担当教員	SCHINZINGER EMI[Schinzinger Emi]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:後期:月曜 2 限
・対象学科:全学科
・受講資格:ドイツ語を履修していること
・募集人数:20 人
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表1－4)異なる空間の文化を理解する
別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める
別表1－7)人間の心への理解を深める
別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う
別表3－4)外国文化を理解する

主な講義場所
教養部;国府台キャンパス

授業の目的、概要等
ドイツ語の中級教科書を読みながら、ドイツと周りの国々、ドイツの様々な町について学んでいきます。同時にドイツの日常生活や文化についても学ぶことになります。
この教科書は、日本の大学生が、ドイツの友人とともにドイツ旅行をする、という設定で、フランクフルト、ミュンヘン、ザルツブルク、ベルリン、と旅をしますが、同時にゲーテやデューラー、クラーナッハなどの芸術家やベルリンの壁崩壊、ドイツ再統一などについても学んでいきます。

授業の到達目標
原文講読ですので、なるべく多く原文を読んでいきます。全 11 課を読み終えることが目標ですが、内容が多すぎるため、第 9 課、ベルリンの壁についての課までしか読み終えることができない可能性もあります。進度はあくまでも目安、と考えてください。この本を読むことによってドイツと周りの国々、そしてドイツの様々な町、ドイツの再統一などについて学ぶことが目標です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行 1	オリエンテーション。第 1 課前半を読む。旅行準備。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。
2	10/11	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行 2	第 1 課後半と第 2 課前半を読む。旅行準備;ドイツと周りの国々。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
3	10/18	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行 3	第 2 課後半を読んで、第 1 課と第二課のまとめ。ドイツと周りの国々。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
4	10/25	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行 4	第 3 課前半を読む。ドイツ到着。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
5	11/1	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行	第 3 課後半と第 4 課前半を読む。ドイツ到着とフランクフルト。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくるこ

				5			と。
6	11/8	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行6	第4課後半を読み、第3課と第4課のまとめ。フランクフルト。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
7	11/15	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行7	第5課前半を読む。列車移動;ミュンヘン到着。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/22	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行8	第5課後半と第6課前半を読む。ミュンヘン。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	11/29	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行9	第6課後半を読んで、第5課と第6課のまとめ。ミュンヘン;デューラーとクラーナッハ。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/6	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行10	第7課前半を読む。ザルツブルク。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/13	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行11	第7課後半を読み、第7課のまとめ。ザルツブルク。	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/20	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行12	第8課前半を読む。ベルリン1	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/17	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行13	第8課後半と第9課前半を読む。ベルリン2	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/24	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行14	第9課後半を読み、第8課と第9課のまとめ。ベルリン3	SCHINZINGER EMI	辞書と教科書を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/31	10:50-12:20		R・けいすけのドイツ旅行15	今まで読んだところについての試験。	SCHINZINGER EMI	遅刻・欠席しないこと。今まで読んだところを復習しておくこと。

授業方法

原文を読んで訳してからディスカッションをしながら進めていきます。ゼミナー形式。毎回予習をしてきてもらって、授業中に原文を読んで訳していきます。教員が説明・解説しなければならないところもたくさんあります。インターネットのホームページ・DVD 等も使います。

授業内容

毎回次の週までに予習してきてもらうところを決めます。授業中は原文を読んで訳していき、DVD やインターネットのホームページを見たりして理解を深めます。その後読んだ内容についてディスカッションします。

最終回に理解の度合いを確かめるために試験を行います。

成績評価の方法

予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

最終回に行う試験の成績がが 50 パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。

毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。

1 年前期に習った文法事項では足りないので、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきます。1 年生が使っているドイツ語の

教科書を持ってきてください。ドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。
受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

ドイツ語、次のステップへ！Weiter auf Deutsch!／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明：同学社, 2019

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,：三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,：同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきました。
電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、
電子辞書のほうが早く調べられます。
もし電子辞書をこれから購入するのであれば、
そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、
カシオ　Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。　毎回予習してくることが履修条件です。

連絡先（メールアドレス）

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16：30 － 18：00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000328				
科目名	S・計算機による数学			科目 ID	
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

募集人数：最大40名

科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），2−2），2−4），4−2），4−3），4−4）

授業の目的、概要等

数理・データサイエンス・人工知能の分野においては，数学的表現で定式化された問題をコンピュータで数値的に解く場面が数多現れるが，その解き方を提供するのが数値計算法（数値解析法）である。特に微積分など極限操作を伴う問題を近似的に解くことが求められることが多いが，無闇に近似してよいわけではなく，微積分の力を借りて精確さの保証された近似解法を用いなければならない。この授業では，Python（保健衛生学科・口腔保健学科の学生は十進 BASIC でも可）によるプログラミング演習と，計算科学に関する PBL 型演習を通して，数値計算法（数値解析法）の基礎を学習する。

授業の到達目標

・基本的な数値計算法を理解し，適切に運用できる。

・基本的な数値計算パッケージ（NumPy など）の利用も含めて，簡単な問題を解くプログラムを組める場合は，高い評価を与える。

授業方法

全15回のうち前半10回分は，非同期動画配信と課題提出によって行う。2回を1セットとして，各セット前半を講義動画視聴とその予習・復習に，後半を課題提出に充てる。

後半5回分は，冬季集中日程の同期遠隔型授業で PBL（Problem−Based Learning）型演習を行う。1班3～6名のグループに分かれ，グループごとに情報に関するテーマを設定して調査研究を行い，最終回に発表会で共有する。

さらに，一連の学習を元に，課題レポートを提出する。

授業内容

1−2. プログラミングの基礎（四則演算，行列演算，条件分岐，関数定義），数の表現と扱える数の範囲

3−4. 反復計算プログラミング，数列と漸化式，極限と打切り

5−6. 図形描画プログラミング，立体図形の操作

7−8. 関数の零点，多項式の根

9−10. 関数の極値，勾配法

11−14. PBL 班活動

15. PBL 発表会

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 30% ・その他 70%（授業内演習 30%，PBL への取組等 40%）

再評価： 無

授業内演習と PBL の活動状況，期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習の提出状況，PBL 活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課し，総合的な理解度を測る。

「試験の受験資格」を満たし，かつ PBL 発表会に参加し，課題レポートを提出したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する数学・情報処理／情報科学の内容をよく思い出し，不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに，出席回の演習課題の提出。

教科書

特に指定しない。必要な資料は LMS やウェブで配付する。

参考書

数値計算／洲之内治男著,洲之内，治男,石渡，恵美子,：サイエンス社，2002

初等数値解析／D.G.モースント, C.S.デュリス著 ; 村上温夫訳,Moursund, David G.,村上, 温夫,Duris, Charles S.,: 共立出版, 1975
履修上の注意事項 出欠確認は, 非同期部分は LMS 上の各回の講義動画視聴記録と課題提出の確認, PBL 演習部分は遠隔授業の参加者リストとコメント提出の確認による。　第１１回以降の PBL 演習は, 冬季休業中や試験期間中の集中日程で行う。日程については履修者と調整する。
連絡先（メールアドレス） nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：水 18:00―19:00, 後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000332				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 2			科目 ID	LA-116832-Z
担当教員	服部　淳彦[HATSUTORI ATSUHIKO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜日2限
・対象学科・専攻：医学・歯学・検査学
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。
　２－４）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。
　２－５）自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。

授業の目的、概要等

この科目は，バイオサイエンス１（前期）と２（後期）を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。また、本年度は前期から研究（実験）をはじめる。
この科目では，
1）現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。
2）また，英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて，それぞれ発表してもらう。
3）次に，それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。
4）さらにその発展バージョンとして，自由にテーマを設定し，実験のプランニングをし，そのプランに従った実験を実際に行い，その結果を発表（できれば学会で発表），最後にミニ卒論（論文形式）の形にまとめてもらう。
したがって，実験は必ずしも時間内に終わらない。特に後期は、空き時間を使って実験を行うこともあるので，そのつもりでいてほしい。

授業の到達目標

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		服部　淳彦
2	10/8	10:50-12:20		服部　淳彦
3	10/15	10:50-12:20		服部　淳彦
4	10/22	10:50-12:20		服部　淳彦
5	10/29	10:50-12:20		服部　淳彦
6	11/5	10:50-12:20		服部　淳彦
7	11/12	10:50-12:20		服部　淳彦
8	11/19	10:50-12:20		服部　淳彦
9	11/26	10:50-12:20		服部　淳彦
10	12/3	10:50-12:20		服部　淳彦
11	12/10	10:50-12:20		服部　淳彦
12	12/17	10:50-12:20		服部　淳彦
13	1/7	10:50-12:20		服部　淳彦
14	1/14	10:50-12:20		服部　淳彦
15	1/21	10:50-12:20		服部　淳彦

授業方法

主に、論文紹介と実験とその中間・最終発表による。

授業内容

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義（前期）

2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み，その内容をレジュメにまとめて発表
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得
4. テーマを設定し，独自の実験計画を立て，実際に実験を行う
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し，ミニ卒論としてまとめる

＊　実験形式の授業なので，募集人数は8名を MAX にし，希望者が多い場合は，申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価:その他　100%

英語論文の紹介に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子，さらに，実際に行った研究（実験）の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また，実験計画は随時相談に来ること。

教科書

参考論文などは，随時紹介する。

連絡先（メールアドレス）

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週　水曜:12:30～14:00　金曜:10:30～12:30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）

時間割番号	000338				
科目名	S・英語で学ぶ力学			科目 ID	LA-116817-Z
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
　別表2－1)
　別表4－2)

授業の目的、概要等

ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより，科学英語に親しむことを目的とする.

授業の到達目標

下記トピックについて英文教材に基づいて理解し，演習問題を解けることを目標とする：NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は，内容を 8 割程度理解できることとする.

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

成績評価の方法

評価：授業への参加度およびレポート
再評価：無
授業内容の理解度を測るためにレポート課題を課し，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

前期「力学」を発展させた内容を学ぶため，前期「力学」の内容に関して深く理解していることが望ましい.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.

連絡先(メールアドレス)

ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000339				
科目名	S・彫刻(塑造)			科目ID	LA-116822-Z
担当教員	高見　直宏[TAKAMI NAOHIRO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

夏季集中講義
対象学科:医学科を優先とした(歯学科を除く)全学科
募集人数:8 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－5、1－6、1－7

主な講義場所
13 番教室

授業の目的、概要等
人間の骨格や筋肉がその外部形態に及ぼす影響を観察するだけでなく、人間の内面に視野を向け、人間の存在そのものを探求する。水粘土を使用し、塑像による頭像制作を行う実技演習授業。

授業の到達目標
素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。

授業方法
全 16 回の授業は全て実技実習。

授業内容
第 1、2 回　彫刻についての講義
第 3、4 回　デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)
第 5、6 回　心棒についての講義と塑像制作(モデル)
第 7、8 回　粘土についての講義と塑像制作(モデル)
第 9、10 回　塑像制作(モデル)
第 11、12 回　塑像制作(モデル)
第 13、14 回　塑像制作(モデル)
第 15、16 回　作品の講評会

成績評価の方法
評価　:　試験0%　・　レポート0%　・　その他(実習作品、授業への参加度)100%　作品の完成度、制作密度を重視する
再評価:無

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示
料理、メイク、DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。

教科書
なし

参考書
なし

履修上の注意事項
出席重視　出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。

備考
準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造			科目 ID	LA-116808-Z
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：火曜 3-4 限
対象学科・専攻：医学科・歯学科

授業の目的、概要等

この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です：

「ｍ×ｎの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、ｍとｎの　必要十分条件を求めよ」
「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」
「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。

本年度は
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」
（「組合せ数学における幾何的なエチュード」）
の適当な Chapter を選んで読むことにします。
（ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり）

本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません（その都度調べれば充分対応可能）。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

授業の到達目標

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考
1-2	5/25	13:10-16:20		徳永　伸一	
3-4	6/15	13:10-16:20		徳永　伸一	
5-6	6/29	13:10-16:20		徳永　伸一	
7-8	7/13	13:10-16:20		徳永　伸一	
9-10	7/30	13:10-16:20		徳永　伸一	
11-12	9/14	13:10-16:20		徳永　伸一	
13-14	9/17	09:10-12:20		徳永　伸一	
15	9/24	10:50-12:20		徳永　伸一	履修者と相談の上、時間割変更の可能性あり。

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回 1～2名の発表者に、各自の担当範囲（概ね1セクションの半分程度）を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。

また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著,:共立出版, 1992

入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,:共立出版, 1985

他科目との関連

後期の「数学Ⅱ（β）」で本科目の内容と関連する問題を一部扱います。

連絡先（メールアドレス）

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:

金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光学演習：基礎編			科目ID	LA-116811-Z
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

月曜日1時限　＋　夏季集中型:
・対象学科：全学科
・募集人数：10名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１・２・３）科学的思考方法を知る
　４－３）自然現象を探究するための基本的手法を身につける

主な講義場所

分光測定は化学教員実験室で行います。

授業の目的、概要等

近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。

授業の到達目標

⑴原子の構造、分子の構造について理解できる。
⑵基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。
⑶基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。
授業をほぼ全回出席して、課されたノルマをこなせば、GPA におけるＢ以上に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	奈良　雅之
2	4/19	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
3	4/26	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
4	5/10	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
5	5/17	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
6	5/24	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
7	5/31	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
8	6/7	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
9	6/14	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
10	6/21	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
11	6/28	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
12	7/5	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
13	7/12	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
14	7/19	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之
15	7/26	09:10-10:40	4 番教室	奈良　雅之

授業方法

演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法（主として赤外分光法もしくはラマン分光法）によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。
1,2.（初回）ガイダンス、 原子の構造（おもに講義）

3,4. 原子の構造、分子の構造（講義ならびに演習）
5,6. 分子分光学,量子化学に関する概説
7,8. 分子分光学,量子化学に関する概説
9,10. 分光学に関する基本操作を習得する。
11-14. 実験テーマを決めて、取り組む。（実験ならびに結果解析）（夏休み期間）
15. 実験経過、研究成果を発表する。
実験レポート（報告書）として報告する。
履修者が多い場合は、実験は 2 もしくは 3 つのグループに分けて行う場合があります。

成績評価の方法

評価：報告会での発表・レポート　70%・
　　その他　30%（実験の取り組み方）

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。

試験の受験資格

考査の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

必要な文献はコピーして配付します

参考書

系統看護学講座／奈良雅之：医学書院, 2018
赤外分光測定法 : 基礎と最新手法／田隅 三生 編著,日本分光学会編集委員会 編,：エス・ティ・ジャパン, 2012
ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,：培風館, 2002
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930-,：オーム社, 1995

他科目との関連

一般化学では講義しない原子、分子の構造を取り扱います。

履修上の注意事項

分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生命分子スペクトル解析学演習をお勧めします。

時間割番号	000349				
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習			科目ID	LA-116819-Z
担当教員	服部　淳彦, 松本　幸久, 伊藤　正則[HATSUTORI ATSUHIKO, MATSUMOTO YUKIHISA, ITO MASANORI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・夏季集中:8 月上旬に教養部においてガイダンスを行い、光学顕微鏡の使用方法を学ぶ。8 月 23 日(月)～25 日(水)に金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設においていて実習を行う。
・対象学科:全学科。ただし、9 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う。
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)
2－2)自然現象を探究するための手法を知る。
4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

8 月上旬(1 日間)に教養部生物学学生実験室においてガイダンスを行う。また、光学顕微鏡の使い方を学ぶ。8 月 23 日(月)～25 日(水)に金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において実習を行う。

授業の目的、概要等

[目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。観察実習から能動的に知識を広げ、深める。
[概要] この実習の大部分は、金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。

授業の到達目標

1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。
2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。

授業方法

講義と実習による。

授業内容

教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。また、光学顕微鏡の使い方を理解する。金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。

成績評価の方法

レポート内容によって評価する。再評価は行わない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。実習では主に観察力を向上させる。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

資料を配布する。

参考書

図解生物科学講座／浅島誠　編:朝倉書店, 1996
日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄 , 村野正昭 編.:東海大学出版会, 1997-01
原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著,:保育社, 1995

履修上の注意事項

新型コロナウイルス感染状況、天災等によっては開講しない。　定員は 9 名で、履修希望者が 9 名を超えたときは抽選で履修者を決める。　8 月上旬に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。23 日(月)－25 日(水)(2 泊 3 日)に金沢大学環日本海域環境

研究センター臨海実験施設で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。　台風などの自然災害、新型コロナ感染拡大によって中止になる可能性がある。
連絡先（メールアドレス） 松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 服部　淳彦:毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2） 伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000353				
科目名	S・現代ﾊﾟﾌｫｰﾐﾝｸﾞｱｰﾂ入門			科目ID	LA-116818-Z
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

8 月下旬または 9 月上旬（予定）に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。
対象学科・専攻：全学科

主な講義場所

湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。

授業の目的、概要等

「パフォーミング・アーツ（Performing Arts）」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。
「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーチスト（＋彼らに直接的に影響を与えた人たち）にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので、主に代用品として CD・DVD 等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽（ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも）の比重が高いですが、他のジャンル（音楽＋ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等）も徐々に増やす予定。

より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です
（よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します）。

授業の到達目標

・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。
・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験（鑑賞）行動に発展させることができる。

授業方法

講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。

授業内容

各授業ごとに大まかなテーマ（ジャンルやアーチスト個人等）を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。

また 2014 年度より、授業期間中に開催した、外部講師（演奏家等）による公開講座を、授業の一部として取り入れています。

成績評価の方法

評価項目は以下の2点：
（1） 各回の授業の関するレポート
（2） 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート

（1）と（2）は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて（2）のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

教科書

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

他科目との関連

直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」（室田尚子先生）の履修を推奨します。

参照ホームページ

過去の記録(の一部):
http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625

2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」のレポート記事(大学公開講座の情報サイト「まななび」):
http://mananavi.com/%e4%b8%96%e7%95%8c%e7%9a%84%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e5%a5%8f%e8%80%85%e3%83%bb%e5%b2%a9%e5%b7%9d%e5%85%89%e3%80%8c%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e3%81%8b%e3%82%89%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%8c%e8%a6%8b/

東京医科歯科大学教養部 文化・芸術公開講座 Facebook ページ:
https://www.facebook.com/groups/618115738726298

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000354				
科目名	S・Topics in the News			科目 ID	LA-116814-Z
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜1限
・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学
・募集人数：24名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表3－5）

授業の目的、概要等

Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them?

It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.

授業の到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Critically read news articles in English

2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	09:10-10:40	遠隔授業（同期型）	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	4/16	09:10-10:40	8 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
3	4/23	09:10-10:40	8 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
4	4/30	09:10-10:40	8 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
5	5/7	09:10-10:40	8 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
6	5/14	09:10-10:40	8 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
7	5/21	09:10-10:40	8 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
8	5/28	09:10-10:40	8 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
9	6/4	09:10-10:40	8 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
10	6/11	09:10-10:40	8 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
11	6/18	09:10-10:40	8 番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
12	6/25	09:10-10:40	8 番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
13	7/2	09:10-10:40	8 番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
14	7/9	09:10-10:40	8 番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

15	7/16	09:10-10:40	8 番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Discussion

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:

Separating fact from opinion
Identifying missing information
Differentiating causes and effects
Identifying perspectives and bias
Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes
Evaluating tone and word choice
Distinguishing between emotional and logical arguments
Evaluating inferences
Evaluating evidence and credibility
Determining the validity of conclusions
Evaluating one's own reactions and opinions

成績評価の方法

評価: quizzes/response papers 20% participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	000355				
科目名	S・翻訳演習			科目 ID	LA-116833-Z
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：月曜2限
・対象学科：医学科　歯学科　保健衛生学科　口腔保健学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表1－1）
　別表3－4）

授業の目的、概要等

目的：互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。

概要：英文を日本語に訳す課題（10 回ほど）を通して、翻訳について考える。受講者は訳文をつくり、提出する。持ち帰る課題のほか、授業内の課題もある。

授業の到達目標

1）精読。
2）文脈の理解につとめる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	10:50-12:20		Introduction	授業内容の紹介。	畔柳　和代
2	10/11	10:50-12:20		Beginnings (1)	課題1配布。	畔柳　和代
3	10/18	10:50-12:20		Beginnings (2)	課題1の訳文検討。課題 2 配布。	畔柳　和代
4	10/25	10:50-12:20		Beginnings (3)	課題2の訳文検討。課題3配布。	畔柳　和代
5	11/1	10:50-12:20		Non-fiction (1)	課題3の訳文検討。課題4配布。	畔柳　和代
6	11/8	10:50-12:20		Non-fiction (2)	課題4の訳文検討。課題5配布。	畔柳　和代
7	11/15	10:50-12:20		Non-fiction (3)	課題5の訳文検討。課題6配布。	畔柳　和代
8	11/22	10:50-12:20		講義	ここまでのまとめ。　翻訳をめぐる本の紹介。	畔柳　和代
9	11/29	10:50-12:20		Short Stories (1)	課題6の訳文検討。課題7配布。	畔柳　和代
10	12/6	10:50-12:20		Short Stories (2)	課題7の訳文検討。課題8配布。	畔柳　和代
11	12/13	10:50-12:20		Short Stories (3)	課題8の訳文検討。	畔柳　和代
12	12/20	10:50-12:20		講義	課題9の紹介（長文になる予定）　課題9を冬休みの課題とする。	畔柳　和代
13	1/17	10:50-12:20		課題9の訳文検討	課題9の訳文を検討する。課題 10 配布。	畔柳　和代
14	1/24	10:50-12:20		課題9の再検討	課題9の訳文を検討する。	畔柳　和代
15	1/31	10:50-12:20		まとめ	課題 10 の訳文検討。まとめ。	畔柳　和代

授業方法

互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等の一部を読む。
数回の講義も含む。

課題の訳文は、フィクションとノンフィクションだが、ノンフィクションの場合も、英米文学にかかわる文章が主となる。

授業内容

第 1 回　イントロダクション

第 2 回～第 14 回　訳文について意見交換 （講義数回を含む）

　　受講者から事前に提出された訳文を検討する。

第 15 回　まとめ（授業内の課題あり）

成績評価の方法

評価：授業外で取り組む課題（提出＋受取状況および内容を評価）:50%、参加度および授業内課題：50%、

再評価：　なし

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

わからなかったら、言葉の意味を勝手に決めずに辞書を引く。調べる。考える。

※空白だらけの訳文は、未提出とみなす。最後まで訳すこと。

※提出物の体裁も整えること。

参考書

イエスの言葉 ： ケセン語訳／山浦玄嗣：文藝春秋, 2011

翻訳に遊ぶ／木村榮一：岩波書店, 2012

さあ、見張りを立てよ／ハーパー・リー　著,上岡伸雄　訳：早川書房, 2016

冬の鷹／吉村昭：新潮社, 1988

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000356				
科目名	S・Discussions on Human Behavior			科目 ID	LA-116829-Z
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜1限
・対象：医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学
・募集人数：12名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－1）
　別表3－4）
　別表3－5）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest?

This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book "Predictably Irrational" by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students' understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.

授業の到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Better understand why people make certain types of decisions

2. Make better personal decisions

3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	10/8	09:10-10:40		Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
3	10/15	09:10-10:40		Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
4	10/22	09:10-10:40		Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
5	10/29	09:10-10:40		Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
6	11/5	09:10-10:40		Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
7	11/12	09:10-10:40		Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
8	11/19	09:10-10:40		Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
9	11/26	09:10-10:40		Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
10	12/3	09:10-10:40		Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
11	12/10	09:10-10:40		Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
12	12/17	09:10-10:40		Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
13	1/7	09:10-10:40		Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

14	1/14	09:10-10:40		Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	
15	1/21	09:10-10:40		Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	

授業方法

Discussion

Presentation

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Individual reports and group discussions

Week 15: Review/Final assignment due

Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed or that they are researching on their own. The final writing assignment will be an essay that is related to the content of the course. There will be no quizzes or tests.

成績評価の方法

評価: class presentations 30% participation 30% response papers 20% final assignment 20%

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Predictably Irrational／Ariely, Dan:Harper, 2010

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	000358				
科目名	S・Basic Concepts in Physics			科目 ID	LA-116831-Z
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜1限

対象学科：医学科、歯学科

（英語で物理を学ぶ意欲のある人、英語レベル：初心者～中級者向け）

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表2－1）別表3－1）別表4－2）

授業の目的、概要等

English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.

授業の到達目標

As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		Introduction	檜枝　光憲
2	10/8	09:10-10:40		Mechanics	檜枝　光憲
3	10/15	09:10-10:40		Mechanics	檜枝　光憲
4	10/22	09:10-10:40		Mechanics	檜枝　光憲
5	10/29	09:10-10:40		Mechanics	檜枝　光憲
6	11/5	09:10-10:40		Graviatation	檜枝　光憲
7	11/12	09:10-10:40		Graviatation	檜枝　光憲
8	11/19	09:10-10:40		Graviatation	檜枝　光憲
9	11/26	09:10-10:40		Graviatation	檜枝　光憲
10	12/3	09:10-10:40		Temperature and Heat	檜枝　光憲
11	12/10	09:10-10:40		Temperature and Heat	檜枝　光憲
12	12/17	09:10-10:40		Temperature and Heat	檜枝　光憲
13	1/7	09:10-10:40		Student presentation	檜枝　光憲
14	1/14	09:10-10:40		Student presentation	檜枝　光憲
15	1/21	09:10-10:40		Student presentation	檜枝　光憲

授業方法

Lecture

Active learning (Presentation, Practice, etc)

授業内容

Classical mechanics

Gravitation

Introductory thermodynamics

1st lecture: Introduction

2nd lecture: Mechanics

3rd lecture: Mechanics

4th lecture: Mechanics

5th lecture: Mechanics
6th lecture: Graviatation
7th lecture: Graviatation
8th lecture: Graviatation
9th lecture: Graviatation
10th lecture: Temperature and Heat
11th lecture: Temperature and Heat
12th lecture: Temperature and Heat
13th lecture: Student presentation
14th lecture: Student presentation
15th lecture: Student presentation

成績評価の方法

attendance/participation 30%
class assignments/quizzes 40%
presentation 30%

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

Check all unknown English words and read through the text book before the class.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course. Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.

教科書

University Physics Volume 1／Samuel J. Ling, Jeff Sanny , William Moebs：OpenStax, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させます。

備考

There was no indication in particular by student questionnaires before 2019.

連絡先（メールアドレス）

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000359				
科目名	S・イギリス文学講読			科目ID	LA-116821-Z
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

セミナー形式で行う。

授業の目的、概要等

19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。
主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。
また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。
あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。

授業の到達目標

英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。
また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	7/13	13:10-16:20		ガイダンス＋セミナー	作品読解およびディスカッション1，２	猪熊　恵子
3-4	7/30	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション3,4	猪熊　恵子
5-7	8/31	09:10-14:40		セミナー	作品読解およびディスカッション5，６，７	猪熊　恵子
8-10	9/2	09:10-14:40		セミナー	作品読解およびディスカッション8，９，10	猪熊　恵子
11-13	9/6	09:10-14:40		セミナー	作品読解およびディスカッション 11，12，レポート提出	猪熊　恵子
14-15	9/17	09:10-12:20		セミナー＋レビュー、総評	レポート総評、ディスカッション	猪熊　恵子

授業方法

セミナー形式を取る。
原則として一日2時限続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。
授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。

授業内容

第一回：ガイダンス
第二回から第五回：シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」（The Adventure of the Dancing Men）、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ_The Blind Banker_
第六回から第九回：シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』（_The hound of the Baskervilles_） ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ 『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像
第十回から第十三回：アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシエ主演のポワロシリーズ
第十四回：総括およびディスカッション回
第十五回：最終レポート提出および意見交換

成績評価の方法

評価：クラス内での議論への参加・貢献度：40%、授業内発表（訳出課題の提出含む）：30%、最終レポート 30%
再評価：　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 上記授業内容からも明らかなように、英語の短編（および長編の抜粋）を複数読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。 履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。
試験の受験資格 試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の 3 分の 1 以上欠席した者には原則として単位を認定しない。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。
参照ホームページ 参考文献および使用テクストは、教員からコピーを配布する。

時間割番号	000360				
科目名	S・実用統計学			科目ID	LA-116828-Z
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜1限

対象学科：保健衛生学科、口腔保健学科

主な講義場所

計算機実習室

（希望者にはオンラインでの受講を許可する予定）

授業の目的、概要等

保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。

保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。

授業の到達目標

・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。

理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。

・Excel の基本的な使用法を習得する。特に、本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。

・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の概要を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		徳永　伸一
2	10/8	09:10-10:40		徳永　伸一
3	10/15	09:10-10:40		徳永　伸一
4	10/22	09:10-10:40		徳永　伸一
5	10/29	09:10-10:40		徳永　伸一
6	11/5	09:10-10:40		徳永　伸一
7	11/12	09:10-10:40		徳永　伸一
8	11/19	09:10-10:40		徳永　伸一
9	11/26	09:10-10:40		徳永　伸一
10	12/3	09:10-10:40		徳永　伸一
11	12/10	09:10-10:40		徳永　伸一
12	12/17	09:10-10:40		徳永　伸一
13	1/7	09:10-10:40		徳永　伸一
14	1/14	09:10-10:40		徳永　伸一
15	1/21	09:10-10:40		徳永　伸一

授業内容

（以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定）

第1回　：ガイダンス

第2回　：Excel 入門

第3回　：乱数の分布と標本平均の分布1（講義）

第4回　：乱数の分布と標本平均の分布2（演習）

第5回　：正規分布1（講義）

第6回　:正規分布2（演習）
第7回　:2項分布と正規近似1（講義）
第8回　:2項分布と正規近似2（演習）
第9回　:t分布1（講義）
第10回:t分布2（演習）
第11回:相関と回帰、散布図1（講義）
第12回:相関と回帰、散布図2（演習）
第13回:カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVA と多重検定法1（講義）
第14回:カイ二乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVA と多重検定法2（演習）
第15回:（予備）

※履修者の状況や希望を考慮して柔軟に進めますので、変更する可能性があります。

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習等についての具体的な指示

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005
やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著,:医歯薬出版, 2002
入門統計解析／松原望 著,:東京図書, 2007
バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

連絡先（メールアドレス）

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000361				
科目名	S・Essentials of Medical Language			科目 ID	LA-116820-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

This course is an introduction to medical terminology in English.

授業の目的、概要等

The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.

Goals

1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms

2) Identify and "translate" medical language into lay term (non-technical) language

3) Apply medical and lay terminology in written and oral forms.

授業の到達目標

By the end of this course, you will be able to:

1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)

2) Describe medical language used for major body systems

3) Create own English conversation with a patient using non-technical language

4) Communicate with patients about subjective and objective symptoms, and provide an assessment and plan for common diseases.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	09:10-10:40	11 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	10/18	09:10-10:40	11 番教室	Case 1	Terminology and language review	JEANETTE DENNISSON
3	11/1	09:10-10:40	11 番教室	Case 2	Terminology and language review	JEANETTE DENNISSON
4	11/15	09:10-10:40	11 番教室	Case 3	Terminology and language review	JEANETTE DENNISSON
5	12/6	09:10-10:40	11 番教室	Case 4	Terminology and language review	JEANETTE DENNISSON
6	12/20	09:10-10:40	11 番教室	Case Review	Terminology and language review	JEANETTE DENNISSON
7	12/23	09:10-10:40	11 番教室	Doctor Patient Encounter Practice	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
8	12/23	10:50-12:20	11 番教室	Doctor Patient Encounter Practice	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
9	12/23	13:10-14:40	11 番教室	Doctor Patient Encounter Practice	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
10	12/23	14:50-16:20	11 番教室	Doctor Patient Encounter Practice	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
11	12/24	09:10-10:40	11 番教室	Doctor Patient Oral Exam	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
12	12/24	10:50-12:20	11 番教室	Doctor Patient Oral Exam	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
13	12/24	13:10-14:40	11 番教室	Doctor Patient Oral Exam	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
14	12/24	14:50-16:20	11 番教室	Doctor Patient Oral Exam	Patient interview	JEANETTE DENNISSON
15	1/17	09:10-10:40	11 番教室	Written Exam		JEANETTE DENNISSON

授業方法

Students will work in small groups to complete tasks in class.

For each unit, there will be the following two components.

1) Group tasks related to vocabulary building for each body system

2) One-on-one patient encounter based on a common disease for each body system

授業内容

The 4 main units covered in this course are organized by body system:

1) Whole body (systemic)

2) Digestive system (from mouth to rectum)

3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood)

4) Respiratory system (nose, lungs)

For each unit, medical language will be introduced, to be used in conversations with patients and in medical reports.

成績評価の方法

Class participation: 30%

Assignments: 30%

Final assessment: 40%

準備学習等についての具体的な指示

Before Class:

You should read the selected parts of the textbook before each class. Reading materials will be provided online course folder.

In Class:

Your active participation is mandatory for class activities. As part of the class, you will be roleplaying doctor-patient conversations.

Vocabulary List:

Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged.

Online Course Folder:

Regular access to the online course folder will be required in and outside of class. A laptop or tablet is recommended for every class.

Patient encounters:

For roleplaying with patients, you should prepare a white coat, stethoscope (if available), and mask. Students should wear comfortable clothes that allow them to lay, sit, and move their body parts with ease. Short skirts, shorts or low-cut shirts should be avoided.

試験の受験資格

Any English level is welcome.

教科書

医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト = English for Medical Purposes／日本医学英語教育学会 編,日本医学英語教育学会,：メジカルビュー社, 2016

English for Medical Purposes Step 1

参考書

Bedside manner : an introductory English course for nursing／Simon Capper,Capper, Simon,：Perceptia Press, 2012

Essentials of Medical Language／David M. Allan：McGraw-Hill Science Engineering, 2015

Bedside Manner by Simon Capper (2013)

Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)

履修上の注意事項

PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

We will use Google Drive to share course materials and submit assignments. A Google account is required.
連絡先（メールアドレス） dennisson.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000363				
科目名	S・タンパク質の科学			科目 ID	LA-116810-Z
担当教員	澤野　頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：火曜3・4限＋夏季集中
対象学科：全学科
受講資格：タンパク質に興味のある者
募集人数：24 名
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表2－1）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
　別表2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

授業の目的、概要等

タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがあるが、生命現象に直接かかわる物質（酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など）として非常に重要である。この授業では化学、生命科学におけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸について、基本概念の導入講義を行った上で、少人数のグループに分かれて学生自らが問題提起・討論・解決を行う PBL(Problem Based Learning)を通して学習し、その成果を発表会にて発表する。

授業の到達目標

講義、PBL および発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。GPA における「B」（本試験合格レベル）の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	7/30	13:10-16:20		ガイダンス、アミノ酸・ペプチドに関する導入講義・PBL（1）	澤野　頼子
3-4	8/2	09:10-12:20		アミノ酸・ペプチドに関する PBL（2）	澤野　頼子
5	8/3	10:50-12:20		アミノ酸・ペプチドに関する PBL（3）	澤野　頼子
6-7	8/4	09:10-12:20		アミノ酸・ペプチドに関する発表会	澤野　頼子
8-9	8/26	09:10-12:20		タンパク質に関する導入講義・PBL（1）	澤野　頼子
10-11	8/27	09:10-12:20		タンパク質に関する PBL（2）	澤野　頼子
12-13	8/30	09:10-12:20		タンパク質に関する PBL（3）	澤野　頼子
14-15	9/17	09:10-12:20		タンパク質に関する発表会	澤野　頼子

授業方法

講義およびアクティブラーニング（PBL、課題発表）による

授業内容

アミノ酸・タンパク質に関する講義、PBL、発表

成績評価の方法

評価：　レポート　20%　・　その他（授業への参加度、課題発表）　80%
再評価：　無
授業時の取り組み状況（PBL での活動状況、課題発表）を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義資料（WebClass に掲載）に目を通しておく。
アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行う。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

ヴォート基礎生化学／D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正實, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳,：東京化学同人, 2010
タンパク質の構造と機能 ： カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005
タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳,：ニュートンプレス, 2000
タンパク質入門 ： その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著,：内田老鶴圃, 2006
タンパク質科学 ： 構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編,：化学同人, 2005
アミノ酸 ： タンパク質と生命活動の化学／船山信次 著,：東京電機大学出版局, 2009
タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一, 木戸康博 編,：講談社, 2007
Essential タンパク質科学／Mike Williamson 著,津本浩平, 植田正, 前仲勝実 監訳,Williamson, Michael P., 1957-,津本, 浩平,植田, 正,前仲, 勝実,：南江堂, 2016
これから学ぶ酵素科学／中山亨編著 ； 山下哲, 野池基義共著,：三共出版, 2019

履修上の注意事項

履修希望者は WebClass での申請およびメールでの申請の双方を行うこと（詳細はガイダンス動画を参照のこと）。履修希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。

時間割番号	000364				
科目名	S・数学基礎			科目ID	LA-116835-Z
担当教員	中口　悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

対象学科：保健衛生学科・口腔保健学科（主に高校数学Ⅲ未履修者）
募集人数：最大40名
科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：2−1），4−1），4−2）

授業の目的、概要等

大学数学ならびに数理・データサイエンスの基礎としての線形代数と微積分の入門と，それらのために必要な高校数学の補強を行う。

授業の到達目標

基本的な計算問題を解くことができる。基本的な定理を理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1−2	5/25	13:10−16:20		数の体系と代数方程式	中口　悦史
3−4	6/15	13:10−16:20		平面図形と三角関数	中口　悦史
5−6	6/29	13:10−16:20		数列・級数と漸化式	中口　悦史
7−8	7/13	13:10−16:20		場合の数と確率，確率分布	中口　悦史
9−10	7/30	13:10−16:20		空間ベクトル，連立一次方程式	中口　悦史
11−12	9/14	13:10−16:20		初等的関数と微分積分	中口　悦史
13−14	9/17	09:10−12:20		多変数関数と曲面	中口　悦史
15	9/24	10:50−12:20		総合演習	中口　悦史

授業方法

全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド（対面＋遠隔）型授業または同期遠隔型授業に切り替える。
各回の前半はスライドによる講義，後半は演習を行う。演習では，4～5名ずつのグループに分かれて問題を解き，その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を，ノート提出によって確認する。

授業内容

1. 数の体系と代数方程式
2. 平面図形と三角関数
3. 数列・級数と漸化式
4. 場合の数と確率，確率分布
5. 空間ベクトル，連立一次方程式
6. 初等的関数と微分積分
7. 多変数関数と曲面

成績評価の方法

評価　：　試験　50%　・　レポート　0%　・　その他（授業内演習・ノート提出）　50%
再評価：　無
　試験と授業内演習，ノート提出を総合して成績評価を行う。授業内演習における発言およびノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は，問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ，論証や計算の精確さを総合的に評価するために，期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。
「試験の受験資格」を満たし，かつ期末試験を受験したもののみを，評価の対象とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので，できるだけ予習し，関連する高校数学の内容をよく思い出し，不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。

試験の受験資格

授業回数の3分の2回以上の出席，ならびに出席回のノート提出。
教科書 数学入門／上村豊，坪井堅二 著,上村，豊, 1953-,坪井，堅二, 1954-,：東京化学同人，2019
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋,椎名，洋(1961-),姫野，哲人,保科，架風,清水，昌平,講談社サイエンティフィク,：講談社，2019-08 数学/統計学／宇田川誠一，井川俊彦，谷口哲也著,宇田川，誠一,井川，俊彦,谷口，哲也,：医歯薬出版，2019 偏微分・重積分・線形代数／上村豊，坪井堅二著,上村，豊,坪井，堅二,：東京化学同人，2004 アートのための数学／牟田淳 著,：オーム社，2008 デザインのための数学／牟田淳 著,：オーム社，2010 数学入門 上／遠山啓 著,遠山，啓,：岩波書店，1993 数学入門 下／遠山啓 著,：岩波書店，1993-06 数学の学び方・教え方／遠山啓著,遠山，啓,：岩波書店，1972 その他，高校数学の参考書。
履修上の注意事項 出欠確認は，教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト，および各回のノート提出による確認を併用する。
連絡先（メールアドレス） nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期：水 18:00―19:00，後期：木 12:30―14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000367				
科目名	S・Essentials of Human Biology			科目 ID	LA-116837-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

This course is a general biology course taught in English.

The content in this course complements material taught in your regular biology course [生物学(細胞・遺伝子)].

This course has a 2-day summer intensive laboratory component.

授業の目的、概要等

Students will build on their molecular and cellular biology knowledge through class discussions and self-directed study of English reading materials.

Goals

1) Build science vocabulary in English

2) Improve English oral discussion ability on biology topics

3) Present on current trends in biology primary literature

4) Summarize in written forms important concepts in biology

5) Follow and report on biological experiment

授業の到達目標

By the end of this course, you will be able to:

1) write short summaries about human biology concepts in English

2) Skim and scan through primary and secondary literature in English to learn important biology concepts.

3) Use reliable sources of primary and secondary literature of biology available in English

4) Communicate in class discussion in English on human biology concepts

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/25	13:10-16:20	11 番教室	Introduction/Topic 1	Pre-test/Survey	JEANETTE DENNISSON
3-4	6/15	13:10-16:20	11 番教室	Topic 2	Discussion/Presentation	JEANETTE DENNISSON
5-6	6/29	13:10-16:20	11 番教室	Topic 3	Discussion/Presentation	JEANETTE DENNISSON
7-8	7/13	13:10-16:20	11 番教室	Topic 4	Discussion/Presentation	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Students will listen to teacher mini-lectures and work in small groups to learn about biology topics each week. There is a practicum component during 2 days in summer break as part of this course.

授業内容

Human biology topics will be covered and basic biological concepts taught in Japanese biology course [生物学(細胞・遺伝子)] will be reviewed.

Weeks 1-2: Orientation

Weeks 3-8: Lecture/Presentations

Weeks 9-15: Laboratory activities.（ 夏休み集中講義, 2 日間、7 回）

成績評価の方法

Participation: 30%

Lecture/Presentation: 50%

Experiment report: 20%

成績評価の基準

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

This course is recommended for students with TOEFL 500+.

教科書

Main textbooks:

Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014)

Campbell Biology 11th Ed. By Urry et al. (2017)

Human Biology 11th Ed. Mader (2010)

**Note: Purchase of these textbooks is NOT required. There are copies available in the Kounodai Library. Reading materials will be provided by the instructor.

参考書

Japanese version of textbook:

Essential 細胞生物学(原書第 4 版)

Additional supplemental materials will be provided in the course folder.

他科目との関連

生物学（細胞・遺伝子）

履修上の注意事項

PC、タブレットなどが必要です。　You will need to access the course folder for reading materials during each lesson. You should bring a laptop or tablet each week.　Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.　What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

The course materials will be accessed through the online course folder on Google Drive. Students will be required to have a Google account to access this material.

連絡先（メールアドレス）

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000368				
科目名	S・Understanding Poetry from a Comparative Perspective			科目 ID	LA-116838-Z
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

For much of history, in both pre-literate and literate societies and cultures, poetry was considered the king of all arts—more so than drama, painting or other visual arts. Even today the power of lyric poetry endures in various genres of modern songwriting. Why has poetry had such an enduring power through the ages? To answer this and other pressing questions, this course will take a comparative approach to understanding poetry. Understanding what poetry is and how poetic language works and creates intellectual and linguistic pleasure will be key concerns of this course. We will of course spend a great deal of time reading poems closely, even memorizing a few along the way. Further, we will learn how poetry was understood and practiced in the past. We will also examine from a more modern perspective how poetry functioned in society: Why did people compose poetry? How was poetry socially justified?

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
2	10/8	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
3	10/15	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
4	10/22	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
5	10/29	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
6	11/5	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
7	11/12	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
8	11/19	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
9	11/26	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
10	12/3	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
11	12/10	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
12	12/17	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
13	1/7	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
14	1/14	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子
15	1/21	10:50-12:20		CANNELL DAVID, 猪熊 恵子

授業方法

*Mini-lectures

*Class discussion (large group, small group) based on homework questions

授業内容

* Our course will focus on lyric poetry, especially love and nature poetry, from a comparative perspective in the West and East Asia. We will read and study poetry from the waka and haikai traditions of Japan and the lyrical poetry in the West, of Shakespeare, Wordsworth, Whitman, Tennyson, Yeats and others. Students will learn how to understand poetry in its historical context and from a comparative perspective. Furthermore, students will come to grasp and appreciate literary language—its power and its significance in human experience.

成績評価の方法

*25% Essay 1

*25% Essay 2

*50% Final Oral Examination

準備学習等についての具体的な指示

教科書

Texts will be available as email attachments or handouts.
備考 Class discussion will be in English. Class materials will primarily be in English. Notebook, A-5 size
連絡先（メールアドレス） cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000369				
科目名	S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン			科目ID	LA-116839-Z
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間：金曜2限
対象学科：全学科

主な講義場所
計算機実習室

授業の目的、概要等
前期「情報科学」の授業でおなったプログラミング言語によるグラフィクスの応用として、様々な幾何学模様を描くプログラミングの技法を学習します。
前期に学ぶ Python を想定していますが、他のプログラミング言語の経験がある人は、それを用いても構いません。

授業の到達目標
様々な幾何学デザインの構造を理解し、それらを描画するプログラムを作成できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		徳永　伸一
2	10/8	10:50-12:20		徳永　伸一
3	10/15	10:50-12:20		徳永　伸一
4	10/22	10:50-12:20		徳永　伸一
5	10/29	10:50-12:20		徳永　伸一
6	11/5	10:50-12:20		徳永　伸一
7	11/12	10:50-12:20		徳永　伸一
8	11/19	10:50-12:20		徳永　伸一
9	11/26	10:50-12:20		徳永　伸一
10	12/3	10:50-12:20		徳永　伸一
11	12/10	10:50-12:20		徳永　伸一
12	12/17	10:50-12:20		徳永　伸一
13	1/7	10:50-12:20		徳永　伸一
14	1/14	10:50-12:20		徳永　伸一
15	1/21	10:50-12:20		徳永　伸一

授業方法
講義およびパソコンを用いた実習

授業内容
前半は主にサンプルプログラムや幾何学デザインの解説を行い、それに基づいてプログラムを作成します。
後半は各自が考案または収集した幾何学デザインを実現するプログラムを作成し、発表を行ってもらいます。

成績評価の方法
提出課題による

成績評価の基準
原則として各授業での課題プログラムをすべて作成・提出し、さらにオリジナルのプログラムを提出することが必須となります。
プログラミングの技術より、独創的なアイディアや幾何学的なセンスを重視して評価します。

準備学習等についての具体的な指示
幾何学デザインに必要な数学的知識およびプログラミング技法を事前に予習しておくこと。

他科目との関連 前期の「情報科学」で学習したプログラミングの技法を発展的に活用します。
履修上の注意事項 前期の「情報科学」で扱った幾何学図形グラフィックスのプログラミング技法（あるいは他のプログラミング言語による同程度の技法）を習得しておくことが望ましい。
参照ホームページ http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm （前期「情報科学」のプログラミングテキスト）
連絡先（メールアドレス） tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） 後期: 金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室） ＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000371				
科目名	S・数理生物学入門			科目ID	
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

数理生物学とは様々な生命現象を数理科学的な視点から解明しようとする学問である。そのカバーする領域は広く、その基盤となる理論も多岐にわたる。この講義では生命科学領域における理論的な研究を広く俯瞰し、その基礎となる理論について概説する。

授業の到達目標

この講義では医学・生命科学領域における理論的研究にがどのようなものかを理解し、その基礎となる理論について学習することで、将来医療や研究に従事する際に必要となる数理的リテラシーを身につける.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/4	09:10-10:40		中林　潤
2	10/11	09:10-10:40		中林　潤
3	10/18	09:10-10:40		中林　潤
4	10/25	09:10-10:40		中林　潤
5	11/1	09:10-10:40		中林　潤
6	11/8	09:10-10:40		中林　潤
7	11/15	09:10-10:40		中林　潤
8	11/22	09:10-10:40		中林　潤
9	11/29	09:10-10:40		中林　潤
10	12/6	09:10-10:40		中林　潤
11	12/13	09:10-10:40		中林　潤
12	12/20	09:10-10:40		中林　潤
13	1/17	09:10-10:40		中林　潤
14	1/24	09:10-10:40		中林　潤
15	1/31	09:10-10:40		中林　潤

授業方法

講義およびアクティブラーニングを実施する

授業内容

・数理生物学概論
・細胞増殖の数理モデル
・離散時間の個体群動態
・パターン形成とチューリングモデル
・進化とゲーム理論
・ニューラルネットワーク
・最適制御理論
・情報科学とバイオインフォマティクス
・ベイズ理論
・瀬尾明化学領域におけるデータ駆動型科学

成績評価の方法

出席、提出物、期末レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前の予習は特に不要。-*各回の復讐をしっかり行う。
参考書 生命の数理／巌佐庸著,巌佐, 庸,:共立出版, 2008 数理生物学入門 : 生物社会のダイナミックスを探る／巌佐庸 著,巌佐, 庸, 1952-,:共立出版, 1998 数理生態学／巌佐庸担当編集,巌佐, 庸,日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会,:共立出版, 1997 理論生物学の基礎／関村利朗, 山村則男共編,関村, 利朗,山村, 則男,:海游舎, 2012 シリーズ数理生物学要論／日本数理生物学会／編集,日本数理生物学会,:共立出版, 2008
連絡先（メールアドレス） nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	000373				
科目名	S・サイエンスフロンティア概論			科目ID	
担当教員	檜枝 光憲, 服部 淳彦, 奈良 雅之, 伊藤 正則, 中林 潤, 越野 和樹, 中口 悦史, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 勝又 敏行, 松本 幸久[HIEDA MITSUNORI, HATSUTORI ATSUHIKO, NARA MASAYUKI, ITO MASANORI, NAKABAYASHI Junn, KOSHINO KAZUKI, NAKAGUCHI ETSUSHI, SAWANO YORIKO, TOKUNAGA SHINICHI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：冬季集中
・対象専攻：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

サイエンス（基礎科学）は社会の基盤をなす学問であり、工学、創薬、医療などテクノロジーの進歩の裏には必ずサイエンスがベースになっている。生物学、化学、物理学、数学の研究者である自然系教員が、それぞれの研究分野に関連したトピックを選び、自身の研究内容や当該領域における研究トレンド、研究方法、期待される成果などをレクチャーし、さらに社会や医療との接点などを教授する。

授業の到達目標

最近のサイエンスの研究に触れることで、研究者として必要な基盤知識とリサーチマインドを獲得する。また、生物、化学、物理、数学と幅広い研究領域を学ぶことで、研究者が専門を越えて研鑽できる学際融合の目をを養う。

授業方法

講義（非同期型を基本とするが、一部は同期型で実施する）
アクティブラーニング（発見学習、調査学習、等）

授業内容

非同期型授業（オンデマンド）
1. 導入 （檜枝）
2. 宇宙生物医学のフロンティア （服部）
3. アンチエイジングのフロンティア （服部）
4. 昆虫の学習と記憶 （松本）
5. 振動分光学の生命科学への応用 （奈良）
6. 振動分光によるカルシウム結合タンパク質の構造活性相関の解明 （奈良）
7. 植物の生存戦略 （澤野）
8. 生体高分子の分析法 （勝又）
9. 摩擦の物理 （檜枝）
10. 極低温の物質科学研究：超伝導と超流動 （檜枝）
11. 超伝導量子ビットを用いた回路量子電気力学 （越野）
12. 網羅的ゲノム解析とがんゲノム医療 （中林）
13. 計算数理科学 （中口）

同期型授業
14. 卵母細胞の成熟機構と行動の脳制御機構 （伊藤）
15. グラフの周遊問題とゲノム解析 （徳永）

成績評価の方法

評価： 授業毎に課す課題 100% （授業に参加した上で提出）
再評価： なし

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

各教員によって対応が違うが事前学習の指示があった場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

履修上の注意事項

非同期型遠隔授業を基本とします（一部、同期型で実施します）。原則 2/3 以上の授業に出席すること。

連絡先（メールアドレス）

檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
服部　淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
徳永　伸一:前期:
木曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20–13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

服部　淳彦:毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）
奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00–PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週金曜日　12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
中口　悦史:前期：水　18:00—19:00, 後期：木　12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け
越野　和樹:毎週月曜日　12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000374				
科目名	S・化学演習：基礎編			科目ID	
担当教員	澤野　頼子, 奈良　雅之, 勝又　敏行[SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：火曜3時限、4 時限　＋夏季集中
・対象学科：医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻
・募集人数　40名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１）自然現象を科学的に探究するための方法論を知る
　４－２）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して化学の理解を深めたい方を対象に市販の問題集を主な題材として演習を行います。
昨年は新型コロナウィルスによる感染症の影響で、授業が正規通りに実施できなかった高校も多かったと聞いています。特に、高分子化合物に関しては、2021 年度本校入試でも範囲に含まれていませんので、深く勉強していないかもしれません。そこで、高校化学の高分子化合物を取り扱うことで、高分子分野を克服することも目的の 1 つです。

授業の到達目標

化学の基本事項を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。
演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/25	13:10-14:40	7 番教室	ガイダンス、量と単位		奈良　雅之
2	5/25	14:50-16:20	7 番教室	生体高分子（糖）	糖について演習をおこなう。	勝又　敏行
3	6/15	13:10-14:40	7 番教室	原子量、分子量およびモル		奈良　雅之
4	6/15	14:50-16:20	7 番教室	アミノ酸		澤野　頼子
5	6/29	13:10-14:40	7 番教室	化学式と組成の計算		奈良　雅之
6	6/29	14:50-16:20	7 番教室	タンパク質		澤野　頼子
7	7/13	13:10-14:40	7 番教室	気体の測定		奈良　雅之
8	7/13	14:50-16:20	7 番教室	気体の分子量と気体分子運動論		奈良　雅之
9	7/30	13:10-14:40	7 番教室	合成高分子	合成高分子について演習を行う。	勝又　敏行
10	7/30	14:50-16:20	7 番教室	酸と塩基		奈良　雅之
11	8/12	13:10-14:40	遠隔授業（同期型）			澤野　頼子, 奈良　雅之, 勝又　敏行
12	8/12	14:50-	遠隔授業（同期			澤野　頼子, 奈良　雅之, 勝又

		16:20	型)			敏行
13	8/13	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)			澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行
14	8/13	14:50-16:20	遠隔授業(同期型)			澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行
15	8/16	13:10-14:40	遠隔授業(同期型)			澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行

授業方法

学生参加型の発表形式で授業が進行します。

授業内容

以下の項目を取り扱います。

一般化学:量と単位、原子量と分子量、気体の測定、気体の分子量、電離平衡(酸・塩基、錯体と沈殿)、原子の構造と周期律、化学結合と分子構造

高分子化合物(高分子化学):天然高分子化合物、合成高分子化合物

成績評価の方法

評価:レポート70%・授業への参加度30%

授業中の演習への参加度を重視します。

試験の代わりとして、レポート、授業内演習で評価します

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習/田中潔, 荒井貞夫 共著,:三共出版, 2013

系統看護学講座/奈良, 雅之,:医学書院, 2018

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000375				
科目名	S・生命分子スペクトル解析学演習			科目ID	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：金曜1限（変則）＋冬季集中
・対象学科：全学科
・募集人数：　5名
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　２－１、２、３）科学的思考方法を知る
　４－３）自然現象を探究するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

担当教員の専門分野（生命分子スペクトル解析学）に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。

授業の到達目標

少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。
授業にほぼ全回出席して、生命分子スペクトル解析学に関するレポートが提出できれば、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	09:10-10:40		奈良　雅之
2	10/8	09:10-10:40		奈良　雅之
3	10/15	09:10-10:40		奈良　雅之
4	10/22	09:10-10:40		奈良　雅之
5	10/29	09:10-10:40		奈良　雅之
6	11/5	09:10-10:40		奈良　雅之
7	11/12	09:10-10:40		奈良　雅之
8	11/19	09:10-10:40		奈良　雅之
9	11/26	09:10-10:40		奈良　雅之
10	12/3	09:10-10:40		奈良　雅之
11	12/10	09:10-10:40		奈良　雅之
12	12/17	09:10-10:40		奈良　雅之
13	1/7	09:10-10:40		奈良　雅之
14	1/14	09:10-10:40		奈良　雅之
15	1/21	09:10-10:40		奈良　雅之

授業方法

実験ならびに研究ミーティングによるアクティブラーニングを実践する。

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法（主として赤外分光法もしくはラマン分光法）によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。

1. 分光学に関する基本操作を習得する。
2. 実験テーマ、研究テーマを決める。
3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。
4. 研究を行う。（実験ならびに結果解析）
5. 研究結果についてのディスカッションを行う。ー個別指導
6. 実験経過、研究成果を発表する。
7. 実験レポート（報告書）として報告する。

成績評価の方法 評価：報告・レポート：80％ 　　その他20％（授業中の取り組み方、参加度） 再評価　無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習：配付資料で分光学の原理について勉強する 復習：実験結果を整理して、報告できるようにまとめる
試験の受験資格 定期試験の受験資格：原則3分の2以上出席 （報告・レポートをもって定期試験とする）
参考書 赤外分光測定法 : 基礎と最新手法／田隅三生編著 ; 日本分光学会編集委員会編,田隅, 三生,日本分光学会編集委員会,:エス・ティ・ジャパン, 2012
連絡先（メールアドレス） nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000376				
科目名	S・市川文学散歩			科目ID	
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

主な講義場所

国府台キャンパス

授業の目的、概要等

文学など芸術作品は、時代や土地とどのように結びついているのだろうか。教養部のある市川は、日本最古の歌集『万葉集』から、文学に描かれている。また永井荷風や井上ひさしなど、著名な作家が居を構え、作品を生み出した場所でもある。そのような魅力を、作品鑑賞と実地訪問の両方から味わう。

授業では「市川」という土地が文学にどのように表れ、著されてきたかを学び、文学や社会、土地との関わりについて考察することを目的とする。

授業の到達目標

①土地と文学がどのように関わっているかを学ぶ。

②市川と関わる文学作品を鑑賞する

③自分の関わる土地を文学的視点から見直す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	10:50-12:20		木谷　真紀子
2	10/8	10:50-12:20		木谷　真紀子
3	10/15	10:50-12:20		木谷　真紀子
4	10/22	10:50-12:20		木谷　真紀子
5	10/29	10:50-12:20		木谷　真紀子
6	11/5	10:50-12:20		木谷　真紀子
7	11/12	10:50-12:20		木谷　真紀子
8	11/19	10:50-12:20		木谷　真紀子
9	11/26	10:50-12:20		木谷　真紀子
10	12/3	10:50-12:20		木谷　真紀子
11	12/10	10:50-12:20		木谷　真紀子
12	12/17	10:50-12:20		木谷　真紀子
13	1/7	10:50-12:20		木谷　真紀子
14	1/14	10:50-12:20		木谷　真紀子
15	1/21	10:50-12:20		木谷　真紀子

授業方法

担当者が講義を行い、受講者はそれを聞いたうえで、ディスカッションや課題を通し、理解を深める。また受講者全員が、自分の故郷や自分の関わる土地を描いた文学作品についてプレゼンテーションを行う。社会状況が許せば、学外見学も取り入れたい。

授業内容

1)ガイダンス

2)『万葉集』と市川①

3)『万葉集』市川②、実地見学

4)和歌と市川①

5)和歌と市川②

6)近世文学と市川①

7)近世文学と市川②

8）永井荷風と市川①
9）永井荷風と市川②
10）井上ひさしと市川
11）三島由紀夫と市川①
12）三島由紀夫と市川②
13）三島由紀夫と市川③
14）日本近代文学と市川
15）総括

成績評価の方法

期末レポート 50%
その他 50%（授業に関する課題 20%・プレゼン評価表 10%・プレゼンテーション 20%）

成績評価の基準

期末レポートだけではなく、毎回の授業や課題に熱心に取り組んだか、クラスメイトの取り組みをきちんと評価したかも重要視する。

準備学習等についての具体的な指示

プレゼンテーションの準備、課題など、授業外でも様々な土地について考察分析する機会を作る。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。
20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

授業内に指示

参考書

授業内に指示。

他科目との関連

他の文学系の科目でも、文学と土地の関連について触れることがある。

履修上の注意事項

教員のとる出欠を優先させる。 「授業内課題や授業後コメントシート」が提出されていない場合には、欠席扱いになる。

連絡先（メールアドレス）

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	000377				
科目名	S・Human Nature and the Mind			科目 ID	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

授業の目的、概要等

What does it mean to be human? This should be an easy question, right. After all, why wouldn't we know this since each of is human? And yet, thinkers from diverse traditions and cultures have been asking this question directly and indirectly for thousands of years as though there is no definitive answer. Some believe that human nature is fixed or there is a fixed, unchanging core that makes us human as opposed to something else; and that this core tends toward the good or tends toward the bad. Others claim that human nature is far more malleable and subject to change and transformation beyond any recognizably fixed essence. Even now some people believe that we are now transitioning from being human to a post-human condition. We need to investigate these claims. We will call on thinkers in religious, philosophical, literary, and science fields to help us clarify our task at hand and grasp the human in our contemporary situation.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	遠隔授業(同期型)	CANNELL DAVID
2	4/19	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
3	4/26	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
4	5/10	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
5	5/17	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
6	5/24	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
7	5/31	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
8	6/7	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
9	6/14	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
10	6/21	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
11	6/28	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
12	7/5	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
13	7/12	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
14	7/19	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID
15	7/26	10:50-12:20	3 番教室	CANNELL DAVID

授業方法

Mix of class discussion, lecture, and mini-lecture

*Mini-lectures

*Class discussion (large group, small group) based on homework questions

授業内容

* Our course will take a broad approach to human nature by reading seminal texts across time and geography, especially the West and East Asia. Our readings will include excerpts from Genesis, Plato, Mencius, Hsun Tzu, Hobbes, Locke, E.O. Wilson, Yuval Harari, and others. In addition, our course will include at least one novel-length reading.

成績評価の方法

Weekly homework assignments

Mid-Term Examination

Final Examination

*20% Class attendance and Participation

*40% Mid-Term Exam/Essay

*40%　Final Examination/Essay
準備学習等についての具体的な指示
教科書 Never Let Me Go／by Kazuo Ishiguro,：Faber & Faber, 2006 Most readings in this class will be provided as a pdf file.
連絡先（メールアドレス） cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000378				
科目名	S・文学を通してみるフランス			科目ID	
担当教員	中島　ひかる[NAKASHIMA HIKARU]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時限：火曜日+夏季集中（授業明細参照）
対象学科：全学科
受講資格：特になし（フランス語選択者以外も受講可能）
募集人数：10 名
・コンピテンシー：
　別表1−1）言語を通した人間の創造的営みを理解する
　別表1−6）優れた芸術作品に触れて感性を高める
　別表1−7）人間の心への理解を深める
　別表3−4）外国文化を理解する

授業の目的、概要等

目的：フランス文学の具体的作品を通して、フランス社会・文化の感性の特徴やその歴史的変遷の一端を知る。

概要：16 世紀から現代に至るまでのフランス文学作品（小説・詩・哲学）の抜粋を読んでいきます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても文学やフランス文化に興味があれば受講できますが、フランス語を学習している方は前期終了時点であっても、作品のより一層のニュアンスを味わうことができるはずです。
文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、一方でどの「現実」を切り取り、それをどのように表現するかは時代によって変化します。文学表現を可能にしているのは歴史的背景や、その国の言語的伝統です。この授業では文学を通してフランス社会や文化の特徴を知ることができるように解説します。

授業の到達目標

1）フランス文学を通してフランス的感性のあり方を知る。
2）文学作品に反映されているフランスの歴史的・社会的背景を知る。
3）文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1−2	7/30	13:10−16:20		イントロダクション　19 世紀の社会と小説(1)	◎イントロダクション　1）小説というジャンルの「特殊性」（叙事詩、悲劇、詩、小説）2）語り手と作家の存在　人称と形式(日記・回想録・書簡等との比較)　◎産業革命とブルジョアジーの上昇志向　スタンダール・バルザック　3）語られる「主人公」	中島ひかる
3−4	8/2	13:10−16:20		心理分析の伝統（1）	◎モラリスト文学から心理小説まで　モンテーニュ、パスカル、モリエール、ラクロ。スタンダール etc	中島ひかる
5−6	8/3	13:10−16:20		心理分析の伝統（2）	◎モラリスト文学から心理小説まで　モンテーニュ、パスカル、モリエール、ラクロ。スタンダール etc	中島ひかる
7−8	8/26	13:10−16:20		私を語ること　時間の表現	◎18 世紀自伝文学　ルソー　◎時間と記憶　ルソー、プルースト、ヴェルレーヌ、アポリネール	中島ひかる
9−10	8/27	13:10−16:20		異国への憧憬・時代の閉塞感	◎19 世紀末～20 世紀の文学　ボードレール、マラルメ、フロベール、カミュ	中島ひか

						る
11-12	8/30	13:10-16:20		文学の中で文学を問う	◎現代文学　　マラルメ、バルト、アラン・ロブ＝グリエ	中島ひかる
13-14	8/31	13:10-16:20		ルネサンスの感性　パリの情景	◎ルネサンスの感性・青春　ロンサール、ランボー　◎詩の中のパリ　ボードレール、ヴェルレーヌ、アポリネール、プレヴェール	中島ひかる
15	9/17	10:50-12:20		まとめ	レポート発表会・意見交換	中島ひかる

授業方法

講義と演習による。

毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。作品に目を通して感想を述べていただいた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。最後の授業では、各自が書いたレポートの発表会と意見交換を行います。

授業内容

フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス社会や文化の特徴を知ることができるように、代表的作品の抜粋を一緒に読んでいきます。取り上げるテーマはおおよそ以下のようになります。取り上げる順序は受講者の興味を見ながら変更します。

1）イントロダクション
　・小説というジャンルの「特殊性」（叙事詩、悲劇、詩、小説）
　・語り手と作家の存在
　　人称と形式（日記・回想録・書簡等との比較）
　・語られる「主人公」
2）19 世紀の社会と小説――ブルジョアジーの勃興・上昇志向
　　スタンダール・バルザック
3）心理分析の伝統――モラリスト文学から心理小説まで
　　モンテーニュ、 パスカル、モリエール、ラクロ。スタンダール etc
4）私を語ること――自伝文学
　　ルソー
5）時間と記憶の表現
　　ルソー、プルースト、ヴェルレーヌ、アポリネール
6）異国への憧憬、時代の閉塞感
　　ボードレール、マラルメ、フロベール、カミュ
7）文学の中で文学を問う――現代文学
　　マラルメ、バルト、アラン・ロブ＝グリエ
8）ルネサンスと現代の感性
　　ロンサール、ランボー、
9） パリの情景
　　ボードレール、ヴェルレーヌ、アポリネール、プレヴェール

成績評価の方法

評価：試験（期末考査）0%・レポート 70%
　その他 30 %（最終発表・授業中の意見交換への参加度）
再評価：無

フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。それ以外に、授業中の意見交換と、9 月の最終授業のレポート発表会を 30%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析したレポートを高く評価します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回のイントロダクション以外は、毎回、次回に扱うテーマと作品をあらかじめお知らせしますので、事前にテキストに目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておいてください。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 PDF で教材を配付する。
履修上の注意事項 Zoom はオンにして授業に出席して下さい。
連絡先（メールアドレス） nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜　12:00～13:00 　＊メールでの問い合わせには随時応じます

時間割番号	000301				
科目名	グローバル教養総合講座			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS, 奈良 雅之, 木谷 真紀子, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 中島 ひかる, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 中林 潤, 中口 悦史, 徳永 伸一, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, BAO MIN, SCHINZINGER EMI, 勝又 敏行, 髙橋 優美穂, 松本 美耶, 鶉橋 辰成, 若松 功一郎, 本田 陽子[PATRICK FOSS, NARA MASAYUKI, KITANI Makiko, MATSUMOTO YUKIHISA, HATSUTORI ATSUHIKO, ITO MASANORI, SAWANO YORIKO, NAKASHIMA HIKARU, HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, NAKABAYASHI Junn, NAKAGUCHI ETSUSHI, TOKUNAGA SHINICHI, KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, JEANETTE DENNISSON, BAO Min, Schinzinger Emi, KATSUMATA TOSHIYUKI, TAKAHASHI Yumiho, MATSUMOTO Miya, UZURAHASHI Tatsunari, WAKAMATSU Kouichirou, HONNDA Youko]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：火曜日3・4・5限
・対象学科・専攻：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。
　2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。
　3－2）自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける
　3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。
　4－4）情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

（1）人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、地球規模の問題に関する共通のテーマを深く考察する機会を持つことによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につける。

（2）すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。

（3）学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。

授業の到達目標

大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/1	14:45-17:45		グローバル教養総合講座1	ガイダンス、基調講演	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	
2-4	6/8	13:10-18:00		グローバル教養総合講2	文章表現または情報活用Ⅰ、基礎ゼミ1	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
5-7	6/22	13:10-18:00		グローバル教養総合	文章表現または情報活用Ⅰ、基礎	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島	班・教室は配布資料にて確認のこ

				講座3	ゼミ2	ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	と。
8-10	7/6	13:10-18:00		グローバル教養総合講座4	文章表現Ⅱまたは情報活用Ⅱ、基礎ゼミ3	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
11-13	7/20	13:10-18:00		グローバル教養総合講座5	文章表現Ⅱまたは情報活用Ⅱ、基礎ゼミ4	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
14-15	7/27	13:10-16:20		グローバル教養総合講座6	文章表現Ⅲ、基礎ゼミ交流戦、反省会	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
16	7/30	10:50-11:50		グローバル教養総合講座7	基礎ゼミ5	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
17	9/17	13:10-14:40		グローバル教養総合講座8	発表会直前リハーサル	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。
18-19	9/24	13:10-16:20		グローバル教養総合講座9	最終発表会	PATRICK FOSS, 徳永 伸一, 中口 悦史, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 越野 和樹, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 伊藤 正則, 服部 淳彦, JEANETTE DENNISSON, 松本 幸久, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, 中島 ひかる, SCHINZINGER EMI, BAO MIN, 木谷 真紀子, 中林 潤	班・教室は配布資料にて確認のこと。

授業方法

講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。
教養部ガイダンスや第1回目の日(6 月 1 日)に、詳細な説明を行う。

授業内容

本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を8名程度のグループに分けて、並行して進められる。

(1)基礎ゼミでは、指定された読み物と初回の基調講演を参考にして、班ごとに大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。教養部教員がチュータとして参加する。

(2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。

(3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。

「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。

6 月 1 日(火) 外部講師による基調講演、ガイダンス

7 月 27 日(火) 基礎ゼミ交流戦 ＋ 反省会
9 月 17 日(金) 最終発表会前リハーサル
9 月 24 日(金) 最終発表会

成績評価の方法

評価:その他 100%
基礎ゼミ(60%)、文章表現リテラシー(20%)、情報活用リテラシー(20%)
出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。
なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。
再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

「基礎ゼミ指定読み物」および「文章表現リテラシーの指定読み物」は第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

教科書

＜基礎ゼミ指定記事＞
1. 森内浩幸. (2020). ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン (特集 予防接種パーフェクトガイド)―(各ワクチンのパーフェクトガイド). 小児科診療, 83(11), 1607-1611.
2. Kavathus, P. (2015, February 7). To Eradicate Measles, Destroy Vaccine Myths. Yale Global Online.
3. UN News. (2020, November 12). Measles cases hit 23-year high last year, killing 200,000 as vaccination stalls, WHO says.
講演前に通読すること。

＜文章表現リテラシー指定教科書＞
1. 小島正美『メディア・バイアスの正体を明かす』(エネルギーフォーラム、2019 年)。
2. アンデシュ・ハンセン 『スマホ脳』 (新潮社,2020 年)。
第 1 回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

参考書

レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで／江下雅之:中央公論新社, 2003 年
悪文 : 伝わる文章の作法／岩淵悦太郎 編著,岩淵, 悦太郎, 1905-1978,:KADOKAWA, 2016
レポートの組み立て方／木下 是雄 著,木下／是雄,:筑摩書房
日本語の思考法／木下是雄 著,木下, 是雄, 1917-2014,:中央公論新社, 2009
(注意)
上記、江下雅之『レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003 年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
猪熊　恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
JEANETTE　DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp
木谷　真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK　FOSS:毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:00
毎週金曜日 AM.11:00-PM.1:00

管理研究棟　3階　フォス研究室
中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
中島　ひかる:月曜　12：00～13：00
　＊メールでの問い合わせには随時応じます
SCHINZINGER　EMI:毎週月曜日 16：30 – 18：00　管理研究棟 3 階研究室
徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

服部　淳彦:毎週　水曜：12：30～14：00　金曜：10：30～12：30　ヒポ 4F　教員研究室（A2）
奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00　ヒポクラテス 4 階
畔柳　和代:毎週木曜日 12:30-13:20　管理研究棟3階畔柳研究室
勝又　敏行:毎週金曜日　12:00-13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
猪熊　恵子:水曜日　１２時３０分～１３時
木曜日　　１２時３０分～１３時２０分
管理研究棟　3階　猪熊研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
JEANETTE　DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM　管理研究棟3階
木谷　真紀子:月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。
檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
中口　悦史:前期：水　18:00—19:00, 後期：木　12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け
越野　和樹:毎週月曜日　12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000400				
科目名	医療とAI・ビッグデータ入門			科目ID	
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 木下 淳博, 角 勇樹, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Junn, KINOSHITA ATSUHIRO, SUMI YUKI, TAKAHASHI Kunihiko, BANNNAI Hideo, HIEDA MITSUNORI, PARK Heewon, KOSHINO KAZUKI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAGUCHI ETSUSHI, ITSUI YASUHIRO, OKADA ERIKO, NAWA Nobutoshi, KASHIMADA Ayako, SUDOU Takeaki]				
開講時期	2021年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目責任者:宮野 悟
担当主任: 中林 潤
受講対象:1年生(医学科、保健衛生学科検査技術学専攻、歯学科)

主な講義場所

・講義および演習は、対面、オンライン(Zoom)、オンデマンド(WebClass)のいずれかの形式で受講する。(一部に指定あり)
・対面授業は感染対策および講義室の収容人数の関係から、人数を制限する場合がある。
・対面授業の講義場所は別途アナウンスする。

授業の目的、概要等

今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を習得する。
なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野でのAIの活用事例を学ぶ。
将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。

授業の到達目標

・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を説明できる。
・AIを活用した新しいビジネス/サービスを説明できる
・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。
・データ・AIを活用するために使われている技術を概説できる。
・データ・AIを活用することによって、どの様な価値が生まれているかを説明できる。
・データ・AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。
・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/7	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	AI・ビッグデータ入門(仮) 健康・医療AI概論(仮)	宮野 悟	講義
2	6/7	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	AI・ビッグデータ実用例1(仮)	宮野 悟, 中林 潤	講義
3	6/14	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生物統計学概論(仮) データ科学アルゴリズム(仮)	髙橋 邦彦	講義
4	6/14	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	データ科学アルゴリズム概論(仮)	坂内 英夫	講義
5	6/21	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康・医療AI概論(仮)	PARK HEEWON	講義
6	6/21	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	AI・ビッグデータ実用例2(仮)	宮野 悟, 中林 潤	講義

7	6/28	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	Python 基本操作とデータ構造	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
8	6/28	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	Python 基本操作とデータ構造	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
9	7/5	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	①判別理論と実践	PARK HEEWON, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
10	7/5	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	①判別理論と実践	髙橋 邦彦	講義・グループ演習
11	7/12	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	②機械学習の理論と実践	PARK HEEWON	講義・グループ演習
12	7/12	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	②機械学習の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 髙橋 邦彦, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
13	7/19	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	PARK HEEWON	講義・グループ演習
14	7/19	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
15	7/26	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
16	7/26	17:15-18:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 木下 淳博, 中林 潤, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸	講義・グループ演習

					一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	

授業方法

前半は講義・後半はグループによる演習を行う

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:

社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習:

データハンドリング、機械学習など

成績評価の方法

各講義後の webclass 上の課題および各演習後のプログラミング課題により成績評価を行う。

試験は実施しない。

成績評価の基準

科目責任者が応用演習中に行う課題を主として判定する。

期限を過ぎて提出された課題は、「遅延課題」として評価する。

課題をすべて提出し、提出された成果物によりすべての課題の到達目標に達していると判断された場合は B 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

Web Class にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること

特に演習には事前に python(Anaconda navigator)をインストールしていることが必須のため、Web Class に上げているインストールガイドを参照して準備しておくこと

試験の受験資格

・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす

・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす

教科書

東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,: マイナビ出版, 2019

データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,: 講談社, 2019

参考書

・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社

・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative

・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社

・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社

・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社

他科目との関連

情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる

履修上の注意事項

グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。

備考

実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。

事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと

特に他大学の者は『事前資料』を確認し、Anaconda Navigator のインストールまで終了していることを実習の参加条件とする。

連絡先（メールアドレス）

中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp
坂内　英夫:hdbn.dsc@tmd.ac.jp
木下　淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
角　勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
岡田　英理子:sec3.merd@tmd.ac.jp
井津井　康浩:yitsui.gast@tmd.ac.jp
須藤　毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp
髙橋　邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9
木下　淳博:金　16：00－17：00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野
徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

角　勇樹:毎週　月-金　曜日　AM.9:00-PM.17：00　3 号館 16 階　呼吸器･神経系解析学教授室
（来室の前にメールで予約してください）
岡田　英理子:臨床医学教育開発学分野　秘書
須藤　毅顕:毎週火曜日　AM.11:00-PM.5:00　湯島キャンパス 7 号館 3 階　教育メディア開発学分野研究室
髙橋　邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。
M&D データ科学センター生物統計学分野（E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp）
檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
中口　悦史:前期：水　18:00—19:00, 後期：木　12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け
越野　和樹:毎週月曜日　12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000401				
科目名	医療とAI・ビッグデータ入門			科目ID	
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 木下 淳博, 角 勇樹, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Junn, KINOSHITA ATSUHIRO, SUMI YUKI, TAKAHASHI Kunihiko, BANNNAI Hideo, HIEDA MITSUNORI, PARK Heewon, KOSHINO KAZUKI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAGUCHI ETSUSHI, ITSUI YASUHIRO, OKADA ERIKO, NAWA Nobutoshi, KASHIMADA Ayako, SUDOU Takeaki]				
開講時期	2021年度前期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目責任者:宮野 悟
担当主任: 中林 潤
受講対象:1年生(保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科) 2-6年生(全学科)

主な講義場所

・講義および演習は、対面(1年生限定)、オンライン(Zoom)、オンデマンド(WebClass)のいずれの形式でも受講可能とする。
・対面授業は感染対策および講義室の収容人数の関係から、人数を制限する場合がある。
・対面授業の講義場所は別途アナウンスする。

授業の目的、概要等

今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を習得する。
なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野での AI の活用事例を学ぶ。
将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。

授業の到達目標

・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を説明できる。
・AIを活用した新しいビジネス/サービスを説明できる
・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。
・データ・AIを活用するために使われている技術を概説できる。
・データ・AIを活用することによって、どの様な価値が生まれているかを説明できる。
・データ・AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。
・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/7	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	AI・ビッグデータ入門(仮) 健康・医療AI概論(仮)	宮野 悟	講義
2	6/7	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	AI・ビッグデータ実用例1(仮)	宮野 悟, 中林 潤	講義
3	6/14	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生物統計学概論(仮) データ科学アルゴリズム(仮)	髙橋 邦彦	講義
4	6/14	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	データ科学アルゴリズム概論(仮)	坂内 英夫	講義
5	6/21	16:30-17:15	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康・医療AI概論(仮)	PARK HEEWON	講義
6	6/21	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	AI・ビッグデータ実用例2	宮野 悟, 中林 潤	講義

				（仮）		
7	6/28	16:30-17:15	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	Python 基本操作とデータ構造	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
8	6/28	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	Python 基本操作とデータ構造	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, 檜枝 光憲, PARK HEEWON, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
9	7/5	16:30-17:15	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	①判別理論と実践	PARK HEEWON, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
10	7/5	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	①判別理論と実践	高橋 邦彦	講義・グループ演習
11	7/12	16:30-17:15	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	②機械学習の理論と実践	PARK HEEWON	講義・グループ演習
12	7/12	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	②機械学習の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 高橋 邦彦, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
13	7/19	16:30-17:15	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	PARK HEEWON	講義・グループ演習
14	7/19	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
15	7/26	16:30-17:15	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 中林 潤, 木下 淳博, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕	講義・グループ演習
16	7/26	17:15-18:00	遠隔授業(同期型)，遠隔授業(非同期型)	③深層学習・AI の理論と実践	角 勇樹, 木下 淳博, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 檜枝	講義・グループ演習

					光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 中口 悦史, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅顕		

授業方法

前半は講義・後半はグループによる演習を行う

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義

：社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習

：データハンドリング、機械学習など

成績評価の方法

各講義後の webclass 上の課題および各演習後のプログラミング課題により成績評価を行う。

試験は実施しない。

成績評価の基準

科目責任者が応用演習中に行う課題を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う

課題をすべて提出し、提出された成果物によりすべての課題の到達目標に達していると判断された場合は B 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

Web Class にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること

特に演習には事前に python(Anaconda navigator)をインストールしていることが望ましいため、Web Class に上げているインストールガイドを参照することを推奨する

試験の受験資格

・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす

・演習のコマは授業最後に与える課題のメール送付をもって出席とみなす

教科書

東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,: マイナビ出版, 2019

データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,: 講談社, 2019

参考書

・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社

・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative

・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社

・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社

・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社

他科目との関連

情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる

履修上の注意事項

グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。

備考

実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。

事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと

特に他大学の者は『事前資料』を確認し、Anaconda Navigator のインストールまで終了していることを実習の参加条件とする。

連絡先（メールアドレス）

中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp
坂内　英夫:hdbn.dsc@tmd.ac.jp
木下　淳博:emdv@ml.tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
角　勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
岡田　英理子:sec3.merd@tmd.ac.jp
井津井　康浩:yitsui.gast@tmd.ac.jp
須藤　毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp
髙橋　邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp
檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9
木下　淳博:金　16：00－17：00　3 号館 5 階　教育メディア開発学分野
徳永　伸一:前期:
木曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
金曜 12:20-13:10（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

角　勇樹:毎週　月-金　曜日　AM.9:00-PM.17：00　3 号館 16 階　呼吸器･神経系解析学教授室
（来室の前にメールで予約してください）
岡田　英理子:臨床医学教育開発学分野　秘書
須藤　毅顕:毎週火曜日　AM.11:00-PM.5:00　湯島キャンパス 7 号館 3 階　教育メディア開発学分野研究室
髙橋　邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。
M&D データ科学センター生物統計学分野（E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp）
檜枝　光憲:毎週金曜日　16:30～17:30　ヒポ 4F 教員研究室 3
中口　悦史:前期：水　18:00—19:00, 後期：木　12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け
越野　和樹:毎週月曜日　12:00—13:00　ヒポクラテス 4 階